

令和8年度新宿御苑展示工事  
(設計図)

令和8年6月

環境省自然環境局新宿御苑管理事務所

意匠											
図面番号	図面名	図面番号	図面名	図面番号	図面名	図面番号	図面名	図面番号	図面名	図面番号	図面名
【共通図】		【温室】			【旧洋館御休所】			【森の家】		【券売所】	
001	図面リスト	A:一般図		E-106	温室 サイン詳細図-6	A:一般図		A:一般図		A:一般図	
002	案内図	A-101	温室 展示構成リスト	E-107	温室 サイン詳細図-7	A-201	旧洋館御休所 撤去平面図	A-301	森の家 平面図	A-401	券売所 新宿門 平面図
003	建築改修工事特記仕様書-1	A-102	温室 配置図	E-108	温室 サイン詳細図-8	A-202	旧洋館御休所 撤去詳細図-1	A-302	森の家 展開図	A-402	券売所 大木戸門 平面図
004	建築改修工事特記仕様書-2	A-103	温室 平面図-1(撤去)	E-109	温室 サイン詳細図-9	A-203	旧洋館御休所 撤去詳細図-2	B:展示造作図		A-403	券売所 千駄ヶ谷門 平面図
005	建築改修工事特記仕様書-3	A-104	温室 平面図-2(移設、新設)	E-110	温室 サイン詳細図-10	A-204	旧洋館御休所 平面図	B-301	森の家 造作図	A-404	券売所 部分詳細図
006	建築改修工事特記仕様書-4	A-105	温室 平面図-3(サイン)			A-205	旧洋館御休所 展開図	C:グラフィック構成図		E:サイン図	
007	建築改修工事特記仕様書-5	A-106	温室 部分詳細図-1(撤去)			B:展示造作図		C-301	森の家 グラフィック構成図	E-401	券売所 サイン詳細図-1
008	建築改修工事特記仕様書-6	A-107	温室 部分詳細図-2(移設、新設)			B-201	旧洋館御休所 造作図-1	D:グラフィック基本図		E-402	券売所 サイン詳細図-2
009	建築改修工事特記仕様書-7	A-108	温室 部分詳細図-3(カウンター)			B-202	旧洋館御休所 造作図-2	D-301	森の家 グラフィックデザイン基本図	E-403	券売所 サイン詳細図-3
010	建築改修工事特記仕様書-8	A-109	温室 仮設計画図			B-203	旧洋館御休所 造作図-3			E-404	券売所 サイン詳細図-4
011	建築改修工事特記仕様書-9	B:展示造作図				B-204	旧洋館御休所 造作図-4				
012	建築改修工事特記仕様書-10	B-101	温室 造作図-1			B-205	旧洋館御休所 造作図-5				
013	建築改修工事特記仕様書-11	B-102	温室 造作図-2			C:グラフィック構成図					
014	グラフィックリスト	B-103	温室 造作図-3			C-201	旧洋館御休所 グラフィック構成図				
		B-104	温室 造作図-4			D:サイン図					
		B-105	温室 造作図-5			D-201	旧洋館御休所 グラフィックデザイン基本図-1			【管理事務所】	
		B-106	温室 造作図-6			D-202	旧洋館御休所 グラフィックデザイン基本図-2			A:一般図	
		B-107	温室 造作図-7			E:サイン図				A-501	管理事務所 詳細図
		C:グラフィック構成図				E-201	旧洋館御休所 サイン詳細図-1				
		C-101	温室 グラフィック構成図-1			E-202	旧洋館御休所 サイン詳細図-2				
		C-102	温室 グラフィック構成図-2			E-203	旧洋館御休所 サイン詳細図-3				
		C-103	温室 グラフィック構成図-3			E-204	旧洋館御休所 サイン詳細図-4				
		C-104	温室 グラフィック構成図-4			E-205	旧洋館御休所 サイン詳細図-5				
		C-105	温室 グラフィック構成図-5								
		C-106	温室 グラフィック構成図-6								
		C-107	温室 グラフィック構成図-7								
		C-108	温室 グラフィック構成図-8								
		C-109	温室 グラフィック構成図-9								
		C-110	温室 グラフィック構成図-10								
		C-111	温室 グラフィック構成図-11								
		C-112	温室 グラフィック構成図-12								
		D:グラフィックデザイン基本図									
		D-101	温室 グラフィックデザイン基本図-1								
		D-102	温室 グラフィックデザイン基本図-2								
		D-103	温室 グラフィックデザイン基本図-3								
		D-104	温室 グラフィックデザイン基本図-4								
		D-105	温室 グラフィックデザイン基本図-5								
		D-106	温室 グラフィックデザイン基本図-6								
		D-107	温室 グラフィックデザイン基本図-7								
		D-108	温室 グラフィックデザイン基本図-8								
		D-109	温室 グラフィックデザイン基本図-9								
		D-110	温室 グラフィックデザイン基本図-10								
		D-111	温室 グラフィックデザイン基本図-11								
		D-112	温室 グラフィックデザイン基本図-12								
		E:サイン図									
		E-101	温室 サイン詳細図-1								
		E-102	温室 サイン詳細図-2								
		E-103	温室 サイン詳細図-3								
		E-104	温室 サイン詳細図-4								

公園名称	新宿御苑		
工事名称	令和8年度新宿御苑展示工事		
図面名称	図面リスト	縮尺	-
年月日	令和8年3月	図面番号	001
会社名	合同会社わくわくデザイン	照査	設計
事務所名	環境省新宿御苑管理事務所	照査	設計

発券所 新宿門  
(既存サイン撤去及び新規サイン設置)

森の家  
(新規展示設置)

管理事務所  
(新規サイン設置)

旧洋館御休所  
(既存展示撤去及び新規展示設置)

温室  
(既存展示撤去及び新規展示設置)

発券所 大木戸門  
(既存サイン撤去及び新規サイン設置)

発券所 千駄ヶ谷門  
(既存サイン撤去及び新規サイン設置)



0 80m  
縮尺 1:4,000

公園名称	新宿御苑		
工事名称	令和8年度新宿御苑展示工事		
図面名称	案内図	縮尺	図示
年月日	令和8年3月	図面番号	002
会社名	合同会社わくわくデザイン	照査	設計
事務所名	環境省新宿御苑管理事務所	照査	設計

# 改修工事設計図

## 特記仕様書

### I 工事概要

1. 工事場所	東京都新宿区内藤町11
2. 敷地面積	583,061.13㎡
3. 工事種目	(1) 温室 鉄骨造 平屋建 展示工事 延べ面積 2754.40㎡ (国有財産法及び建築基準法による) (2) 旧洋館御休所 木造 平屋建 展示工事 延べ面積 464.12㎡ (国有財産法及び建築基準法による) (3) 森の家(西休憩所) 鉄筋コンクリート造(一部木造) 平屋建 展示工事 延べ面積 143.54㎡ (国有財産法及び建築基準法による) (4) 新宿門発券所 鉄骨造 平屋建 展示工事 延べ面積 67.72㎡ (国有財産法及び建築基準法による) (5) 大木戸門発券所 鉄骨造 平屋建 展示工事 延べ面積 37.75㎡ (国有財産法及び建築基準法による) (6) 千駄ヶ谷門発券所 鉄骨造 平屋建 展示工事 延べ面積 85.78㎡ (国有財産法及び建築基準法による) (7) 管理事務所 サイン工事
4. 工事趣旨	本工事は、観光立国を推進する施策として、新宿御苑の来園者に対して日本館御殿にかかる豊かなストーリーを提供し、外国人利用者等の評価値の維持向上等を目指すものである。展示対象となる温室での鑑賞・森の家での自然ふれあい体験は、往時の日本館御殿と共に利用された機能であり、旧洋館御休所は日本館御殿が存在した住時の現存施設である。現在の温室は国内世界自然遺産地域の植物の展示機能域もある。当該ストーリーの訴求力を最大限化するよう、新宿御苑Visual Identityを統合させるようグラフィック等の制作にあたること。
5. 履行期限	契約締結の日より令和9年3月31日まで
6. 施工条件	大温室については「新宿御苑洋らん展」準備・開催期間中は現場工事はできない。 桜の開花期間となる令和9年3月15日以降の現場工事はできない。
7. 週休2日	1 本工事は、建設工事における完全週休2日制工事(現場閉鎖型)(完全週休2日(土日)I型)の対象工事である。受注者は、工事契約後、完全週休2日(土日)の取組を希望するが判断の上、発注者に協議するものとし、希望しない場合は月単位の週休2日に取組むものとする。 2 週休2日の考え方 (1) 完全週休2日(土日)とは、対象期間の全ての週において、現場閉鎖されている状態をいう。受注者の責によらず土日に施工を行わざるを得ない場合は、事前に協議した上で、土日に代わる現場閉鎖日を指定するものとする。 (2) 月単位の週休2日とは、対象期間内の全ての月で現場閉鎖日数の割合(以下「現場閉鎖率」という。)が、28.5%(8日/28日)以上の水準の状態をいう。ただし、層上の土日の閉鎖では、28.5%に満たない月は、その月の土日の合計日数以上に閉鎖を行っている場合に、4週8休以上を達成しているものとみなす。 (3) 通常の週休2日とは、対象期間内の現場閉鎖率が、28.5%(8日/28日)以上の水準の状態をいう。 (4) なお、降雨、降雪等による予定外の現場閉鎖についても、現場閉鎖日数に含めるものとする。 (5) 対象期間は、工事着手日から工事完成日までの期間をいう。なお、年末年始6日間、夏季休暇3日間、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間のほか、発注者があらかじめ対象外としている内容に該当する期間、受注者の責によらず現場作業を余儀なくされる期間等は含まない。 (6) 現場閉鎖とは、巡回パトロール及び保守自検等、現場管理上必要な作業を行う場合を除き、1日を通し現場及び現場事務所が閉鎖された状態をいう。 (7) 受注者の責によらない現場閉鎖工事契約後、週休2日対象期間としていた期間において、受注者の責によらず現場作業を余儀なくされる期間が生じる場合は、受発注者間で協議して現場閉鎖による週休2日の対象外とする作業と期間を決定するとともに、変更契約時の設計図書に対象外とする作業と期間を明示する。ただし、現場閉鎖による週休2日の対象外とする期間は災害対応等のやむを得ない期間に限定すること。 (8) やむを得ない現場閉鎖やむを得ず現場閉鎖による週休2日の対象外とする期間を設定する場合は、必要最小限の期間とするものとする。また、現場閉鎖による週休2日対象外期間においては、技術者及び技能労働者が交替しながら個別に週休2日に取り組めるよう、休日確保に努めるものとする。

3 現場閉鎖所実績報告書等	受注者は、毎月末までに現場閉鎖所実績報告書又は現場閉鎖所を確認できる資料等(現場閉鎖所実績が記載された工程表や日休等の作業連絡記録、安全教育・訓練等の記録資料等)(以下「現場閉鎖所実績報告書等」という。)を作成し、監督職員が指定する日までに現場閉鎖所実績報告書等提出するものとする。
4 総合工事工程表の作成	受注者は、発注者の設計図書や発注者から明示される事項を踏まえ、総合工程表を作成する。総合工事工程表を作成するに当たっては、当該工事の規模及び難易度、地域の実情、自然条件、工事内容、施工条件等のほか、建設工事に従事する者の週休2日の確保等、下記の条件を適切に考慮する。 (1) 建設工事に従事する者の休日(週休2日に加え、祝日、年末年始及び夏季休暇)の確保 (2) 建設業者が施工に先立って行う労務・資機材の調達、調査・測量、現場事務所の設置等の(施工準備期間) (3) 施工終了後の自主検査、後片付け、清掃等の「後片付け期間」 (4) 降雨日、降雪・出水期等の作業不能日数
5 工事工程の共有	(1) 工事において、受発注者間で工事工程のクリティカルパスを共有し、工程に影響する事項がある場合には、その事項の処理対応者を明確にするものとする。 (2) 円滑な協議を行うため、施工当初において工事工程(特にクリティカルパス)と関連する案件の処理期限(誰がいつまでに処理し、どの作業と関連するのか)について、受発注者で共有するものとする。 (3) 工事工程の共有に当たっては、必要に応じて下請業者(専門工事業者等の技術者等)を含めるなど、共有する工程が現場実態にあったものとなるよう配慮するものとする。 (4) 工程に変更が生じた場合には、その原因と変更後の工事工程について受発注者間で共有すること。また、工程の変更理由が受注者の責によらない場合は、適切に工程の変更を行うものとする。

### II 建築改修工事仕様

1. 共通仕様	(1) 図面及び本特記仕様に記載されていない事項は、国土交通大臣官房官庁審判部制定の下記仕様書等のうち、○を付けたものを適用する。 最新版 ・公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編) (以下、「改修標準仕様書」という。) ・公共建築工事標準仕様書(建築工事編) (以下、「標準仕様書」という。) ・建築工事標準詳細図(令和4年版) (以下、「標準詳細図」という。) ・建築物解体工事共通仕様書(令和4年版) (2) 電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、電気設備工事及び機械設備工事はそれぞれの工事特記仕様書を適用する。なお、電気設備工事の特記仕様書は( )図、機械設備工事の特記仕様書は( )図による。 (3) 本特記仕様書の表記 1) 項目は、○印の付いたものを適用する。 2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。 ○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。 ○印と◎印の付いた場合は、共に適用する。 3) 特記事項に記載の[ ]内表示番号は、改修標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。 4) 特記事項に記載の( )内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。 5) 印は、「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」(平成12年法律第100号)に基づく環境物品等の調達の推進に関する基本方針(平成31年2月8日閣議決定)に定める特定調達品目における基準(特定調達品目「公共工事」においては表1中の品目ごとの判断の基準)を満たすものを示す。
---------	--

章	項目	特記事項
1 一般共通事項	・ 適用区分	・ 建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。 ・ 風圧力 風速(V <sub>0</sub> = m/s) 地表面粗度区分 (・Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ) ・ 積雪荷重 平成12年5月31日建設省告示第1455号における区域別表( )
	・ 施工条件	・ 施行順序 (1.3.5)[1.3.5] ・ 工事用車両の駐車場及び資機材の置き場所 ( )
	○ 環境への配慮	(1.4.1)[1.4.1] (1) 建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の①から④を満たすものとする。 ① 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しない又は発散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。 ② 接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。 ③ 接着剤は、可塑性(フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含む)④①の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、有害な揮発性の可塑性を除く)が添加されていない材料を使用する。アセトアルデヒド及びスチレンを発生しないが、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。 (2) 設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分において、「規制対象外」とは次の①又は②に該当する材料を指し、同区分「第三種」とは次の③又は④に該当する材料を指す。 ① 建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド発散建築材料以外の材料 ② 建築基準法施行令第20条の7第4項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料 ③ 建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第三種ホルムアルデヒド発散建築材料 ④ 建築基準法施行令第20条の7第3項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料 (1.4.2)[1.4.2]
	○ 材料の品質等	(1.4.2)[1.4.2] (1) 本工事に使用する材料は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。 (2) 備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は監督職員の承認を受ける。 (3) 標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。 (4) 本工事に使用する材料のうち、(5)に指定する材料の製造業者等は、次の①から⑥すべての事項を満たすものとし、この証明となる資料又は外部機関が発行する品質及び性能が評価されたことを示す書面を提出して監督職員の承認を受ける。ただし、製造業者等が記載されているものは、証明となる資料等の提出を省略することができる。 ① 品質及び性能に関する試験データを整備していること。 ② 生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。 ③ 安定的な供給が可能であること。 ④ 法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。 ⑤ 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 ⑥ 販売、保守等の営業体制を整えていること。 (5) 製造業者等に関する資料の提出を求める材料 (1.5.1)
	・ 石綿含有建材の調査	[1.5.1] 調査 ※石綿含有建材の事前調査 工事着工に先立ち、あらかじめ関係法令に基づき、石綿含有建材の事前調査を行う旨と資料( ) ・ 分析による石綿含有建材の調査 分析対象 アクチノライト、アモサイト、アンソファイト、クリソタイル、クロソライト、トモライト サンプル数 1箇所あたり3サンプル 採取箇所 ・ 図示による
	・ 化学物質の濃度測定	(1.5.9) (1.7.9) (1) 施工完了後、引渡前に室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレンの濃度を測定し、測定結果を監督職員に報告する。 (2) 測定対象室及び測定箇所数等は下記による。 着工前の測定 ・ 行う ・ 行わない 測定対象室 ・ 図示による 測定箇所数 ・ 図示による (3) 測定方法は、現場説明書による。 (4) 測定結果の報告は、現場説明書による。
	・ 埋設配管・配線および鉄筋調査	あと施工アンカー工事 6章および8章による コア抜き、はつり工事等 ※ 既存資料調査 ・ 探査機(電磁波レーダー法又は電磁波誘導法)による探査 配管・配線等の位置の抽出を行う 範囲 ※図示による ・ 放射線透過試験 労働安全衛生法、「電離放射線障害防止規制」(昭和47年労働省令第41号)等に定めるところによるほか、次による。 (1) 作業主任者は、エックス線作業主任者の資格を有するものとし、資格を証明するものとし、資格を証明する資料を監督職員に提出する。 (2) 放射線照射量は最小限のものとし、照射中は人体に影響のない程度まで照射器より離れる。また、作業者以外の立入禁止措置を講ずる。 (3) 露出時間は、コンクリートの厚さ等により、適宜調整する。 (4) 付近にフィルム、磁気ディスク等放射線の影響を受けるもの有無を確認する。 (5) 躯体の塵出しは、表裏でスレがないよう措置を講ずる。 撮影枚数 枚 フィルムサイズ コンクリート厚さ cm
	・ 騒音・粉じん等の対策	[2.1.3] ・ 防音パネル ・ 防音シート 防音パネル等を取り付ける足場等の設置範囲 ・ 図示による
	・ 足場等	[2.2.1][表2.2.1] 「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。 外部足場 ・ 設置する (設置範囲・工事に必要な範囲・図示による) ・ 設置しない 防護シート ・ 設置する (設置範囲・工事に必要な範囲・図示による) ・ 設置しない 内部足場 ・ 設置する(※ 脚立、足場等) ( ) ・ 設置しない 材料、撤去材等の運搬方法 種別 (・A種・B種・C種・D種・E種) C種: 利用可能なエレベーター (・図示による) D種: 利用可能な階段 (・図示による)

○ 既存部分の養生	[2.3.1] 養生の方法等 養生の方法(※ビニルシート、合板 ○協議による) ○既存部分 ・ 既存家具、既存設備等 養生の方法(※ビニルシート等) ・ 既存ブラインド、カーテン等 養生の方法(・ビニルシート等) ・ 固定された備品、机、ロッカー等の移動 (・図示による)																								
・ 仮設間仕切り	[2.3.2][表2.3.1] 仮設間仕切り及び仮設扉の設置箇所 ・ 図示による 仮設間仕切りの種別と材質等 <table border="1"><thead><tr><th>種別</th><th>仕上げ(厚さmm)</th><th>塗装</th><th>充填材</th></tr></thead><tbody><tr><td>・ A種</td><td>・ セッコウボード種類(・ ) 厚さ( mm ※9.5mm)</td><td>・ なし ・ 片面</td><td>グラスウール 厚さ mm</td></tr><tr><td>・ B種</td><td>・ 合板 材質(・ ) ・ 合板(・ mm ※9.0mm)</td><td></td><td></td></tr><tr><td>※C種</td><td>防災シート</td><td></td><td></td></tr></tbody></table> 仮設間仕切りに設ける仮設扉の材質等 <table border="1"><thead><tr><th>材質</th><th>仕上げ</th><th>塗装</th><th>備考</th></tr></thead><tbody><tr><td>※木製</td><td>※合板張り程度</td><td>・ なし ・ 片面</td><td>・ か所 ・ 図示による</td></tr></tbody></table>	種別	仕上げ(厚さmm)	塗装	充填材	・ A種	・ セッコウボード種類(・ ) 厚さ( mm ※9.5mm)	・ なし ・ 片面	グラスウール 厚さ mm	・ B種	・ 合板 材質(・ ) ・ 合板(・ mm ※9.0mm)			※C種	防災シート			材質	仕上げ	塗装	備考	※木製	※合板張り程度	・ なし ・ 片面	・ か所 ・ 図示による
種別	仕上げ(厚さmm)	塗装	充填材																						
・ A種	・ セッコウボード種類(・ ) 厚さ( mm ※9.5mm)	・ なし ・ 片面	グラスウール 厚さ mm																						
・ B種	・ 合板 材質(・ ) ・ 合板(・ mm ※9.0mm)																								
※C種	防災シート																								
材質	仕上げ	塗装	備考																						
※木製	※合板張り程度	・ なし ・ 片面	・ か所 ・ 図示による																						

3 防水改修工事	[1.5.2, 3] ○ 施工数量調査 調査範囲 ・ 図示による 調査方法 ・ 図示による 既存部分の破壊を行った場合の補修方法 ・ 図示 調査報告書(提出部数: 2部) ※改修標準仕様書3.1.3(5)(7)~(9)による
・ 既存防水の処理	[3.1.3] 降雨等に対する養生方法(とい共) [3.1.4][3.2.3, 4, 6] 既存保護層の撤去 ・ 行う(範囲・図示による) ・ 行わない 既存防水層の撤去 ・ 行う(範囲・図示による) ・ 行わない 既存露出防水層表面の仕上塗装の除去 ・ 行う(・MAAS・MAASI・MAC・M4D・L4X)
・ 既存下地の処理	[3.2.6] 既存下地の補修箇所の形状、長さ、数量等 ・ 図示による POS工法及びPOSI工法(機械式固定工法)の既存保護層を撤去し防水層を非撤去とした立上り部等の処置 ※改修標準仕様書3.2.6(4)(g)①~③による 設備機器架台、配管受部、パラペット、貫通パイプ回り、手すり・丸環の取付け部、塔屋出入口部等の欠損部及び防水層端部の納まり部の処理 ※監督職員と協議する ・ 図示による

・ アスファルト防水	[3.3.2~5] 屋根保護防水(既存) 新設防水層の種別 <table border="1"><thead><tr><th>改修工法</th><th>新設種別</th><th>施工箇所</th><th>断熱材</th><th>絶縁用シート</th></tr></thead><tbody><tr><td>・ P2A</td><td>・ A-1 ・ A-2 ・ A-3</td><td></td><td></td><td>※'07年10月4日厚さ0.15mm以上又は'07年11月20日70g/m程度</td></tr><tr><td>・ P1B</td><td>・ B-1 ・ B-2</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>・ P2AI</td><td>・ AI-1 ・ AI-2 ・ AI-3</td><td>(種類) ※JIS A 9521に基づく押出法'07年11月20日70g/m程度</td><td></td><td>※'07年11月20日70g/m程度</td></tr><tr><td>・ P1BI</td><td>・ BI-1 ・ BI-2</td><td>(厚さ)(mm) ・ 図示による</td><td></td><td></td></tr></tbody></table> 改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※改修標準仕様書3.3.3から表3.3.9による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 ※R種 材料による区分 ※R種 厚さ( )mm以上 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※改修標準仕様書3.3.3から表3.3.9による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 ※R種 材料による区分 ※R種 厚さ( )mm以上 平場の保護コンクリートの厚さ こて仕上げ ※水下 80mm以上 床タイル張り ※水下 60mm以上 立上り部の保護工法 ・ 乾式保護材(品質・性能、試験方法は別表による) 商業系パネル類(厚さ)(mm)幅(mm) ・ レンガ吹き(※JIS R 1250) ・ コンクリート押え ・ モルタル押え	改修工法	新設種別	施工箇所	断熱材	絶縁用シート	・ P2A	・ A-1 ・ A-2 ・ A-3			※'07年10月4日厚さ0.15mm以上又は'07年11月20日70g/m程度	・ P1B	・ B-1 ・ B-2				・ P2AI	・ AI-1 ・ AI-2 ・ AI-3	(種類) ※JIS A 9521に基づく押出法'07年11月20日70g/m程度		※'07年11月20日70g/m程度	・ P1BI	・ BI-1 ・ BI-2	(厚さ)(mm) ・ 図示による		
改修工法	新設種別	施工箇所	断熱材	絶縁用シート																						
・ P2A	・ A-1 ・ A-2 ・ A-3			※'07年10月4日厚さ0.15mm以上又は'07年11月20日70g/m程度																						
・ P1B	・ B-1 ・ B-2																									
・ P2AI	・ AI-1 ・ AI-2 ・ AI-3	(種類) ※JIS A 9521に基づく押出法'07年11月20日70g/m程度		※'07年11月20日70g/m程度																						
・ P1BI	・ BI-1 ・ BI-2	(厚さ)(mm) ・ 図示による																								

屋根露出防水(既存)	新設防水層の種別 <table border="1"><thead><tr><th>改修工法</th><th>新設種別</th><th>施工箇所</th><th>断熱材</th><th>仕上塗料</th><th>高圧射撃防汚</th><th>備考</th></tr></thead><tbody><tr><td>・ M4C</td><td>・ C-1 ・ C-2 ・ C-3 ・ C-4</td><td></td><td></td><td>・ アスファルトルーフィング類の製造所の仕様 ・ アスファルトルーフィング類の製造所の仕様</td><td>・ 適用する</td><td>脱気装置 ・ 設ける ・ 設けない 改修用'1 ・ 設ける ・ 設けない</td></tr><tr><td>・ M3D ・ POD</td><td>・ D-1 ・ D-2</td><td></td><td></td><td></td><td>・ 適用する</td><td>脱気装置 ・ 設ける ・ 設けない 改修用'1 ・ 設ける ・ 設けない</td></tr><tr><td>・ POD1 ・ MDD1 ・ MDDI</td><td>・ DI-1 ・ DI-2</td><td></td><td>改修標準仕様書3.3.2(9)(種類) (厚さ)(mm)</td><td></td><td>・ 適用する</td><td>脱気装置 ・ 設ける ・ 設けない 改修用'1 ・ 設ける ・ 設けない</td></tr></tbody></table> 屋根露出防水(既存) 新設防水層の種別 <table border="1"><thead><tr><th>改修工法</th><th>新設種別</th><th>施工箇所</th><th>断熱材</th><th>仕上塗料</th><th>高圧射撃防汚</th><th>備考</th></tr></thead><tbody><tr><td>・ M4C</td><td>・ C-1 ・ C-2 ・ C-3 ・ C-4</td><td></td><td></td><td>・ アスファルトルーフィング類の製造所の仕様 ・ アスファルトルーフィング類の製造所の仕様</td><td>・ 適用する</td><td>脱気装置 ・ 設ける ・ 設けない 改修用'1 ・ 設ける ・ 設けない</td></tr><tr><td>・ M3D ・ POD</td><td>・ D-1 ・ D-2</td><td></td><td></td><td></td><td>・ 適用する</td><td>脱気装置 ・ 設ける ・ 設けない 改修用'1 ・ 設ける ・ 設けない</td></tr><tr><td>・ POD1 ・ MDD1 ・ MDDI</td><td>・ DI-1 ・ DI-2</td><td></td><td>改修標準仕様書3.3.2(9)(種類) (厚さ)(mm)</td><td></td><td>・ 適用する</td><td>脱気装置 ・ 設ける ・ 設けない 改修用'1 ・ 設ける ・ 設けない</td></tr></tbody></table>	改修工法	新設種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料	高圧射撃防汚	備考	・ M4C	・ C-1 ・ C-2 ・ C-3 ・ C-4			・ アスファルトルーフィング類の製造所の仕様 ・ アスファルトルーフィング類の製造所の仕様	・ 適用する	脱気装置 ・ 設ける ・ 設けない 改修用'1 ・ 設ける ・ 設けない	・ M3D ・ POD	・ D-1 ・ D-2				・ 適用する	脱気装置 ・ 設ける ・ 設けない 改修用'1 ・ 設ける ・ 設けない	・ POD1 ・ MDD1 ・ MDDI	・ DI-1 ・ DI-2		改修標準仕様書3.3.2(9)(種類) (厚さ)(mm)		・ 適用する	脱気装置 ・ 設ける ・ 設けない 改修用'1 ・ 設ける ・ 設けない	改修工法	新設種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料	高圧射撃防汚	備考	・ M4C	・ C-1 ・ C-2 ・ C-3 ・ C-4			・ アスファルトルーフィング類の製造所の仕様 ・ アスファルトルーフィング類の製造所の仕様	・ 適用する	脱気装置 ・ 設ける ・ 設けない 改修用'1 ・ 設ける ・ 設けない	・ M3D ・ POD	・ D-1 ・ D-2				・ 適用する	脱気装置 ・ 設ける ・ 設けない 改修用'1 ・ 設ける ・ 設けない	・ POD1 ・ MDD1 ・ MDDI	・ DI-1 ・ DI-2		改修標準仕様書3.3.2(9)(種類) (厚さ)(mm)		・ 適用する	脱気装置 ・ 設ける ・ 設けない 改修用'1 ・ 設ける ・ 設けない
改修工法	新設種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料	高圧射撃防汚	備考																																																			
・ M4C	・ C-1 ・ C-2 ・ C-3 ・ C-4			・ アスファルトルーフィング類の製造所の仕様 ・ アスファルトルーフィング類の製造所の仕様	・ 適用する	脱気装置 ・ 設ける ・ 設けない 改修用'1 ・ 設ける ・ 設けない																																																			
・ M3D ・ POD	・ D-1 ・ D-2				・ 適用する	脱気装置 ・ 設ける ・ 設けない 改修用'1 ・ 設ける ・ 設けない																																																			
・ POD1 ・ MDD1 ・ MDDI	・ DI-1 ・ DI-2		改修標準仕様書3.3.2(9)(種類) (厚さ)(mm)		・ 適用する	脱気装置 ・ 設ける ・ 設けない 改修用'1 ・ 設ける ・ 設けない																																																			
改修工法	新設種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料	高圧射撃防汚	備考																																																			
・ M4C	・ C-1 ・ C-2 ・ C-3 ・ C-4			・ アスファルトルーフィング類の製造所の仕様 ・ アスファルトルーフィング類の製造所の仕様	・ 適用する	脱気装置 ・ 設ける ・ 設けない 改修用'1 ・ 設ける ・ 設けない																																																			
・ M3D ・ POD	・ D-1 ・ D-2				・ 適用する	脱気装置 ・ 設ける ・ 設けない 改修用'1 ・ 設ける ・ 設けない																																																			
・ POD1 ・ MDD1 ・ MDDI	・ DI-1 ・ DI-2		改修標準仕様書3.3.2(9)(種類) (厚さ)(mm)		・ 適用する	脱気装置 ・ 設ける ・ 設けない 改修用'1 ・ 設ける ・ 設けない																																																			

2 仮設工事	・ 騒音・粉じん等の対策 ・ 足場等	[2.1.3] [2.2.1][表2.2.1] 「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。 外部足場 ・ 設置する (設置範囲・工事に必要な範囲・図示による) ・ 設置しない 防護シート ・ 設置する (設置範囲・工事に必要な範囲・図示による) ・ 設置しない 内部足場 ・ 設置する(※ 脚立、足場等) ( ) ・ 設置しない 材料、撤去材等の運搬方法 種別 (・A種・B種・C種・D種・E種) C種: 利用可能なエレベーター (・図示による) D種: 利用可能な階段 (・図示による)
--------	-----------------------	---

改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※改修標準仕様書表3.3.3から表3.3.9による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 ※R種 材料構成による区分 ※R種 厚さ( )mm以上 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※改修標準仕様書表3.3.3から表3.3.9による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 ※R種 材料構成による区分 ※R種 厚さ( )mm以上 立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法 ※アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度 屋上排水溝 ・ 図示による	改質アスファルトシート防水 [3.4.2, 3] 屋根露出防水(既存) 防水層の種別 <table border="1"><thead><tr><th>改修工法</th><th>新設種別</th><th>施工箇所</th><th>断熱材</th><th>仕上塗料</th><th>高圧射撃防汚</th><th>備考</th></tr></thead><tbody><tr><td>・ M4S</td><td>・ AS-T1 ・ AS-T2 ・ AS-J3</td><td></td><td></td><td>・ 改質アスファルトシート製造所の仕様による ・ 改質アスファルトシート製造所の仕様による</td><td>・ 適用する</td><td>脱気装置 ・ 設ける 改修用'1 ・ 設ける ・ 設けない 改修用'1 ・ 設ける ・ 設けない 防湿層 ・ 設ける ・ 設けない</td></tr><tr><td>・ M3AS</td><td>・ AS-T3 ・ AS-T4 ・ AS-J2</td><td></td><td></td><td>改修標準仕様書 3.4.2(3)(ウ) (種類) (厚さ)(mm)</td><td>・ 適用する</td><td>脱気装置 ・ 設ける 改修用'1 ・ 設ける ・ 設けない 防湿層 ・ 設ける ・ 設けない</td></tr><tr><td>・ POAS</td><td>・ AS-T3 ・ AS-T4 ・ AS-J2 ・ AS-J4</td><td></td><td></td><td></td><td>・ 適用する</td><td>脱気装置 ・ 設ける 改修用'1 ・ 設ける ・ 設けない 防湿層 ・ 設ける ・ 設けない</td></tr><tr><td>・ M3ASI ・ M4SI ・ POASI</td><td>・ ASI-T1 ・ ASI-J1</td><td></td><td></td><td></td><td>・ 適用する</td><td>脱気装置 ・ 設ける 改修用'1 ・ 設ける ・ 設けない 防湿層 ・ 設ける ・ 設けない</td></tr></tbody></table> 改質アスファルトシートの種類及び厚さ ※改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 ※R種 材料による区分 ※R種 厚さ( )mm以上 粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ ※改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 ※R種 材料による区分 ※R種 厚さ( )mm以上 部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ ※改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 ※R種 材料による区分 ※R種 厚さ( )mm以上 立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法 ※アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度 絶縁断熱工法の防湿用シート ・ 設置する ・ 設置しない <table border="1"><thead><tr><th>公園名称</th><th>新宿御苑</th></tr><tr><th>工事名称</th><th>令和8年度新宿御苑展示工事</th></tr><tr><th>図面名称</th><th>建築改修工事特記仕様書-1</th><th>縮尺</th><th>-</th></tr><tr><th>年月日</th><th>令和8年3月</th><th>図面番号</th><th>003</th></tr><tr><th>会社名</th><th>合同会社わくわくデザイン</th><th>照査</th><th>設計</th></tr><tr><th>事務所名</th><th>環境省新宿御苑管理事務所</th><th>照査</th><th>設計</th></tr></thead></table>	改修工法	新設種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料	高圧射撃防汚	備考	・ M4S	・ AS-T1 ・ AS-T2 ・ AS-J3			・ 改質アスファルトシート製造所の仕様による ・ 改質アスファルトシート製造所の仕様による	・ 適用する	脱気装置 ・ 設ける 改修用'1 ・ 設ける ・ 設けない 改修用'1 ・ 設ける ・ 設けない 防湿層 ・ 設ける ・ 設けない	・ M3AS	・ AS-T3 ・ AS-T4 ・ AS-J2			改修標準仕様書 3.4.2(3)(ウ) (種類) (厚さ)(mm)	・ 適用する	脱気装置 ・ 設ける 改修用'1 ・ 設ける ・ 設けない 防湿層 ・ 設ける ・ 設けない	・ POAS	・ AS-T3 ・ AS-T4 ・ AS-J2 ・ AS-J4				・ 適用する	脱気装置 ・ 設ける 改修用'1 ・ 設ける ・ 設けない 防湿層 ・ 設ける ・ 設けない	・ M3ASI ・ M4SI ・ POASI	・ ASI-T1 ・ ASI-J1				・ 適用する	脱気装置 ・ 設ける 改修用'1 ・ 設ける ・ 設けない 防湿層 ・ 設ける ・ 設けない	公園名称	新宿御苑	工事名称	令和8年度新宿御苑展示工事	図面名称	建築改修工事特記仕様書-1	縮尺	-	年月日	令和8年3月	図面番号	003	会社名	合同会社わくわくデザイン	照査	設計	事務所名	環境省新宿御苑管理事務所	照査	設計
改修工法	新設種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料	高圧射撃防汚	備考																																																		
・ M4S	・ AS-T1 ・ AS-T2 ・ AS-J3			・ 改質アスファルトシート製造所の仕様による ・ 改質アスファルトシート製造所の仕様による	・ 適用する	脱気装置 ・ 設ける 改修用'1 ・ 設ける ・ 設けない 改修用'1 ・ 設ける ・ 設けない 防湿層 ・ 設ける ・ 設けない																																																		
・ M3AS	・ AS-T3 ・ AS-T4 ・ AS-J2			改修標準仕様書 3.4.2(3)(ウ) (種類) (厚さ)(mm)	・ 適用する	脱気装置 ・ 設ける 改修用'1 ・ 設ける ・ 設けない 防湿層 ・ 設ける ・ 設けない																																																		
・ POAS	・ AS-T3 ・ AS-T4 ・ AS-J2 ・ AS-J4				・ 適用する	脱気装置 ・ 設ける 改修用'1 ・ 設ける ・ 設けない 防湿層 ・ 設ける ・ 設けない																																																		
・ M3ASI ・ M4SI ・ POASI	・ ASI-T1 ・ ASI-J1				・ 適用する	脱気装置 ・ 設ける 改修用'1 ・ 設ける ・ 設けない 防湿層 ・ 設ける ・ 設けない																																																		
公園名称	新宿御苑																																																							
工事名称	令和8年度新宿御苑展示工事																																																							
図面名称	建築改修工事特記仕様書-1	縮尺	-																																																					
年月日	令和8年3月	図面番号	003																																																					
会社名	合同会社わくわくデザイン	照査	設計																																																					
事務所名	環境省新宿御苑管理事務所	照査	設計																																																					

合成高分子系  
ルーフィングシート  
防水

Table with columns: 改修工法, 新設種別, 施工箇所, 断熱材, 仕上塗料 (種類, 使用量), 高日射反射率防水, 備考. Includes rows for POS, SAS, SSS, MAS, S1-F1, S1-F2, S1-M1, S1-M2.

S-F1, S-M1, S-F2, S-M2の仕様  
※非歩行仕様 ・ 軽歩行仕様  
S1-M1及びS1-M2の場合の防湿用フィルム ・ 設置する ・ 設置しない

Table with columns: 種別, 工法, 施工箇所, 保護層 (平場の保護モルタル塗厚, 立上り部の保護モルタル塗厚).

平場の保護モルタル床塗りにおける目地の目割れ及び種類  
目地割 ※2m程度 最大目地間隔3m程度  
目地の種類 ※押し目地

合成高分子系ルーフィングシートの種類及び厚さ  
※改修標準仕様書表3.5.1から表3.5.31による  
・ JIS A 6008に基づく種類及び厚さ種類

絶縁用シートの材質 ※発泡ポリエチレンシート  
固定金具の材質、形状及び寸法  
※厚さ0.4mm以上で防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板又はそれらの片面若しくは両面に樹脂を積層加工したもの

接着工法の場合の脱気装置の種類及び設置数量  
種類 ※ルーフィングシート製造所の指定による  
設置数量 ※ルーフィングシート製造所の指定による ( ) 個

接着工法の場合のプレキャストコンクリート部材の目地処理  
・ 行う ( 図示による )  
プレキャストコンクリート部材の目地の増張り (種別 S-F1, S1-F1の場合)  
・ 行う ( 図示による ) ・ 行わない

機械的固定工法の場合の一般部のルーフィングシートの取付け  
1章 適用区分による風圧力の (・1 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力に対応した工法

塗膜防水

Table with columns: 改修工法, 新設種別, 施工箇所, 仕上塗料 (種類, 使用量), 高日射反射率防水, 備考. Includes rows for POX, L4X.

ウレタンゴム系塗膜防水X-1の脱気装置の種類及び設置数量  
種類 ※主材料の製造所の仕様  
設置数量 ※主材料の製造所の仕様 ( ) 個

Table with columns: 改修工法, 新設種別, 施工箇所, 工数及び各工種の使用量, 保護層.

シーリング改修工法の種類  
・ シーリング充填工法  
・ シーリング再充填工法  
・ 拡幅シーリング再充填工法  
・ プリッジ工法  
・ ボンドブレイカー張り ・ 適用する ・ 適用しない  
・ エッジング材張り ・ 適用する ・ 適用しない

シーリング

シーリング材の種類、施工箇所  
下表以外は、改修標準仕様書表3.7.1による。

Table with columns: 施工箇所, シーリング材の種類 (記号).

仕上げを行わない施工箇所  
・ 図示による  
シーリング材の目地寸法  
※改修標準仕様書3.7.3(1)による  
・ 図示による

接着性試験  
※簡易接着性試験 ・ 引張接着性試験

とい  
といその他の材質 ※配管用鋼管 ・ 硬質ポリ塩化ビニル管  
・ ルーフドレン  
・ 表面処理鋼板 (表面及び裏面の塗膜の種類 )

とい受金物  
材質 ※改修標準仕様書3.8.2による (溶融亜鉛めっきを行ったもの)  
形状 ※市販品 (とい径100以下)  
※5×4.5以上 (とい径100を超えるもの)  
取付け間隔 ※改修標準仕様書3.8.2による

足金物  
材質 ※改修標準仕様書3.8.2による (溶融亜鉛めっきを行ったもの)  
形状 ※市販品  
取付け間隔 ※改修標準仕様書3.8.2による  
多雪地域 ・ 適用する ・ 適用しない

防露材のホルムアルデヒド放散量  
※F☆☆☆☆  
既存のといその他の撤去及び降雨等に対する養生方法 ・ 図示による  
鋼管製といの防露巻き ※改修標準仕様書表3.8.4による

Table with columns: ルーフドレンの種類及び呼び, 種類, 呼び, 施工箇所. Includes rows for ろく屋根用, バルコニー中継用, バルコニー用.

たてどい受金物の取付け ※図示による  
ルーフドレンの取付け  
※水はよく、床面より下げ、周囲の隙間にモルタルを充填する

種類 ・ オープン形式 ( ・ 押出250形 ・ 押出300形 ・ 押出350形 )  
・ 板材折曲げ形 ( ・ オープン形式 ・ シール形式 )  
本体幅 ( mm) 板厚 (※2.0mm mm)

表面処理 種別 ( ) 種  
色合い等 ・ 標準色 ( ) ・ 特注色 ( )  
既存笠木等の撤去 ・ 行う (範囲 ・ 図示による )  
・ 行わない

下地補修の工法 ※図示による  
板材折曲げ形の笠木の取付方法 ※図示による  
笠木の固定金具の工法等  
1章 適用区分による風圧力の (・1 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力に対応した工法

アルミニウム製笠木

施工数量調査

調査範囲 ・ 外壁改修範囲 ・ 図示による  
調査内容  
ひび割れの幅及び長さを壁面に表示する。また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。

モルタル塗仕上げ及びタイル張り仕上げについては浮き部分を表面に表示し、また欠損部の形状寸法等を調査する。

コンクリート表面のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。  
塗り仕上げについては、コンクリートまたはモルタル表面のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。また、既存塗膜と新規上塗材との適合性を確認する。

既存部分の破壊を行った場合の補修方法 ・ 図示による  
調査報告書 (提出部数 ・ 2部 )

ひび割れ部改修工法

Table with columns: 工法の種類, ひび割れ幅 (mm), 注入間隔 (mm), 注入量 (mL/m). Includes rows for 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法, 手動式エポキシ樹脂注入工法, 機械式エポキシ樹脂注入工法.

注入状況の確認方法 ※コアの採取を行う  
採取り個数 ※長さ500mごと及びその端数につき1個  
採取り部の補修方法 ※図示による

Uカットシール材充填工法  
・ シーリング材  
充填材料の種類 ※1成分形又は2成分形ポリウレタン系  
・ 行う ・ 行わない  
・ 可とう性エポキシ樹脂

シール工法  
・ パテ状エポキシ樹脂 ・ 可とう性エポキシ樹脂

充填工法  
・ エポキシ樹脂モルタル  
・ ポリマーセメントモルタル

欠損部改修工法

4-2 外壁改修工事  
モルタル塗り仕上げ外壁  
4-3 外壁改修工事  
タイル張り仕上げ外壁

ひび割れ部改修工法

Table with columns: 工法の種類, ひび割れ幅 (mm), 注入間隔 (mm), 注入量 (mL/m). Includes rows for 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法, 手動式エポキシ樹脂注入工法, 機械式エポキシ樹脂注入工法.

注入状況の確認方法 ※コアの採取を行う  
採取り個数 ※長さ500mごと及びその端数につき1個  
採取り部の補修方法 ※図示による

Uカットシール材充填工法  
・ シーリング材  
充填材料の種類 ※1成分形又は2成分形ポリウレタン系  
・ 行う ・ 行わない  
・ 可とう性エポキシ樹脂

シール工法  
・ パテ状エポキシ樹脂 ・ 可とう性エポキシ樹脂

欠損部改修工法

充填工法  
・ エポキシ樹脂モルタル ・ ポリマーセメントモルタル

モルタル塗替え工法  
・ 現場調査材料 (セメントは改修特記仕様書9-2 コンクリート工事による)  
・ 既調合材料 ( )  
既製目地材 ・ 使用する (形状 ・ 図示による )  
仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の措置 ※図示による

浮き部改修工法

Table with columns: 工法の種類, アークビンの本数 (本/m), 注入口の箇所数 (箇所/m), 注入量 (mL/箇所). Includes rows for アンカーピンニング, アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法, アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法.

アンカーピンの材質  
※ ステンレス鋼 (SUS304) 呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したもの

注入口付アンカーピンの材質  
※ ステンレス鋼 (SUS304) 呼び径6mm程度

注入工法用材料  
・ ポリマーセメントスラリー  
広がり速度 (cm/s) 長さ変化量 (収縮) (%) 引張接着性 (N/mm<sup>2</sup>) 曲げ性能 (材齢28日) (N/mm<sup>2</sup>) 吸水率 (72時間) (%) 耐久性 (劣化曲げ強さ) (N/mm<sup>2</sup>)

保水係数 0.35~0.55  
粘着係数 0.50~1.00

充填工法  
・ エポキシ樹脂モルタル ・ ポリマーセメントモルタル  
モルタル塗替え工法  
・ 現場調査材料 (セメントは改修特記仕様書9-2 コンクリート工事による)  
・ 既調合材料 ( )  
既製目地材 ・ 使用する (形状 ・ 図示による )  
仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の措置 ※図示による

タイルの形状、寸法等

Table with columns: タイルの形状、寸法等, 施工箇所, 形状/寸法 (mm), 再生材料の吸水率, 色, 耐凍害性, 耐滑性, 備考.

標準的な曲がりの役物は一体成形とする  
見本焼き  
・ 行う (施工箇所: ) ・ 行わない  
試験張り  
・ 行う (取因、仕様等は図示による ) ・ 行わない

ひび割れ部改修工法

Table with columns: 工法の種類, ひび割れ幅 (mm), 注入間隔 (mm), 注入量 (mL/m). Includes rows for 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法, 手動式エポキシ樹脂注入工法, 機械式エポキシ樹脂注入工法.

注入状況の確認方法 ※コアの採取を行う  
採取り個数 ※長さ500mごと及びその端数につき1個  
採取り部の補修方法 ※図示による

Uカットシール材充填工法  
・ シーリング材  
充填材料の種類 ※1成分形又は2成分形ポリウレタン系  
・ 行う ・ 行わない  
・ 可とう性エポキシ樹脂

シール工法  
・ パテ状エポキシ樹脂 ・ 可とう性エポキシ樹脂

充填工法  
・ エポキシ樹脂モルタル  
・ ポリマーセメントモルタル

欠損部改修工法

・ タイル部分張替え工法  
接着剤の種類  
・ ポリマーセメントモルタル  
・ JIS A 5557に基づく一液反応硬化形成シリコーン樹脂系  
・ タイル張替え工法  
張替え材料  
・ JIS A 5557に基づく一液反応硬化形成シリコーン樹脂系  
・ 張付けモルタル ( ・ 現場調査材料 ・ 既調合モルタル )  
伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地の位置  
※改修標準仕様書表4.4.2による  
・ 図示による  
外装タイル張り下地等モルタル及び下地調整の接着力試験  
・ 行う ・ 行わない  
・ セメントモルタルによる (セラミックタイル) 張り  
下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理  
・ 目荒らし工法 (改修標準仕様書4.4.3.10. (3) による)  
タイル張りの工法  
外装タイル ・ 密着張り ・ 改良圧着張り  
ユニットタイル ・ マスク張り ・ モザイクタイル張り  
シーリング 改修特記仕様書3章 防水改修工事による  
有機系接着剤によるタイル (セラミックタイル) 張り  
モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理  
・ 目荒らし工法 (改修標準仕様書4.3.10 (3) による)  
シーリング材の種類  
打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地 ※ポリウレタン系  
伸縮調整目地その他の目地 ※変成シリコーン系  
シーリング材のその他事項は、改修特記仕様書3章 防水改修工事による

浮き部改修工法

Table with columns: 工法の種類, アークビンの本数 (本/m), 注入口の箇所数 (箇所/m), 注入量 (mL/箇所). Includes rows for アンカーピンニング, アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法, アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法.

アンカーピンの材質  
※ ステンレス鋼 (SUS304) 呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したもの

注入口付アンカーピンの材質  
※ ステンレス鋼 (SUS304) 呼び径6mm

注入工法用材料  
・ ポリマーセメントスラリー  
広がり速度 (cm/s) 長さ変化量 (収縮) (%) 引張接着性 (N/mm<sup>2</sup>) 曲げ性能 (材齢28日) (N/mm<sup>2</sup>) 吸水率 (72時間) (%) 耐久性 (劣化曲げ強さ) (N/mm<sup>2</sup>)

保水係数 0.35~0.55  
粘着係数 0.50~1.00

充填工法  
・ エポキシ樹脂モルタル ・ ポリマーセメントモルタル  
モルタル塗替え工法  
・ 現場調査材料 (セメントは改修特記仕様書9-2 コンクリート工事による)  
・ 既調合材料 ( )  
既製目地材 ・ 使用する (形状 ・ 図示による )  
仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の措置 ※図示による

アンカーピンの材質  
※ ステンレス鋼 (SUS304) 呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したもの

注入口付アンカーピンの材質  
※ ステンレス鋼 (SUS304) 呼び径6mm

注入工法用材料  
・ ポリマーセメントスラリー  
広がり速度 (cm/s) 長さ変化量 (収縮) (%) 引張接着性 (N/mm<sup>2</sup>) 曲げ性能 (材齢28日) (N/mm<sup>2</sup>) 吸水率 (72時間) (%) 耐久性 (劣化曲げ強さ) (N/mm<sup>2</sup>)

保水係数 0.35~0.55  
粘着係数 0.50~1.00

充填工法  
・ エポキシ樹脂モルタル ・ ポリマーセメントモルタル  
モルタル塗替え工法  
・ 現場調査材料 (セメントは改修特記仕様書9-2 コンクリート工事による)  
・ 既調合材料 ( )  
既製目地材 ・ 使用する (形状 ・ 図示による )  
仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の措置 ※図示による

目地改修工法

目地ひび割れ部改修工法  
・ 伸縮調整目地改修工法  
伸縮調整目地の位置及び寸法 ・ 図示による  
シーリングは、改修特記仕様書3章 防水改修工事による

目地改修工法

目地ひび割れ部改修工法  
・ 伸縮調整目地改修工法  
伸縮調整目地の位置及び寸法 ・ 図示による  
シーリングは、改修特記仕様書3章 防水改修工事による

Table with columns: 公園名称, 工事名称, 図面名称, 年月日, 会社名, 事務所名, 縮尺, 図面番号, 照査, 設計.

4-4 外壁 改修 工事 塗り 仕上げ 外壁	・既存塗膜等の除去、 下地処理及び下地調整	[4.5.4] <table border="1"> <tr> <th>工法</th> <th>処理範囲</th> <th>下地面の補修</th> </tr> <tr> <td>・サンダー工法</td> <td>※既存仕上げ面全体 ・図示による</td> <td>・ひび割部 改修工法</td> </tr> <tr> <td>・高圧水洗工法</td> <td>※既存仕上げ面全体 ・図示による</td> <td>・浮き部 改修工法</td> </tr> <tr> <td>・塗膜はく離工法</td> <td>※既存仕上げ面全体 ・図示による</td> <td>・欠損部 改修工法</td> </tr> <tr> <td>・水洗い工法</td> <td>※サンダー工法、高圧水洗工法、塗膜はく離剤 ※工法の処理範囲以外の既存仕上げ面 ・図示による</td> <td>改修工法</td> </tr> </table>	工法	処理範囲	下地面の補修	・サンダー工法	※既存仕上げ面全体 ・図示による	・ひび割部 改修工法	・高圧水洗工法	※既存仕上げ面全体 ・図示による	・浮き部 改修工法	・塗膜はく離工法	※既存仕上げ面全体 ・図示による	・欠損部 改修工法	・水洗い工法	※サンダー工法、高圧水洗工法、塗膜はく離剤 ※工法の処理範囲以外の既存仕上げ面 ・図示による	改修工法																																																																								
	工法	処理範囲	下地面の補修																																																																																						
	・サンダー工法	※既存仕上げ面全体 ・図示による	・ひび割部 改修工法																																																																																						
	・高圧水洗工法	※既存仕上げ面全体 ・図示による	・浮き部 改修工法																																																																																						
・塗膜はく離工法	※既存仕上げ面全体 ・図示による	・欠損部 改修工法																																																																																							
・水洗い工法	※サンダー工法、高圧水洗工法、塗膜はく離剤 ※工法の処理範囲以外の既存仕上げ面 ・図示による	改修工法																																																																																							
・下地調整塗材	[4.5.2] ※ 下地調整塗材 ・ポリマーセメントモルタル																																																																																								
・仕上塗材仕上げ	[4.1.5][4.5.2][表4.5.1] 新規仕上塗材の種類 <table border="1"> <tr> <th>選付け仕上塗材</th> <th>種類(呼び名)</th> <th>仕上げの形状</th> <th>工法</th> <th>防火材料</th> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </table> 厚付け仕上塗材 <table border="1"> <tr> <th>種類(呼び名)</th> <th>仕上げの形状</th> <th>工法</th> <th>上塗材</th> <th>防火材料</th> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・適用する</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・適用する</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・適用する</td> <td>・</td> </tr> </table> 複層仕上塗材 <table border="1"> <tr> <th>種類(呼び名)</th> <th>仕上げの形状</th> <th>工法</th> <th>上塗材の種類</th> <th>耐候性</th> <th>防火材料</th> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>樹脂 ※771系 ・ 外観 ※つやあり ・別つ ・ 溶媒 ※水系</td> <td>※耐候形 3種</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </table> ・可とう形改修用仕上塗材 <table border="1"> <tr> <th>種類(呼び名)</th> <th>仕上げの形状</th> <th>工法</th> <th>上塗材の種類</th> <th>耐候性</th> <th>防火材料</th> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>樹脂 ・ 外観 1種 ※耐候形 2種 ※耐候形 3種 溶媒 ・</td> <td>※耐候形 3種</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </table>	選付け仕上塗材	種類(呼び名)	仕上げの形状	工法	防火材料	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	種類(呼び名)	仕上げの形状	工法	上塗材	防火材料	・	・	・	・適用する	・	・	・	・	・適用する	・	・	・	・	・適用する	・	種類(呼び名)	仕上げの形状	工法	上塗材の種類	耐候性	防火材料	・	・	・	樹脂 ※771系 ・ 外観 ※つやあり ・別つ ・ 溶媒 ※水系	※耐候形 3種	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	種類(呼び名)	仕上げの形状	工法	上塗材の種類	耐候性	防火材料	・	・	・	樹脂 ・ 外観 1種 ※耐候形 2種 ※耐候形 3種 溶媒 ・	※耐候形 3種	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
選付け仕上塗材	種類(呼び名)	仕上げの形状	工法	防火材料																																																																																					
・	・	・	・	・																																																																																					
・	・	・	・	・																																																																																					
・	・	・	・	・																																																																																					
種類(呼び名)	仕上げの形状	工法	上塗材	防火材料																																																																																					
・	・	・	・適用する	・																																																																																					
・	・	・	・適用する	・																																																																																					
・	・	・	・適用する	・																																																																																					
種類(呼び名)	仕上げの形状	工法	上塗材の種類	耐候性	防火材料																																																																																				
・	・	・	樹脂 ※771系 ・ 外観 ※つやあり ・別つ ・ 溶媒 ※水系	※耐候形 3種	・																																																																																				
・	・	・	・	・	・																																																																																				
・	・	・	・	・	・																																																																																				
種類(呼び名)	仕上げの形状	工法	上塗材の種類	耐候性	防火材料																																																																																				
・	・	・	樹脂 ・ 外観 1種 ※耐候形 2種 ※耐候形 3種 溶媒 ・	※耐候形 3種	・																																																																																				
・	・	・	・	・	・																																																																																				
・	・	・	・	・	・																																																																																				
・マステック塗材塗り	[4.1.5][4.6.2][表4.6.1] 種類 ・A種 ・B種																																																																																								
・外壁用塗膜防水材塗り	[4.1.5][4.7.2、3][表4.7.1] 仕上げの形状 ・ 工法 ・ 仕上塗材の耐候性 ・ 下地準動機密材の適用 ・適用する ・適用しない コンクリート面のひび割れ部及び欠損部の処理は、改修特記仕様書4章 外壁改修工事 (コンクリート打ち直し仕上げ外壁)による モルタル面のひび割れ部、欠損部及び浮き部の処理は、改修特記仕様書4章 外壁改修工事 (モルタル塗り仕上げ外壁)による 吹付け工法の模様材の種類 ・ 所要量 (kg/m <sup>2</sup> ) 外壁用仕上塗料の種類 ・ 所要量 (kg/m <sup>2</sup> ) 既存塗膜等の除去、下地処理及び下地調整は、改修特記仕様書4章 外壁改修工事 (塗仕上げ外壁等)による。																																																																																								

5 建具 改修 工事	・改修工法	[5.1.3] <table border="1"> <tr> <th>建具の種類</th> <th>かぶせ工法</th> <th>撤去工法</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>・アルミニウム製建具</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・建具表による</td> </tr> <tr> <td>・樹脂製建具</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・建具表による</td> </tr> <tr> <td>・鋼製建具</td> <td>・外部</td> <td>・</td> <td>・建具表による</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・内部</td> <td>・</td> <td>・建具表による</td> </tr> <tr> <td>・鋼製軽量建具</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・建具表による</td> </tr> <tr> <td>・ステンレス製建具</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・建具表による</td> </tr> <tr> <td>・木製建具</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・建具表による</td> </tr> </table> 新規に建具を設ける場合 壁部分の開口の開け方 ※図示による 新規建具周囲の補修工法及び範囲 ※図示による 建具周囲のシーリングは、改修特記仕様書 防水改修工事による	建具の種類	かぶせ工法	撤去工法	適用箇所	・アルミニウム製建具	・	・	・建具表による	・樹脂製建具	・	・	・建具表による	・鋼製建具	・外部	・	・建具表による	・	・内部	・	・建具表による	・鋼製軽量建具	・	・	・建具表による	・ステンレス製建具	・	・	・建具表による	・木製建具	・	・	・建具表による
	建具の種類	かぶせ工法	撤去工法	適用箇所																														
	・アルミニウム製建具	・	・	・建具表による																														
	・樹脂製建具	・	・	・建具表による																														
・鋼製建具	・外部	・	・建具表による																															
・	・内部	・	・建具表による																															
・鋼製軽量建具	・	・	・建具表による																															
・ステンレス製建具	・	・	・建具表による																															
・木製建具	・	・	・建具表による																															
・防火戸	[5.1.4] ・指定する 適用箇所(・建具表による) ( ) ・指定しない 防火戸の自動閉鎖機構及び防火戸とヒューズ装置、熱感知器又は煙感知器との連動 ・連動させる 適用箇所(・建具表による) ( ) ・連動させない																																	
・見本の製作等	[5.1.5] 建具見本の製作 ・行う(建具符号: ) ( ) ・行わない 建具見本制作の目的等: ( ) 特殊な建具の仮組 ・行う(建具符号: ) ( ) ・行わない																																	
・防犯建物部品	[5.1.7] ・適用箇所する(・建具表による) ( ) ・適用しない																																	
・アルミニウム製建具	[5.2.2~5][表5.2.2] 性能値等 耐風圧性の等級(・ ) (建具符号・建具表による) ( ) 気密性の等級(・ ) (建具符号・建具表による) ( ) 水密性の等級(・ ) (建具符号・建具表による) ( ) 外部に面する建具 ・A種(建具符号:・建具表による) ( ) ・B種(建具符号:・建具表による) ( ) ・C種(建具符号:・建具表による) ( ) 枠の見込み寸法(・建具表による) ( ) 防音ドア、防音サッシ 遮音性の等級(・ ) (建具符号・建具表による) ( ) 断熱ドア、断熱サッシ 断熱性の等級(・ ) (建具符号・建具表による) ( ) 材料 ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1 ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL																																	

・網戸等	[5.2.3][5.3.3] 形状及び仕上げ 表面処理 外部に面する建具 種類 ・BB-1 ・BB-2(改修標準仕様書表5.2.2) 着色 ・標準色 ・特注色 屋内の建具 種類 ・BC-1 ・BC-2(改修標準仕様書表5.2.2) 着色 ・標準色 ・特注色 工法 結露水の処理方法 ・水貯め式 ・排水式 水切り板、せん板 ※図示による
	[5.2.2][5.3.2~5] 性能値等 耐風圧性の等級(・ ) 気密性の等級(・ ) 水密性の等級(・ ) 外部に面する建具 ・A種(建具符号:・建具表による) ( ) ・B種(建具符号:・建具表による) ( ) ・C種(建具符号:・建具表による) ( ) 防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級(・T-1) (・T-2) (建具符号・建具表による) ( ) 断熱ドア・断熱サッシ 断熱性の等級(・H-4) (・H-5) (・H-6) (・H-7) (・H-8) (建具符号・建具表による) ( ) 外部に面する建具の日射熱取得性の等級 枠の見込み寸法 ・建具表による 材料 ガラス ※複層ガラス ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL 形状及び仕上げ 表面色 ・標準色 ・特注色 工法 水切り板、せん板 ※図示による
	[5.2.2][5.4.2~4][表5.4.2] 性能値等 簡易気密型ドアセット ・適用する (建具符号:・建具表による) ( ) ・適用しない 外部に面する建具の耐風圧性 耐風圧性の等級(・ ) (建具符号・建具表による) ( ) 防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級(・ ) (建具符号・建具表による) ( ) 断熱ドア・断熱サッシ 断熱性の等級(・ ) (建具符号・建具表による) ( ) 耐震性能 建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による 材料 ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1 ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL 形状及び仕上げ 鋼板の厚さ ※改修標準仕様書表5.4.2による mm 使用箇所( ) ( ) 標準型鋼製建具表の形式及び寸法 ※建具表による
	[5.2.2][5.5.2~4] 性能値等 簡易気密型ドアセット ・適用する (建具符号:・建具表による) ( ) ・適用しない 防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級(・ ) (建具符号・建具表による) ( ) 断熱ドア・断熱サッシ 断熱性の等級(・ ) (建具符号・建具表による) ( ) 耐震性能 建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による 材料 鋼板 ・重鉛めっき鋼板 ・ビニル被膜鋼板 ・カラー鋼板 ・ステンレス鋼板 ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1 召合せ、縦小口包み板の性質 ※鋼板 ・ ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL 形状及び仕上げ 鋼板の厚さ ※改修標準仕様書表5.5.1による mm 使用箇所( ) ( ) 標準型鋼製建具表の形式及び寸法 ※建具表による
・ステンレス製建具	[5.2.2][5.4.2][5.6.2~5] 性能値等 簡易気密型ドアセット ・適用する (建具符号:・建具表による) ( ) ・適用しない 外部に面する建具の耐風圧性 耐風圧性の等級(・ ) (建具符号・建具表による) ( ) 防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級(・ ) (建具符号・建具表による) ( ) 断熱ドア・断熱サッシ 断熱性の等級(・ ) (建具符号・建具表による) ( ) 材料 ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1 ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL

・木製建具	[5.7.2~4] 耐震性能 建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による 材料 ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1 形状及び仕上げ 表面仕上げ ※HL ・鏡面仕上げ 工法 ステンレス鋼板の曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ 建具材の加工、組立時の含水率 ※A種 建物内部の木製建具に使用する接着剤のホルムアルデヒド放数量 ※F☆☆☆☆ ・フラッシュ戸 表面材のホルムアルデヒド放数量等 ※改修標準仕様書5.7.2(2)(f)(a)による 表面材の合板の種類 <table border="1"> <tr> <th>合板の種類</th> <th>規格等</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・普通合板</td> <td>表面の樹種 板面の品質(※広葉樹1等) 接着の程度(・1類・2類)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・天然木化粧合板</td> <td>樹種名( ) 接着の程度(・1類・2類)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・特殊加工化粧合板</td> <td>化粧加工の方法 ※プリント ・ポリエステル化粧合板 ・メラミン化粧合板 接着の程度(・1類・2類)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・MDF</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> 表面板の厚さ ※改修標準仕様書5.7.6による 引戸の召合せかまちのいんろう付きの適用 ・適用しない ・適用する かまち戸 かまち樹種( ) 鏡板樹種( ) 見込み寸法 ※36mm 建具表による ふすま 張りの種別(・I種 ・II種) 上張り(押入等の裏面以外) ・鳥の子 ・新鳥の子又はビニル紙程度 縁仕上げ ・生り縁 ・生地縁(糸地) ・生地縁(ウレタンクリヤー塗装) 見込み寸法 ※19.5mm 建具表による 戸ふすま 表面板の仕上げ ・建具表による 見込み寸法 ※30mm 建具表による ・紙張り障子 見込み寸法 ※30mm 建具表による 枠、くつずりの材料 ・建具表による	合板の種類	規格等	備考	・普通合板	表面の樹種 板面の品質(※広葉樹1等) 接着の程度(・1類・2類)		・天然木化粧合板	樹種名( ) 接着の程度(・1類・2類)		・特殊加工化粧合板	化粧加工の方法 ※プリント ・ポリエステル化粧合板 ・メラミン化粧合板 接着の程度(・1類・2類)		・MDF		
	合板の種類	規格等	備考													
	・普通合板	表面の樹種 板面の品質(※広葉樹1等) 接着の程度(・1類・2類)														
	・天然木化粧合板	樹種名( ) 接着の程度(・1類・2類)														
・特殊加工化粧合板	化粧加工の方法 ※プリント ・ポリエステル化粧合板 ・メラミン化粧合板 接着の程度(・1類・2類)															
・MDF																
・建具用金物	[5.8.1~3] 金物の種類及び見え掛り部の材質等 ※改修標準仕様書表5.8.1により適用は建具表による 金属製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ※改修標準仕様書表5.8.2による 建具表による 樹脂製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ※改修標準仕様書表5.8.3による 建具表による 木製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ※改修標準仕様書表5.8.4による 建具表による 木製建具に使用する戸車及びレール ※改修標準仕様書表5.8.5による 建具表による 握り玉、レバーハンドル、押板類、クレセントの取付け位置 ・建具表による シリンダ箱錠及びシリンダ本締まり錠(品質・性能、試験方法は別表による) クローザ類(品質・性能、試験方法は別表による)															
・鍵	[5.8.4] マスターキー ・製作する ・製作しない ・既存のマスターキーに合わせる その他の製作本数 ※各室3本1組(室名付き) 鍵箱 ・無し ・有り															
・自動ドア開閉装置	[5.9.2.3] 戸の開閉方式 ・建具表による ・引き戸駆動装置 性能値 ※改修標準仕様書表5.9.1による(防塵 ・適用する ・適用しない) ・種類・開閉方式( ) ( ) ・耐電圧( ) ( ) ・温度上昇( ) ( ) ・耐久性(サイクル)( ) ( ) ・防錆( ) ( ) ・電源( ) ( ) ・多機能トイレ出入り引き戸用駆動装置 性能値 ※改修標準仕様書表5.9.2による(防塵 ・適用する ・適用しない) ・耐電圧( ) ( ) ・温度上昇( ) ( ) ・耐久性(サイクル)( ) ( ) ・防錆( ) ( ) ・電源( ) ( ) 引き戸用検出装置 性能値 ※改修標準仕様書表5.9.3による(防塵 ・適用する ・適用しない) ・耐電圧( ) ( ) ・防錆( ) ( ) ・防滴( ) ( ) ・電源( ) ( ) 引き戸用検出装置の種類及び必要性能項目 ・建具表による タッチスイッチの種類 ・無線式タッチスイッチ ・光線式タッチスイッチ 車椅子使用者用便房スイッチの種類 ・大形押しボタンスイッチ ・非接触スイッチ 凍結防止措置 ・行う ・行わない 性能値等 ※改修標準仕様書表5.10.1による ・手動開き力( ) ( ) ・手動閉じ力( ) ( ) ・閉じ速度の調整( ) ( ) ・制動区間( ) ( ) ・開閉繰返し( ) ( ) ・耐衝撃性( ) ( )															
・自閉式上吊り引戸装置	[5.10.3] 性能値等 ※改修標準仕様書表5.10.1による ・手動開き力( ) ( ) ・手動閉じ力( ) ( ) ・閉じ速度の調整( ) ( ) ・制動区間( ) ( ) ・開閉繰返し( ) ( ) ・耐衝撃性( ) ( )															

・重量シャッター	[5.11.2.3] シャッターの種類 ・管理用シャッター ・外壁用防火シャッター ・屋内用防火シャッター ・防煙シャッター 外壁開口部に設ける重量シャッターの耐風圧強度( ) Pa 開閉方式による種類 ※電動式(手動併用) ・手動式 安全装置 電動式シャッターの急降下制動装置、急降下停止装置 (設置箇所 ・建具表による) 電動式シャッターの障害物感知装置 (設置箇所 ・建具表による) 屋内用防火シャッター若しくは防煙シャッターの危害防止装置 (設置箇所 ・建具表による) 管理用一般重量シャッターのシャッターケース ・設ける ・設けない スラット及びシャッターケース用鋼板 鋼板の種類 ・JIS G 3302(溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯) ・JIS G 3312(塗装溶融亜鉛めっき鋼板鋼帯) めっき付着量 ※Z12又はF12 ガイドレール、まぐさ、雨掛かりに用いる座板及び座板のカバー、雨掛りに用いる スイッチボックスのふたの材質 ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1																							
	・軽量シャッター	[5.12.2~4] 開閉方式の種類式 ※手動式 ・電動式(手動併用) 耐風圧強度( ) Pa 安全装置 電動シャッターの障害物感知装置 (設置箇所 ・建具表による) スラットの材質の種類 ・JIS G 3312(塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯) めっき付着量(※Z06又はF06) ・JIS G 3322(塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯) めっき付着量(※AZ90) スラットの形状 ・インターロッキング形 ・オーバerring形																						
	・オーバーヘッドドア	[5.13.2.3] <table border="1"> <tr> <th>セクション材料による区分</th> <th>耐風圧性能の区分(Pa)</th> <th>開閉方式による区分</th> <th>収納形式による区分</th> <th>ガイドレールの材料</th> </tr> <tr> <td>※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタイプ</td> <td>・125 ・100 ・75 ・50</td> <td>※バルナス式 ・チェーン式 ・電動式</td> <td>・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・パーチカル形</td> <td>※溶融亜鉛めっき鋼板 ・ステンレス鋼板</td> </tr> </table> 電動式オーバーヘッドドアの障害物感知装置 (設置箇所 ・建具表による)	セクション材料による区分	耐風圧性能の区分(Pa)	開閉方式による区分	収納形式による区分	ガイドレールの材料	※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタイプ	・125 ・100 ・75 ・50	※バルナス式 ・チェーン式 ・電動式	・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・パーチカル形	※溶融亜鉛めっき鋼板 ・ステンレス鋼板												
	セクション材料による区分	耐風圧性能の区分(Pa)	開閉方式による区分	収納形式による区分	ガイドレールの材料																			
※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタイプ	・125 ・100 ・75 ・50	※バルナス式 ・チェーン式 ・電動式	・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・パーチカル形	※溶融亜鉛めっき鋼板 ・ステンレス鋼板																				
・ガラス	[3.7][5.14.2~4] ・フロート板ガラスの品種及び厚さの呼びによる種類 ・建具表による ・型板ガラスの厚さによる種類 ・建具表による ・納入板ガラス及び縁入板ガラスの網又は線の形状、板の表面の形態及び厚さの呼びによる種類 ・建具表による ・合わせガラス 材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びにガラスの合計厚さ ・建具表による 落球衝撃はく離特性並びにショットバック衝撃特性による種類 ・I類 ・II類 ・III類 ・強化ガラス 形状による種類、材料板ガラスの種類による名称 ・建具表による 破片の状態及びショットバック衝撃特性による種類 ・I類 ・III類 ・熱線吸収板ガラス 板ガラスによる種類、厚さによる種類 ・建具表による 性能による種類 ・1種 ・2種 ・複層ガラス 材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに複層ガラスの厚さ ・建具表による 断熱性による区分 ・T1 ・T2 ・T3 ・T4 ・T5 ・T6 日射取得性、日射遮蔽性による区分 ・G ・S 乾燥気体の種類 ・空気 ・アルゴン ・熱線反射ガラス 材料板ガラスの種類及び厚さによる種類 ・建具表による 日射熱遮へい性による区分 ・1種 ・2種 ・3種 耐久性による区分(日射熱遮蔽性による区分が2種の場合) ・A種 ・B種 ・倍強度ガラス 材料板ガラスの種類及び厚さによる種類 ・建具表による ガラスの置め材及び溝の大きさ <table border="1"> <tr> <th>建具の種類</th> <th>ガラス置め材</th> <th>ガラス溝の大きさ(mm)</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">アルミニウム製</td> <td>・シーリング材</td> <td>※建具の製作所の仕様による</td> </tr> <tr> <td>・グレイジングチャンネル</td> <td>・図示による</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">鋼製及び鋼製軽量</td> <td>・シーリング材</td> <td>※建具の製作所の仕様による</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">ステンレス製</td> <td>・シーリング材</td> <td>※建具の製作所の仕様による</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">樹脂製</td> <td>・グレイジングガスケット</td> <td>※建具の製作所の仕様による</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・図示による</td> </tr> </table>	建具の種類	ガラス置め材	ガラス溝の大きさ(mm)	アルミニウム製	・シーリング材	※建具の製作所の仕様による	・グレイジングチャンネル	・図示による	鋼製及び鋼製軽量	・シーリング材	※建具の製作所の仕様による	・	・	ステンレス製	・シーリング材	※建具の製作所の仕様による	・	・	樹脂製	・グレイジングガスケット	※建具の製作所の仕様による	・	・図示による
建具の種類	ガラス置め材	ガラス溝の大きさ(mm)																						
アルミニウム製	・シーリング材	※建具の製作所の仕様による																						
	・グレイジングチャンネル	・図示による																						
鋼製及び鋼製軽量	・シーリング材	※建具の製作所の仕様による																						
	・	・																						
ステンレス製	・シーリング材	※建具の製作所の仕様による																						
	・	・																						
樹脂製	・グレイジングガスケット	※建具の製作所の仕様による																						
	・	・図示による																						
公園名称	新宿御苑																							
工事名称	令和8年度新宿御苑展示工事																							
図面名称	建築改修工事特記仕様書-3	縮尺	-																					
年月日	令和8年3月	図面番号	005																					
会社名	合同会社わくわくデザイン	照査	設計																					
事務所名	環境省新宿御苑管理事務所	照査	設計																					

・ ガラスブロック [5. 14. 5]

呼び寸法 (mm)	厚さ (mm)	色調	目地幅 (mm)	伸縮調整目地位置 (mm)	防火性能
・ 160×160	・ 95				
・ 200×200	・ 95				

壁用金属種及び補強材  
※図示による

力骨 材質 ※ステンレス鋼 (SUS304)  
寸法 ※径5.5mm  
形状 ※はしご形状複筋及び単筋

化粧目地モルタルの色 (・白 ・グレー)  
シーリングの種類 (・SR-1 ・PS-1)

金属製化粧カバー 材質 ・ステンレス製 ・アルミニウム製  
寸法 ・図示による  
形状 ・図示による

目地部の横力骨の納まり  
※ガラスブロック製造所の仕様による ・図示による

工法  
1章 適用区分による風圧力の (・1 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力に対応した工法

種類	記号		その他性能等
	内貼り用	外貼り用	
・日射調整フィルム	・SC-1	・SC-2	
・低放射フィルム	・LF		
・衝撃破壊対応ガラス飛散防止フィルム	・GI-1	・GI-2	
・相関部位破壊対応ガラス飛散防止フィルム	・GD-1	・GD-1	
・ガラス貫通防止フィルム	・SF		

○目隠し用フィルム 品質 JIS A 5759による ○図示

・ 改修範囲 [6. 1. 3]

既存間仕切壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲  
※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・図示による  
天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲  
※壁面より両側 600mm 程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・図示による  
天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修  
※既存のまま ・図示による

・ 既存床の撤去及び下地補修 [6. 2. 2]

ビニル床シート等の除去 ※仕上材のみ (接着剤とも)  
・下地モルタルとも (・図示による ・除去範囲全て)  
合成樹脂塗床材の除去工法 ・機械的除去工法 ・目荒し工法  
既存のコンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタルは、4章外壁改修工事による。  
改修後の床の清掃範囲 ※図示による

・ 既存壁の撤去及び下地補修 [6. 3. 2]

間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修  
※改修標準仕様書4. 3. 10によるモルタル塗り (全塗厚25mmを超える場合の処置 ※図示による)

・ 施工一般 [6. 5. 2]

材料のホルムアルデヒド放数量  
※F☆☆☆☆又は改修標準仕様書6. 5. 2(1)(b)による

・ 製材 [6. 5. 2]

・ JAS 1083-5 製材-第5部に基づく下地用製材

施工箇所	寸法 (mm)	等級	含水率	保存処理	間伐材等の適用
		※2級	※A種・B種		
		※2級	※A種・B種		
		※2級	※A種・B種		

・ JAS 1083-2 製材-第2部に基づく造作用製材

施工箇所	寸法 (mm)	等級	含水率	保存処理	間伐材等の適用
見え掛り面		※上小節	※A種・B種		
見え掛り面以外		※小節以上	※A種・B種		

・ JAS 1083-6 製材-第6部に基づく広葉樹製材

施工箇所	寸法 (mm)	等級	含水率	保存処理	間伐材等の適用
		※1等	※10%以下 ・A種・B種		
		※1等	※10%以下 ・A種・B種		
		※1等	※10%以下 ・A種・B種		

・ JAS 1083 (製材) 以外の製材

施工箇所	寸法 (mm)	材面の品質	防虫処理	含水率	間伐材等の適用
		( ) 造作材の場合 (※A種・B種)	・適用する ・適用しない	※A種・B種	
		( ) 造作材の場合 (※A種・B種)	・適用する ・適用しない	※A種・B種	
		( ) 造作材の場合 (※A種・B種)	・適用する ・適用しない	※A種・B種	

造作用集成材 [6. 5. 2]

・「集成材の日本農林規格」による造作用集成材

施工箇所	品名	樹種名	寸法 (mm)	見付け材面	見付け材面の品質	間伐材等の適用
					※1等・2等	
					※1等・2等	
					※1等・2等	

・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集成材

施工箇所	品名	樹種名	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面	見付け材面の品質	間伐材等の適用
		化粧薄板: 芯材:				※1等・2等	
		化粧薄板: 芯材:				※1等・2等	
		化粧薄板: 芯材:				※1等・2等	

・「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

施工箇所	樹種名	寸法 (mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用
				※15%以下	
				※15%以下	
				※15%以下	

・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材

施工箇所	樹種名	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用
					※15%以下	
					※15%以下	
					※15%以下	

・ JAS 0701 に基づく造作用単板積層材 [6. 5. 2]

施工箇所	品名	寸法 (mm)	表面の品質	防虫処理	間伐材等の適用
				・適用する ・適用しない	

・ JAS 0701 以外の造作用単板積層材

施工箇所	寸法 (mm)	表面の品質	含水率	防虫処理	間伐材等の適用
			※14%以下	・適用する ・適用しない	

・ JAS 3079 に基づく直交集成板

施工箇所	品名	強度等級	種別	接着性能 (使用環境)	樹種名	寸法 (mm)	間伐材等の適用

・「合板の日本農林規格」による普通合板 [6. 5. 2]

施工箇所	厚さ (mm)	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理	間伐材等の適用
		※5.5	※1類 ・2類	広葉樹 ※2等以上 ・1等 針葉樹 ※C-D以上	・適用する ・適用しない	

・「合板の日本農林規格」による構造用合板 [6. 5. 2]

施工箇所	等級	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	厚さ (mm)	防虫処理	強度等級	間伐材等の適用
		※2級以上 ・1級	※1類 ・特類	※C以上 ・	※12	・適用する ・適用しない	( ) ・	

・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板 [6. 5. 2]

施工箇所	厚さ (mm)	単板の樹種名	接着の程度	防虫処理	間伐材等の適用
			・特類 ・1類	・適用する ・適用しない	

・「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板 [6. 5. 2]

施工箇所	化粧板に使用する単板の樹種名	厚さ (mm)	接着の程度	防虫処理の適用
			・1類 ・2類	・適用する ・適用しない

・「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板 [6. 5. 2]

施工箇所	厚さ (mm)	接着の程度	単板の樹種名	化粧加工の方法	防虫処理の適用
		・1類 ・2類			・適用する ・適用しない

・ パーティクルボード [6. 5. 3]

施工箇所	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	難燃性による区分	厚さ (mm)
		※13タイプ	※F又はM		※15

・ JAS 0360 に基づく構造用パネル

施工箇所	寸法 (mm)

・ MDF [6. 5. 3]

施工箇所	厚さ (mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分

・ 接合具等 [6. 5. 3]

造作材の化粧面の釘打ち  
※隠し釘打ち  
・釘頭埋め木  
・つぶし頭釘打ち  
・釘頭現し

諸金物  
※かすがい、産金、箱金物、短冊金物 (改修標準仕様書表6. 5. 3～5に示す程度の市販品 表8. 20.1のF種程度)  
・ (形状: 寸法: 材質: )

・ 接着剤 [6. 5. 3. 4]

接着剤のホルムアルデヒドの放数量  
※F☆☆☆☆

・ 防腐・防蟻処理 [6. 5. 5]

適用部材	保存処理性能区分
	・K2 ・K3 ・K4

・ 薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理 [6. 5. 5]

適用部材	処理の方法	薬剤の方法
	※薬剤の製造所の仕様による	※JIS K 1571に適合に適合又は同等品

・ 薬剤の塗布等による防腐・防蟻処理 [6. 5. 6]

適用部材	処理の方法	薬剤の方法

・ 薬剤の接着剤への混入による防腐・防蟻処理 [6. 5. 6]

適用部位 ( )  
・合板等の加圧注入処理等の適用  
適用部位 ( )

・ 間仕切軸組に用いる木材の樹種名 (製材を用いる場合)  
※杉又は松

・ 床組に用いる木材の樹種名 (製材を用いる場合)  
※杉又は松

・ 窓、出入口その他 [6. 5. 7]

窓、出入口その他に用いる木材の樹種名 (製材を用いる場合)  
※杉元幹、水掛りの下幹及び数層はひのき、その他は松又は杉

・ 軽量鉄骨天井下地 [6. 6. 2～4]

野縁等の種類  
屋外 (※ 25 形 ・ 19 形) 屋内 (※ 19 形 ・ 25 形)  
屋外の形式及び寸法  
野縁受、つりボルト及びビーンサートの間隔  
・図示による  
周辺部の端からの間隔  
・図示による  
野縁の間隔  
・図示による

既存の埋込みインサート ・使用しない  
あと施工アンカーの施工後の確認試験  
・行う 試験箇所数  
※屋内の場合、当該箇において3箇所)  
・ ( ) 箇所  
引張試験にて確認する強度  
※吊りボルト受け等の間隔が900mm程度以下かつ天井面積積集部材等の単位面積あたりの質量が20kg/m<sup>2</sup>以内の天井の場合は400N程度  
・ ( ) N  
・行わない  
・吊りボルトの間隔が900mmを超える場合 (補強方法 ※図示による )  
・天井のふところ部分が3.0mを超える場合 (補強方法 ※図示による )  
・天井下地材における耐震性を考慮した補強 (補強箇所 ※図示による )  
(補強方法 ※図示による )

・ 軽量鉄骨壁下地 [6. 7. 3. 4] [表6. 7. 1]

スタッド、ランナーの種類  
※改修標準仕様書6. 7. 1 によるスタッドの高さによる区分に応じた種類  
・図示による

スタッドの高さが5mを超える場合  
・図示による

出入口及びこれに準じる開口部の補強  
※標準仕様書6. 7. 4(5)による

・ ビニル床シート [6. 8. 2. 3]

種類の記号	色柄	厚さ (mm)	備考
※FS (複層ビニル床シート)	・無地 ・マーブル柄 ・柄物	※ 2.0	

接合部の処理 ※熱溶接工法

・ ビニル床タイル [6. 8. 2]

種類の記号	色柄	寸法 (mm)	厚さ (mm)	備考
※KT (2層ビニル床タイル)	・無地 ・柄物	・300×300 ・450×450	※2.0 ・3.0	
・TT (単層ビニル床タイル)	・無地 ・柄物	・300×300 ・450×450	・2.0	
・FT (複層ビニル床タイル)	・無地 ・柄物	・300×300 ・450×450	・2.0 ・2.5 ・3.0	
・FOA (置敷きビニル床タイル)	・無地 ・柄物	・500×500	・4.0	
・FOB (薄型置敷きビニル床タイル)	・無地 ・柄物	・	・	

・ 特殊機能床材 [6. 8. 2]

・帯電防止床シート  
種類 ( )  
性能 ( )  
厚さ ( mm)

・帯電防止床タイル  
種類 ( )  
性能 ( )  
寸法 厚さ ( × ) ( mm)

・視覚障害者用の床タイル  
視覚障害者誘導用ブロック等の突起の形状、寸法及びその配列はJIS T9521による  
種類 ( )  
形状 ( )

・耐動荷重性床シート  
種類 ( )  
厚さ ( mm)

・防汚床シート  
種類 ( )  
厚さ ( mm)

・防汚性床タイル  
種類 ( )  
寸法 厚さ ( × ) ( mm)

・ ビニル幅木 [6. 8. 2]

材質 ・軟質 ・硬質  
高さ (mm) ※60 ・75 ・100  
厚さ (mm) ※1.5以上

・ ゴム床タイル [6. 8. 2]

種類 ・単層品 ・積層品  
色柄 ( )  
厚さ (mm) ・3.0 ・4.5 ・6.0 ・9.0  
寸法 (mm) ( × )

・ カーペット敷き [6. 9. 2. 3] [表6. 9. 1]

・ 織じゅうたん

織り方		パイルの形状	
・ウィルトンカーペット	・ダブルフェースカーペット	・カットパイル	・ループパイル
・アキスミンスターカーペット		・カットループパイル	

色柄 ※模様のない無地  
パイル糸の種類等  
※無地の織りじゅうたんの種類 ( A種 ・ B種 ・ C種 )  
帯電性 ・適用する ・適用しない  
織じゅうたんの接合方法 ※ヒートボンド工法 ・つづり縫い  
下敷き材 ※反毛フェルト (JIS L 3204) の第2種1号 呼び厚さ 8mm

・ タフテッドカーペット

パイル形状	パイル長さ (mm)	工法	帯電性	備考
・カットパイル	・5～7	・全面接着工法	・適用する	
・ループパイル	・4～6	・クッション工法	・適用しない	
・カット、ループ併用				

下敷き材 (グリッター工法の場合)  
※反毛フェルト (JIS L 3204) の第212号 呼び厚さ 8mm  
タフテッドカーペット用接着剤のホルムアルデヒド放数量  
・F☆☆☆☆

・ タイルカーペット

パイル形状	種別	施工箇所	寸法 (mm)	総厚さ (mm)	備考
※ ループパイル	※ 第一種 ・ 第二種		※ 500×500	※ 6.5	
・ カットパイル	・ 第一種 ・ 第二種		※ 500×500	※ 6.5	
・ カット、ループ併用	・ 第一種 ・ 第二種		※ 500×500	※ 6.5	

タイルカーペット用接着剤のホルムアルデヒド放数量  
・F☆☆☆☆

タイルカーペットの敷き方 平 場 ※市松敷き ・模様流し  
階段部分 ※模様流し ・市松敷き

見切り、押え金物  
材質 ( )  
種類 ( )  
形状等 ※図示による

・ 合成樹脂塗床 [6. 10. 2. 3]

種別	施工箇所	工法	仕上げの種類
・厚膜型塗床材 弾性ウレタン樹脂系塗床			※平滑仕上げ ・防汚仕上げ ・つや消し仕上げ
・厚膜型塗床材 ポリアクリル系塗床		・薄膜流しのペ工法 ・厚膜流しのペ工法 ・樹脂珪砂工法	・平滑仕上げ ・防汚仕上げ
・薄膜型塗床材			※平滑仕上げ

塗料のホルムアルデヒド放数量  
・F☆☆☆☆

公園名称	新宿御苑				
工事名称	令和8年度新宿御苑展示工事				
図面名称	建築改修工事特記仕様書-4	縮尺	-		
年月日	令和8年3月	図面番号	006		
会社名	合同会社わくわくデザイン	照査		設計	
事務所名	環境省新宿御苑管理事務所	照査		設計	

6 内装改修工事

フロアリング張り [G] [6.11.2~6]

フロアリングのホルムアルデヒドの放数量
※改修標準仕様書6.11.2(2)による
各工法に使用する接着剤のホルムアルデヒドの放数量
※F☆☆☆☆

畳敷き [6.12.2]

種類・A種・B種・C種・D種(畳床:・KT-I・KT-II・KT-III・KT-K・KT-N)
下地の種類
・標準仕様書 表12.6.1による床組
・ポリスチレンフォーム床下地(ノンフロン)

せつこうボード、その他のボード及び合板張り [6.13.2.3]

MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放数量
※F☆☆☆☆
合板のホルムアルデヒド放数量
※改修標準仕様書6.13.2(2)(f)の(a)~(d)のいずれか

Table with columns: 種類等, 厚さ(mm), 規格等. Rows include 木質系セメント板, 木毛セメント板, 木片セメント板.

繊維強化セメント板
・けい酸カルシウム板(タイプ2)
・普通ボード0.8F

火山性ガラス質複層板
・火山性ガラス質複層板
種類 ※図示による

繊維板 [G]
・MDF(パーティクルボード)
・ハードボード

・スチックボード(無処理)
・素地ハードボード
・未研磨板(RN)
・研磨板(RS)
・内装用化粧ハードボード(DI)
・外装用化粧ハードボード(DE)

・A化粧ハードボード(A-1B)
・天井仕上げ材
・内装仕上げ材

化粧ハードボード [G]
・単板張りパーティクルボード
・無研磨板(VN)
・研磨板(VS)

化粧パーティクルボード
・単板パーティクル(DV)
・パーティクルボード(DO)
・塗装(DC)

吸音材料
・ウール吸音板(DR)
・グラスウール
・凹凸材

・ウール吸音板(1号)
・グラスウール吸音板(32K)
せつこうボード
・せつこうボード(GB-R)
・セージングせつこうボード(GB-S)
・強化せつこうボード(GB-F)

・化粧せつこうボード(GB-D)
・せつこうボード(GB-L)
・不燃積層せつこうボード(GB-NC)
・化粧無し(下地張り用)
・凹凸材(凹凸材)模様の

合板類
・普通合板 [G]
・表板の樹種名:
・板面品質:
・防虫処理: 行う ・行わない

・天然木化粧合板 [G]
・化粧板の樹種名:
・防虫処理: 行う ・行わない

・特殊加工化粧合板 [G]
・化粧加工の方法
・オパール・プリント・塗装
・表面性能
・防虫処理: 行う ・行わない

天井のボード類(ロックウール吸音板を除く)の重ね張りを行う場合
※図示による
合板類の張付け
A種・B種
せつこうボードの目地工法等
目地工法の種類 ※改修仕様書による
突付け工法及び目直し工法のエッジの種類
・ペベルエッジ ・スクエアエッジ

ホルムアルデヒドの放数量
※F☆☆☆☆
壁紙の種類
紙 繊維 塩化ビニル 珪藻土 無機質 その他
防火性能 備考

モルタル及びせつこうプラスター面の素地ごしらえの種類
※B種・A種
コンクリート面素地ごしらえの種類
※B種・A種
せつこうボード面及びその他のボード面の素地ごしらえの地下調整
※B種・A種

Table with columns: 施工箇所, 紙, 繊維, 塩化ビニル, 珪藻土, 無機質, その他, 防火性能, 備考.

モルタル
・現場調合材料
・既調合材料
既装目地材
・設ける 施工箇所( ) 形状(※図示による)
・設けない
床の目地
・設ける
目地割り ※2㎡程度(最大目地間隔3m程度)
目地の種類 ※押し目地
・設けない

壁面の仕上げ厚又は全塗りが25mmを超える場合の地下処理
※図示による

伸縮目地の位置 床タイル ※縦、横とも4m以内ごと ※図示による
床タイル以外( ) ※図示による
伸縮調整目地のシーリング材、目地寸法は改修特記仕様書第3章による
見本焼き 行う 施工箇所: ( ) ・行わない
試験張り 行う (範囲、仕様書は図示による) ・行わない

・セメントモルタルによるタイル(セラミックタイル)張り
タイルの形状、寸法等

施工箇所 種類 形状/寸法(mm) 再生材料の適用 [G] 吸水率による区分 [G] 吸水性 [G] 耐凍害性 [G] 耐汚性 [G] 備考

標準的な曲がりの役物とは一体成形とする
既製調合モルタル(品質・性能、試験方法は別表による)
モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、編骨材、混和剤等を予め用意において所定の割合に配合した材料とする。

既製調合目地材(品質・性能、試験方法は別表による)
壁タイル張りの工法
内装タイル
・密着張り
・改良接着張り
内装タイル以外のユニットタイル
・マスク張り
・モザイクタイル張り

・有機系接着剤によるタイル(セラミックタイル)張り
タイルの形状、寸法等

標準的な曲がりの役物とは一体成形とする
内装タイル接着剤張りの接着剤のホルムアルデヒド放数量
※F☆☆☆☆

厚さ(mm)
[6.17.2.3]

7 塗装 改修工事
・材料 [7.1.3]
・地下調整 [7.2.1~7]

屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放数量
※F☆☆☆☆
防火材料 ※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。
・次の箇所を除き防火材料とする。(箇所: )

塗替えR種の場合の既存塗膜の除去範囲
※劣化部分は除し、活膜部分は残す ※図示による
既存錆止塗料の鉛含有量調査 ・行う (箇所)
・行わない

地下調整
下地面の種類 地下調整の種類塗替え ひび割れ部の補修

木部 ※不透明塗料塗りの場合はR種 -
鉄鋼面 ※R種 -
垂れ流し面 ※R種 -
垂れ流し面(鋼製建具) ※R種 -

モルタル、プラスター面 ※R種 ・ 行う ・行わない
コンクリート面(OP以外)、ALCパネル面 ※R種 ・ 行う ・行わない

押出成形セメント板面 ・RA種・RB種 ・ 行う ・行わない
コンクリート面(OP) ・RB種・RC種 ・ 行う ・行わない

せつこうボード面及びその他ボード面 ※R種 -

・素地ごしらえ [7.3.2~7]

Table with columns: 下地面等, 種類. Rows include 木部, 鉄鋼面(OP以外), 鉄鋼面(OP), 垂れ流し面, モルタル面及びせつこうプラスター面, コンクリート面(OP以外)及びALCパネル面, 押出成形セメント板面及びコンクリート面(OP), コンクリート面(OPのみ), せつこうボード面及び目地: 目地処理工法以外, その他のボード面.

錆止め塗料塗りの種類 [7.4.2.3]
素地面 塗装の種類 塗料の種類 工程の種類

Table with columns: 素地面, 塗装の種類, 塗料の種類, 工程の種類. Rows include SOP (工程の種類は表7.4.3), EP-G (工程の種類は表7.4.3), DP (工程の種類は表7.4.4), SOP (工程の種類は表7.4.5), EP-G (工程の種類は表7.4.5), DP (工程の種類は表7.4.6).

垂れ流し面
EP-G (工程の種類は表7.4.5)
DP (工程の種類は表7.4.6)

鉄鋼面
EP-G (工程の種類は表7.4.3)
DP (工程の種類は表7.4.4)

鉄鋼面
EP-G (工程の種類は表7.4.5)
DP (工程の種類は表7.4.6)

塗装 [7.5.2~7.12.2]

Table with columns: 塗装の種類, 塗装面, 工程. Rows include 合成樹脂調合ペイント塗り(SOP), 鉄鋼面, 垂れ流し面, アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り(NAD), アクリル樹脂系上塗り等塗料( )級, 耐候性塗料塗り(OP), コクリート面及び押出成形材の面, つや有合成樹脂・エマルジョンペイント塗り(EP-G), 合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP), 合成樹脂エマルジョン根拠塗料塗り(EP-T), ウレタン樹脂ワニス塗り(UO), スティン塗り, 木材保護塗料塗り(WP).

つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り(コクリート面、砂紙面、せつこうボード面、その他「ド」面の塗替えの場合のしき止め)
※B種又はC種の場合は、改修標準仕様書7.9.1の工程1の下塗りをしき止めシーラーとする

合成樹脂エマルジョンペイント塗りの塗替えの場合のしき止め
※B種又はC種の場合は、改修標準仕様書7.10.1の工程1の下塗りをしき止めシーラーとする

・高日射反射率塗料塗り [G] ※R種 ・ RA種 ・ RC種
地下調整(改修標準仕様書表7.2.2)

クリアラッカー塗りA種の工程2の適用
・適用しない
・適用する(着色剤: ・溶剤系着色剤 ・油性染料系着色剤)

ウレタン樹脂ワニス塗りの工程1の着色の適用
・適用する
・適用しない

オイルステイン塗りの工程等

改修特記仕様書(その6)(その7)による

9 環境配慮改修工事
・石綿含有建材の除去工事 [9.1.1, 3~6]

調査
※石綿含有建材の事前調査
工事着手に先立ち、あらかじめ関係法令に基づき、石綿含有建材の事前調査を行う。
貸与資料( )
分析による石綿含有建材の調査
分析対象
アクリノライト、アモサイト、アンソファイト、クリノタイル、クロソライト、トリモライト

分析方法
定性分析方法 定量分析方法
(JIS A 1481-1)または (JIS A 1481-3)
(JIS A 1481-4)または (JIS A 1481-5)

サンプル数 1箇所あたり3サンプル
採取箇所 ※図示による

・石綿粉じん濃度測定

Table with columns: 測定時期、場所及び測定点, 測定名称, 測定時期, 測定場所, 測定箇所数(各施工箇所ごと). Rows include 測定1, 測定2, 測定3, 測定4, 測定5, 測定6, 測定7, 測定8, 測定9.

測定方法
・自動測定器による測定
測定名称 測定方法

・測定4 粉じん相対濃度計(デジタル粉じん計)、パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器(リアルタイムファイバーモニター)等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定

・JIS K 3850-11に基づいた測定
測定名称 メンブレンフィルタ 直径(mm) 試料の吸引流量(L/min) 試料の吸引時間(min)

・測定4 25 5 30
・測定5 47 10 120
・測定 47 10 240

石綿含有建材の処理
・石綿含有吹付け材の除去
除去対象範囲 ※図示による
除去工法 ※9.1.3(2)(7)による
除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止措置
※湿潤化 ・固形化

除去した石綿含有吹付け材等の処分
・埋立処分(管理型最終処分場)
・中間処理(溶融施設又は無害化処理施設)

・石綿含有保温材等の除去
除去対象範囲 ※図示による
除去工法 ・破砕して除去 ・手ばらし
除去した石綿含有保温材等の飛散防止
※湿潤化 ・固形化

除去した石綿含有保温材等の処分
・埋立処分(管理型最終処分場)
・中間処理(溶融施設又は無害化処理施設)

・石綿含有成形板(石綿含有けい酸カルシウム板第2種)の除去
除去対象範囲 ※図示による
養生方法 ・図示による
足場 ※図示による

除去した石綿含有けい酸カルシウム板第2種の処分
・埋立処分(安定型最終処分場)
・中間処理(溶融施設又は無害化処理施設)

・石綿含有成形板(石綿含有けい酸カルシウム板第2種以外)の除去
除去対象範囲 ※図示による
養生方法 ・図示による
足場 ※図示による

除去した石綿含有けい酸カルシウム板の処分
・埋立処分(管理型最終処分場)
・中間処理(溶融施設又は無害化処理施設)

・石綿含有せつこうボード
※埋立処分(管理型最終処分場)
・石綿含有せつこうボードを除く石綿含有成形板
・埋立処分(安定型最終処分場)
・中間処理(溶融施設又は無害化処理施設)

・石綿含有仕上塗材又は石綿含有成形板(地下調整)の除去
除去対象範囲 ※図示による
養生方法 ・図示による

除去した石綿含有仕上塗材の処分
・埋立処分(安定型最終処分場)
・中間処理(溶融施設又は無害化処理施設)

・石綿含有建材除去後の仕上げ工事 ※図示による

改修特記仕様書3章による
断熱材
断熱材の種類
断熱材の厚さ(mm)
施工箇所 ※図示による
ホルムアルデヒド放数量
※F☆☆☆☆

外装材
種類 防火性能 備考

鋼材
改修特記仕様書第8章8-3 鉄骨工事 ・鋼材による

笠木
改修特記仕様書第3章 ・アルミニウム製笠木による

既存外壁の処理
既存外壁仕上材の撤去 ・行う ・行わない
下地面の清掃 ・行う ・行わない
欠損部の改修工法 ・改修特記仕様書第4章 外壁改修工事による

工法
1章適用区分による風圧力の(・1・1.15・1.3)倍の風圧力に対応した工法
不随等の地下調整
断熱材の施工 ・断熱材製造所の仕様による
外装材の施工 ・外装材製造所の仕様による
通気層の有無 ・有 (mm) ・無

外装材の外壁への取付け ※図示による
笠木の施工 ・改修特記仕様書第3章 アルミニウム製笠木による

公園名称 新宿御苑

工事名称 令和8年度新宿御苑展示工事

図面名称 建築改修工事特記仕様書-5 編尺 -

年月日 令和8年3月 図面番号 007
会社名 合同会社わくわくデザイン 照査 設計
事務所名 環境省新宿御苑管理事務所 照査 設計

断熱・防音改修工事 [G] [9.3.2~4]
フェノールフォーム断熱材又は保温材、接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆
開口部等補修のための張付け用の接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆
工法
・断熱材打込み工法
断熱材 JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材
種類
厚さ(mm)
施工場所
・断熱材現場発泡工法
断熱材の種類 ・A種1 ・A種1H
吹付け厚さ(mm) ・25 ・30
施工箇所 ・図示による
・断熱材後張り工法
断熱材 JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材
種類
厚さ(mm)
・断熱材にせつこうボード等を張り付けたパネル
材質 ・ 厚さ ・ mm
・張り付け工法
断熱材の張り付け工法
断熱材へのボードの張り付け工法
[9.4.2~4]
補修対象及び材料
・屋上緑化軽量システム
芝及び地被類の樹種並びに種類等
※図示による
見切り材、舗装材、排水孔、マルテング材等 ※図示による
(品質・性能・試験方法は別表による)
工法
1章 適用区分による風圧力の(・1 ・1.15 ・1.3)倍の風圧力対応した工法
かん水装置 ・設置する(種類)
既存保護層の撤去 ・行う ・行わない
新鋪した芝及び地被類の枯補償の期間 ※引渡しの日から1年
[9.5.2~5、9]
透水性アスファルト舗装改修工事
適用範囲：歩道
既存舗装の撤去及び再利用 ※図示による
路床
路床の材料
種類 材料 厚さ(mm)
・盛土 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種
・建設汚泥から再生した軽土 [G]
・凍上抑制層 ・再生クラッシュサン [G] ・クラッシュラン
・切込み砂利 ・砂
・フィルター層 ・砂
(凍上抑制層に用いる材料に砂を用いる場合の粒度試験)
・行う ・行わない
・路床安定処理 ・適用する ・適用しない
安定処理の方法 ・置き換え工法 ・安定処理工法
・路床安定処理用添加材料
種類 ・普通ポルトランドセメント ・高炉セメントB種 [G]
・フライアッシュセメントB種
・生石灰(・特号・1号) ・消石灰(・特号・1号)
添加量 ・ kg/m<sup>3</sup> (目標CBR 3以上)
目標CBRを満足する添加量の確認方法
・安定処理土のCBR試験
・ジオテキスタイル
単位面積質量 ・60g/m<sup>2</sup>以上
厚さ(mm) ・0.5~1.0
引張強さ ・98N/5cm(10kgf/5cm)以上
透水係数 ・1.5×10<sup>-1</sup> cm/sec以上
試験
路床土の支持力比(CBR)試験 ・行う ・行わない
路床締固め度の試験 ・行う ・行わない
現場CBR試験 ・行う ・行わない
路盤
路盤の厚さ ・図示による
路盤材料(改修標準仕様書表9.7.3による種類)
・クラッシュラン
・粒度調整砕石
・再生クラッシュラン [G]
・再生粒度調整砕石 [G]
・クラッシュラン鉄鋼スラグ [G]
・粒度調整鉄鋼スラグ [G]
・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ [G]
舗装の構成 ・図示による
開粒度アスファルト混合物の抽出試験 ・行う ・行わない
舗装の平坦性 ※著しい不陸がないもの

8-1 鉄筋工事
8-2 鉄筋工事
8-3 鉄骨工事
8-4 耐震改修工事
8-5 共通事項
・適用範囲
・改修標準仕様書 第8章 耐震改修工事
・改修標準仕様書において第8章耐震改修工事以外の改修工事で第8章を引用している部分
工事内容
・現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事
・鉄骨ブレースの設置工事
・柱補強工事(溶接金網巻き工法又は溶接閉鎖フープ巻き工法)
・柱補強工事(鋼板巻き工法又は帯板巻き付け工法)
・連続繊維補強工事
・耐震スリット新設工事
・免震改修工事
・制振改修工事
・土工事及び地業工事
・既存部分の処理等 [8.21.2、3][8.22.2、3][8.23.2、3][8.24.4][8.25.2][8.28.2]
既存構造体の撤去
撤去範囲
・図示による( )
はつり出した鉄筋及び鉄骨の処置
・図示による( )
既存構造体コンクリートの目荒らしの程度及び範囲
・既存柱・梁面
・打継ぎ面の15~30%程度に、平均深さ2~5mm(最大7mm)程度の凹凸を、全体にわたってつける
・既存壁
・打継ぎ面の10~15%程度に、平均深さ2~5mm(最大7mm)程度の凹凸を、全体にわたってつける
既存杭の撤去等
・撤去範囲及び方法 ・図示による( )

8-1 鉄筋 [8.2.1]
鉄筋の種類
種類 種類 呼び径(mm) 備考
○SD295A
・SD345
鉄線の形状等 [8.2.2]
種類 種類 種類 種類 種類 種類 種類 種類
・溶接金網
鉄筋の継手 [8.3.4][8.4.2.3]
部位 継手方法 呼び径(mm)
柱、梁の主筋 ・ガス圧接 ・機械式継手
耐力壁の鉄筋 ・重ね継手
その他の鉄筋( ) ・重ね継手
継手位置 ・図示による
柱及び梁の主筋の重ね継手の長さ ・図示による
耐力壁の重ね継手の長さ ・図示による
鉄筋の定着長さ [8.3.4]
・図示による
機械式定着長さ
・適用する
適用箇所 ・図示による
種類
・摩擦圧接接合 ・継合グラウト固定
・継合グラウト固定
工法 ※第三者機関の評定等を取得している工法とする
必要定着長さ ※評定等の評価内容による
補強筋形状 ※評定等の評価内容による
かぶり厚さ ※評定等の評価内容による
品質確認 ※評定等の評価内容による
検査 ※評定等の評価内容による
最小かぶり厚さ [8.3.5]
○図示による
軽量コンクリートを適用する場合
・あり 適用箇所( )
・最小かぶり厚さに加える厚さ( )mm
耐久性上不利な箇所がある場合(塩害等を受けるおそれのある部分等)
・あり 適用箇所( )
・最小かぶり厚さに加える厚さ( )mm
超音波探傷試験 [8.3.8]
※行う(全圧接部)
適用箇所
・図示による( )
HI2建物第1463号に適合する性能
・A級
種類
・ねじ式鉄筋継手
・充填方式
・無機グラウト方式 ・有機グラウト方式
・端部ねじ加工継手
・モルタル充填式継手
工法 ※第三者機関の評定等を取得している工法とする
鉄筋相互あき ※評定等の評価内容による
品質確認 ※評定等の評価内容による
検査 ※評定等の評価内容による
施工完了後の継手部の試験
・外観試験
試験対象 ※全数
試験項目 ・評定等の評価内容による
試験方法 ・評定等の評価内容による
・超音波測定試験
試験対象
・抜取り
ロット
・1組の作業班が1日に行った継手箇所数で、最大200箇所程度とする
試験の箇所数 1ロットに対して( )箇所 ・全数
試験項目 ※挿入長さ
試験方法
※JIS Z 3064(鉄筋コンクリート用機械式継手の鉄筋挿入長さの超音波測定方法及び判定基準)による
不合格となった場合の措置
適用箇所
・図示による( )
HI2建物第1463号に適合する性能
・A級
溶接継手の工法
・図示による( )
施工完了後の継手部の試験
・外観試験
試験対象 ※全数
試験項目 ・評定等の評価内容による
試験方法 ・評定等の評価内容による
・超音波深部試験
試験対象
・抜取り
ロット
・1組の作業班が1日に行った継手箇所数で、最大200箇所程度とする
試験の箇所数 1ロットに対して( )箇所 ・全数
試験項目 ※内部欠陥の検出
試験方法
※JIS Z 3063(鉄筋コンクリート用異形棒鋼溶接部の超音波測定方法及び判定基準)による
不合格となった場合の措置
形状
・スパイラル筋
種類の記号
・SR235またはSWW-P
呼び径、曲げ直径、ピッチ
・図示による
溶接継手 [8.2.2]
鉄筋の継手 [8.3.4][8.4.2.3]
鉄筋の定着 [8.3.4]
○鉄筋のかぶり厚さ及び間隔(溶接金網を含む) [8.3.5]
・圧接完了後の試験 [8.3.8]
・機械式継手
・鉄筋継手 [8.4.3]
・溶接継手
・流動化コンクリート (6.15.1)
○打継ぎの位置、ひび割れ誘発目地、打継目地 (6.6.4)(6.8.1)(9.7.3)(3.7.3)
・構造体コンクリートの仕上り [8.1.4]
合板せき板を用いるコンクリートの打直し仕上げ
種類 適用箇所
・A種
・B種
・C種
コンクリートの仕上り平坦さ
種類 適用箇所
・a種
・b種
・c種
打継ぎ厚さ(打直し仕上げ部) [8.7.8]
・打直し仕上げの打継ぎ厚さ(外部に面する部分に限る)
・20mm
・打直し仕上げの打継ぎ厚さ(内部に面する部分に限る)
・10mm ・20mm

8-2 コンクリートの種類 [8.1.3]
コンクリートの種類
※I類(JIS A 5308への適合を認証されたコンクリート)
・II類(JIS A 5308に適合したコンクリート) [8.1.3][8.1.4][8.2.5][8.9.2]
・普通コンクリート
設計基準強度(N/mm<sup>2</sup>) スラブ(cm) 気乾単位容積質量(t/m<sup>3</sup>) 適用箇所
○24 ○18 ・2.3程度 園路(内部)
構造体強度補正值 ※改修標準仕様書表8.2.4による
・軽量コンクリート
設計基準強度(N/mm<sup>2</sup>) スラブ(cm) 気乾単位容積質量(t/m<sup>3</sup>) 種類 適用箇所
・ ※21 ・ ・ ・1種 ・2種
構造体強度補正值 ※改修標準仕様書表8.2.4による
セメント [8.2.5]
種類
※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種
(普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210に示された規定の他、水和熱が7日目で35J/g以下、かつ28日目で402J/g以下のものとする)
適用箇所( )
・高炉セメントB種 [G] 適用箇所( )
・フライアッシュセメントB種 [G] 適用箇所( )
骨材 [8.2.5]
アルカリシリカ反応性による区分
※A ・B
混和剤 [8.2.5]
・混和剤
混和剤の種類
※改修標準仕様書 8.2.5(4)(a)による
・混和材
混和材の種類
※改修標準仕様書 8.2.5(4)(b)による
構造体用モルタル [8.2.6]
構造体用モルタル
圧縮強度( )
フロー値( )
構造体強度補正值 ※6N/mm<sup>2</sup>
適用箇所
・図示による( )
セメントの種類
・普通ポルトランドセメント
・中熱ポルトランドセメント
・低熱ポルトランドセメント
・高炉セメントB種 [G]
・フライアッシュセメントB種 [G]
・シリカセメント
混和剤
・混和剤
混和剤の種類
※標準仕様書6.13.2(2)(7)による
混和剤の種類
混和剤の種類
※標準仕様書6.13.2(2)(4)による
スラブ
※15cm
構造体強度補正值 ※改修標準仕様書表6.13.1による
無筋コンクリート [8.11.1]
コンクリートの種類
※普通コンクリート
設計基準強度
※18N/mm<sup>2</sup>
スラブ
※15cm又は18cm
セメントの種類
※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種
・高炉セメントB種 [G]
・フライアッシュセメントB種 [G]
適用箇所
・図示による( )
適用範囲
・図示による( )
打継ぎの位置、ひび割れ誘発目地、打継目地 (6.6.4)(6.8.1)(9.7.3)(3.7.3)
目地寸法
○標準仕様書 9.7.3(1)(7)~(9)による
・図示による( )
ひび割れ誘発目地の位置・形状・寸法
・図示による( )
合板せき板を用いるコンクリートの打直し仕上げ [8.1.4]
種類 適用箇所
・A種
・B種
・C種
コンクリートの仕上り平坦さ
種類 適用箇所
・a種
・b種
・c種
打継ぎ厚さ(打直し仕上げ部) [8.7.8]
・打直し仕上げの打継ぎ厚さ(外部に面する部分に限る)
・20mm
・打直し仕上げの打継ぎ厚さ(内部に面する部分に限る)
・10mm ・20mm

8-3 鉄骨工事
○型枠 (6.8.2)[8.2.7]
せき板の材料及び厚さ
○合板(※12mm) [G]
・断熱材を兼用した型枠材
使用箇所 ・図示による( )
・WCR工法用シートの使用
適用箇所 ・図示による( )
打増し厚さ ・20mm
打増し範囲 ・図示による( )
スリーブの材質・規格等
・図示による( )
型枠の加工及び組立 [8.7.8]
シアコネクタをセパレーターとして使用
使用箇所 ・図示による( )
コンクリートの打込み工法等 [8.21.8][8.23.5~7]
部位毎のコンクリートの打設工法の指定
補強工法 打設工法 部位
・現場打ちコンクリート工法指定なし ・全ての増設壁 ・図示による( )
一ト壁の増設工事 流込み工法 8.21.8(1)(7)(2) ・全ての増設壁 ・図示による( )
・圧入工法 8.21.8(1)(4)(3) ・全ての増設壁 ・図示による( )
・図示による( )
・柱補強工事(溶接)工法指定なし ・全ての増設壁 ・図示による( )
金網巻き及び溶接・流込み工法 8.21.8(1)(7)(2) ・全ての増設壁 ・図示による( )
閉鎖フープ巻き ・圧入工法 8.21.8(1)(4)(3) ・全ての増設壁 ・図示による( )
工法 ・図示による( )
・工法指定なし
・流込み工法 8.21.8(1)(7)(2)
・圧入工法 8.21.8(1)(4)(3)
鋼板巻き工法及び帯板巻き工法での型枠等
柱頭及び柱脚の隙間の寸法
・図示による( )
柱頭及び柱脚の隙間部間の型枠
・発泡プラスチック保温材等を埋込む
既存柱外周部あと打ちコンクリート又は構造体用モルタルの厚さ
・図示による( )
補強後の仕上げ
・図示による( )
鉄骨製作工場 [8.1.5]
鉄骨製作工場の加工能力
※建築基準法第68条の25に基づき国土交通大臣から構造方法等の認定を取得している鉄骨製作工場又は同等以上の能力のある工場( )グレード以上
・監督職員の承諾する工場
鉄骨製作工場における施工管理技術者 [8.1.6]
※配慮する
種類等 [8.2.8]
種類の記号 適用箇所(主要な部分) 規格
・JISによる
・JISによる
・JISによる
・JISによる
・JISによる
・JISによる
高力ボルト [8.2.9][8.13.2][8.14.2]
高力ボルトの種類
・トルシア高力ボルト
・JIS高力ボルト
ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等
・図示による( )
摩擦面の処理方法
・改修標準仕様書8.14.2(1)による
すべり試験の種類
・すべり係数試験
・すべり耐力試験
すべり試験を実施する場合、改修標準仕様書8.14.2(1)(4)による摩擦面の確認は、本試験で作成した対比試験片で行うこと
普通ボルト [8.13.2](7.2.3)
ボルト及びナットの材料
・標準仕様書 表7.2.3(JIS附属書品)又は次による
ボルトの規格は、JIS B 1180とする
ボルトの種類を呼び径六角ボルト又は全ねじ六角ボルトとし、材料は鋼とする
ボルトの強度区分は、4.6又は4.8とする。なお、呼び径六角ボルトの軸径の最大寸法は、ボルトの径の値以下とする
ナットの規格は、JIS B 1181とする
ナットの種類は、六角ナット-Cとし、材料は鋼とする
産金
※JIS B 12561による
ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等
・図示による( )
母屋又は胴縁の取付けに使用するボルトの孔径
※ねじの呼び径+1.0mm
溶融亜鉛めっき高力ボルト [8.13.2][8.14.2][8.20.5]
ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等
・図示による( )
摩擦面の処理方法
・プラスト処理(表面粗度50μmRz以上)
・りん酸塩処理
すべり試験の実施
・すべり係数試験
・すべり耐力試験
すべり試験を実施する場合、改修標準仕様書8.20.5(1)(7)又は(4)による摩擦面の確認は、本試験で作成した対比試験片で行うこと
公園名称 新宿御苑
工事名称 令和8年度新宿御苑展示工事
図面名称 建築改修工事特記仕様書-6 編尺 -
年月日 令和8年3月 図面番号 008
会社名 合同会社わくわくデザイン 照査 設計
事務所名 環境省新宿御苑管理事務所 照査 設計

8-3 鉄骨 工事	・アンカーボルト	(7.2.4) (7.3.2)	・構造用アンカーボルト 種類 ・ ABR400 ・ ABR490 ・ 建方用アンカーボルト 種類 ・ SS400 アンカーボルト及びナットのねじの公差域クラス及び仕上げの程度 ※標準仕様書表7.2.3による ・ 標準仕様書表7.2.4以外のアンカーボルト 適用箇所 ・ 図示による ( ) 種類 ・ SS400 アンカーボルト及びナットのねじの公差域クラス及び仕上げの程度 ※標準仕様書表7.2.3による ボルトの繰端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ・ 図示による (構造関係共通事項 (鉄骨標準図) 1-1 繰端距離及びボルト間隔)
	・ 溶接材料	[8.2.10]	溶接材料 ・ 改修標準仕様書 8.2.10(1) (2)による
	・ スタッド	[8.2.11]	種類等 呼び名 呼び長さ(mm) 適用箇所 ・ 16 ・ 19 ・ 22
	・ 製作精度	[8.13.3]	鉄骨の製作精度は、JASS6 付則6 [鉄骨精度検査基準]に加えて、次による 通しダイヤフラムの突合せ継手の食い違いの寸法 ※H12建告第1464号第二号イ(2)による アンダーカットの寸法 ※H12建告第1464号第二号イ(3)による 食い違い・仕口のずれの検査方法及び補強方法 ・ 突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」による
	・ 仮組	[8.13.10]	仮組を行う範囲 ・ 図示による ( )
	・ 溶接作業を行う 溶接技能者の 技量付加試験	[8.15.3]	試験の要領 ・ 図示による ( )
	・ 溶接接合	[8.15.4] [8.15.7]	開先の形状 ・ 図示による ( ) ・ エンドタブの切断する部分 切断する箇所 ・ 図示による ( ) 切断範囲 ・ 鋼製エンドタブ、裏当て金等は、梁フランジの端から5mm以下を残して直線上に切断する なお、切断線が交差する場合は、交差部をアール状に加工する 切断面の仕上げ ・ 改修標準仕様書8.15.7(1) (a) (b) (2)による
	・ 入熱、バス間温度の 溶接条件	[8.15.7] [8.15.10]	スラップの形状 ・ 図示による ( ) 鋼材と溶接材料の組合せと溶接条件 ・ 図示による ( ) 適用箇所 ・ 図示による ( ) ・ 柱、梁、プレースのフランジ端部の完全溶け込み溶接部
	・ 溶接部の試験	[8.15.12]	平12建告第1464号第二号に関する外観試験方法 ・ 「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」3.5.2受入検査による ・ 抜き取り検査① ※抜き取り検査② JASS 6 付則 6 [鉄骨精度検査基準] の付表3「溶接」に関する試験方法等 ・ JASS 6 10.4 [受入検査] e. 溶接部の外観検査(1)から(5)までによる。ただし、完全溶込み 溶接部の外観検査の抜き取り箇所は、超音波探傷試験の抜き取り箇所と同一とする。外観試験の 不合格箇所は、すべて標準仕様書7.6.13による補強を行い、再試験する 完全溶込み溶接部の超音波探傷試験 ・ 工場溶接の場合 ※全数 ・ 工場現場溶接の場合 ※全数
	・ 錆止め塗装	[7.3.3] [8.17.2.4]	塗料の範囲 ・ 耐火被覆材の接着する面の塗装範囲 ・ 図示による ( ) ・ 耐火被覆材の接着する面以外の塗装範囲 ※改修標準仕様書8.17.2(1) (7)～(8)による ・ 図示による ( ) 塗料の種類 ・ 下記以外の鉄鋼面は、7章[塗装改修工事]による ・ 鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブで鉄骨に溶接されたものの内側の錆止め塗料の種類 ※A種 ・ 耐火被覆材が接着する面の塗料の種類
・ 耐火被覆	[8.18.2]～[8.18.8]	種類、材料、工法等 種類 種類 材料・工法 性能 (耐火時間) 適用箇所 (部位・部分) ・ 乾式吹付けロックウール ・ 半乾式吹付けロックウール ・ 湿式ロックウール ・ ・ ・ ・ 繊維混入型酸カルシウム板 ・ ・ ・ 高断熱ロックウール ・ ・ ・ ラス張りモルタル塗り ・ ・ 耐火塗料	

8-4 あと 施工 アン カー 工事	・アンカーボルト等の 設置	(7.10.3)	構造用アンカーボルトの形状及び寸法 ・ 図示による ( ) 構造用アンカーフレームの形状及び寸法 ・ 図示による ( ) 建方用アンカーボルトの形状及び寸法 ・ 図示による ( ) 建方用アンカーボルトの形状及び寸法 ・ 図示による ( ) 建方用アンカーボルトの形状及び寸法 ・ 図示による ( ) 種別 ・ A種 ・ B種 柱底均しモルタル厚さ及び工法の種別 厚さ 種別 ※A種 ・ B種 ・ 図示による ( )
	○あと施工アンカー	[8.2.4]	材料等 ○金属系アンカー ・ 引張耐力 ・ KN ・ 図示による ( ) ・ セン断耐力 ・ KN ・ 図示による ( ) アンカー本体の径及び埋込み長さ ・ 図示による ( ) セット方式 ※本体打込み式改良型 ・ 図示による ( ) 接合筋の種類、径、長さ ・ 図示による ( ) ・ 性能確認試験 試験方法及び試験数 ・ 図示による ( ) ・ 接着系アンカー ・ 引張耐力 ・ KN ・ 図示による ( ) ・ セン断耐力 ・ KN ・ 図示による ( ) アンカーの種類 ※カプセル方式回転・打撃式 接着剤の品質 ・ 有機系 ・ 無機系 アンカー筋の径及び埋込み長さ ・ 図示による ( ) アンカー筋の種類 ・ アンカー筋の新設壁内への定着の長さ ・ 図示による ( ) ・ 性能確認試験 試験方法及び試験数 ・ 図示による ( )
	・穿孔	[8.12.4]	埋込み配管等の探査方法 ・ 鉄筋探知器 (金属探知器) により探査し、鉄筋、配管類の位置に墨出しを行う ・ はつり出しによる
	・ 施工確認試験	[8.12.7]	試験方法 ※引張試験による引張試験 確認強度 ・ 図示による ( )
	・ 柱底均しモルタル及び グラウト材	[8.2.12]	・ 柱底均しモルタル ※無収縮モルタル ・ グラウト材 無収縮グラウト材の材質等 混和材 セメント系 (酸化カルシウム及びカルシウム・サルフォ・アルミネート等) によって膨張する性質を利用するものとする。 セメント JIS R 5210「ポルトランドセメント」に適合した普通または早強ポルトランドセメントとする。 砂 土木学会コンクリート標準示方書に定められた品質を有するもので、特に精選されたものを絶対乾燥状態で使用する。 ただし、現場調合形に使用される砂の乾燥状態については、規定しない。 無収縮グラウト材の品質及び試験方法 コンシステンシー Jロートによる落下時間 練混ぜ完了から3分以内の値 : 8±2秒 ブリージング 練り混ぜ2時間後のブリージング率 : 2.0%以下 凝結時間 凝結開始時間 : 1時間以上 終結時間 : 10時間以内 無収縮性 材齢 7日 収縮しない 材齢 3日 20.0 N/mm <sup>2</sup> 以上 圧縮強度 材齢 28日 40.0 N/mm <sup>2</sup> 以上 塩化物量 0.30kg/m <sup>3</sup> 以下 試験方法 1) NEXCO試験方法 試験法 312-1999「無収縮モルタル品質管理試験方法」による。プレミックス形と現場調合形で混和材が同一の場合の試験はプレミックス形のみとする。 2) 塩化物量の試験は、JIS A 1144「フレッシュコンクリート中の水の塩化物イオン濃度試験方法」による。
	・ 仮組	[8.13.10]	仮組を行う範囲 ・ 図示による ( )
	・ 溶接作業を行う 溶接技能者の 技量付加試験	[8.15.3]	試験の要領 ・ 図示による ( )
	・ 溶接接合	[8.15.4] [8.15.7]	開先の形状 ・ 図示による ( ) ・ エンドタブの切断する部分 切断する箇所 ・ 図示による ( ) 切断範囲 ・ 鋼製エンドタブ、裏当て金等は、梁フランジの端から5mm以下を残して直線上に切断する なお、切断線が交差する場合は、交差部をアール状に加工する 切断面の仕上げ ・ 改修標準仕様書8.15.7(1) (a) (b) (2)による
	・ 入熱、バス間温度の 溶接条件	[8.15.7] [8.15.10]	スラップの形状 ・ 図示による ( ) 鋼材と溶接材料の組合せと溶接条件 ・ 図示による ( ) 適用箇所 ・ 図示による ( ) ・ 柱、梁、プレースのフランジ端部の完全溶け込み溶接部

8-6 連続 繊維 補強 工事	・ 連続繊維シート	[8.2.13] [8.24.6]	連続繊維の材料 ・ 炭素繊維 ・ アラミド繊維 ・ 引張強度 (含浸硬化後) ・ ( ) N/mm <sup>2</sup> ヤング係数 (含浸硬化後) ・ ( ) N/mm <sup>2</sup> ・ 下地処理 ・ ひび割れ部改修 範囲 ・ 図示による ( ) 工法の種類 ・ ・ 柱及び梁の隅角部の面取りの大きさ ・ 図示による ( ) 連続繊維補強材の強度試験 ・ 引張強度試験 ※JIS A 1191 (コンクリート用連続繊維シートの引張試験方法) による 試験数量 ・ 図示による ( ) ・ 付着強度試験 ※JIS A 6909 (建築用仕上塗材) による 試験数量 ・ 図示による ( ) 補強工事後の仕上 ・ 図示による ( )
	・ 仕上げ	[8.24.7]	
	・ 耐震スリットの方式、 幅及び深さ	[8.25.2]	方式 ・ 完全 ・ 部分 幅及び深さ ・ 図示による ( ) 設置箇所 ・ 図示による ( )
	・ 耐震スリットの施工前の 埋込み配管等の探査	[8.12.4]	既存撤去部の配管等の探査方法 ・ 鉄筋探知器 (金属探知器) により探査し、鉄筋、配管類の位置に墨出しを行う ・ はつりだしによる
	・ 耐震スリット充填材の 挿入及び周囲補修等	[8.25.2]	耐火材 使用箇所及び仕様 ・ 図示による ( ) 遮音材 使用箇所及び仕様 ・ 図示による ( ) 撤去部の補修 ※撤去材と同一材で補修
	○埋戻し及び盛土	[8.2.8]	材料及び工法 温室館内への客土 : 赤玉中粒50%+ピートモス30%+バーク堆肥10%+ピートスライト小粒10% ○材料 ( ) 工法 ( ) ※改修標準仕様書表8.28.11による ・ A種 適用箇所 ( ) ・ B種 適用箇所 ( ) ・ C種 適用箇所 ( ) 土質 ( ) 受渡場所 ( ) ・ D種 適用箇所 ( ) (品質 細粒分 (75 μm以下) の含有率 (重量百分率) の上限を50%未満とする) 支持層の位置及び土質 (基礎ぐいの先端位置含む) ・ 図示による ( ) 杭の材料、工法、寸法、施工方法等 ・ 図示による ( ) ・ 試験杭の位置、本数及び寸法並びに施工方法 ・ 図示による ( ) ・ 杭の継手の箇所数、材料、工法等 ・ 図示による ( ) ・ 杭の溶接継手 技能資格者の技量 ・ 図示による ( ) 溶接部の確認 ・ 図示による ( ) ・ 杭頭の処理 ・ 処理しない ・ 処理する 処理方法 (切断ともなう補強方法含む) ・ 図示による ( ) ・ 杭頭の中詰め材料 ・ 基礎コンクリートと同調合のもの 杭の精度 水平方法の位置ずれ ・ 杭径の1/4かつ100mm以下 ・ 評定等の評価内容による 建て込み時の杭の鉛直度 ・ 1/100以内 ・ 評定等の評価内容による 記録する施工状況等 ・ 図示による ( )
	・ 植地業	[8.2.15] [8.28.4] [4.3.8]	
	・ 砂利地業	[8.2.15] [8.28.4]	材料 ・ 再生クラッシュヤラン ・ 切込砂利又は切込砕石 砂利厚さ ※60mm
	・ 捨コンクリート地業	[8.2.15] [8.28.4]	捨コンクリートの厚さ ※50mm コンクリートの種類 ・ ※普通コンクリート 設計基準強度 ※18N/mm <sup>2</sup> スランプ ※15cm又は18cm

公園名称	新宿御苑		
工事名称	令和8年度新宿御苑展示工事		
図面名称	建築改修工事特記仕様書-7	編尺	-
年月日	令和8年3月	図面番号	009
会社名	合同会社わくわくデザイン	照査	設計
事務所名	環境省新宿御苑管理事務所	照査	設計



2章 仮設工事

Table with 2 columns: Item description (e.g., 1. 監督員事務所, 2. 工事用水) and specifications/notes.

3章 木工事

Table with 2 columns: Item description (e.g., ① 木材, ② 合板) and specifications/notes, including material tables for plywood and composite materials.

Table with 2 columns: Item description (e.g., ③ 集成材, 4. フローリング) and specifications/notes.

Table with 2 columns: Item description (5. 中質繊維板) and specifications/notes.

4章 金属工事

Table with 2 columns: Item description (e.g., ① 材料, ② 鉄鋼の表面処理) and specifications/notes, including tables for surface treatment and corrosion prevention.

5章 石工事

Table with 2 columns: Item description (e.g., 1. 天然石, 2. テラゾ) and specifications/notes, including tables for stone types and surface treatments.

6章 左官工事

Table with 2 columns: Item description (e.g., 1. セルフレベリング材塗り) and specifications/notes.

7章 塗装工事

Table with 2 columns: Item description (e.g., ① 材料, ② 素地ごしらえ) and specifications/notes, including tables for primer and paint application.

Table with 2 columns: Project information (e.g., 公園名称, 工事名称, 図面名称, 年月日, 会社名, 事務所名).

- 12. 2液形ポリウレタン エナメル塗り (2-U E)
- 13. 常温乾燥形ふっ素 (2-F U E)

⑭ 木部染色クイヤー

- 1) 鉄鋼面は (表18.9.1) による。
- 2) 亜鉛めっき鋼面は (表18.9.2) による。

工程	塗料その他		塗布量 (kg/m <sup>2</sup> )
	規格番号	規格名称	
素地ごしらえ	(表18.2.1)		
ワイピング		着色剤	
下塗り	JIS X	ウッドシーラー	0.10
目止め		目止め剤	
中塗り	JIS X	サンジグシーラー	0.10
研磨紙すり		研磨紙#180~240	
上塗り1	JIS X	ニトロセルロースラッカー	0.10
研磨紙すり		研磨紙#320~400	
上塗り2	JIS X	ニトロセルロースラッカー	0.10
研磨紙すり		研磨紙#320~400	
仕上げ塗り	JIS X	ニトロセルロースラッカー	0.09

工程	塗料その他		塗布量 (kg/m <sup>2</sup> )
	規格番号	規格名称	
素地ごしらえ	(表18.2.1)		
ワイピング		着色剤	
下塗り		ウレタンシーラー	0.06
研磨紙すり		研磨紙#240	
中塗り		ウレタンワニス	0.06
研磨紙すり		研磨紙#800~1000	
上塗り		ウレタンワニス	0.06

⑮ 木部染色ウレタン 樹脂塗装 (2液形) (U E, U C)

1) 工場塗装とする

工程	塗料その他		塗布量 (kg/m <sup>2</sup> )
	規格番号	規格名称	
素地ごしらえ	(表18.24) A種		
エアブロー	塗装	エアブローし、ごみ等を除去	
下塗り		エポキシ樹脂プライマー	15
セッティング		5~10分	
焼付け	熱風	180℃ 20分	
上塗り1		熱硬化形アクリル樹脂塗料	20~25
セッティング		10~20分	
上塗り2		熱硬化形アクリル樹脂塗料	20~25
セッティング		10~20分	
焼付け	熱風	180℃ 30分	

- 2) 焼付け温度は、被塗物の表面温度で管理する。
- 3) 塗装工程は3コート3ペーパーとしてもよい。
- 4) 表面は原則として下塗りまでとする。
- 5) 塗装ラインは、素地ごしらえと連続した処理ラインを備え、他と隔離して粉塵防止を施したクリーンゾーンを形成していること。
- 6) 亜鉛めっき鋼板の溶接部は、研磨仕上げを行い、エポキシ系ジンクリッチプライマー処理を行った後下塗り工程に移る。

9章 建具工事

1. アルミニウム製建具

1) 屋内建具

表面処理	C-1種 又は B-1種 C-2種 又は B-2種
表面塗装	

② ガラス材料

1) 板ガラスの品種及び規格

・フロートガラス	JIS R3202
・合わせガラス	JIS R3205
・強化ガラス	JIS R3206
・高透過ガラス	

③ ガラス取付け材料

ガラス取付けシール材は、JIS A5758の規格品とする。	
ガラス+ガラス	シリコンシーリング材 (SR-1) 1成分形
ガラス+建具	シリコンシーリング材 (SR-1) 1成分形

④ ガラス飛散防止フィルム

1) 内貼り用

- 1) 鏡のガラスはJIS R 3202により、特記がなければ厚さ5mmとする。
- 2) 取り付けはゴム材等を当て、ステンレス等適切な金物を用いて行う。

6. 鋼製建具

1) 鋼製建具の性能値

- ・建具表に「SAT」又は「セミエアタイト」と記す建具の気密性等級はJIS A 4706によるA-3等級以上とし、枠の四周にシリコンパッキンなどの気密材に接する扉の四周はSレベルとする。
- ・建具表に「AT」又は「エアタイト」と記す建具の気密性等級はJIS A 4706によるA-4等級以上、遮音性等級はT-2以上とし、枠の四周にシリコンパッキンなどの気密材、気密材に接する扉の四周は凸形状のSレベル、レール多点締めりハンドル、戸内部にロック(150/m<sup>2</sup>)を充填する。

7. 木製建具

- 1) 仕上げ表・建具表による

10章 内装工事、その他

1. ビニル床シート

種類	記号	色柄	厚さmm
・発泡層のないもの	・NC	・無地	・柄物
・発泡層のあるもの		・無地	・柄物

- 2) 工法 ・ 溶接工法 ・ 突きつけ
- 3) 接着剤 JIS A 5536によりホルムアルデヒド放散等級F☆☆☆☆とする。

2. ビニル床タイル

種類	厚さmm
◎ コンポジションビニル床タイル	
・ ホモニアスビニル床タイル	

- 2) 接着剤 JIS A 5536によりホルムアルデヒド放散等級F☆☆☆☆とする。

3. ゴムタイル張り

種類	色柄	厚さmm
・天然ゴム		7
◎ 合成ゴム		

- 2) 接着剤 JIS A 5536によりホルムアルデヒド放散等級F☆☆☆☆とする。

4. ステンレス幅木

- 1) 高さ mm ・ 60 ・ 80 (HL/鏡面)

5. ビニル幅木

- 1) 高さ mm ・ 60 ・ 75 (半硬質)

6. カーペット敷

- 1) 材料 (19.3.3) (19.3.4)

種類	総厚 mm	工法
・ウルトラスカーペット		・グリッパー工法 ・接着工法
・タフテッドカーペット		・グリッパー工法 ・接着工法
・ニードルパンキカーペット		・接着工法 ・テープ工法

- 防火性能 ・ 有り ・ なし

種類	バイル形状	総厚 mm	色柄
◎ タイルカーペット			基準色

7. せっこうボード

その他のボード張り

- 1) 材料 (19.7.2) (19.7.3)

種類	JIS 記号	厚さ・規格等
◎ ロックウール化粧吸音板	DR	・フラットタイプ ◎ 凹凸タイプ
◎ せっこうボード	GB-R	◎ 12.5 (不燃)
◎ 化粧せっこうボード	GB-D	◎ 9.5 (不燃)
◎ けい酸カルシウム板	0.8FK	◎ 6.0 (不燃)
◎ 化粧けい酸カルシウム板		◎ 6.0 (不燃)
◎ メラミン不燃化粧板		◎ 3.0 (不燃)

- 2) グラフィックの下地を施工する場合はせっこうボード+不燃化粧板とする。

8. 塩ビシート張り

1) 材料

種類	色柄	防火性能
・塩ビシート	無地 柄	不燃

- 2) 接着剤 JIS A 5536によりホルムアルデヒド放散等級F☆☆☆☆とする。

10. 銘木化粧シート張り

- 1) 製造所仕様による。

11. 人工大理石張り

- 1) 製造所仕様による。
- 厚み mm

11章 グラフィック工事

① 一般事項

- 1) グラフィックとは主題や項目を文章、図表 (地図、グラフを含む)、イラストレーション、写真などで説明することをいい、表現媒体はペーパー、フィルム、クロス、木、石、金属、樹脂成型物等で視覚伝達を行うものを総括してグラフィックと呼ぶ。

② 原稿

- 1) 「グラフィック図」及び設計説明書のグラフィック構成リストに記載された文字原稿並びに図版等の作図・作面に必要な元資料は発注者及び発注者が指定した係員が支給する。 ※ (係員とは監督員も含まれる)
- 2) 「グラフィック図」及び設計説明書のグラフィック構成リストに記載された図表、写真等に係る著作権所有先の調査及び借用の交渉手続きは請負者が行う。これに係る費用は請負者の負担とする。
- 3) 請負者が図表、写真等の著作権使用の交渉手続きを行う際に、公的文章が必要な場合は監督員と協議する。
- 4) 文章は文字数、用語や文体、ルビの統一がなされ、リライトの必要がない最終のものとする。
- 5) 監督員より支給を受けたもの、及び著作権使用手続きにより借用した写真原稿は、原則として、デュープ又はインターネガを作成し、原本は速やかに返却する。
- 6) 文字原稿は、多言語対応として3ヶ国語 (中国語 (簡体字) ・中国語 (繁体字) ・韓国語) に翻訳を行う。別業務により実施される原稿と一連の文章として調整を行うこと。
- 7) 多言語解説文の作成は、観光庁発行の『ガイドライン「HOW TO 多言語解説文整備」』、『ライティング・スタイルマニュアル』によること。

③ 版下構成図

- 1) 版下構成図 (パネル内の情報がすべて組み込まれたもの) は、仕上がり寸法の1/1~1/100で作成する。
- 2) 版下校正はA3サイズのカラーレーザー出力機で内容が判別できる程度に縮小されたもので行い、監督員の指示を受けた場合には承諾を受ける。

④ 出力用データ

- 1) 仕上がり寸法に応じ、版下構成図データを出力用データ (文字のアウトライン化、罫線補正、画像データの解像度補正等) に加工する。
- 2) 出力用データは、出力機に合わせた書体、カラーモードに加工する。
- 3) イラスト原稿 (原画) や写真原稿 (フィルム、紙焼) は150dpiの解像度でスキャニングし出力機は200dpiの解像度目安に仕上がり寸法に応じ調整する。
- 4) 出力用データは、MO、CD-Rなどにバックアップ保存を行う。

⑤ 撮影・実物複写

- 1) 撮影・実物複写にあたっては監督員の立会いを受ける。
- 2) 撮影機材は、Sony α7Ⅲのスペックと同等以上とする。
- 3) フィルムサイズは、原則として下記に準拠する。

仕上がりサイズ	フィルムサイズ	デジタルデータ (解像度150dpiの場合)
600mm×600mmまで	35mm	32MB (12,555,025pixel)
1000mm×1000mmまで	4inch×5inch	100MB (34,875,070pixel)
2000mm×2000mmまで	6inch×7inch	399MB (439,500,279pixel)
3000mm×3000mm以上	8inch×10inch	898MB (313,875,628pixel)

6. デュープインターネガ

- 1) 材料
  - ・デュープ用フィルムはエクタクローム用デュープフィルムタイプ6121又はフジクロームデュープリケーティングフィルムODUと同等品とする。
  - ・インターネガ用フィルムはコダックコマースシャルインターネガティブフィルム又はフジITNインターネガティブフィルムと同等品とする。
- 2) フィルムサイズ

仕上がりサイズ mm	フィルムサイズ
・ 0600 X 0900 まで	35ミリ
・ 1000 X 1000 まで	6 X 7
・ 2000 X 2000 まで	4" X 5"
・ 2000 X 2000 以上	8" X 10"

7. ペーパー伸ばし

- 1) カラーペーパーは、コダックエクタカラウルトラペーパー又はフジカラCGペーパーと同等品とする。
- 2) モノクロペーパーは、イルフォスピード、オリエンタルイーグルRPR、フジプロマイFWP-N、コダックポリコントラストIII-RCと同等品とする。
- 3) 拡大率の大きいものは、仕上がり原寸サイズの部分見本を作製し監督員の承諾を受ける。

8. フィルム伸ばし

- 1) アクリル又はガラスサンド式、ダイフィット加工、スプリング式の何れかとする。
- 2) カラーフィルムは、コダックデュラントランスディスプレイマテリアル4022又はフジGカラーフィルムと同等品とする。
- 3) モノクロフィルムはフジリスフィルムLO175と同等品とする。

9. シルクスクリーン

- 1) シルクスクリーンのメッシュは、線画の場合225メッシュ、網製版の場合250メッシュ以上とする。
- 2) 製版は東レ・ルミラー100ミクロン (テトロン) Tタイプと同等品とする。
- 3) インキはセイコーアドバンスVIC、帝國インキNACと同等品とする。
- 4) 設計図 (グラフィック図) のHICとは1版1色を意味する。

10. アルフォト

- 1) スイッチプレートは1ミリ厚程度、ラベルは0.5ミリ厚程度のアルミ板を使用する。

11. ドライマウント

- 1) ステンボードに印刷紙又は出力紙を熱圧着加工したものと同等品とする。

⑬ カuttingシート

種類	
内部	3Mスコッチカルと同等品
外部	3Mスコッチカルと同等品

※温室は耐候性の高い仕様とする

- 1) カラーサンプル確認後、製作とする。

公園名称	新宿御苑		
工事名称	令和8年度新宿御苑展示工事		
図面名称	建築改修工事特記仕様書-10	縮尺	-
年月日	令和8年3月	図面番号	012
会社名	合同会社わくくデザイン	照査	設計
事務所名	環境省新宿御苑管理事務所	照査	設計

④ デジタル出力	1) カラーサンプル確認後、製作とする。
⑤ 出力紙の加工	1) 出力されたプリントは完全に乾燥後、アデムコラミネート、UVラミネート、ケミカルラミネート、ポリマウント、メタルマウントのうち出力紙、展示位置、効果を考慮し、適した方法で加工する。
⑥ 経 師	1) しわ、気泡が発生しないように、プリント素材に応じ貼り付ける。 2) 接着材はホルムアルデヒドの含まれない製品とする。
⑦ その他	1) 特に中テーマサインはテーマ内容を強く訴求するため、文字表記部と併せてテーマ毎に「石・翡翠」「ブロンズ」「螺鈿」「陶片モザイク」「蒔絵」を施したフレームを有する。このフレーム意匠は文字表記部の意匠と併せて、美術史的・工芸的意匠を有するため、制作図作成、サンプル作成、最終制作において発注者及び監督員と綿密な打合せを行い段階毎に承諾を得なくてはならない。

## 15章 サイン工事

① 一般事項	1) 製作にあつては製作原面を監督員に提出して承認後、製作とする。
② 材料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ アクリル板</li> <li>・ カットニングシート</li> <li>・ 金属板</li> <li>・ アルミ複合板</li> <li>・ グラフィックシート</li> <li>○ 図示</li> </ul>
③ 切文字	1) 原面に基づき指定厚の金属板あるいはプラスチック板等を裁断して製作する。表面仕上は、特記による。特記のない場合は、監督員の指示による。
4. 箱文字	1) 原面に基づき指定厚の金属板を溶接あるいはろう付けして製作し、表面仕上は特記あるいは監督員の指示による。
⑤ 取付	1) 取付方法について、取付下地を留意し、落下、脱落、めくれがないよう適切な取付方法とする。

## 16章 電気設備工事 (単体ケース内照明含む)

① 一般事項	<p>1) 設計図書に記載されていない事項は、全て国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)最新版」「公共建築設備工事標準図(電気設備工事編)最新版」電気設備技術基準、建築基準法、消防法、その他関係法令及び内線規程に基づいて施工する。</p> <p>2) 照明器具、配線器具については、JIS規格を基準に指定のない場合は監督員の指示による。</p> <p>3) 国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律(平成12年度法律第100号)に定めるところにより、環境負荷を低減できる機器及び材料を選択するよう努める。指定のない場合は監督員の指示による。</p> <p>4) 電気工作物に係る工事においては、電気保安技術者をおくものとする。</p> <p>5) 一般用電気工作物に係る工事の電気保安技術者は、第一種又は第二種電気工事士の資格を有する者とする。</p>
② 照明器具	<p>1) 照明器具については納入仕様書を監督員に提出し、承諾を受ける。</p> <p>2) 照明器具の仕様については、展示内容を踏まえ、監督員と協議し、配灯、配光図を作成し、監督員の承諾を受ける。</p> <p>3) 照明器具の管球の演色性については監督員と協議する。</p> <p>4) 照明器具は、省エネタイプ(LED)の使用を考慮する。</p> <p>5) 照明器具の設置、シューティングについては必要に応じて請負者がこれを行い、監督員の承諾を受ける。</p> <p>6) 完成検査までに以下の書類を監督員に提出する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 絶縁抵抗測定表</li> <li>・ 各機器試験表</li> </ul>

## 17章 PL法対策

① 一般事項	1) 本工事において製作する全てについて、一般の利用者の立場に立って対策の必要性及び使用条件等を監督員と協議し、双方で確認を行う。
② 製作施工上の安全対策	<p>1) 外部調達の材料、部材、部品は、規格・仕様通りを行う。</p> <p>2) 工場製作、現場施工で、組立加工、取付時の接続、接着、締め付けが十分か確認を行う。</p> <p>3) 表面処理、出隅の角処理、材料の切断面等の仕上げが安全面で十分か確認を行う。</p> <p>4) 製作施工上の不備・危険がないか、調整・検査・試験を実施し、その検証結果を記録としてとどめる。</p>
③ 指示・警告上の安全対策	<p>1) 製作施工上の安全化で排除できない危険項目は、十分な警告表示で対応をとる。</p> <p>2) 警告表示と取扱説明書は、製造物の一部としてとらえ危険使用、誤使用を防止する。</p>

18章 産業廃棄物	
① 一般事項	<p>1) 請負者は、産業廃棄物の処理に当たっては、建設副産物適正処理推進要綱を遵守して行わなければならない。</p> <p>2) 施工に先立ち、契約に基づき、産業廃棄物の発生の抑制が計画的かつ効率的に行われるよう適切な施工計画を作成すること。</p> <p>3) 産業廃棄物対策を適切に実施するため、工事現場における責任者を明確にすること。</p> <p>4) 上記の責任者は、廃棄物処理計画等の内容について現場担当者の教育を十分行うとともに、協力業者にもこれを周知徹底すること。</p> <p>5) 請負者は、工事現場の責任者に対する指導並びに職員及び協力業者に対する産業廃棄物対策に関する意識の啓発等のため、社内管理体制の整備に努めなければならない。</p>
② 排出の抑制	1) 発注者及び請負者は、施工に当たっては、資材納入業者の協力を得て産業廃棄物の発生量の抑制を行うとともに工事現場からの産業廃棄物の排出量の抑制に努めなければならない。
③ 工事現場等における分別及び保管	<p>1) 請負者は、廃棄物処理計画等に基づき、廃棄物の処理方法ごとに、工事現場等において分別及び保管を行わなければならない。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一般廃棄物は、産業廃棄物と分別すること。特に作業員の生活に伴う廃棄物の分別を徹底すること。</li> <li>・ 安定型産業廃棄物及びそれ以外の産業廃棄物並びに特別管理産業廃棄物の分別に努めること。</li> <li>・ 再資源化が可能な産業廃棄物については、再資源化施設の受入条件を助案の上、破砕等を行い、分別すること。</li> </ul>
④ 処理の委託	<p>1) 請負者は、産業廃棄物を自らの責任において適正に処理しなければならない。処理を委託する場合には適正に委託しなければならない。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 廃棄物処理法に規定する委託基準を遵守すること。</li> <li>・ 運搬については産業廃棄物収集運搬業者等と、処分については産業廃棄物処分業者と、それぞれ個別に直接契約すること。</li> <li>・ 産業廃棄物の搬出に当たっては、産業廃棄物管理票(マニフェスト)を交付し、適正に管理すること。</li> </ul>
⑤ 運搬	1) 請負者は、産業廃棄物の運搬に当たっては、廃棄物処理法に規定する処理基準を遵守しなければならない。運搬経路の適切な設定並びに車両及び積載量等の適切な管理により、騒音、振動、塵埃等の防止に努めるとともに、安全な運搬に必要な措置を講ずること。

## 19章 その他

1. シップハウス対策	1) 室内空気環境に影響を与えるおそれのある材料については、主要資材発注予定表等に必ず化学物質等安全データシート(MSDS)を添付すること。
2. アスベスト(石綿)対策	1) 本工事に使用する材料等については、アスベストの含有の有無の確認を行い、アスベスト含有材料等を一切使用してはならない。
3. 建設副産物の処理等	<p>1) 建設廃棄物は発生量の削減、現場内での分別、再利用等により、工事現場外への搬出の抑制に努めること。</p> <p>なお、搬出する場合は、再資源化施設に搬出し、資源リサイクルの促進に努めること。</p>
4. ディーゼル自動車の使用	<p>1) 工事車両等は、「都民の健康と安全を確保する環境に関する条例(平成12年東京都条例第219号)」の趣旨を十分に踏まえて使用すること。</p> <p>ディーゼル自動車(乗用車を除く)に関しては、その自動車検査証及び、粒子状物質減少装置装着説明書の写しを工事現場に保管し、監督員の求めに応じて速やかに提示すること。</p>
配慮事項	<p>各標識やビクトグラム等の表示について、多様な利用者が見やすさ及び分かりやすさに考慮すること。</p> <p>壁面のデザインを行う際には色覚シミュレーションツール及び補助ツールなどを活用し、すべての人が見分けやすい配色となるよう努めること。</p>

20章 デジタルコンテンツ	
① 一般事項	<p>1) 発注者や設計者が伝えたいと思っている内容や意図を的確に伝えるコンテンツであること</p> <p>2) ただただ単に真面目に情報を伝えるだけではなく、人の心に訴えかけ興味を持ってもらい最後まで映像を見てもらえるコンテンツであること</p> <p>3) 機能的な要件(伝えたい情報が入っている、長すぎない適切な秒数等)を満たしているだけでなく映像として美しいコンテンツであること</p> <p>4) SNS等で次々に新しい映像が見れる現代であり、映像がすぐ古く見えてしまう課題を克服したコンテンツとすること</p>
② 業務計画書の作成	<p>1) 業務の着手に先立ち、本業務を実施するに必要な総合的な業務計画書(品質管理、安全管理、労務管理、協力業者体制、災害時対応、工程等)を作成し、発注者及び設計者に提出し承諾を得ること。</p> <p>2) 業務の進捗状況を示す工程表を週間及び月間で作成し、発注者及び設計者に提出すること。</p>
3. 詳細設計の作成	<p>1) タブレットコンテンツ1種、アニメーション2種、インタビューコンテンツ1種、計4種類の詳細設計(演出ソフト製作のために必要な台本、絵コンテ、音響チャート、演出チャート、場面(画面)展開図、インターフェイスプログラムデザイン等)を作成すること。</p> <p>2) 詳細設計は、発注者及び設計者による中間検査を行う。検査の基準は、発注者及び設計者の任意の判断によるものとし、web会議等遠隔で行う。中間検査で、不合格の場合は再度の詳細設計を、履行期限の変更することなく作成するものとする。これらに要する費用は請負者にて負担すること。</p>
4. 映像撮影	<p>1) 中間検査で合格となった詳細設計に基づき、撮影を行う。</p> <p>2) 撮影機材は、以下に示す機材と同等以上のスペックとする。機材について一覧を作成し、発注者及び設計者の承認を得ること。</p> <p>なお、データは3840 x 2160(30p、60M)、48kHz 16b stereoとする。</p> <p>(地上映像撮影)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Sony α7 III</li> <li>・ FE 16-35mm F2.8</li> <li>・ FE 24-70mm F2.8</li> <li>・ FE 70-200mm F2.8</li> <li>・ FE 70-300mm F4.5-5.6など</li> <li>・ SACHTLER ザハトラー-FLOWTECH 75</li> <li>・ SDXC UHS-II V60 250R</li> <li>・ RONIN S、電動スライダー</li> <li>・ レフ板、固定用具、小型LED照明など</li> </ul>

## 21章 施工計画書への記載

1. 受注者は、技術提案書に記載した提案について、発注者が競争参加資格の確認結果通知時に「実施してはならない」と通知した提案を除き、施工計画書に記載しなければならない。
2. 前項にかかわらず、次に掲げる提案については、発注者と受注者間の協議を経て、施工計画書を作成するものとする。
1) 技術提案として求めた提案
2) 発注者が競争参加資格の確認結果通知時に「加算点を付与する対象とならない」として通知した提案のうち、工事施工途中の条件変更等によって、当該提案内容を変更することが合理的な場合は適切に変更手続を行うものとする。

## 22章 施工にあたって

<p>【全般】</p> <p>○工事実施時期</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 工事は、できるだけ開散期に行うこと。できるだけ休園日に行うこと。</li> <li>・ 休館が必要な場合は、その時期をできるだけ開散期に設定すること。</li> </ul> <p>○現地調査</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現地調査にて詳細実測を行い、その寸法をもとに制作図を作成すること。</li> </ul> <p>【温室】</p> <p>○工事影響範囲内の植物</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 工事影響範囲内にある植物は、発注者にて移植を行う。</li> <li>・ 着手時、全体工事工程表を作成して、温室での工事予定を明確にすること。</li> <li>・ 全体工事工程表をもとに、発注者と打ち合わせを行い、温室の植物を移植する範囲と移植完了予定日を確定すること。</li> </ul> <p>○土</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 温室内には、希少な植物もあることから、土の搬入・搬出に関しては、事前に発注者と協議を行うこと。</li> </ul> <p>○湿度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 温室内は、湿度が高い時期がある。その時期にシート貼を行うと剥がれや膨れが生じる可能性があるため、配慮した工程とすること。</li> </ul> <p>【旧洋館休止所】</p> <p>○国指定の重要文化財</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 旧洋館休止所は、国指定の重要文化財に指定されている。建物への施工は行わないこと。工事に当たっては、十分な養生を行うこと。</li> </ul> <p>【グラフィック】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ グラフィックについては、グラフィックリストの特記事項を参照すること。</li> </ul>
---

公園名称	新宿御苑		
工事名称	令和8年度新宿御苑展示工事		
図面名称	建築改修工事特記仕様書-11	縮尺	-
年月日	令和8年3月	図面番号	013
会社名	合同会社わくわくデザイン	照査	設計
事務所名	環境省新宿御苑管理事務所	照査	設計

■日本語原稿の文字数

項目	タイトル	本文1	本文2	本文3	本文4	本文5	本文6		文字数
温室									
	文字数/項目	20	150	3	50	10	300	200	
はじめに					1	9			140
案内マップ						1			10
世界の主な熱帯地域	1	1							170
暮らしのなかの植物	1	1	5						185
熱帯池沼ゾーン	1	1							170
水辺での生活	1	1		4					370
熱帯低地ゾーン	1	1							170
雨量で変わる多様な植生	1			3					170
仏教の三大聖樹	1	1		3					320
幹に実がつく植物	1	1		3					320
沖縄ゾーン	1	1							170
マングローブ林	1	1							170
琉球列島の成り立ち	1	1							170
絶滅の危機	1	1			3				200
小笠原ゾーン	1	1							170
植物はどのようにやってきたの？	1			3					170
絶滅の危機	1	1			4				210
希少種の保全と生息域外保全	1	1			4				210
乾燥地ゾーン	1	1							170
乾燥に耐えるしくみ	1	1							170
見渡してみよう					1				10
シダの新芽をみてみよう				1					50
熱帯山地ゾーン	1	1							170
特徴的な自然環境	1	2							320
香料植物	1	1			3				200
おもしろ植物ゾーン	1	1		3					320
温室の歴史	1	3							470
温室の役割	1	3							470
具体的な活動	1	3							470
新宿御苑とラン栽培	1	1			1				220
野生復帰の栽培試験	1	1		2					270
バックヤード温室・戦前の温室の遺構						1			300
戦前の温室の遺構							1		200
項目数	27	32	5	24	25	1	1		
合計文字数	540	4,800	15	1,200	250	300	200		7,305

項目	タイトル	本文1	本文2	タイトル	本文3	本文4		文字数
旧洋館御休所								
	文字数/項目	20	150	20	10	70	100	
イントロダクション	1	1	7					191
各室紹介				9	9			540
見どころ紹介						2		600
項目数	1	1	7	9	9	2		
合計文字数	20	150	140	90	630	200		1,230

項目	タイトル	本文1						文字数
森の家								
	文字数/項目	10	200					
里地里山	3	1						210
項目数	3	1						
合計文字数	30	200						230

■特記事項

- 共通
  - ファクトチェック（事実確認）
    - 各コンテンツは有識者に内容の事実確認を行うこと。有識者の人選は、受託者にて行い、発注者の承認を得ること。
- 解説文
  - 解説文の作成
    - 解説文の種類数は、五カ国語となる。
    - 四カ国語（日本語 / 中国語（簡体字） / 中国語（繁体字） / 韓国語）を作成する。
    - 英語の解説文は、別途業務にて作成する。
- 英文の翻訳（別途業務）の工程
  - 英文の作成にあたっての方針
    - 英語原稿の作成にあたっては、以下の観光庁ウェブサイト「【英語】地域 観光資源の多言語解説整備支援事業」に掲載される最新のガイドライン等に基づき実施する。  
https://www.mlit.go.jp/kankocho/jirei\_shien/tagengo\_eng.htm
    - 英語ネイティブの執筆者等の体制で英語原稿の作成を行い、環境省（本省）が別業務にて確保する英語ネイティブ校閲者の確認を受ける。

- 工程
  - ※以下の工程を加味して、全体工事工程表を立案すること。
  - 日本語の解説文が完成次第、環境省に提出すること。それをもとに、英文の翻訳は開始される。
  - 英文の翻訳の作成には、約1ヶ月程度を必要期間として見込むこと。
  - 英文の翻訳の作成後、環境省（本省）が別業務にて確保する英語ネイティブ校閲者の確認が行われる。
  - 初回確認は2週間程度、2回目確認は1週間程度の必要期間が見込まれる。修正対応は、英文翻訳者により行われる。修正対応も含めると、約1ヶ月程度～の必要期間が見込まれる。
  - 英文の翻訳にあたって、資料の提供
    - 英文の作成にあたり、以下の資料を環境省に提出すること。
      - 日本語の解説文（Microsoft 社 Word ファイル形式）
      - 日本語の解説文を反映させたグラフィック図（PDF ファイル形式）
    - 英文の翻訳業務の受託者より、内容の質疑があった時は、即時、回答すること。

- 多言語 PDF
  - 多言語 PDF の作成
    - 展示グラフィックは、二カ国語表示（日本語 / 英語）とする。
    - 三カ国語（中国語（簡体字） / 中国語（繁体字） / 韓国語）は、グラフィックに QR コードを用意

■CG イラスト、イラスト、写真リスト

項目	キャプション	数量	単位
温室			
CGイラスト			
		数量	単位
世界の熱帯地域の地図	W530×H320程度	1	点
沖縄の位置図	W530×H320程度	1	点
琉球列島の成り立ち	W530×H640程度	1	点
絶滅の危機	W320×H220程度	3	点
小笠原の位置図	W530×H320程度	1	点
日本植物園協会の拠点マップ	W320×H220程度	1	点
		8	
イラスト			
		数量	単位
暮らしのなかの植物	W170×H170程度	5	点
マングローブの植生構造	W530×H320程度	1	点
植物はどのようにやってきたの？	W530×H220程度	3	点
乾燥に耐えるしくみ	W530×H640程度	1	点
シダの新芽をみてみよう	W200×H200程度	1	点
香料植物	W320×H220程度	3	点
おもしろ植物	W370×H320程度	3	点
		17	
写真			
		数量	単位
新規撮影		10	点
購入（熱帯環境、熱帯植物など）		27	点
購入（植物キャプション）		18	点
環境省より入手（植物キャプション以外）		20	点
環境省より入手（植物キャプション）		13	点
小笠原遺産センター等より入手		4	点
地方自治体等より入手（植物キャプション）		3	点
		95	
旧洋館御休所			
写真			
		数量	単位
公文書館等より入手		2	点
		2	
森の家			
イラスト			
		数量	単位
里地里山の概要	W640×H480程度	1	点
		1	
写真			
		数量	単位
地方自治体等より入手		2	点
		2	

項目	数量	単位
温室 新規撮影 写真		
	数量	単位
種子の保存のための調整作業の様子	1	点
保存している種子を播種の様子	1	点
絶滅危惧植物の手入れの様子	1	点
発芽実験の準備の様子	1	点
バックヤードツアーの様子	1	点
採取した種子のクリーニング作業の様子	1	点
洋ランの栽培作業の様子	1	点
野生復帰の栽培試験：バックヤードでの作業の様子	1	点
野生復帰の栽培試験：屋外の水辺での作業の様子	1	点
バックヤード温室の外観	1	点

項目	入手方法	数量	単位
温室 テーマ植物キャプション 写真			
	入手方法		
アボカド	購入		
パパイヤ	提供		
ゴレンシ	購入		
カミガヤツリ（抽水植物）	提供		
熱帯性スイレン（浮葉植物）	提供		
トックリラン	提供		
フタバガキの仲間	購入		
インドボダイジュ（印度菩提樹）	提供		
サラソウジュ（沙羅双樹）	提供		
カカオノキ	提供		
ジャボチカバ	購入		
ロウソクノキ	提供		
オヒルギ	購入		
メヒルギ	購入		
オオタニワタリ	購入		
イソノギク	購入		
ミヤコジマソウ	提供		
センカクツツジ	購入		
ムニンツツジ	購入		
ムニンノボタン	購入		
タコノキ	提供		
キンシャチ	購入		
ススキノキ	購入		
ビメオニテツ	提供		
アラビアコーヒー	提供		
キンコウボク	購入		
シナモン	購入		
バニラ	購入		
レモンマートル	購入		
ウツボカズラ	提供		
ウコン	購入		
イヌハギ	地方		
カドハリイ	地方		
アサザ	地方		
	購入	18	点
	環境省より入手	13	点
	地方自治体等より入手	3	点
		34	

公園名称	新宿御苑			
工事名称	令和8年度新宿御苑展示工事			
図面名称	グラフィックリスト	縮尺	-	
年月日	令和8年3月	図面番号	014	
会社名	合同会社わくわくデザイン	照査	設計	
事務所名	環境省新宿御苑管理事務所	照査	設計	

# 温室

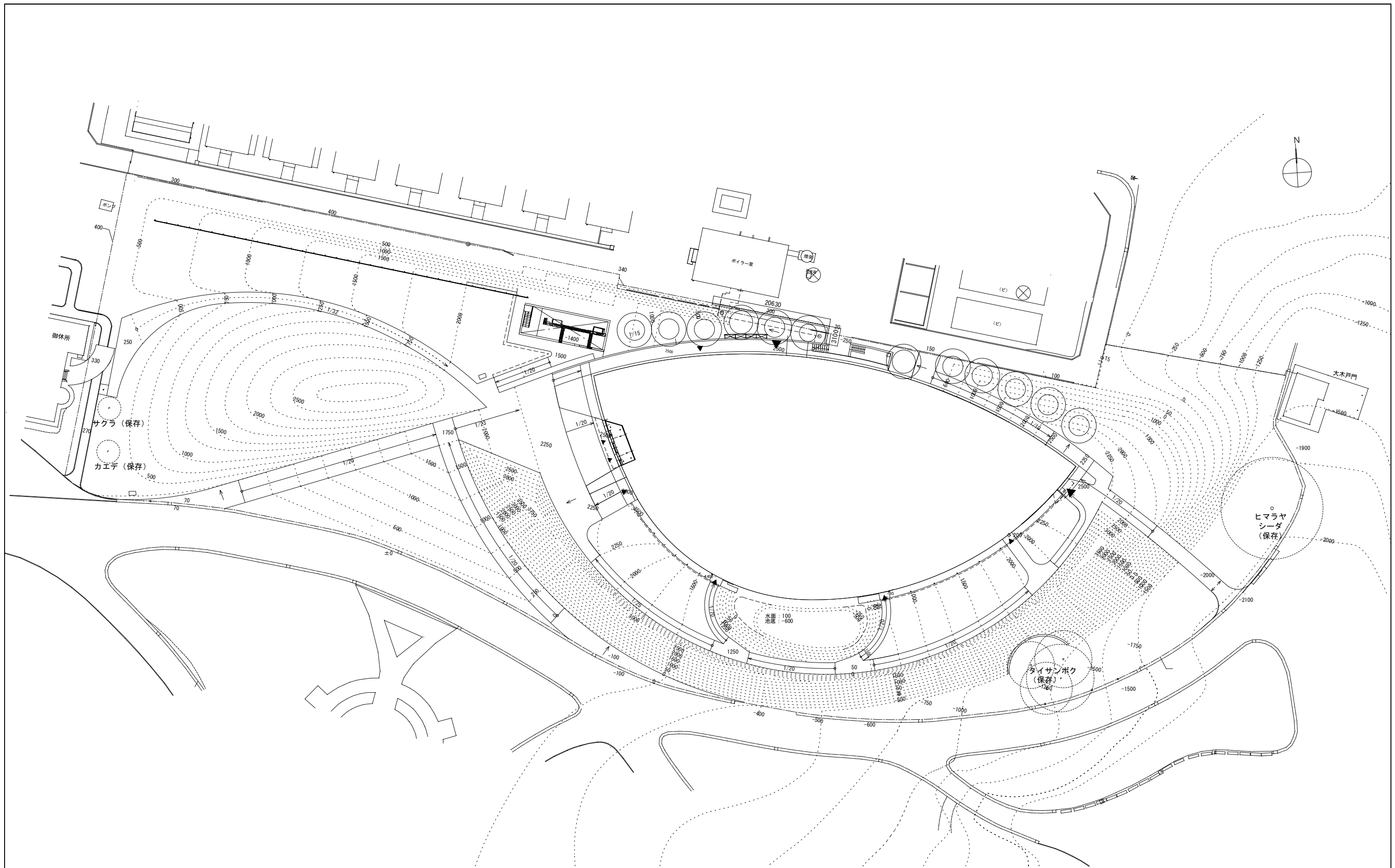
公園名称	新宿御苑		
工事名称	令和8年度新宿御苑展示工事		
図面名称	温室	縮尺	-
年月日	令和8年3月	図面番号	-
会社名	合同会社わくわくデザイン	照査	設計
事務所名	環境省新宿御苑管理事務所	照査	設計

温室 展示構成リスト

1. イントロダクション	1-1. はじめに	温室へようこそ 守っていただきたいこと
	1-2. 案内マップ	
2. 熱帯ゾーン	2-1. 世界の主な熱帯地域	
	2-2. 暮らしの中の植物	
	2-3. テーマ植物キャプション	(1) アボカド (2) パパイア (3) ゴレンシ
3. 熱帯池沼ゾーン	3-1. 熱帯池沼ゾーン	
	3-2. 水辺での生活	水生植物とは 抽水植物 浮葉植物 浮漂植物 沈水植物
	3-3. テーマ植物キャプション	(1) カミガヤツリ (抽水植物) (2) 熱帯性スイレン (浮葉植物)
	4-1. 熱帯低地ゾーン	
	4-2. 降雨量の違いによる多様な植生	熱帯多雨林 (ジャングル) : 生物の宝庫 熱帯季節林 : 乾季を生き延びる植物の工夫 サバンナ : 樹木が点在する草原
4. 熱帯低地ゾーン	4-3. テーマ植物キャプション1	(1) トックリラン (2) フタバガキの仲間
	4-4. 仏教の三大聖樹	ムユウジュ (無憂樹) インドボダイジュ (印度菩提樹) サラソウジュ (沙羅双樹)
	4-5. テーマ植物キャプション2	(1) インドボダイジュ (印度菩提樹) (2) サラソウジュ (沙羅双樹)
	4-6. 幹に実がつく植物	カカオノキ ジャボチカバ ロウソクノキ
	4-7. テーマ植物キャプション3	(1) カカオノキ (2) ジャボチカバ (3) ロウソクノキ
	5. 沖縄ゾーン	
	5-1. 沖縄ゾーン	
5-2. マングローブ林		
5-3. テーマ植物キャプション1	(1) オヒルギ (2) メヒルギ	
5-4. 琉球列島の成り立ち		
5-4. テーマ植物キャプション2	(1) オオタニワタリ (2) イソノギク (3) ミヤコジマソウ (4) センカクツツジ	
5-5. 絶滅の危機	生息地の開発 植物の採取 外来植物の影響	
6. 小笠原ゾーン	6-1. 小笠原ゾーン	
	6-2. 植物はどのようにやってきたの?	海流に乗ってやってきた 風に運ばれてきた 鳥によって運ばれてきた
	6-3. テーマ植物キャプション	(1) ムニンツツジ (2) ムニンノボタン (3) タコノキ
	6-4. 絶滅の危機	対策
	6-5. 希少種の保全と生息域外保全	活動

7. 乾燥地ゾーン	7-1. 乾燥地ゾーン	
	7-2. 乾燥に耐える仕組み	
	7-3. テーマ植物キャプション	(1) キンシャチ (2) ススキノキ (3) ビメオニンテツ
8. 熱帯 (上空) ゾーン	8-1. 観察誘導サイン	(1) 見渡してみよう (2) シダの新芽を見てみよう
9. 熱帯山地ゾーン	9-1. 熱帯山地ゾーン	
	9-2. 熱帯山地の特徴的な自然環境	熱帯山地林 雲霧林
	9-3. テーマ植物キャプション1	(1) アラビアコーヒー (2) キンコウボク
	9-4. 香り成分を生活に活用する「香料植物」	香料植物とは
	9-5. テーマ植物キャプション2	(1) セイロンニッケイ (2) パニラ (3) レモンマートル
10. おもろ植物ゾーン	10-1. おもろ植物ゾーン	ウツボカズラ ペゴニア ウコン
	10-2. テーマ植物キャプション	(1) ウツボカズラ (2) ウコン
11. エピローグ	11-1. 温室の歴史	新宿御苑の温室のはじまり 皇室の温室としての発展と戦火 国民の大温室へ
	11-2. 温室の役割	国内外の熱帯・亜熱帯地域の植物を展示 洋ランなど皇室ゆかりの植物を継承 生物多様性保全への貢献
	11-3. 具体的な活動	希少植物の栽培や種子保存 絶滅危惧植物の生息域外保全 日本植物園協会の拠点園として
12. 新宿御苑とラン栽培	新宿御苑とラン栽培の歴史 現在のラン栽培 新宿御苑作出のラン	
13. 屋外の水辺ゾーン	13-1. 屋外水辺ゾーン	野生復帰のための栽培試験
	13-2. テーマ植物キャプション1	(1) イヌハギ (2) カドハリイ (3) アサザ
14. 旧温室跡 バックヤード温室の紹介	14-1. 旧温室の歴史	
	14-2. バックヤードの活動紹介	
	14-3. バックヤードツアーの紹介	
15. 戦前の温室の遺構		

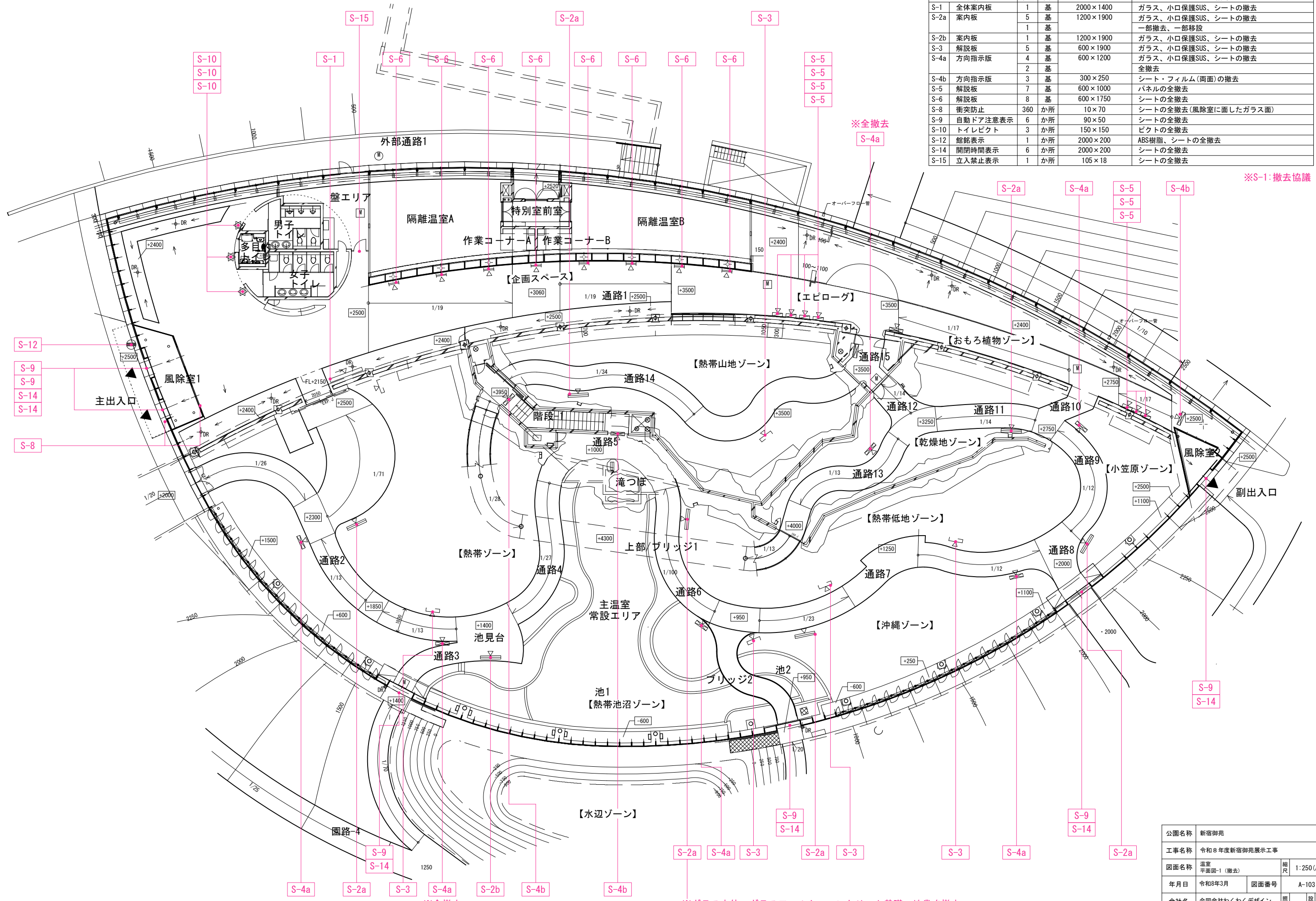
公園名称	新宿御苑		
工事名称	令和8年度新宿御苑展示工事		
図面名称	温室 展示構成リスト	縮尺	-
年月日	令和8年3月	図面番号	A-101
会社名	合同会社わくわくデザイン	照査	設計
事務所名	環境省新宿御苑管理事務所	照査	設計



公園名称	新宿御苑		
工事名称	令和8年度新宿御苑展示工事		
図面名称	温室 配置図	縮尺	1:600 (A3)
年月日	令和7年11月	図面番号	A-102
会社名	合同会社わくわくデザイン	照査	設計
事務所名	環境省新宿御苑管理事務所	照査	設計

■撤去リスト

名称	数量	単位	寸法	備考
S-1 全体案内板	1	基	2000×1400	ガラス、小口保護SUS、シートの撤去
S-2a 案内板	5	基	1200×1900	ガラス、小口保護SUS、シートの撤去
	1	基		一部撤去、一部移設
S-2b 案内板	1	基	1200×1900	ガラス、小口保護SUS、シートの撤去
S-3 解説板	5	基	600×1900	ガラス、小口保護SUS、シートの撤去
S-4a 方向指示版	4	基	600×1200	ガラス、小口保護SUS、シートの撤去
	2	基		全撤去
S-4b 方向指示版	3	基	300×250	シート・フィルム(両面)の撤去
S-5 解説板	7	基	600×1000	パネルの全撤去
S-6 解説板	8	基	600×1750	シートの全撤去
S-8 衝突防止	360	か所	10×70	シートの全撤去(風除室に面したガラス面)
S-9 自動ドア注意表示	6	か所	90×50	シートの全撤去
S-10 トイレビクト	3	か所	150×150	ビクトの全撤去
S-12 館銘表示	1	か所	2000×200	ABS樹脂、シートの全撤去
S-14 開閉時間表示	6	か所	2000×200	シートの全撤去
S-15 立入禁止表示	1	か所	105×18	シートの全撤去



※S-1: 撤去協議

公園名称	新宿御苑		
工事名称	令和8年度新宿御苑展示工事		
図面名称	温室 平面図-1 (撤去)	縮尺	1:250 (A3)
年月日	令和8年3月	図面番号	A-103
会社名	合同会社わくわくデザイン	照査	設計
事務所名	環境省新宿御苑管理事務所	照査	設計

※ガラス本体、ガラスフィルム、コンクリート基礎、地業を撤去 (SUS下枠は移設)

※全撤去





S-1 全体案内板 S=1/40

※特記: ガラス撤去後の下枠溝はシーリング剤にて塞ぐ

名称	設置部位	サイズWxH (mm)	仕様	備考
S-1	内部	2000 x 1400	強化ガラス t=15 表面: 飛散防止フィルム貼り	ガラス小口保護 SUS FB t=3 2B貼付け

特記:  
・グラフィックの写真点数は20点  
・解説文の文字数、8千字  
・写真および解説文の原稿は支給

S-5 全体案内板・解説板 S=1/10, 1/40

特記:  
・グラフィックの写真点数は5点/1箇所  
・解説文の文字数、2千字/1箇所  
・写真および解説文の原稿は支給

S-2a S-2b S-3 S-4a 案内板(ゾーン)・解説板・方向指示板 S=1/40

名称	設置部位	サイズWxH (mm)	仕様	備考
S-2a, S-2b	内部	1200 x 1900	強化ガラス t=19 表面: 飛散防止フィルム貼り	表面: IJシート貼り W1100xH1300 ガラス小口保護 SUS FB t=3 2B貼付け
S-3	内部	600 x 1900	強化ガラス t=19 表面: 飛散防止フィルム貼り	表面: IJシート貼り W500xH1300 同上
S-4a	内部	600 x 1200	強化ガラス t=15 表面: 飛散防止フィルム貼り	表面: 耐候性塩ビシート切文字 油性顔料インクジェット印刷 同上

S-6 解説板 S=1/40

特記:  
・グラフィックの写真点数は5点/1箇所  
・解説文の文字数、2千字/1箇所  
・写真および解説文の原稿は支給

S-7 蓄光式避難方向明示物(消防告示適合品) S=1/10

床用ノンスリップタイプ

S-8 衝突防止表示 S=1/10

S-9 自動ドア注意表示 S=1/6, 1/100

シート貼り

S-10 トイレピクト S=1/10

※特記: 化粧ビス撤去後、コンクリート打ち放し仕上げ壁面を補修

S-11 室名表示 S=1/6, 1/80

S-12 館銘表示 S=1/50, 1/100

特記:  
・ABS樹脂切文字  
ガラスに接着。裏面耐候性塩ビシート切文字貼

S-4b 方向指示板 S=1/40

特記:  
・塩ビシート切文字貼

S-15 立入禁止表示 S=1/6

S-14 開閉時間表示 S=1/10

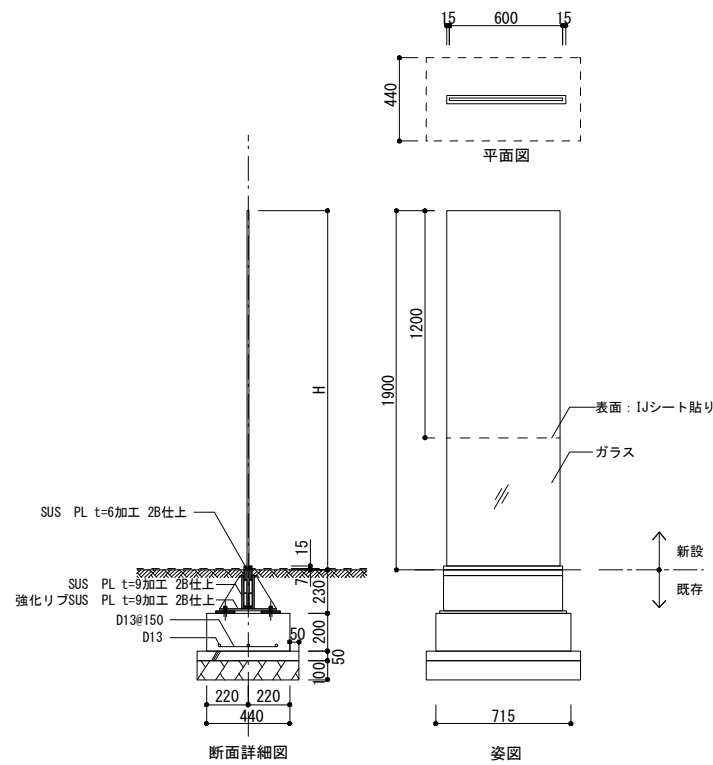
特記:  
・塩ビシート切文字貼

S-13 樹名板 S=1/20

特記:  
・樹名板は1種類に1箇所とし、現場監督職員の指示により設置する事。  
(高木用: 54枚 低木地被用247)  
・表示内容は、和名・学名・英名とする。  
・現場監督職員に見本品を提出し、内容を現場監督職員と協議の上決定する事。

公園名称	新宿御苑		
工事名称	令和8年度新宿御苑展示工事		
図面名称	温室部分詳細図-1 (撤去)	縮尺	図示(A3)
年月日	令和8年3月	図面番号	A-106
会社名	合同会社わくわくデザイン	照査	設計
事務所名	環境省新宿御苑管理事務所	照査	設計

(展示)

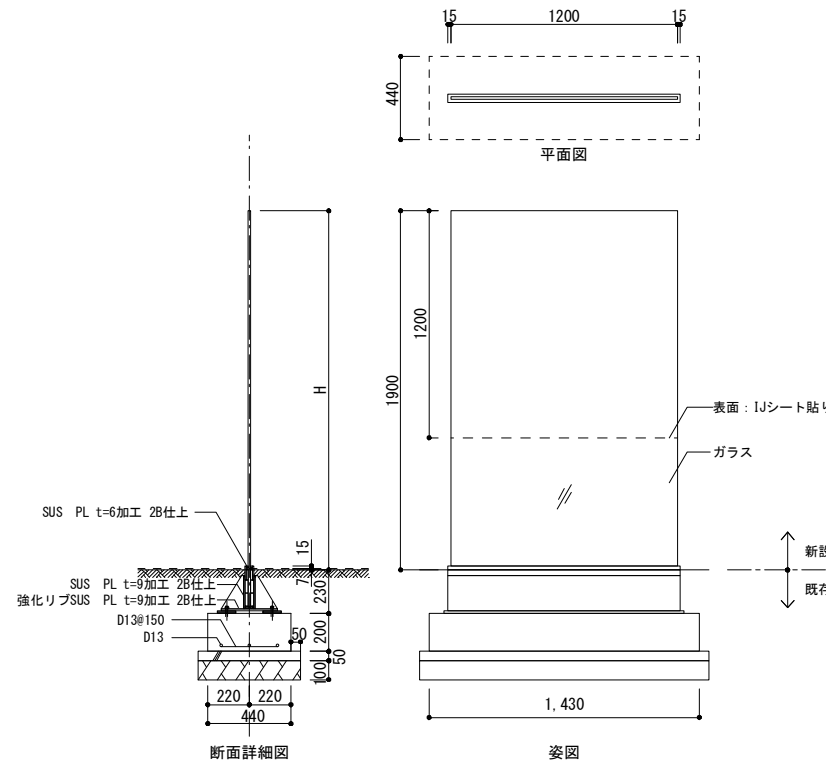


■ガラス仕様

名称	設置部位	サイズWxH (mm)	仕様	備考
S-4a	内部	600 x 1900	強化ガラス t=19 表面: IJシート貼り 600x1200 裏面: 飛散防止フィルム貼り	ガラス三方小口保護 SUS FB t=3 2B貼付け

※特記: ガラス本体は既存下枠へ設置

(展示)

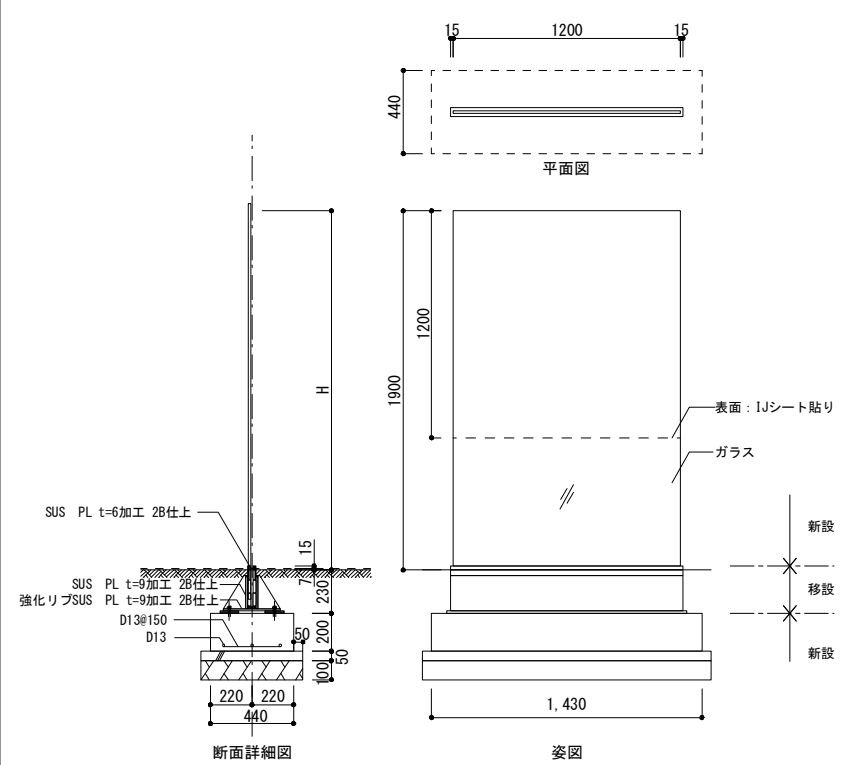


■ガラス仕様

名称	設置部位	サイズWxH (mm)	仕様	備考
S-4b	内部	1200 x 1900	強化ガラス t=19 表面: IJシート貼り 1200x1200 裏面: 飛散防止フィルム貼り	ガラス三方小口保護 SUS FB t=3 2B貼付け

※特記: ガラス本体は既存下枠へ設置

(展示)

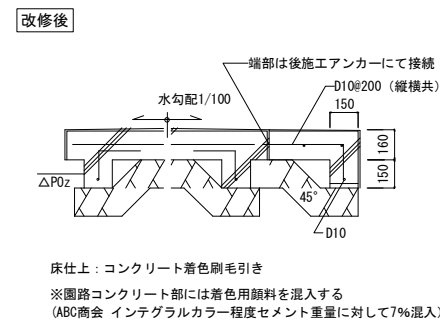
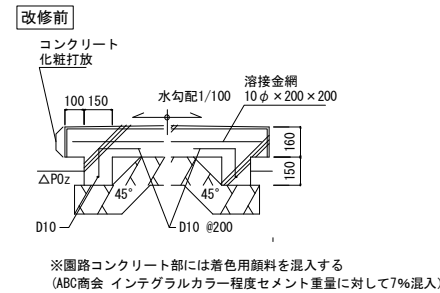
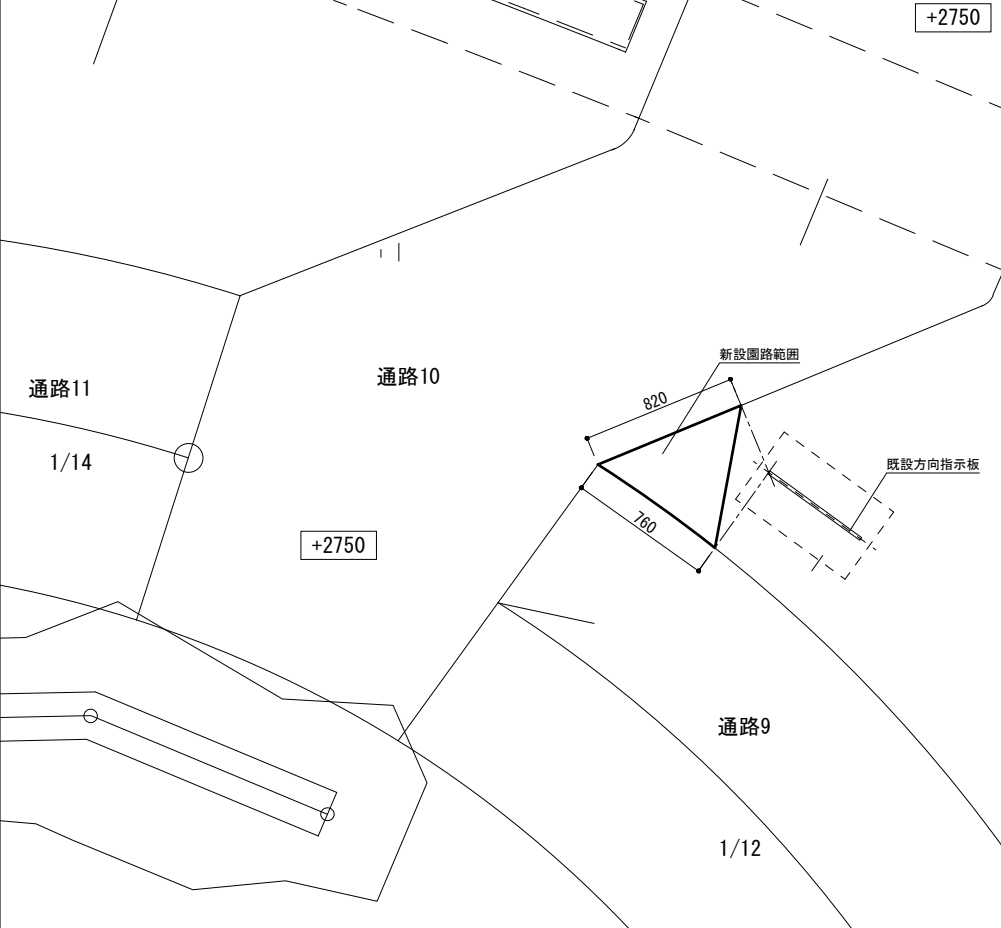


■ガラス仕様

名称	設置部位	サイズWxH (mm)	仕様	備考
S-2a	内部	1200 x 1900	強化ガラス t=19 表面: IJシート貼り 1200x1200 裏面: 飛散防止フィルム貼り	ガラス三方小口保護 SUS FB t=3 2B貼付け

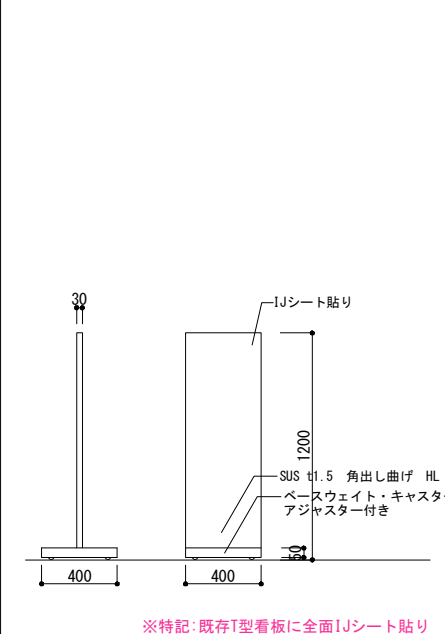
※特記: SUS下枠のみ移設 (地業、コンクリート基礎、ガラス、小口保護SUS、シートは新設)

(躯体)



断面詳細図

(サイン)

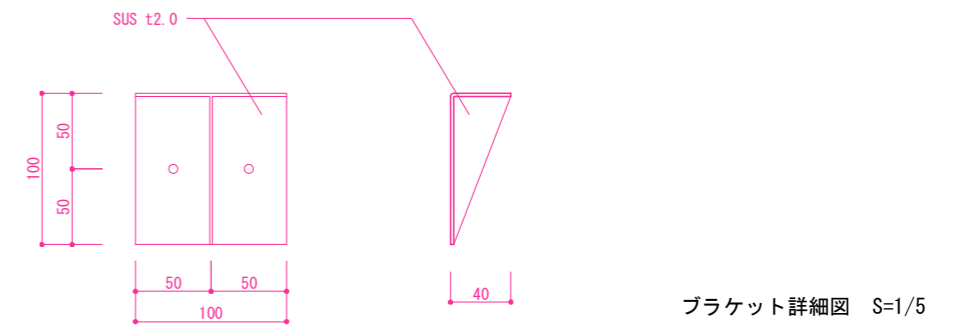
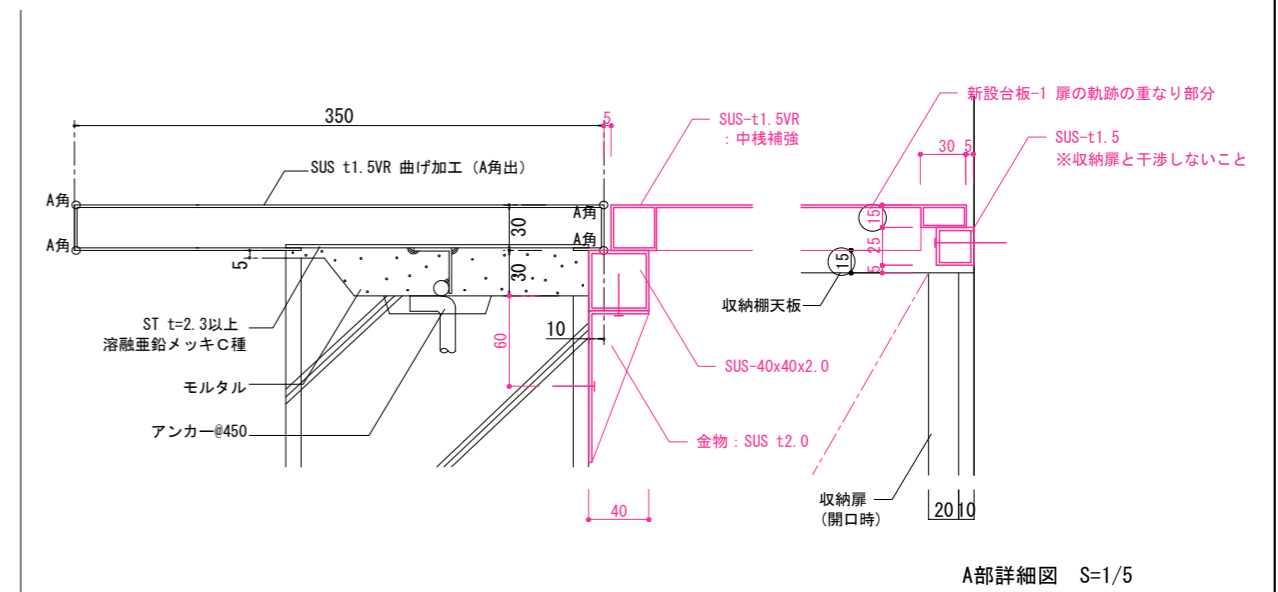
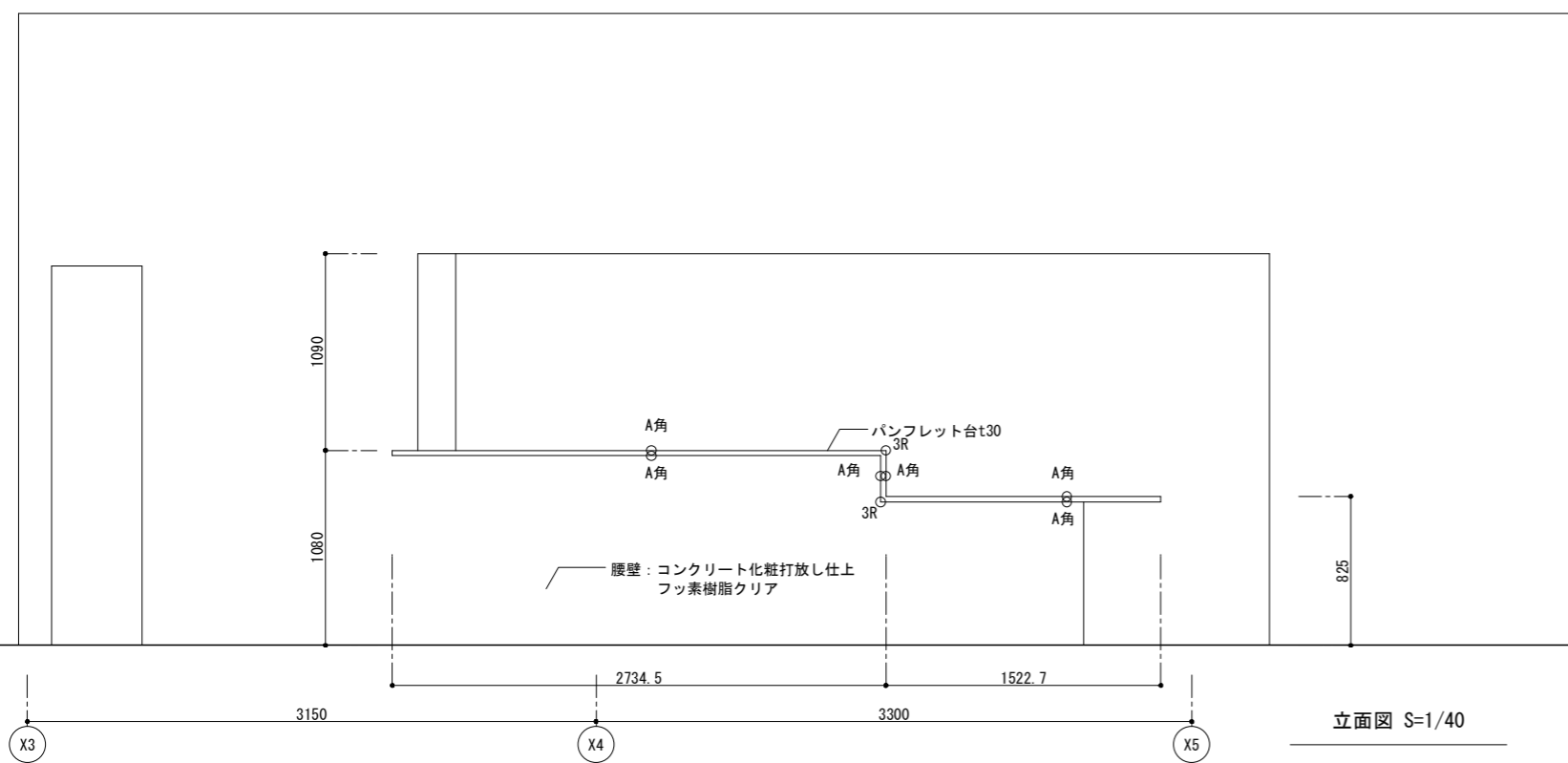
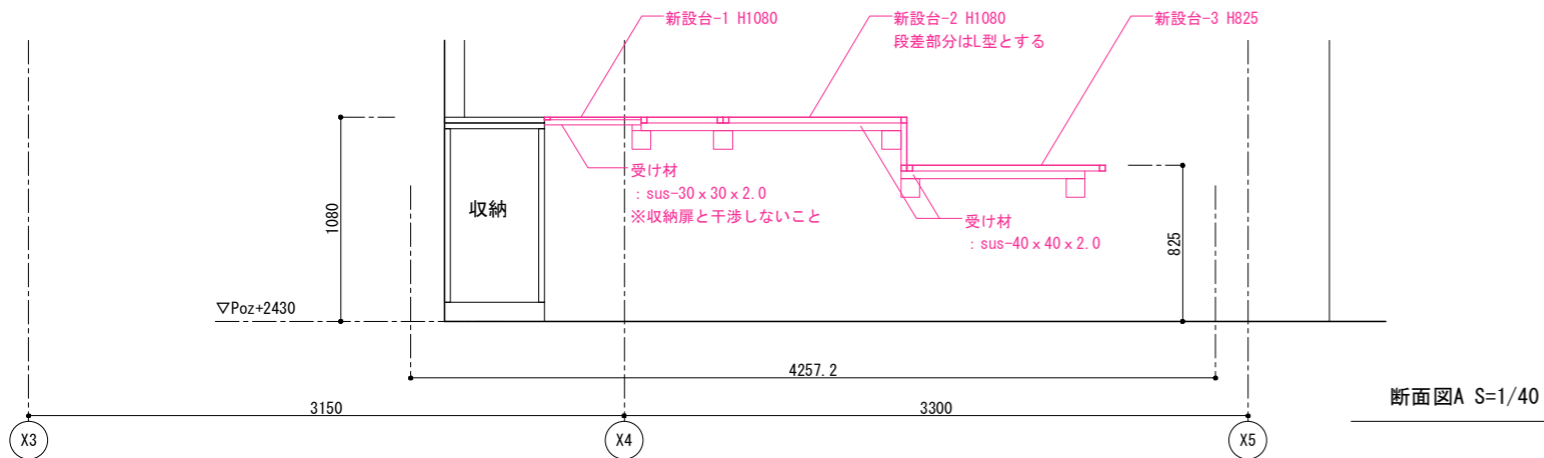
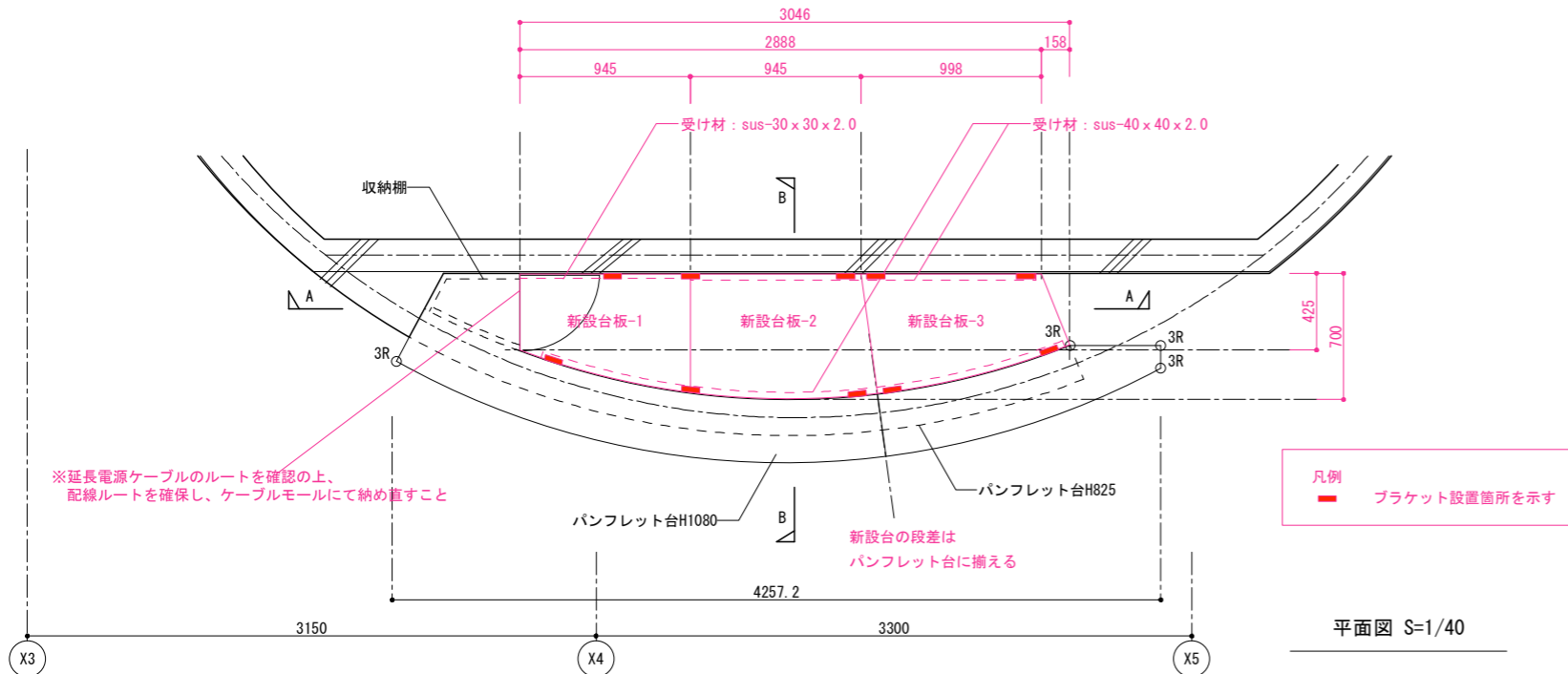


※特記: 既存T型看板に全面IJシート貼り

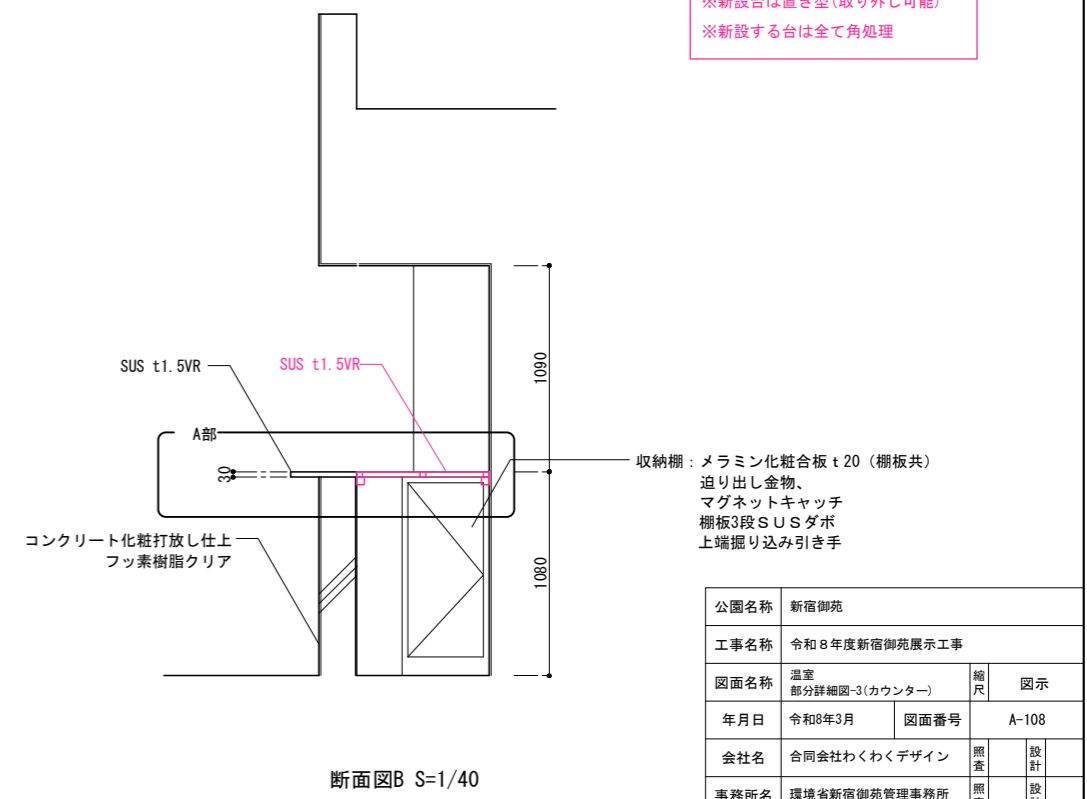
S-2 ゾーンマップ S-4a 解説板(小) S-4b 解説板(大) について

■特記事項  
 ・館内は、常時湿度が高いため、施工後、フィルムの接着面が乾燥しづらく、接着強度が確保できない恐れがある。  
 そのため、強化ガラス面に接着するフィルム(両面とも)は、工場で施工・養生して、接着面が乾燥した後、現地に設置すること。

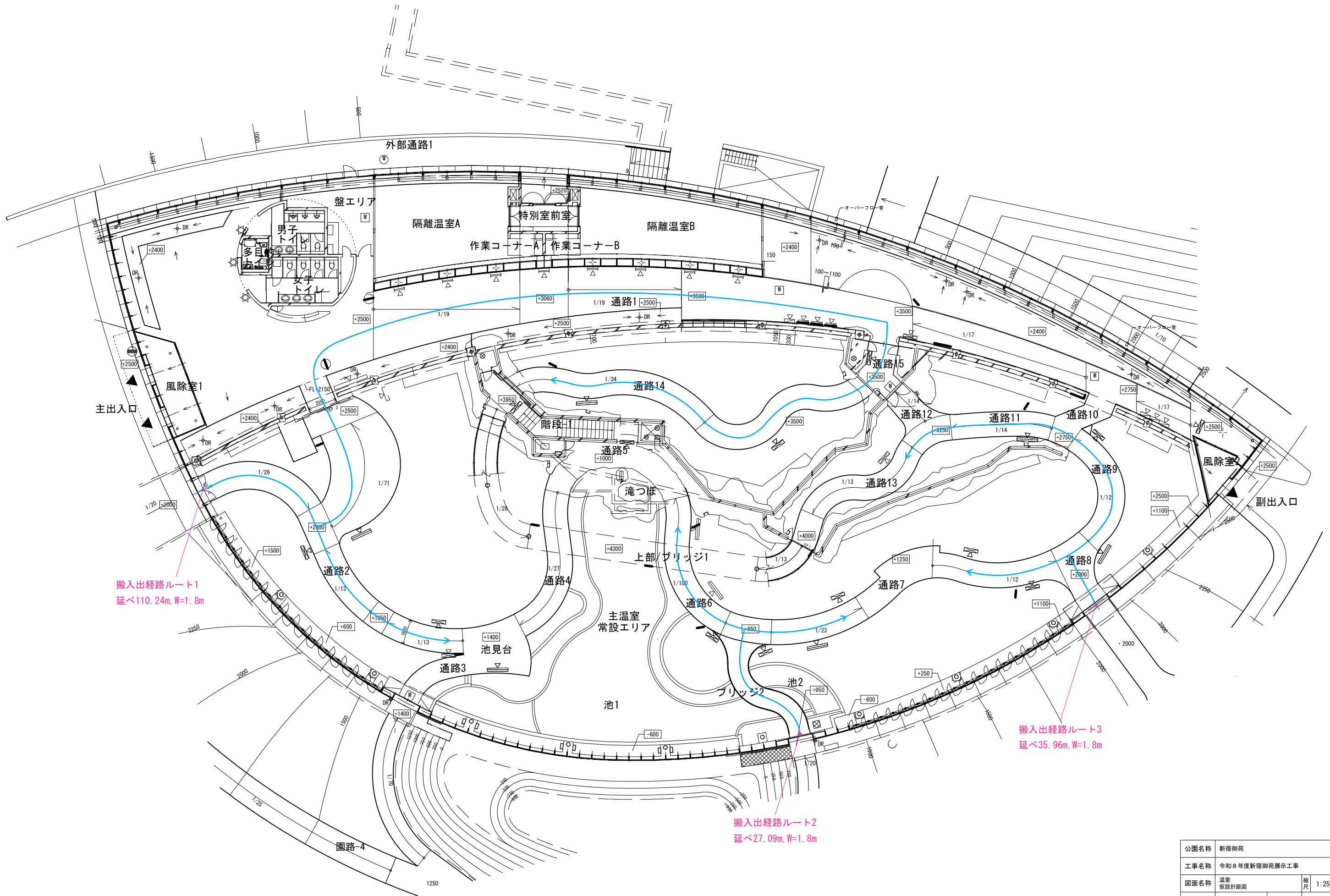
公園名称	新宿御苑		
工事名称	令和8年度新宿御苑展示工事		
図面名称	温室部分詳細図-2 (移設、新設)	縮尺	図示(A3)
年月日	令和8年3月	図面番号	A-107
会社名	合同会社わくわくデザイン	照査	設計
事務所名	環境省新宿御苑管理事務所	照査	設計



特記事項  
 ※新設範囲は赤色で示す  
 ※新設台は置き型(取り外し可能)  
 ※新設する台は全て角処理



公園名称	新宿御苑		
工事名称	令和8年度新宿御苑展示工事		
図面名称	温室部分詳細図-3(カウンター)	縮尺	図示
年月日	令和8年3月	図面番号	A-108
会社名	合同会社わくわくデザイン	照査	設計
事務所名	環境省新宿御苑管理事務所	照査	設計



搬入出経路ルート1  
延べ110.24m, W=1.8m

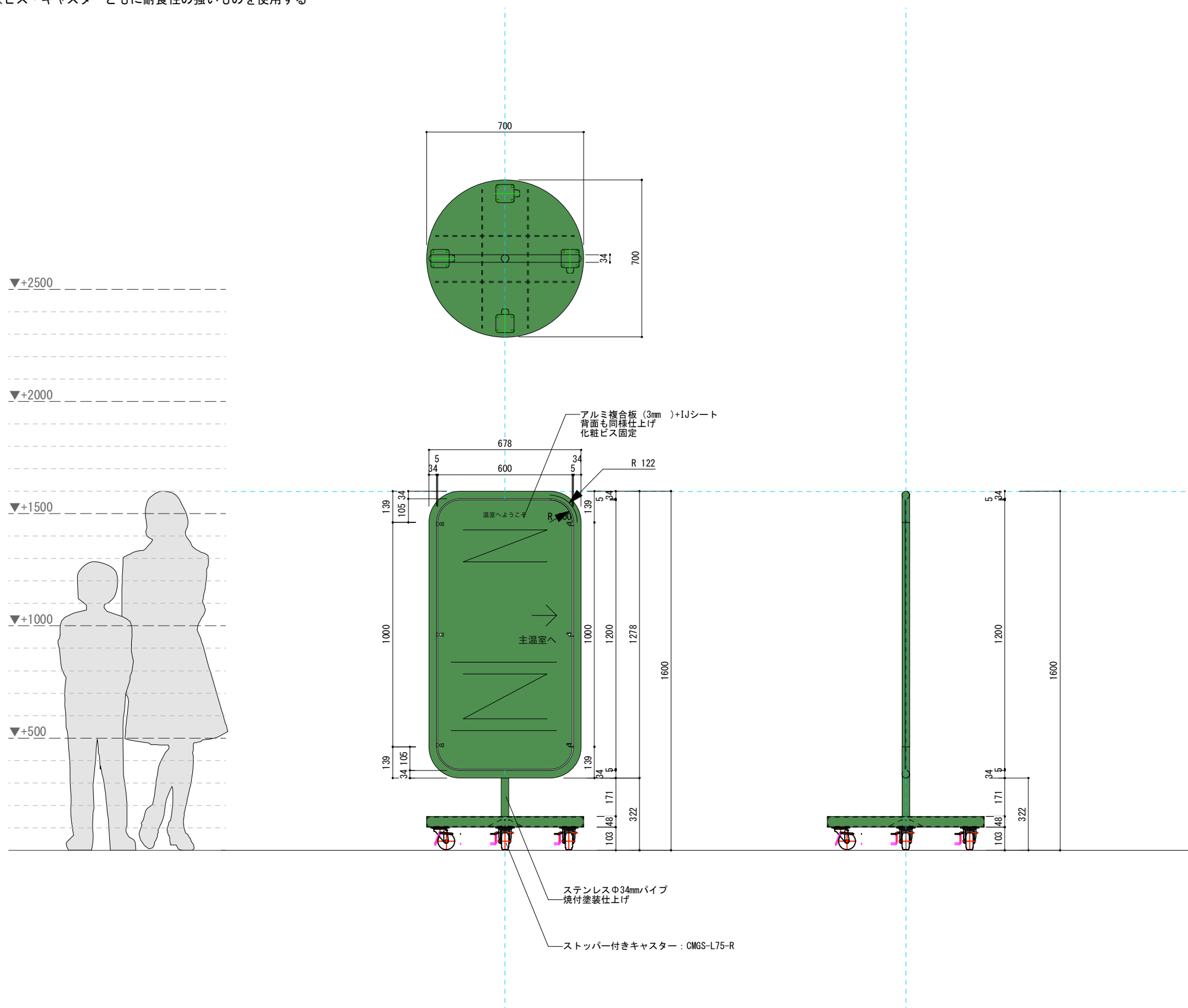
搬入出経路ルート3  
延べ35.96m, W=1.8m

搬入出経路ルート2  
延べ27.09m, W=1.8m

公園名称	新宿御苑		
工事名称	令和8年度新宿御苑展示工事		
図面名称	温室 仮設計画図	縮尺	1:250 (A3)
年月日	令和8年3月	図面番号	A-109
会社名	合同会社わくわくデザイン	照査	設計
事務所名	環境省新宿御苑管理事務所	照査	設計

# S-1 イントロダクション / S-5 解説板 (ラン)

※ビス・キャスターともに耐食性の強いものを使用する

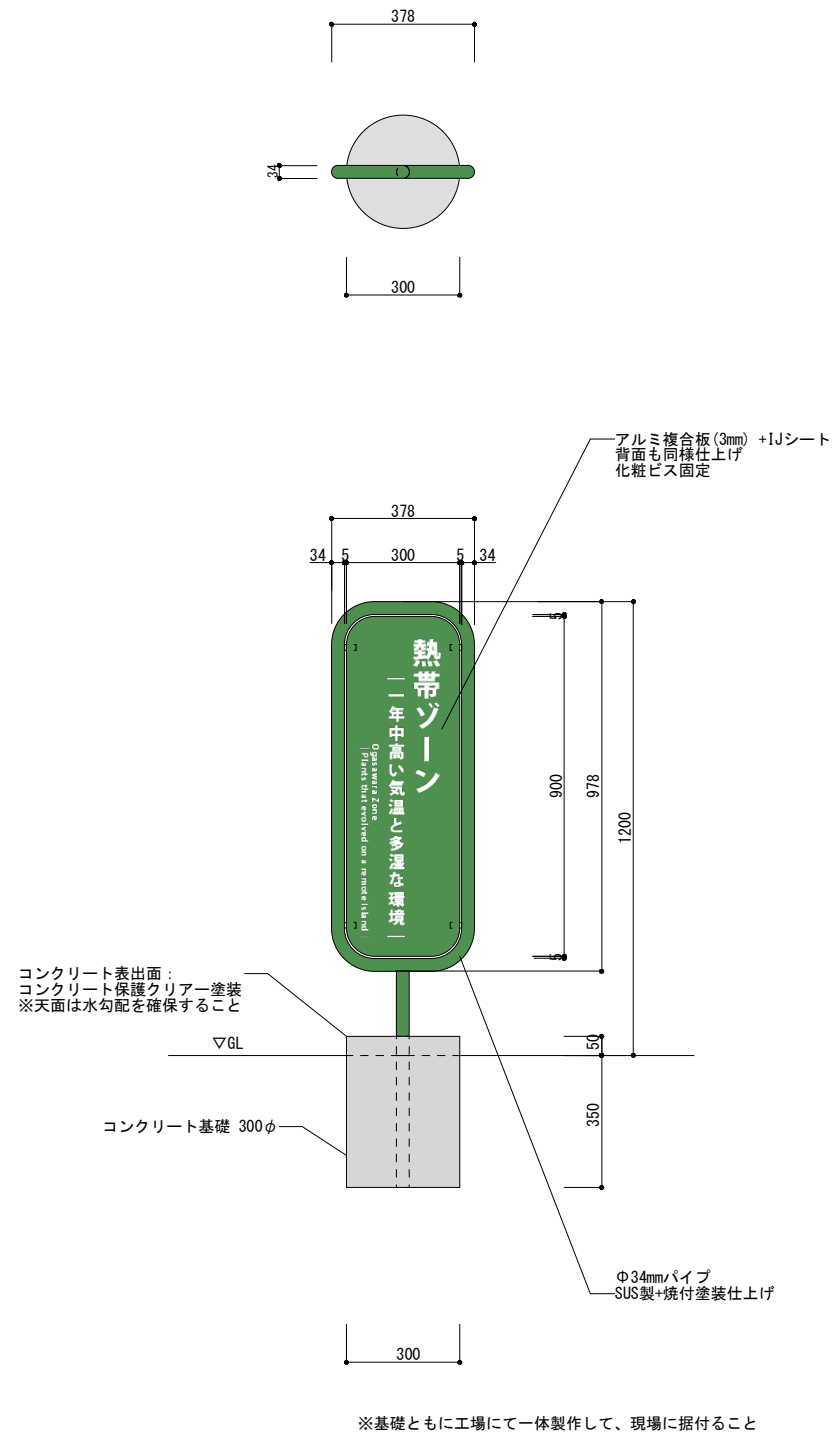


公園名称	新宿御苑		
工事名称	令和8年度新宿御苑展示工事		
図面名称	温室 造作図-1	縮尺	1/20
年月日	令和8年3月	図面番号	B-101
会社名	合同会社わくわくデザイン	照査	設計
事務所名	環境省新宿御苑管理事務所	照査	設計

## S-3 ゾーンサイン

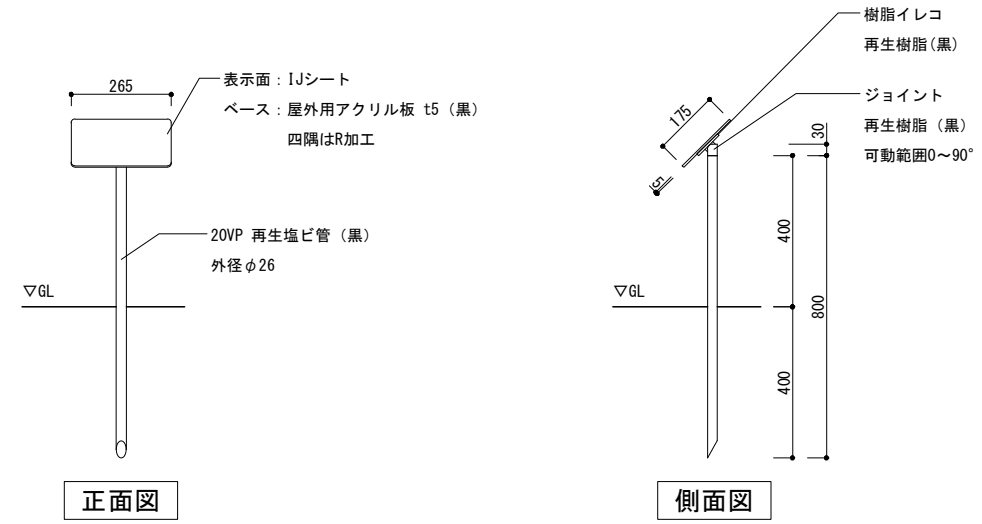
(展示)

※ビス・キャスターともに耐食性の強いものを使用する



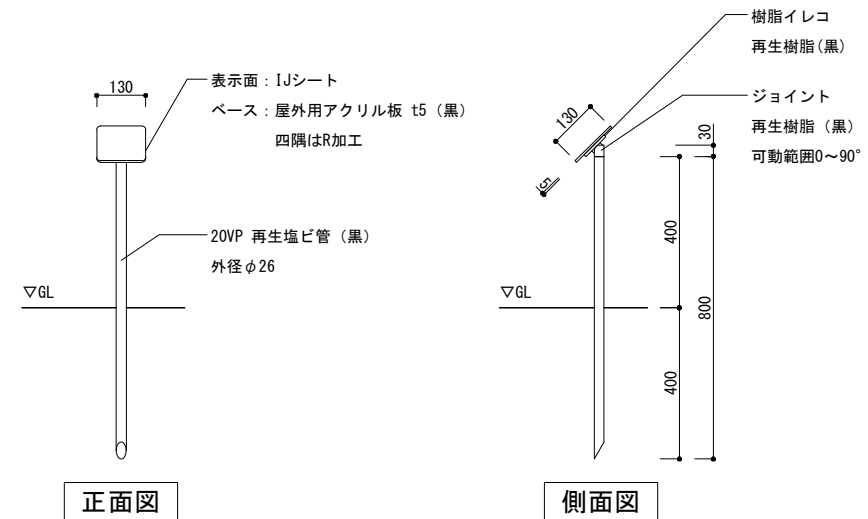
## S-8 植物キャプション

(展示)



## S-2-2 植物に触れないで

(サイン)

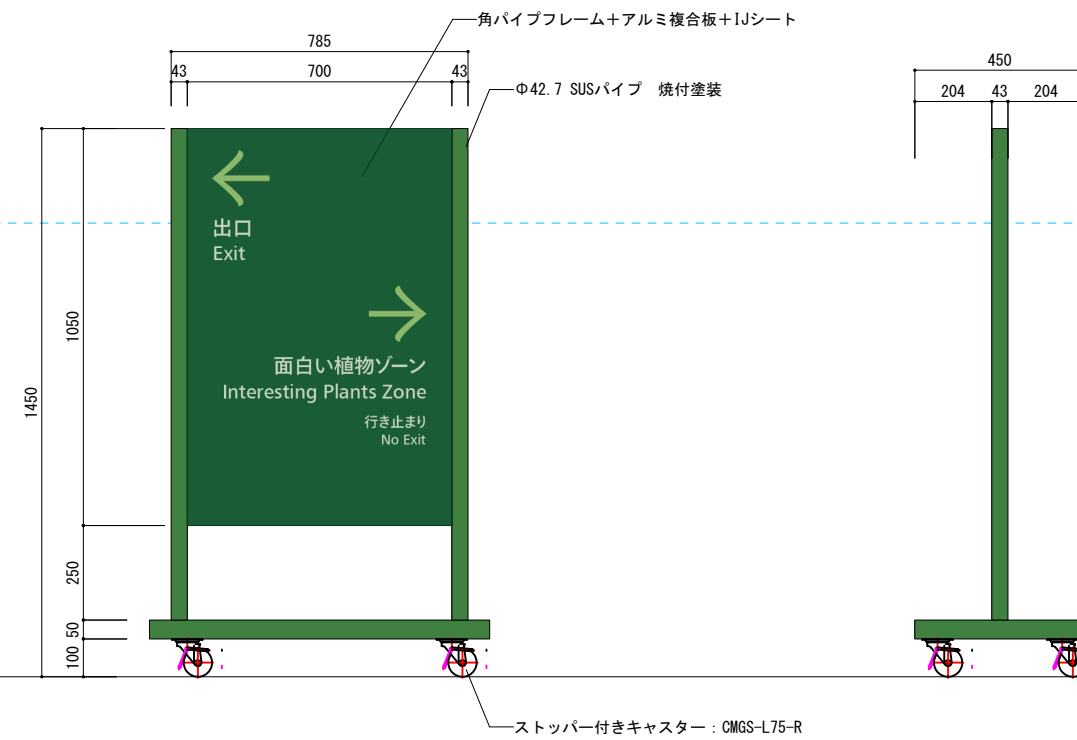
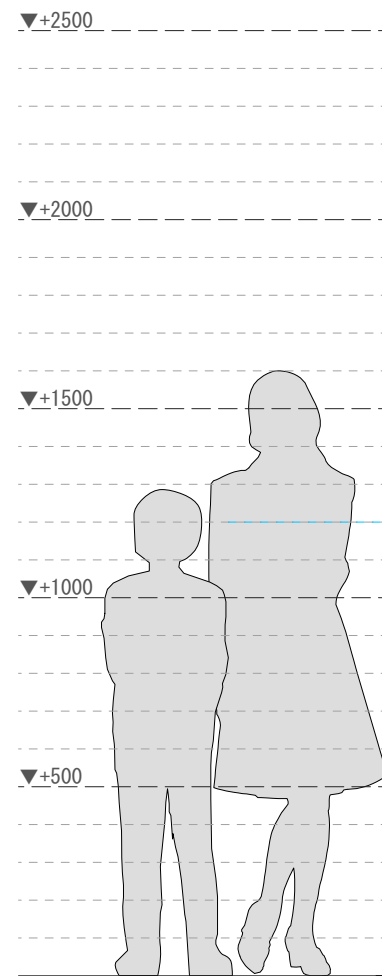
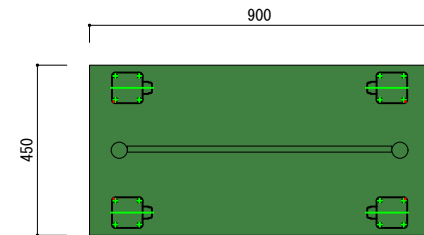


公園名称	新宿御苑		
工事名称	令和8年度新宿御苑展示工事		
図面名称	温室 造作図-2	縮尺	1:20 (A3)
年月日	令和8年3月	図面番号	B-102
会社名	合同会社わくわくデザイン	照査	設計
事務所名	環境省新宿御苑管理事務所	照査	設計

# S-3-1 出口表示

※ビス・キャスターともに耐食性の強いものを使用する

[S-2]  
屋外A1 スタンド  
×1台



公園名称	新宿御苑		
工事名称	令和8年度新宿御苑展示工事		
図面名称	温室 造作図-3	縮尺	1/20
年月日	令和8年3月	図面番号	B-103
会社名	合同会社わくわくデザイン	照査	設計
事務所名	環境省新宿御苑管理事務所	照査	設計

# S-9 花台

※ビス・キャスターともに耐食性の強いものを使用する

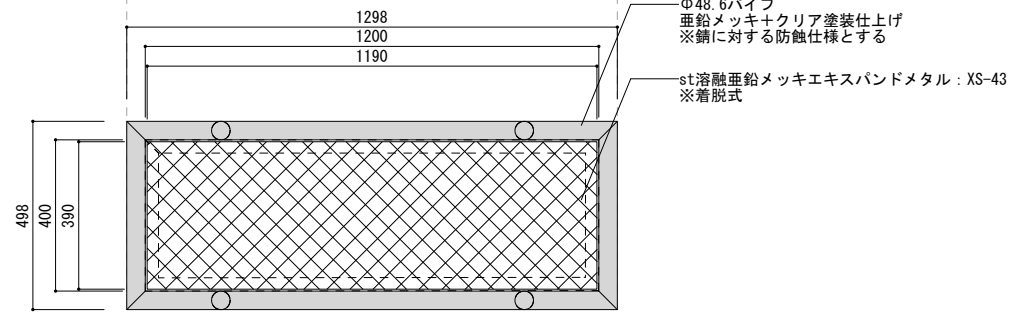
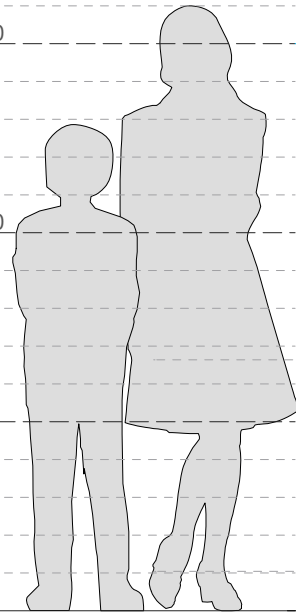
▼+2500

▼+2000

▼+1500

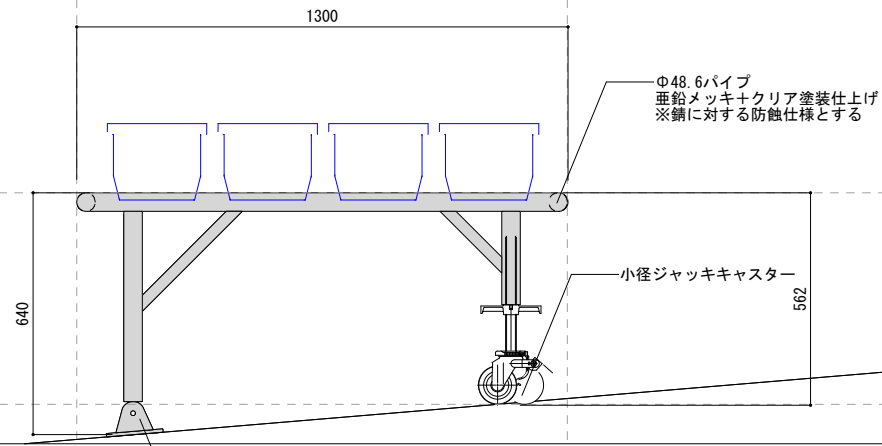
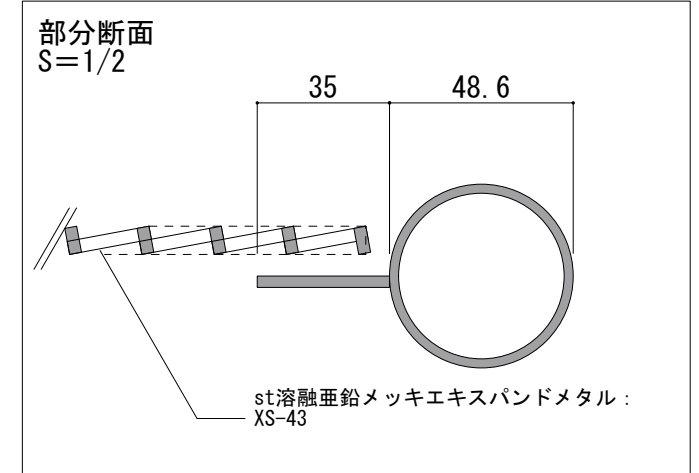
▼+1000

▼+500



Φ48.6パイプ  
垂鉛メッキクリア塗装仕上げ  
※錆に対する防蝕仕様とする

st溶融亜鉛メッキエキスパンドメタル：XS-43  
※着脱式



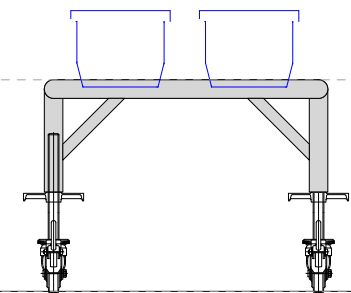
Φ48.6パイプ  
垂鉛メッキクリア塗装仕上げ  
※錆に対する防蝕仕様とする

小径ジャッキキャスター

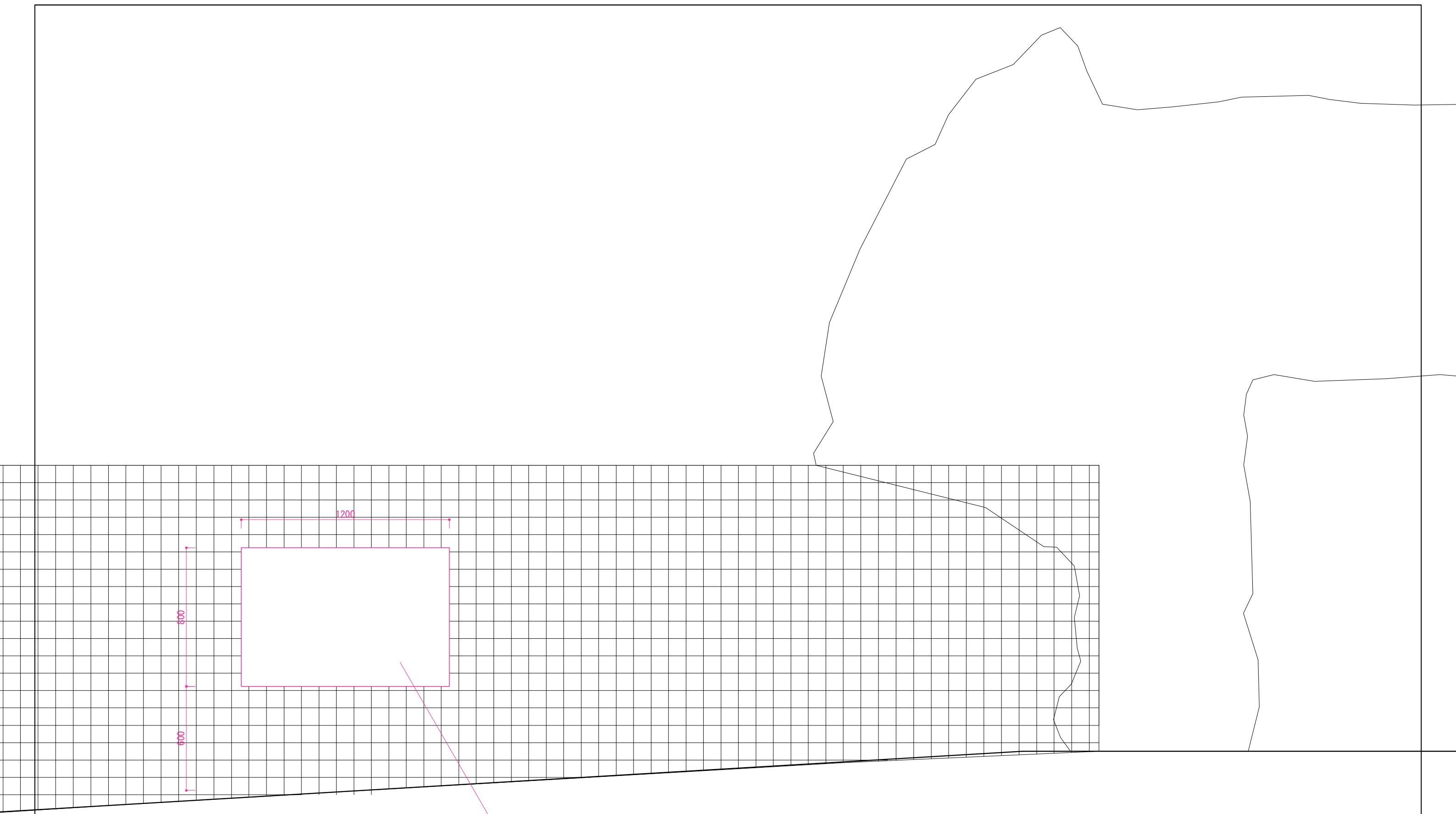
562

4.8°

自在ジャッキベース  
※ジャッキアップなし、ボルト（または溶接）固定で  
抜け止め

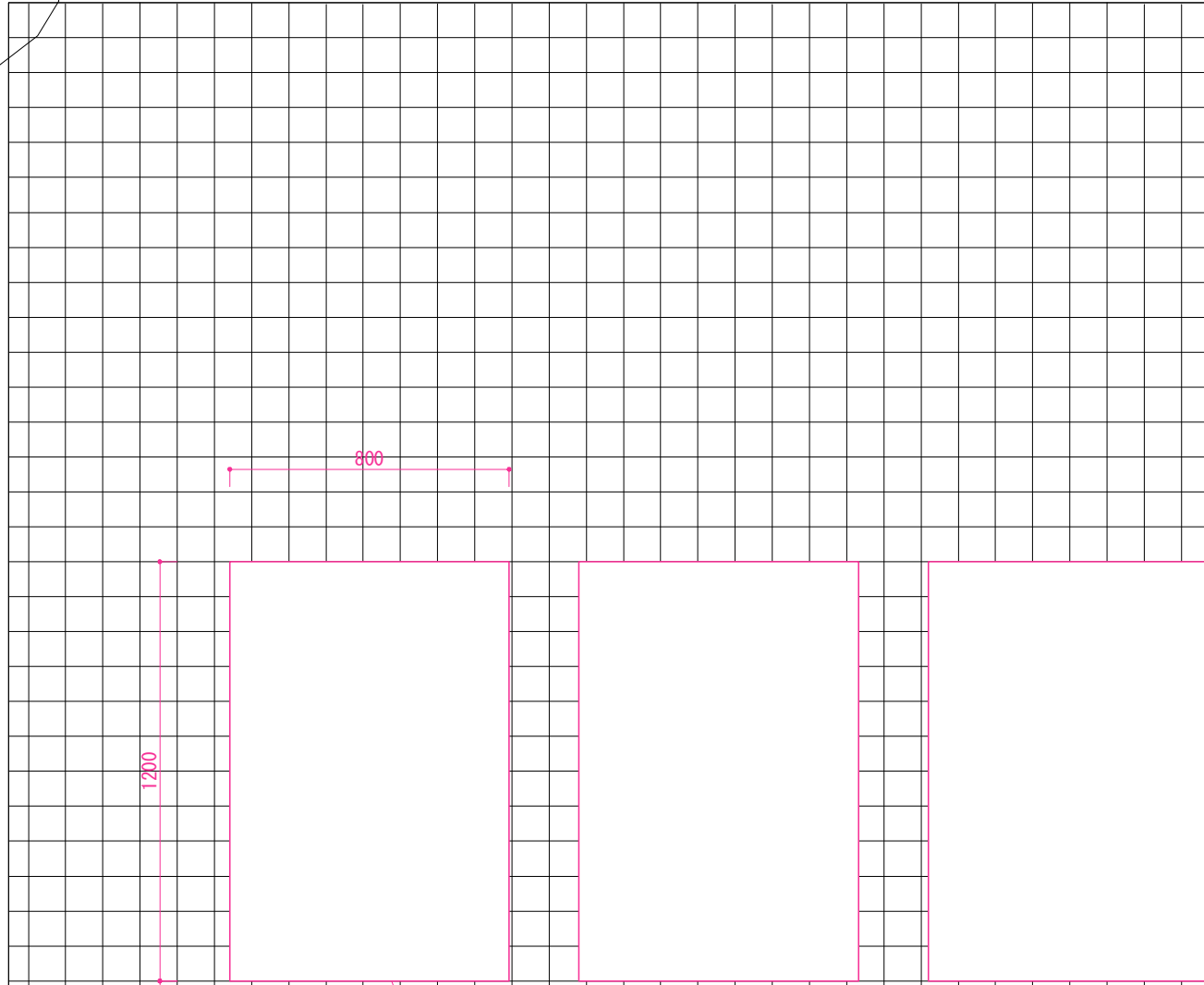


公園名称	新宿御苑		
工事名称	令和8年度新宿御苑展示工事		
図面名称	温室 造作図-4	縮尺	1/20
年月日	令和8年3月	図面番号	B-104
会社名	合同会社わくわくデザイン	照査	設計
事務所名	環境省新宿御苑管理事務所	照査	設計



S-6b  
 アルミ複合板t3 [Jシート貼り  
 (フトンカゴメッシュ面に取り付け)

公園名称	新宿御苑		
工事名称	令和8年度新宿御苑展示工事		
図面名称	温室 造作図-5	縮尺	1:20 (A3)
年月日	令和8年3月	図面番号	B-105
会社名	合同会社わくわくデザイン	照査	設計
事務所名	環境省新宿御苑管理事務所	照査	設計

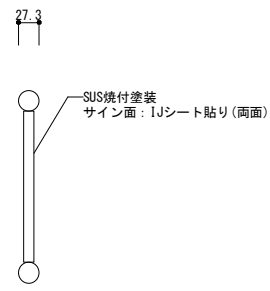


S-6a × 3

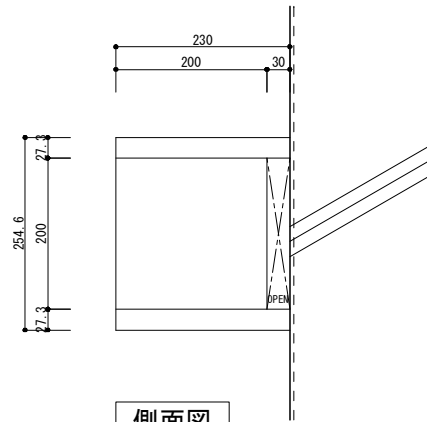
アルミ複合板t3 1Jシート貼り  
(フトンカゴメッシュ面に取り付け)

公園名称	新宿御苑		
工事名称	令和8年度新宿御苑展示工事		
図面名称	温室 造作図-6	縮尺	1:20 (A3)
年月日	令和8年3月	図面番号	B-106
会社名	合同会社わくわくデザイン	照査	設計
事務所名	環境省新宿御苑管理事務所	照査	設計

### S-1-5 トイレ1 (サイン)

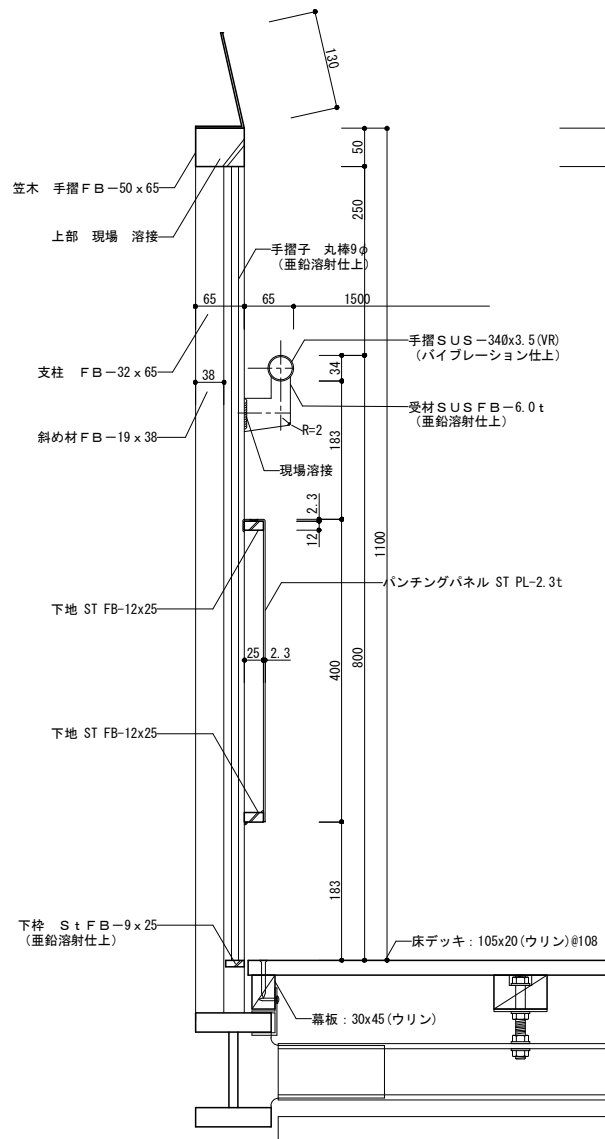


正面図

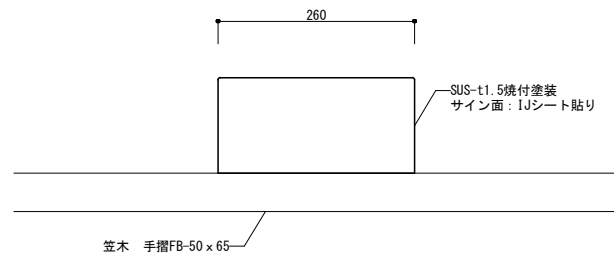


側面図

### S-2-2 植物に触れないで (サイン)



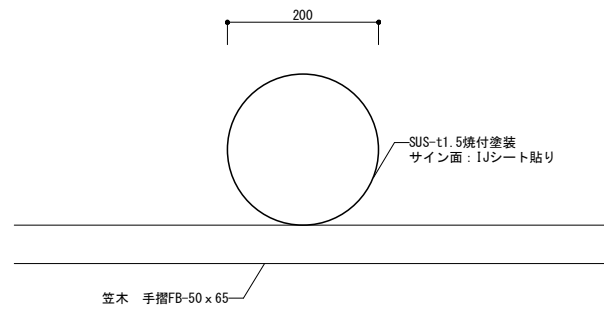
断面図



正面図

※ 異種金属接触腐食の対策を施すこと  
※ 二重の落下防止対策を施すこと

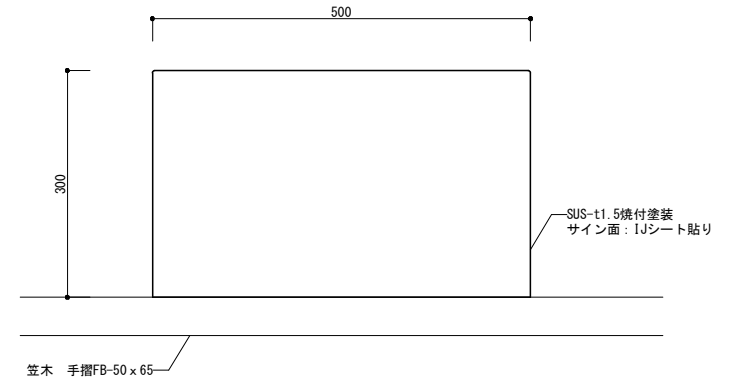
### S-7a 解説板(手摺)-1 (展示)



正面図

※ 異種金属接触腐食の対策を施すこと  
※ 二重の落下防止対策を施すこと

### S-7b 解説板(手摺)-2 (展示)

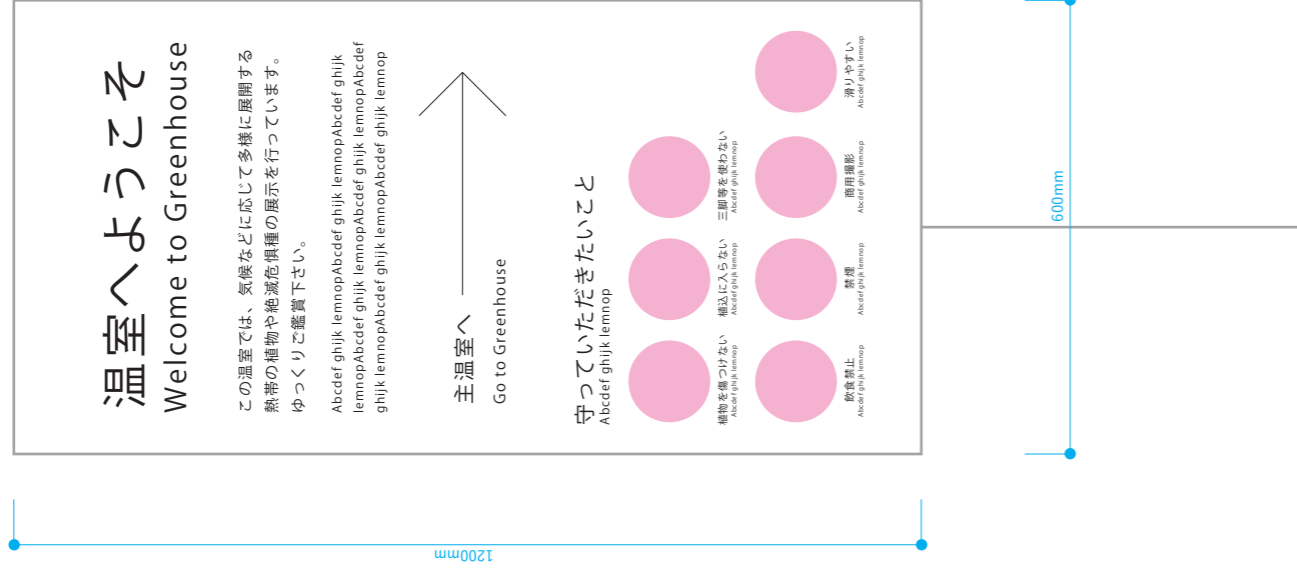


正面図

※ 異種金属接触腐食の対策を施すこと  
※ 二重の落下防止対策を施すこと

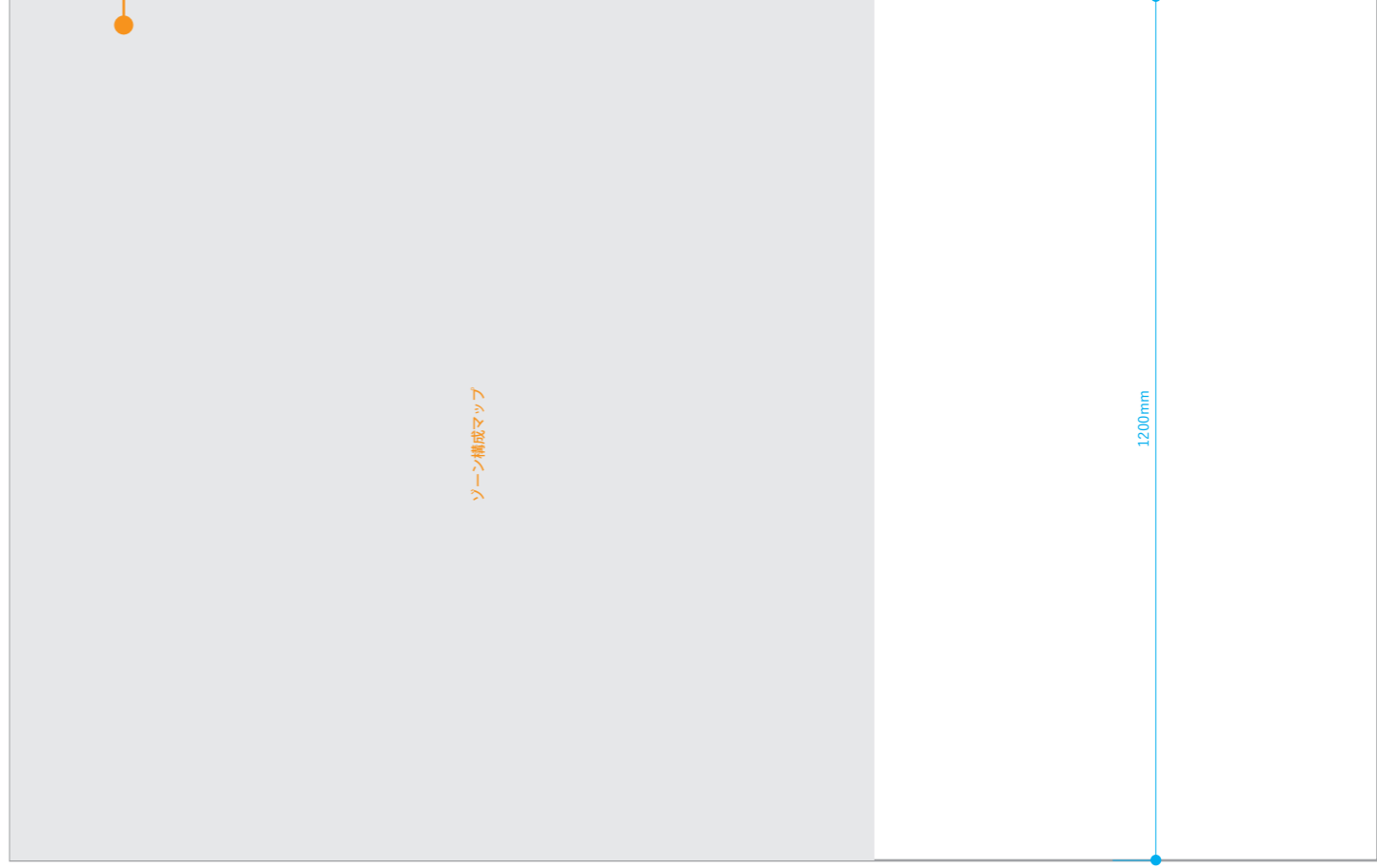
公園名称	新宿御苑		
工事名称	令和8年度新宿御苑展示工事		
図面名称	温室 造作図-7	縮尺	1:10 (A3)
年月日	令和8年3月	図面番号	B-107
会社名	合同会社わくわくデザイン	照査	設計
事務所名	環境省新宿御苑管理事務所	照査	設計

# 1. イントロダクション



S=1/10(A4)

# 2. 熱帯ゾーン

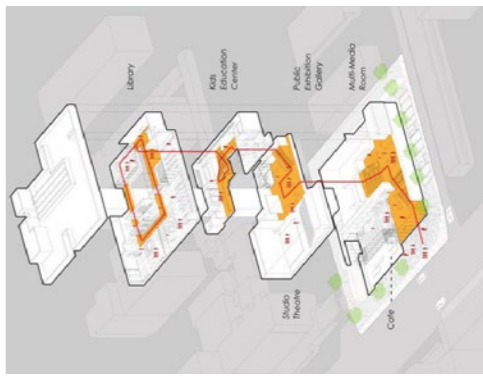


ゾーン構成  
ゾーン名  
動線

平面



マップのイメージ



公園名称	新宿御苑		
工事名称	令和8年度新宿御苑展示工事		
図面名称	温室 グラフィック構成図-1	縮尺	-
年月日	令和8年3月	図面番号	C-101
会社名	合同会社わくわくデザイン	照査	設計
事務所名	環境省新宿御苑管理事務所	照査	設計

S=1/10(A4)

## 2. 熱帯ゾーン

**世界の主な熱帯地域**  
**—一年中高い気温と多湿な環境—**  
**Ogasawara Zone**  
**—Plants that evolved on a remote island—**

The tropical region is a climatic zone characterized by high temperatures and humidity throughout the year covering the equatorial region. The Ogasawara Zone is located in the tropical region of the Pacific Ocean on the eastern side of the equator. Nearly 300,000 plant species grow on Earth, and many of these are used in people's daily lives as food, spices, medicines, building materials, fuelwood, and sources of fiber. Many products exported from tropical regions are also utilized in Japan.




熱帯地域は、赤道を挟む南北回帰線の間に広がる、年間を通して高温多湿な気候帯です。地球上には30万種近い植物が生息しており、これらの中には、食料、香料、薬、建築材や燃料材、繊維原料など、人の暮らしのなかで利用されている植物がたくさんあります。熱帯地域から輸出され、日本で活用されているものもたくさんあります。

世界の熱帯地域

写真 / 植木

600mm


S=1/10(A4)

## 2. 熱帯ゾーン

**暮らしの中の植物**  
**—森の恵み—**  
**Ogasawara Zone**  
**—Plants that evolved on a remote island—**

The island is home to 300,000 diverse plant species. They are valued for their uses in food, medicine, spices, and building materials. Many of these plants are used in daily life, such as in the production of medicine, spices, and building materials. The island's plants are also used in the production of textiles and other products.

地球上には30万種近い植物が生息しており、これらの中には、食料、香料、薬、建築材や燃料材、繊維原料など、人の暮らしのなかで利用されている植物がたくさんあります。熱帯地域から輸出され、日本で活用されているものもたくさんあります。



食 Food イラスト

薬 Medicine イラスト

香辛料 Spice イラスト

繊維 Textile Fiber イラスト

材 Material イラスト

1200mm

600mm

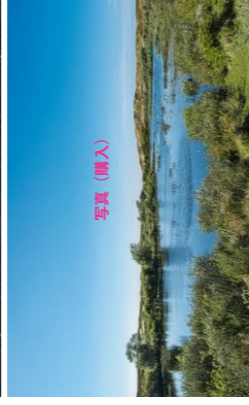
S=1/10(A4)

公園名称	新宿御苑		
工事名称	令和8年度新宿御苑展示工事		
図面名称	温室	縮尺	-
	グラフィック構成図-2		
年月日	令和8年3月	図面番号	C-102
会社名	合同会社わくわくデザイン	照査	設計
事務所名	環境省新宿御苑管理事務所	照査	設計

### 3. 熱帯池沼ゾーン

#### 熱帯池沼ゾーン —暖かい水に育つ植物— Ogasawara Zone —Plants that evolved on a remote island—

熱帯の高湿多湿な気候下に広がる、池や沼、湿地帯の総称です。年間を通じて気温が高く、雨季と乾季による水位変動が激しいのが特徴です。多様な動物植物が生息する「生物多様性の宝庫」として、炭素固定や洪水調節など地球環境維持に重要な役割を担っています。



1200mm

#### 水辺での生活

##### Ogasawara Zone —Plants that evolved on a remote island— 水生植物とは

They arrived by being carried by ocean currents or by attaching themselves to driftwood. Floating coconuts and other things arrived in Ogasawara, which took in water. So not exist in Ogasawara.

湖沼、池、河川、水郷、水田などに生育し、一生のうち少なくとも一時は水中で過ごす植物のことを水生植物とします。水辺の湿地帯に生育する植物も広範囲の水生植物とすることがありますが、これらは「湿性植物」として区別しています。



##### 浮葉植物

根と茎の一部が水中にあり、葉の一部や葉の大部分が水面に出ています。It came riding the ocean currents

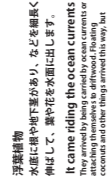
The arrived by being carried by ocean currents or by attaching themselves to driftwood. Floating coconuts and other things arrived this way, but



##### 浮葉植物

根や根茎を水面にはらずに水中に垂らし、葉柄が水面や水中に浮遊します。It came riding the ocean currents

The arrived by being carried by ocean currents or by attaching themselves to driftwood. Floating coconuts and other things arrived this way, but



水生植物とは  
水生植物とは  
水生植物とは

水生植物とは  
水生植物とは  
水生植物とは



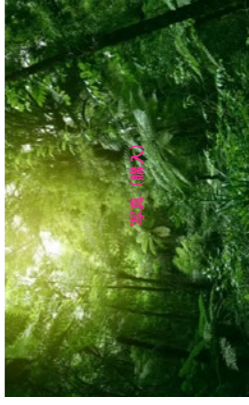
1200mm

S=1/10(A4)

### 4. 熱帯低地ゾーン

#### 熱帯低地ゾーン —雨がたつくる緑の森— Ogasawara Zone —Plants that evolved on a remote island—

一年中気温が高い熱帯の地域では、降水量の違いによりさまざまな植生が見られます。一年中たつ大雨の降る地域には熱帯多雨林、乾季がある地域には季雨林が形成されます。さらに降水量の少ない地域にはサバンナが形成されます。



1200mm

#### 雨量で変わる多様な植生

##### How did plants come to Ogasawara?



##### 熱帯多雨林：生物の宝庫

一年中雨が多くの乾季のない地域。森林は高さの異なる樹木が多層を作り、最上層には飛び掛って高い樹木がまばら



##### 熱帯季節林：乾季を生き延びる

They arrived by being carried by ocean currents or by attaching themselves to driftwood. Floating coconuts and other things arrived this way, but acorns, which

They arrived by being carried by ocean currents or by attaching themselves to driftwood. Floating coconuts and other things arrived this way, but acorns, which



##### サバンナ：樹木が点在する草原

They arrived by being carried by ocean currents or by attaching themselves to driftwood. Floating coconuts and other things arrived this way, but acorns, which



1200mm

S=1/10(A4)

公園名称	新宿御苑			
工事名称	令和8年度新宿御苑展示工事			
図面名称	温室	縮尺	-	
	グラフィック構成図-3			
年月日	令和8年3月	図面番号	C-103	
会社名	合同会社わくわくデザイン	照査	設計	
事務所名	環境省新宿御苑管理事務所	照査	設計	

## 4. 熱帯低地ゾーン

### 仏教の三大聖樹

How did plants come to Ogasawara?

The tropical region is a climatic zone characterized by high temperatures and humidity throughout the year, extending between the Tropic of Cancer and the Tropic of Capricorn on either side of the equator. Nearly 300,000 plant species grow on Earth, and many of these are used in people's daily lives as food, spices, medicines, building materials, fuelwood, and sources of fiber. Many products exported from tropical regions are also utilized in Japan.

**仏教の三大聖樹とは、仏教を興いた釈迦の生誕にゆかりのある三つの木で、開いたときの菩提樹、亡くなったときの沙羅双樹を指します。これらは現在、さとり・おはんを養う大切な聖なる木とされています。**

**ムユウジュ (無憂樹)**  
**Habitat development**  
釈迦の母がこの美しい花に覆れるよう、ムユウジュはインドのタイなど、仏教聖地のある国では寺院の庭辺に

**写真 (購入)**

**Wild plant harvesting**  
釈迦がその下で修行を興いたされた、インド原産のクワ科の高木。大きな葉が特徴の桑葉樹。

**写真 (購入)**

**サランソウジュ (沙羅双樹)**  
**Impact of invasive species**  
釈迦が涅槃（入滅、寂滅）の際、葉面に2本ずつはえていたとされます。「写実物語」で有名な沙羅双樹とは、この木のこと

**写真 (購入)**

1200mm

600mm

S=1/10(A4)

## 4. 熱帯低地ゾーン

### 幹に実がつく植物

How did plants come to Ogasawara?

The tropical region is a climatic zone characterized by high temperatures and humidity throughout the year, extending between the Tropic of Cancer and the Tropic of Capricorn on either side of the equator. Nearly 300,000 plant species grow on Earth, and many of these are used in people's daily lives as food, spices, medicines, building materials, fuelwood, and sources of fiber. Many products exported from tropical regions are also utilized in Japan.

**熱帯地域では、幹に実をつける植物をよく見られます。大型果樹は枝が伸びていくにつれ、地上に着き、付近でサルやシロネなどの大型動物に食べられていきます。また、熱帯雨林の光や空間の制約にも対応し、花や果実の配置を最適化することで、受粉や種子散布の効率を高める進化的な適応です。**

**カカオノキ**  
**Habitat development**  
花は桃色または白色です。カカオノキはボール形の大きな果実が幹に直接つきます。種子をココアやチココレートの原料にします。

**写真 (購入)**

**ジャボチカバ**  
**Wild plant harvesting**  
熱帯ブラジル原産のフトモモ科に属する常緑樹で、「木の幹に直接実がなる」という非常に珍しい樹皮が厚く、火の耐性です。

**写真 (購入)**

**ロウソクノキ**  
**Impact of invasive species**  
幹は白い花が咲き、長さ30〜120cm位の、ロウソクのような長い実を付けます。実はリンゴのような重なり、ハブマ原産。

**写真 (購入)**

1200mm

600mm

S=1/10(A4)

公園名称	新宿御苑		
工事名称	令和8年度新宿御苑展示工事		
図面名称	温室 グラフィック構成図-4	縮尺	-
年月日	令和8年3月	図面番号	C-104
会社名	合同会社わくわくデザイン	照査	設計
事務所名	環境省新宿御苑管理事務所	照査	設計

## 5. 沖縄ゾーン

### 沖縄ゾーン —大陸に由来する植物— Ogasawara Zone —Plants that evolved on a remote island—

琉球列島は、氷河期と間氷期が繰り返される中で、大陸とつながったり離れたったりしながら形成された諸島です。そのあたりたちの過程で島に取り残された本島の植物が多く見られます。大陸と海で隔てられ長い期間を経る中で、独特な島の生物相が形成されてきたと考えられています。琉球列島に自生する維管束植物は約1,600種、小さい島々ですが10km<sup>2</sup>以上の面積を有しています。

The Ogasawara Islands were formed by the uplift of the seabed and have never been connected to a continent. As a result, all of the organisms on Ogasawara are endemic. The plants that settled on the islands followed their own evolutionary paths over a long period of time, which isolated them from the main islands, with some evolving into endemic species. Islands that have never been connected to a continent, such as the main island and the Ogasawara Islands, are no different. Of the more than 400 species of native plants (including subspores and varieties, approximately 40% are endemic. I've lost this to text above, approximately 70% are endemic.




600mm

S=1/10(A4)

## 5. 沖縄ゾーン

### マンングローブ林 Ogasawara Zone —Plants that evolved on a remote island—

熱帯から亜熱帯地域の海辺や河口の汽水域（海水と淡水が混じり合う場所）でみられる森林です。種子は根から長くふらさがる胎生種子で、これが落下して根を出し、生長していきま。樹種によって適応できる環境が異なるため、岸から海にかけて、オヒルギ（奄美北門）、メヒルギ（鹿児島北門）、ヤエヤマヒルギ（沖縄島北門）と順番に移り変わります。

The Ogasawara Islands were formed by the uplift of the seabed and have never been connected to a continent. As a result, all of the organisms on Ogasawara are endemic. The plants that settled on the islands followed their own evolutionary paths over a long period of time, which isolated them from the main islands, with some evolving into endemic species. Islands that have never been connected to a continent, such as the main island and the Ogasawara Islands, are no different. Of the more than 400 species of native plants (including subspores and varieties, approximately 40% are endemic. I've lost this to text above, approximately 70% are endemic.




600mm

S=1/10(A4)

公園名称	新宿御苑		
工事名称	令和8年度新宿御苑展示工事		
図面名称	温室グラフィック構成図-5	縮尺	-
年月日	令和8年3月	図面番号	C-105
会社名	合同会社わくわくデザイン	照査	設計
事務所名	環境省新宿御苑管理事務所	照査	設計

## 5. 沖縄ゾーン

### 琉球列島の成り立ち

#### Ogasawara Zone —Plants that evolved on a remote island—

The Ogasawara Islands were formed by the uplift of the seabed. As a result, all of the organisms on Ogasawara are descendants of organisms that somehow arrived on the islands by chance and survived by adapting to the island's environment. The plants that evolved on Ogasawara followed their own evolutionary path over a long period of time, which isolated them from the mainland, with some evolving into endemic species. Islands that have never been connected to a continent, such as Hawaii and the Galapagos, are known to have many endemic species, and the Ogasawara Islands are no different. Of the more than 400 species of native plants (including subspecies and varieties), approximately 90% are endemic. If we list this in tree shape, approximately 70% are endemic.

CGラスト

### 絶滅の危機

#### Ogasawara Zone —Plants that evolved on a remote island—

The Ogasawara Islands were formed by the uplift of the seabed. As a result, all of the organisms on Ogasawara are descendants of organisms that somehow arrived on the islands by chance and survived by adapting to the island's environment. The plants that evolved on Ogasawara followed their own evolutionary path over a long period of time, which isolated them from the mainland, with some evolving into endemic species. Islands that have never been connected to a continent, such as Hawaii and the Galapagos, are known to have many endemic species, and the Ogasawara Islands are no different. Of the more than 400 species of native plants (including subspecies and varieties), approximately 90% are endemic. If we list this in tree shape, approximately 70% are endemic.

Habitat development  
Wild plant harvesting  
Impact of invasive species

1200mm

1200mm

S=1/10(A4)

## 6. 小笠原ゾーン

### 小笠原ゾーン

#### —絶海の島で進化した植物—

#### Ogasawara Zone —Plants that evolved on a remote island—

The Ogasawara Islands were formed by the uplift of the seabed and have never been connected to a continent. As a result, all of the organisms on Ogasawara are descendants of organisms that somehow arrived on the islands by chance and survived by adapting to the island's environment. The plants that evolved on Ogasawara followed their own evolutionary path over a long period of time, which isolated them from the mainland, with some evolving into endemic species. Islands that have never been connected to a continent, such as Hawaii and the Galapagos, are known to have many endemic species, and the Ogasawara Islands are no different. Of the more than 400 species of native plants (including subspecies and varieties), approximately 90% are endemic. If we list this in tree shape, approximately 70% are endemic.

CGラスト 1,000km 小笠原群島

CGラスト

1200mm

600mm

公園名称	新宿御苑		
工事名称	令和8年度新宿御苑展示工事		
図面名称	温室 グラフィック構成図-6	縮尺	-
年月日	令和8年3月	図面番号	C-106
会社名	合同会社わくわくデザイン	照査	設計
事務所名	環境省新宿御苑管理事務所	照査	設計

S=1/10(A4)

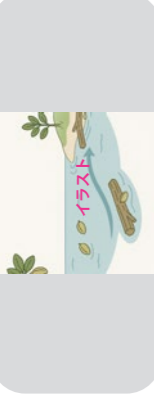
## 6. 小笠原ゾーン

### 植物はどのようにやってきたの？

How did plants come to Ogasawara?

海流に乗ってやってきた

They came riding the ocean currents. They arrived by floating on driftwood. Floating coconuts and other things arrived this way, but some, which



風に運ばれてきた

Carried by the wind

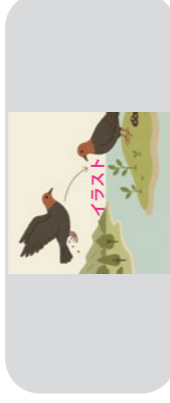
Microscopic seeds like those of orchids and spores of ferns and mosses arrived on the wind.



鳥によって運ばれてきた

Carried by birds

They arrived with seeds stuck to feathers and mixed in with their droppings.



### 絶滅の危機

Ogasawara Zone —Plants that evolved on a remote island—

The Ogasawara Islands were founded by the uplift of the Pacific Plate. The Ogasawara Islands are a remnant of the Pacific Plate. As a result, all of the organisms on Ogasawara are descendants of organisms that somehow arrived on the islands by chance and survived by adapting to the islands' environment.

Small islands have a high rate of species loss. Over time, they have lost many species. Some species have evolved into endemic species. Islands that have never been connected to a continent, such as Hawaii and the Galapagos, are known to have many endemic species. The Ogasawara Islands are no different. Of the more than 400 species of native plants (including subspecies and varieties), approximately 70% are endemic. If we limit this to trees alone, approximately 70% are endemic.



外来種除去装置  
Rodent damage prevention fence



餌ミミ餌等による食害防止柵  
Rodent damage prevention fence

野生動物のための捕獲の罠  
Rodent damage prevention fence

外来植物の駆除  
Rodent damage prevention fence

1200mm

1200mm

S=1/10(A4)

## 6. 小笠原ゾーン

### 希少種の保全と生息域外保全

Ogasawara Zone

日本国内には、人間の活動や外来種の影響などにより、絶滅の危機に瀕している生きもの(希少種)があります。

希少種の保全は最少要因を特定し、本来の生息地(生息域内)で行うことが基本ですが、生息域内の取組だけでは絶滅を防ぐことが難しい場合には、飼育下での繁殖(生息域外保全)に取り組むことも重要です。

The Ogasawara Islands were formed by the uplift of the Pacific Plate and have never been connected to a continent. As a result, all of the organisms on Ogasawara are descendants of organisms that somehow arrived on the islands by chance and survived by adapting to the islands' environment. The plants that settled on the islands then followed their own evolutionary paths over a long period of time while isolated from the mainland, with some species that have evolved into endemic species. The Ogasawara Islands are no different. Of the more than 400 species of native plants (including subspecies and varieties), approximately 70% are endemic. If we limit this to trees alone, approximately 70% are endemic.



種子の保存のための調査作業  
Rodent damage prevention fence



保存している種子を播種  
Rodent damage prevention fence



種子の保存のための調査作業  
Rodent damage prevention fence



保存している種子を播種  
Rodent damage prevention fence

1200mm

公園名称	新宿御苑		
工事名称	令和8年度新宿御苑展示工事		
図面名称	温室	縮尺	-
	グラフィック構成図-7		
年月日	令和8年3月	図面番号	C-107
会社名	合同会社わくわくデザイン	照査	設計
事務所名	環境省新宿御苑管理事務所	照査	設計

600mm

S=1/10(A4)

## 7. 乾燥地ゾーン

### 乾燥地ゾーン — 乾燥に耐える植物 — Ogasawara Zone — Plants that evolved on a remote island —

雨がほとんど降らず、森林が発達できない地域を乾燥地といいます。このような荒蕪な環境で、植物は水分を保持したりするするために、特別な仕組みをもっています。

The Ogasawara Islands were formed by the uplift of the sea floor. As a result, all of the organisms on Ogasawara are descendants of organisms that somehow arrived on the islands by chance and survived by adapting to the island's environment. The Ogasawara Islands have a long period of time with isolated from the mainland, with some species evolving into endemic species. Islands that have never been connected to a continent, such as the Izu and the Ryukyu Islands, have a high percentage of endemic species. Of the more than 400 species of native plants (including subspecies and varieties), approximately 90% are endemic. If we limit this to ferns alone, approximately 70% are endemic.




写真（購入）

### 乾燥に耐える仕組み Mechanism for tolerating drought

①植物体の表面積を小さくすることで蒸散を抑える  
②根を深く張り、地中深くから水を吸収する  
③葉の表面を毛で覆ったり、気孔の数を減らしたりすることで蒸散を抑える  
④光合作用のために気孔を開く時間を短くすることで蒸散を抑える  
⑤植物体内に水分を蓄える。




1200mm

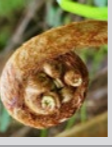
S=1/10(A4)

## 8. 熱帯ゾーン上空

見渡してみよう  
Let's look around.



シダの新芽をみてみよう  
Let's take a look at the new fern shoots.



イラスト

200mm

200mm

450mm

S=1/5(A4)

公園名称	新宿御苑		
工事名称	令和8年度新宿御苑展示工事		
図面名称	温室 グラフィック構成図-8	縮尺	-
年月日	令和8年3月	図面番号	C-108
会社名	合同会社わくわくデザイン	照査	設計
事務所名	環境省新宿御苑管理事務所	照査	設計

## 9. 熱帯山地ゾーン

1200mm

### 熱帯山地ゾーン — 熱帯の涼しい森 —

Ogasawara Zone  
—Plants that evolved on a remote island—

熱帯地域の標高が高い地域では、年間をとおしての気温の変化はあまりない。涼しい森が見られます。大気が冷やされ、霧が発生しやすくなることから、年中霧に覆われる地域もあります。

The Ogasawara Islands were formed by the uplift of the seabed and have never been connected to a continent. As a result, all of the organisms on Ogasawara are descendants of organisms that somehow arrived on the islands by chance and survived by adapting to the island's environment. The plants that settled on the island then followed their own evolutionary paths over a long period of time, which isolated them from the mainland, with some evolving into endemic species. Islands that have never been connected to a continent, such as Hawaii and the Galapagos, are known to have many endemic species, and the Ogasawara Islands are no different. Of the more than 400 species of native plants (including subspores and varieties, approximately 60% are endemic. I've listed this in more detail approximately 70% are endemic.



### 特徴的な自然環境

Ogasawara Zone  
—Plants that evolved on a remote island—

熱帯山地と同様に種は少ないものの、熱帯多雨林と同じく種は多岐にわたります。高さの異なる木が作り出す森林の間隔は、熱帯多雨林より少なくなっています。気温が低くなるため、霧が多量に発生しやすくなります。



熱帯多雨林と異なり、種は少ないものの、熱帯多雨林と同じく種は多岐にわたります。高さの異なる木が作り出す森林の間隔は、熱帯多雨林より少なくなっています。気温が低くなるため、霧が多量に発生しやすくなります。



1200mm

S=1/10(A4)

## 9. 熱帯山地ゾーン

1200mm

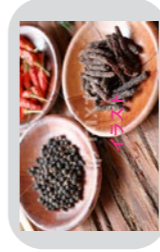
### 香料植物

— 香り成分を生活に活用する —

Ogasawara Zone

香料植物は精油成分などを食み、茶や香料をとるために利用されてきた。熱帯地域の標高が高い地域では、年間をとおしての気温の変化はあまりない。涼しい森が見られます。大気が冷やされ、霧が発生しやすくなることから、年中霧に覆われる地域もあります。

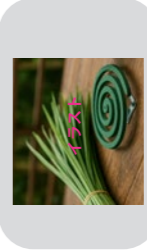
The Ogasawara Islands were formed by the uplift of the seabed and have never been connected to a continent. As a result, all of the organisms on Ogasawara are descendants of organisms that somehow arrived on the islands by chance and survived by adapting to the island's environment. The plants that settled on the island then followed their own evolutionary paths over a long period of time, which isolated them from the mainland, with some evolving into endemic species. Islands that have never been connected to a continent, such as Hawaii and the Galapagos, are known to have many endemic species, and the Ogasawara Islands are no different. Of the more than 400 species of native plants (including subspores and varieties, approximately 60% are endemic. I've listed this in more detail approximately 70% are endemic.



料理のスパイスに  
They arrived by being carried by ocean currents only attaching



アロマに使う精油に  
They arrived by being carried by ocean currents only attaching



害虫を遠ざける  
They arrived by being carried by ocean currents only attaching

600mm

公園名称	新宿御苑		
工事名称	令和8年度新宿御苑展示工事		
図面名称	温室	縮尺	-
	グラフィック構成図-9		
年月日	令和8年3月	図面番号	C-109
会社名	合同会社わくわくデザイン	照査	設計
事務所名	環境省新宿御苑管理事務所	照査	設計

S=1/10(A4)

# 10. おもろ植物ゾーン

**おもろ植物ゾーン**  
—変った姿や生態の植物—  
Ogasawara Zone  
—Plants that evolved on a remote island—

一見すると奇妙な姿や生態を持つ植物を集めました。これらは驚しい理屈を生き抜くための合理的な生存戦略であり、捕食、繁殖など、独自の進化を遂げた結果です。不思議で興味深い植物たちの観察をお楽しみください。

**カツボカズラ**  
Abcdef ghijk lmnop

カツボカズラは、花の形が独特で、まるで赤い帽子をかぶったように見えます。これは、花の構造が独特で、昆虫を誘引して花粉を運ぶための進化の結果です。



**ペゴニア**  
Abcdef ghijk lmnop

ペゴニアは、花の形が独特で、まるで赤い帽子をかぶったように見えます。これは、花の構造が独特で、昆虫を誘引して花粉を運ぶための進化の結果です。



**ワゴン**  
Abcdef ghijk lmnop

ワゴンは、花の形が独特で、まるで赤い帽子をかぶったように見えます。これは、花の構造が独特で、昆虫を誘引して花粉を運ぶための進化の結果です。



800mm

1200mm

S=1/10(A4)

# 11. エピローグ

**温室の歴史**  
The history of greenhouses

**新宿御苑の温室のはじまり**  
Abcdef ghijk lmnop

新宿御苑の温室は、明治8年（1875）に建てられた約100mの洋風温室に始まります。内務省試験場として農業技術向上や西洋農法導入が目的でした。のちに新緑植物園となり、加温温室の整備で東洋や洋ランなどの栽培・研究を進め、日本の温室園芸の発展に大きく貢献しました。

The tropical region is a climatic zone characterized by high temperatures and humidity throughout the year, extending between the Tropic of Cancer and the Tropic of Capricorn on either side of the equator. Nearly 300,000 plant species grow on Earth, and many of these are used in people's daily lives as food, spices, medicines, building materials, fuelwood, and sources of fiber. Many products reported from tropical regions are also utilized in Japan.

**温室の温室としての発展と戦火**  
Abcdef ghijk lmnop

1893年に1号温室が竣工し、翌年2号、翌々年3号が完成、左右対称の大規模温室が完成しました。翌1906年に増設で全体が完成。しかし1945年の空襲で大半を消失。残った洋ランなどは新緑で守られ、今日に受け継がれています。

The tropical region is a climatic zone characterized by high temperatures and humidity throughout the year, extending between the Tropic of Cancer and the Tropic of Capricorn on either side of the equator. Nearly 300,000 plant species grow on Earth, and many of these are used in people's daily lives as food, spices, medicines, building materials, fuelwood, and sources of fiber. Many products reported from tropical regions are also utilized in Japan.

**国民の大温室へ**  
Abcdef ghijk lmnop

1949年開設公園として、一般に公開に伴い、観覧温室として役割がなくなり、1958年には当時として最先の規模を誇る大温室が完成。その後、老朽化のため、2012年に現在の熱帯・亜熱帯の植物などの移動展示とともに他館の植物の保存・展示も行う環境に配慮した新たな温室へと生まれ変わりました。

The tropical region is a climatic zone characterized by high temperatures and humidity throughout the year, extending between the Tropic of Cancer and the Tropic of Capricorn on either side of the equator. Nearly 300,000 plant species grow on Earth, and many of these are used in people's daily lives as food, spices, medicines, building materials, fuelwood, and sources of fiber. Many products reported from tropical regions are also utilized in Japan.

1200mm

800mm

**温室の役割**  
The history of greenhouses

**国内外の熱帯・亜熱帯地域の植物を展示**  
Abcdef ghijk lmnop

現在の温室では、熱帯・亜熱帯の植物などの移動展示とともに、国内の他館の植物の保存・展示も行う環境に配慮した新たな温室として公開されています。

The tropical region is a climatic zone characterized by high temperatures and humidity throughout the year, extending between the Tropic of Cancer and the Tropic of Capricorn on either side of the equator. Nearly 300,000 plant species grow on Earth, and many of these are used in people's daily lives as food, spices, medicines, building materials, fuelwood, and sources of fiber.

**温室ゆかりの植物を継承**  
Abcdef ghijk lmnop

明治中期の園芸は宮中の御料栽培でしたが、野原や東郷、花井（かみ）の園芸研究を進め、民間への普及にも力を入れました。例えば、園内の無虫温室での温室アトムの栽培の試み、他にも補助輸入により作出された「種痘毒」は大規模の高級芽殖などとして有用なほど広く栽培されました。現在も洋ランや芽殖などの植物を継承して栽培されています。

The tropical region is a climatic zone characterized by high temperatures and humidity throughout the year, extending between the Tropic of Cancer and the Tropic of Capricorn on either side of the equator. Nearly 300,000 plant species grow on Earth, and many of these are used in people's daily lives as food, spices, medicines, building materials, fuelwood, and sources of fiber.

**生物多様性保全への貢献**  
Abcdef ghijk lmnop

新緑開館は2006年に「植物園の保全活動に対する国際アワード」に登録されました。この国際アワードは、植物園自然保護国際機関（BGCI、本部は英国）が植物園の生物多様性保全に対する役割及び保全活動について、その取り組みをなめたものです。他館のおおそそ野生植物の保存への取組や普及啓発活動等を通じて、保全活動への貢献を強化してきました。

The tropical region is a climatic zone characterized by high temperatures and humidity throughout the year, extending between the Tropic of Cancer and the Tropic of Capricorn on either side of the equator. Nearly 300,000 plant species grow on Earth, and many of these are used in people's daily lives as food, spices, medicines, building materials, fuelwood, and sources of fiber.

**具体的活動**  
The history of greenhouses

**希少植物の栽培や種子保存**  
Abcdef ghijk lmnop

2008年から他館の植物の種子保存を行っています。種子は、少ないスペースで、長期にわたって安定して保管できることから、絶滅リスクを低減するために有効な方法の1つであるとされています。日本植物園協会及び各植物園などと連携して、全国から種子とその自生地の情報を収集し、新緑園内の施設で長期保存を行っています。

The tropical region is a climatic zone characterized by high temperatures and humidity throughout the year, extending between the Tropic of Cancer and the Tropic of Capricorn on either side of the equator. Nearly 300,000 plant species grow on Earth, and many of these are used in people's daily lives as food, spices, medicines, building materials, fuelwood, and sources of fiber.

**絶滅危惧植物の生息域外保全**  
Abcdef ghijk lmnop

日本国内には、人間の活動や気候の影響により、絶滅の危機に瀕している生きもの（希少種）がいます。希少種の保全は重要ですが、本館の生息域（生息域外）で行うことが難しい場合があります。生息域外の環境（生息域外保全）に取り組むことも重要です。

The tropical region is a climatic zone characterized by high temperatures and humidity throughout the year, extending between the Tropic of Cancer and the Tropic of Capricorn on either side of the equator. Nearly 300,000 plant species grow on Earth, and many of these are used in people's daily lives as food, spices, medicines, building materials, fuelwood, and sources of fiber.

**日本植物園協会の拠点園として**  
Abcdef ghijk lmnop

日本植物園協会は、植物園における植物の展示・収集・調査・研究・教育・普及などの活動を支援することを目的として、1947年に設立されました。新緑園は種子保存拠点園として、全国の100以上の植物園と協力し、植物園、大学、研究機関等にお願いして日本各地の生地で採集された絶滅危惧植物の種子を収集し、種子の保存を行っています。

The tropical region is a climatic zone characterized by high temperatures and humidity throughout the year, extending between the Tropic of Cancer and the Tropic of Capricorn on either side of the equator. Nearly 300,000 plant species grow on Earth, and many of these are used in people's daily lives as food, spices, medicines, building materials, fuelwood, and sources of fiber.

公園名称	新宿御苑		
工事名称	令和8年度新宿御苑展示工事		
図面名称	温室 ガラフィック構成図-10	縮尺	-
年月日	令和8年3月	図面番号	C-110
会社名	合同会社わくわくデザイン	照査	設計
事務所名	環境省新宿御苑管理事務所	照査	設計

S=1/10(A4)

## 12. 新宿御苑とラン栽培

## テーマ植物キャプション

**Shinjuku Green National Garden**

**新宿御苑とラン栽培**

新宿御苑は、日本における本格的な洋ラン栽培の地とされ、その歴史は明治20年頃にまでさかのぼります。遊覧行事などに使用するためのラン栽培に力を入れ、外国からランを輸入し新しいランの品種を作り出し、技術者を育成するなど、日本におけるラン栽培の指針的な役割を果たしました。

**新宿御苑作育のラン**  
Accord (輸入)

ハックナーの温室では、現在もランの原種や新宿御苑のオリジナルのランを大切に継承しています。

1200mm

600mm

S=1/10(A4)

## 13. 屋外の水辺

**野生復帰の栽培試験**  
Cultivation trial for reintroduction into the wild

迅速で育てた絶滅危惧種を本来の自然場（屋外圃場）へ返す前段階として、外気や光に慣れさせる圃場試験を圃場の専用施設で行っています。

**ハックナー**  
圃場から絶滅危惧種などの種を収集し、圃場の育成を継続

**As a preliminary step before returning endangered plants grown in a greenhouse to their**

**圃場の水辺**  
屋外圃場で圃場試験を行い絶滅危惧種の栽培特性を明らかにする

**As a preliminary step before returning endangered plants grown in a greenhouse to their**

700mm

500mm

公園名称	新宿御苑		
工事名称	令和8年度新宿御苑展示工事		
図面名称	温室グラフィック構成図-11	縮尺	-
年月日	令和8年3月	図面番号	C-111
会社名	合同会社わくわくデザイン	照査	設計
事務所名	環境省新宿御苑管理事務所	照査	設計

**ムニンツツジ**  
Munin azalea

盗掘、花や枝の盗採、ノヤギの食害などで激減

The number of trees has drastically decreased due to theft, theft of flowers and branches, and

175mm

265mm

S=1/5(A4)

S=1/10(A4)

## 14. バックヤード温室の紹介



**バックヤード温室・戦前の温室の遺構**

戦前の温室の遺構。大正、昭和前期の上野公園で、日本に  
おける温室栽培の歴史を辿ることができます。また、  
戦後の復興期には、戦災被害を受けた温室の遺構が  
見られます。この温室は、戦前の温室の遺構として  
保存されています。また、戦後の復興期には、戦災  
被害を受けた温室の遺構が見られます。この温室は、  
戦前の温室の遺構として保存されています。

戦前の温室は、大正、昭和前期の上野公園で、日本に  
おける温室栽培の歴史を辿ることができます。また、  
戦後の復興期には、戦災被害を受けた温室の遺構が  
見られます。この温室は、戦前の温室の遺構として  
保存されています。また、戦後の復興期には、戦災  
被害を受けた温室の遺構が見られます。この温室は、  
戦前の温室の遺構として保存されています。

戦前の温室は、大正、昭和前期の上野公園で、日本に  
おける温室栽培の歴史を辿ることができます。また、  
戦後の復興期には、戦災被害を受けた温室の遺構が  
見られます。この温室は、戦前の温室の遺構として  
保存されています。また、戦後の復興期には、戦災  
被害を受けた温室の遺構が見られます。この温室は、  
戦前の温室の遺構として保存されています。

1150mm

新宿  
御苑

### Landscape Garden and Formal Garden

They arrived by being carried by ocean currents or by  
which sink in water. They arrived by being carried by  
and other things arrived this way, but a lot, which sink  
in water. They arrived by being carried by ocean currents  
coconuts and other things arrived this way, but a lot,  
which sink in water. They arrived by being carried by  
Floating coconuts and other things arrived this way, but  
sunk by which sink in water. They arrived by being  
driftwood. Floating coconuts and other things arrived

700mm

## 15. 戦前の温室の遺構

**戦前の温室の遺構**  
Pre-War Greenhouse Remains

大正時代の温室は、大正、昭和前期の上野公園で、日本に  
おける温室栽培の歴史を辿ることができます。また、  
戦後の復興期には、戦災被害を受けた温室の遺構が  
見られます。この温室は、戦前の温室の遺構として  
保存されています。また、戦後の復興期には、戦災  
被害を受けた温室の遺構が見られます。この温室は、  
戦前の温室の遺構として保存されています。

戦前の温室は、大正、昭和前期の上野公園で、日本に  
おける温室栽培の歴史を辿ることができます。また、  
戦後の復興期には、戦災被害を受けた温室の遺構が  
見られます。この温室は、戦前の温室の遺構として  
保存されています。また、戦後の復興期には、戦災  
被害を受けた温室の遺構が見られます。この温室は、  
戦前の温室の遺構として保存されています。

戦前の温室は、大正、昭和前期の上野公園で、日本に  
おける温室栽培の歴史を辿ることができます。また、  
戦後の復興期には、戦災被害を受けた温室の遺構が  
見られます。この温室は、戦前の温室の遺構として  
保存されています。また、戦後の復興期には、戦災  
被害を受けた温室の遺構が見られます。この温室は、  
戦前の温室の遺構として保存されています。

650mm

新宿  
御苑

950mm

S=1/10(A4)

公園名称	新宿御苑		
工事名称	令和8年度新宿御苑展示工事		
図面名称	温室 グラフィック構成図-12	縮尺	-
年月日	令和8年3月	図面番号	C-112
会社名	合同会社わくわくデザイン	照査	設計
事務所名	環境省新宿御苑管理事務所	照査	設計

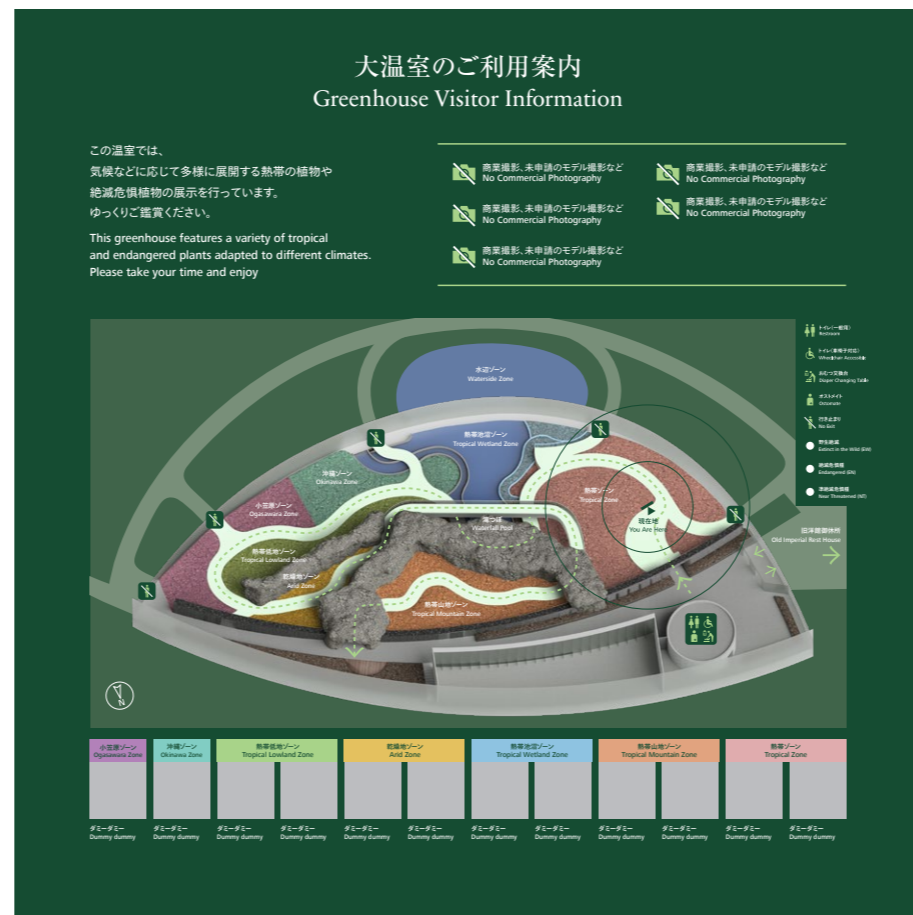
# 温室 | S-2 ゾーンマップ



1200mm

1200mm

1900mm



公園名称	新宿御苑		
工事名称	令和8年度新宿御苑展示工事		
図面名称	温室 グラフィックデザイン基本図-1	縮尺	1:10(A3)
年月日	令和8年3月	図面番号	D-101
会社名	合同会社わくわくデザイン	照査	設計
事務所名	環境省新宿御苑管理事務所	照査	設計

proposed by  
IROBE DESIGN INSTITUTE,  
NIPPON DESIGN CENTER INC.

# 温室 | S-1 イン트로ダクション



温室へようこそ  
Welcome to Greenhouse

この温室では、気候などに応じて多様に展開する熱帯の植物や絶滅危惧植物の展示を行っています。ゆっくりご鑑賞ください。  
This greenhouse features a variety of tropical and endangered plants adapted to different climates. Please take your time and enjoy.

→

主温室へ  
Go to Greenhouse

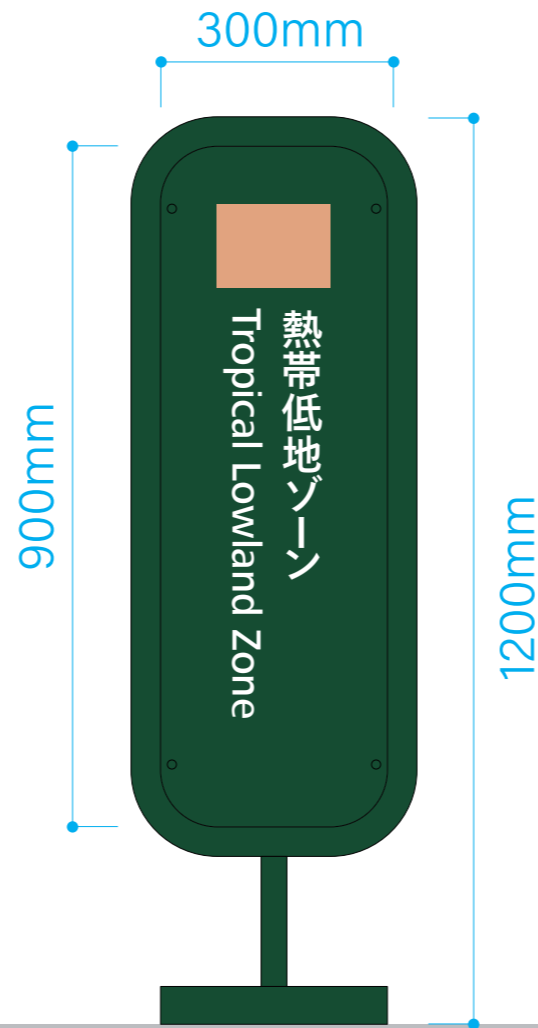
- 植物を傷つけない  
Dummy dummy dummy
- 踏み込まない  
Dummy dummy dummy
- 三脚等を使わない  
Dummy dummy dummy
- 飲食禁止  
No Eating or Drinking
- 禁煙(電子たばこ含む)  
No Smoking (including E-cigarettes)
- 商業撮影、未申請のモデル撮影など  
No Commercial Photography
- 滑りやすい  
Dummy dummy dummy

新宿  
Shinjuku  
Gyoen  
National  
Garden

proposed by  
IROBE DESIGN INSTITUTE,  
NIPPON DESIGN CENTER INC.

公園名称	新宿御苑		
工事名称	令和8年度新宿御苑展示工事		
図面名称	温室 グラフィックデザイン基本図-2	縮尺	1:10(A3)
年月日	令和8年3月	図面番号	D-102
会社名	合同会社わくわくデザイン	照査	設計
事務所名	環境省新宿御苑管理事務所	照査	設計

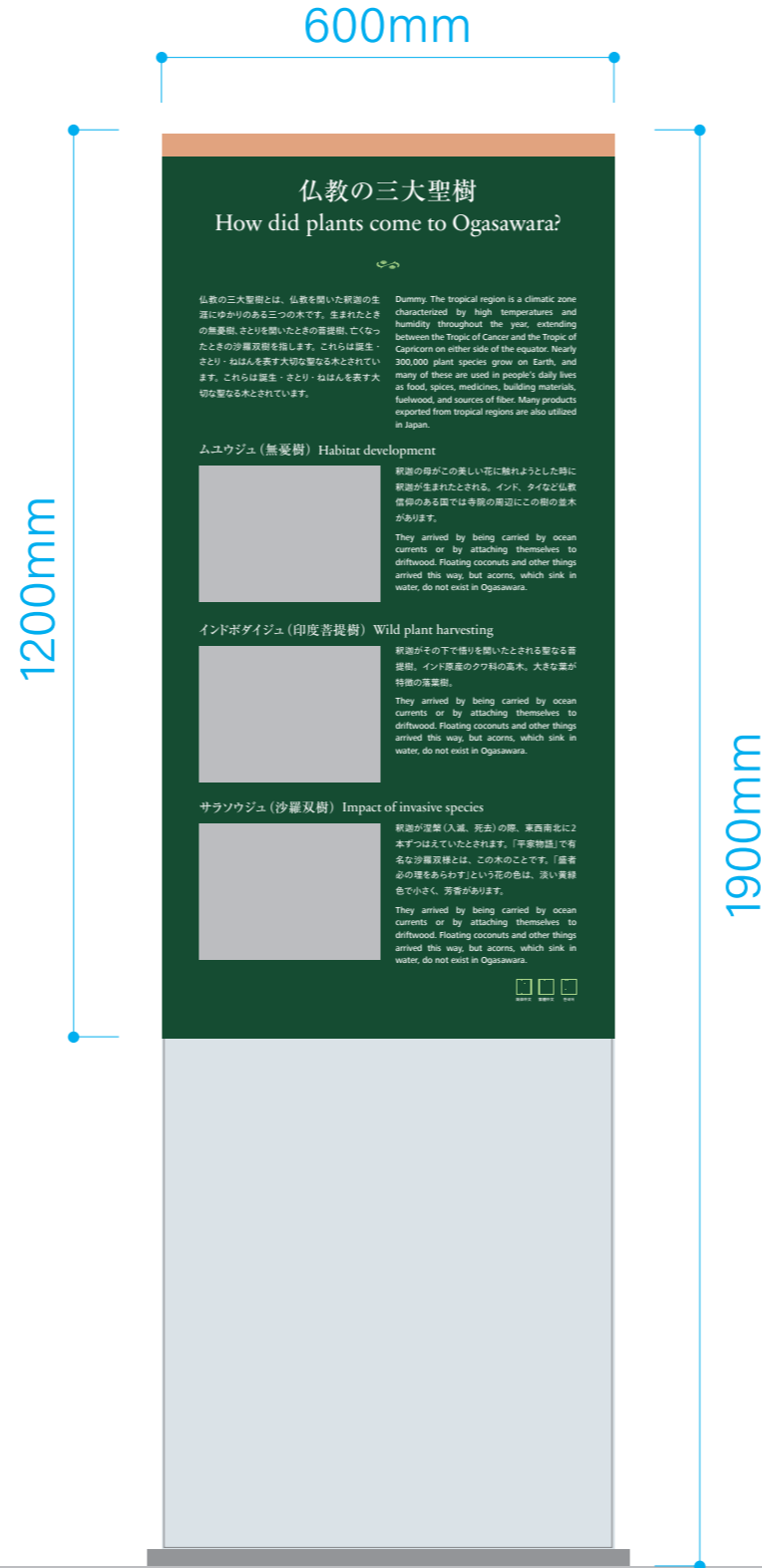
# 温室 | S-3 ゾーンサイン



proposed by  
IROBE DESIGN INSTITUTE,  
NIPPON DESIGN CENTER INC.

公園名称	新宿御苑		
工事名称	令和8年度新宿御苑展示工事		
図面名称	温室 グラフィックデザイン基本図-3	縮尺	1:10(A3)
年月日	令和8年3月	図面番号	D-103
会社名	合同会社わくわくデザイン	照査	設計
事務所名	環境省新宿御苑管理事務所	照査	設計

# 温室 | S-4a 解説板(小)



## 仏教の三大聖樹 How did plants come to Ogasawara?

仏教の三大聖樹とは、仏教を興いた釈迦の生涯にゆかりのある三つの木です。生まれたときの無憂樹、さとりを開いたときの菩提樹、亡くなったときの沙羅双樹を指します。これらは誕生・さとり・おはんを表す大切な聖なる木とされています。これらは誕生・さとり・おはんを表す大切な聖なる木とされています。

Dummy. The tropical region is a climatic zone characterized by high temperatures and humidity throughout the year, extending between the Tropic of Cancer and the Tropic of Capricorn on either side of the equator. Nearly 300,000 plant species grow on Earth, and many of these are used in people's daily lives as food, spices, medicines, building materials, fuelwood, and sources of fiber. Many products exported from tropical regions are also utilized in Japan.

### ムユウジュ (無憂樹) Habitat development

釈迦の母がこの美しい花に触れようとした時に釈迦が生まれたとされる。インド、タイなど仏教信仰のある国では寺院の周辺にこの樹の苗木があります。  
They arrived by being carried by ocean currents or by attaching themselves to driftwood. Floating coconuts and other things arrived this way, but acorns, which sink in water, do not exist in Ogasawara.

### インドボダイジュ (印度菩提樹) Wild plant harvesting

釈迦がその下で修行を聞いたとされる聖なる菩提樹。インド原産のクワ科の高木、大きな葉が特徴の落葉樹。  
They arrived by being carried by ocean currents or by attaching themselves to driftwood. Floating coconuts and other things arrived this way, but acorns, which sink in water, do not exist in Ogasawara.

### サラソウジュ (沙羅双樹) Impact of invasive species

釈迦が涅槃 (入滅、死去) の際、東西両方に2本ずつはまっていたとされます。「阿耨多羅三藐三菩提」で有名な沙羅双樹とは、この木のことで、「葉の裏をあらわす」という花の色は、淡い黄緑色で小さく、芳香があります。  
They arrived by being carried by ocean currents or by attaching themselves to driftwood. Floating coconuts and other things arrived this way, but acorns, which sink in water, do not exist in Ogasawara.



公園名称	新宿御苑		
工事名称	令和8年度新宿御苑展示工事		
図面名称	温室 グラフィックデザイン基本図-4	縮尺	1:10(A3)
年月日	令和8年3月	図面番号	D-104
会社名	合同会社わくわくデザイン	照査	設計
事務所名	環境省新宿御苑管理事務所	照査	設計

proposed by  
IROBE DESIGN INSTITUTE,  
NIPPON DESIGN CENTER INC.

# 温室 | S-4b 解説板(大)



1200mm

1200mm

1900mm

### 熱帯低地ゾーン How did plants come to Ogasawara?

一年中気温が高い熱帯の地域では、降水量の違いによりさまざまな植物が見られます。一年中たくさん雨が降る地域には熱帯多雨林、乾季がある地域には季節林が形成されます。さらに降水量の少ない地域にはサバンナが形成されます。さらに降水量の少ない地域にはサバンナが形成されます。

The Ogasawara Islands were formed by the uplift of the seabed and have never been connected to a continent. As a result, all of the organisms on Ogasawara are descendants of organisms that somehow arrived on the islands by chance and survived by adapting to the island's environment. The plants that settled on the islands then followed their own evolutionary paths over a long period of time while isolated from the mainland, with some evolving into endemic species.




□ □ □  
照 査 設 計

### 雨量で変わる多様な植生 How did plants come to Ogasawara?

**熱帯多雨林 | 生物の宝庫 Dummy dummy dummy**

親潮の母がこの美しい花に触れようとした時に親潮が生まれたとされる。インド、タイなど仏教信仰のある国では寺廟の周りにこの樹の苗木があります。インド、タイなど仏教信仰のある国では寺廟の周りにこの樹の苗木があります。

They arrived by being carried by ocean currents or by attaching themselves to driftwood. Floating coconuts and other things arrived this way, but acorns, which sink in water, do not exist in Ogasawara. Floating coconuts and other things arrived this way, but acorns, which sink in water, do not exist in Ogasawara.

**熱帯季節林 | 乾季を生き延びる Dummy dummy dummy**

親潮の母がこの美しい花に触れようとした時に親潮が生まれたとされる。インド、タイなど仏教信仰のある国では寺廟の周りにこの樹の苗木があります。インド、タイなど仏教信仰のある国では寺廟の周りにこの樹の苗木があります。

They arrived by being carried by ocean currents or by attaching themselves to driftwood. Floating coconuts and other things arrived this way, but acorns, which sink in water, do not exist in Ogasawara. Floating coconuts and other things arrived this way, but acorns, which sink in water, do not exist in Ogasawara.

**サバンナ | 樹木が点在する草原 Dummy dummy dummy**

親潮の母がこの美しい花に触れようとした時に親潮が生まれたとされる。インド、タイなど仏教信仰のある国では寺廟の周りにこの樹の苗木があります。インド、タイなど仏教信仰のある国では寺廟の周りにこの樹の苗木があります。

They arrived by being carried by ocean currents or by attaching themselves to driftwood. Floating coconuts and other things arrived this way, but acorns, which sink in water, do not exist in Ogasawara. Floating coconuts and other things arrived this way, but acorns, which sink in water, do not exist in Ogasawara.

□ □ □  
照 査 設 計

公園名称	新宿御苑		
工事名称	令和8年度新宿御苑展示工事		
図面名称	温室 グラフィックデザイン基本図-5	縮尺	1:10(A3)
年月日	令和8年3月	図面番号	D-105
会社名	合同会社わくわくデザイン	照査	設計
事務所名	環境省新宿御苑管理事務所	照査	設計

proposed by  
IROBE DESIGN INSTITUTE,  
NIPPON DESIGN CENTER INC.

# 温室 | S-6a 解説板(壁付)-1(エピソード)



800mm

1200mm

## 温室の歴史 The History of Greenhouses

🌿

**新宿御苑の温室のはじまり Dummy dummy dummy**

明治初期→中期 Dummy dummy dummy



新宿御苑の温室は、明治8年(1875)に建てられた約100mの洋風温室に始まります。内藤新田試験場として農業技術向上や西洋農法導入が進められました。のちに新宿御苑となり、加温式温室の整備や洋ランなどの栽培・研究を進め、日本の温室園芸の発展に大きく貢献しました。

The tropical region is a climatic zone characterized by high temperatures and humidity throughout the year, extending between the Tropic of Cancer and the Tropic of Capricorn on either side of the equator. Nearly 300,000 plant species grow on Earth, and many of these are used in people's daily lives as food, spices, medicines, building materials, fuelwood, and sources of fiber. Many products exported from tropical regions are also utilized in Japan.

**明治40年温室外観 Dummy dummy dummy**

**皇室の温室としての発展と戦火 Dummy dummy dummy**

明治中期→昭和初期 Dummy dummy dummy



1893年に1号温室が竣工し、翌年2号、翌々年3号が完成。左右対称の大規模温室が築きました。翌1896年に増築で全体完成。しかし1945年の空襲で大半を焼失。残った洋ランなどは薪の熱で守られ、今日に受け継がれています。

The tropical region is a climatic zone characterized by high temperatures and humidity throughout the year, extending between the Tropic of Cancer and the Tropic of Capricorn on either side of the equator. Nearly 300,000 plant species grow on Earth, and many of these are used in people's daily lives as food, spices, medicines, building materials, fuelwood, and sources of fiber. Many products exported from tropical regions are also utilized in Japan.

**昭和初期の温室外観 Dummy dummy dummy**

**国民の大温室へ Dummy dummy dummy**

戦後 Dummy dummy dummy



1949年国民公園として、一般に公開に伴い、産資温室として役割をかえ、1958年には当時として東洋一の規模を誇る大温室が完成。その後、老朽化のため、2012年に現在の熱帯・亜熱帯の植物などの栽培展示とともに絶滅危惧植物の保存・展示も行う環境に配慮した新たな温室へと生まれ変わりました。

The tropical region is a climatic zone characterized by high temperatures and humidity throughout the year, extending between the Tropic of Cancer and the Tropic of Capricorn on either side of the equator. Nearly 300,000 plant species grow on Earth, and many of these are used in people's daily lives as food, spices, medicines, building materials, fuelwood, and sources of fiber. Many products exported from tropical regions are also utilized in Japan.

昭和33年ヤシ室 Dummy dummy dummy

□ □ □

1900mm

公園名称	新宿御苑		
工事名称	令和8年度新宿御苑展示工事		
図面名称	温室 グラフィックデザイン基本図-6	縮尺	1:10(A3)
年月日	令和8年3月	図面番号	D-106
会社名	合同会社わくわくデザイン	照査	設計
事務所名	環境省新宿御苑管理事務所	照査	設計

proposed by  
IROBE DESIGN INSTITUTE,  
NIPPON DESIGN CENTER INC.

# 温室 | S-6a 解説板(壁付)-2(おもしろ植物ゾーン)



## おもしろ植物ゾーン Dummy dummy dummy

一見すると平凡な姿や生姿を持つ植物を集めた。これらは厳しい環境を生き抜くための合理的な生存戦略であり、捕食、防御など、独自の進化を遂げた結果です。不思議で興味深い植物たちの観察をお楽しみください。不思議で興味深い植物たちの観察をお楽しみください。

The Ogasawara Islands were formed by the uplift of the seabed and have never been connected to a continent. As a result, all of the organisms on Ogasawara are descendants of organisms that somehow arrived on the islands by chance and survived by adapting to the island's environment. The plants that settled on the islands then followed their own evolutionary paths over a long period of time while isolated from the mainland, with some evolving into endemic species.

### ベゴニア Dummy dummy dummy



ダミーベゴニアの葉は形や色がとても多様で、丸形やハート形、ギザギザなどいろいろ見られる。ベゴニアの葉は形や色がとても多様で、丸形やハート形、ギザギザなどいろいろ見られる。ベゴニアの葉は形や色がとても多様で、丸形やハート形、ギザギザなどいろいろ見られる。

The tropical region is a climatic zone characterized by high temperatures and humidity throughout the year, extending between the Tropic of Cancer and the Tropic of Capricorn on either side of the equator. Nearly 300,000 plant species grow on Earth. Nearly 300,000 plant species grow on Earth.

### ウツボカズラ Dummy dummy dummy



ダミー甘いにおいで虫を誘い、袋でとらえる食虫植物。消化して栄養にする力を持ちます。1958年には当時として東洋一の規模を持つ大温室が完成。

The tropical region is a climatic zone characterized by high temperatures and humidity throughout the year, extending between the Tropic of Cancer and the Tropic of Capricorn on either side of the equator. Nearly 300,000 plant species grow on Earth.

### ウゴン Dummy dummy dummy



ダミーピンクや白のヒラヒラは「葉っぱ」。本当の花は、すき間に隠れた「黄色い花」です。ピンクや白のヒラヒラは「葉っぱ」。本当の花は、すき間に隠れた「黄色い花」です。

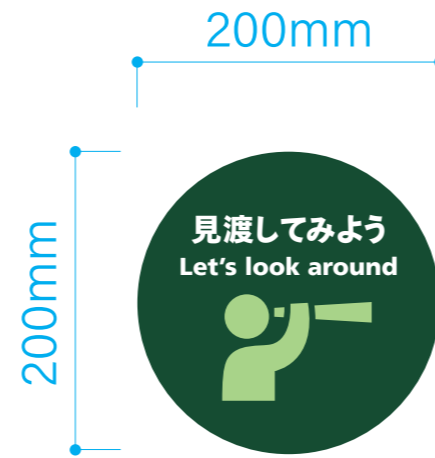
The tropical region is a climatic zone characterized by high temperatures and humidity throughout the year, extending between the Tropic of Cancer and the Tropic of Capricorn on either side of the equator. Nearly 300,000 plant species grow on Earth.



proposed by  
IROBE DESIGN INSTITUTE,  
NIPPON DESIGN CENTER INC.

公園名称	新宿御苑		
工事名称	令和8年度新宿御苑展示工事		
図面名称	温室 グラフィックデザイン基本図-7	縮尺	1:10(A3)
年月日	令和8年3月	図面番号	D-107
会社名	合同会社わくわくデザイン	照査	設計
事務所名	環境省新宿御苑管理事務所	照査	設計

# 温室 | S-7a 解説板(手摺)-1



proposed by  
IROBE DESIGN INSTITUTE,  
NIPPON DESIGN CENTER INC.

公園名称	新宿御苑		
工事名称	令和8年度新宿御苑展示工事		
図面名称	温室 グラフィックデザイン基本図-8	縮尺	1:10(A3)
年月日	令和8年3月	図面番号	D-108
会社名	合同会社わくわくデザイン	照査	設計
事務所名	環境省新宿御苑管理事務所	照査	設計

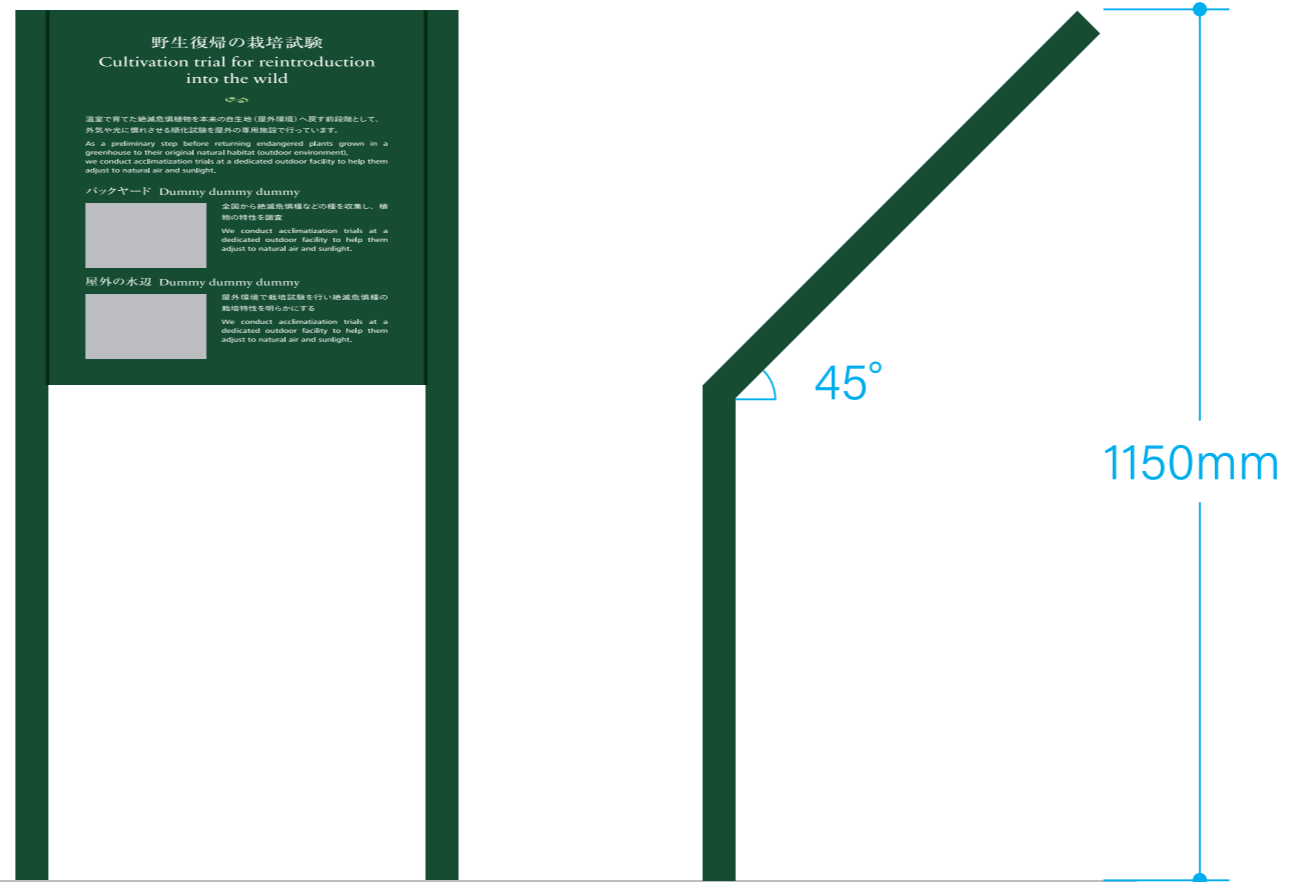
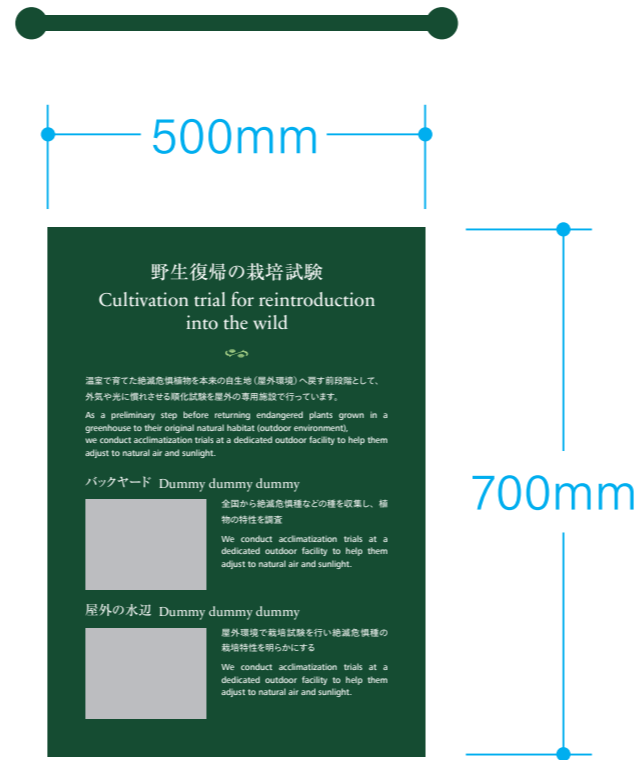
# 温室 | S-7b 解説板(手摺)-2



proposed by  
IROBE DESIGN INSTITUTE,  
NIPPON DESIGN CENTER INC.

公園名称	新宿御苑		
工事名称	令和8年度新宿御苑展示工事		
図面名称	温室 グラフィックデザイン基本図-9	縮尺	1:10(A3)
年月日	令和8年3月	図面番号	D-109
会社名	合同会社わくわくデザイン	照査	設計
事務所名	環境省新宿御苑管理事務所	照査	設計

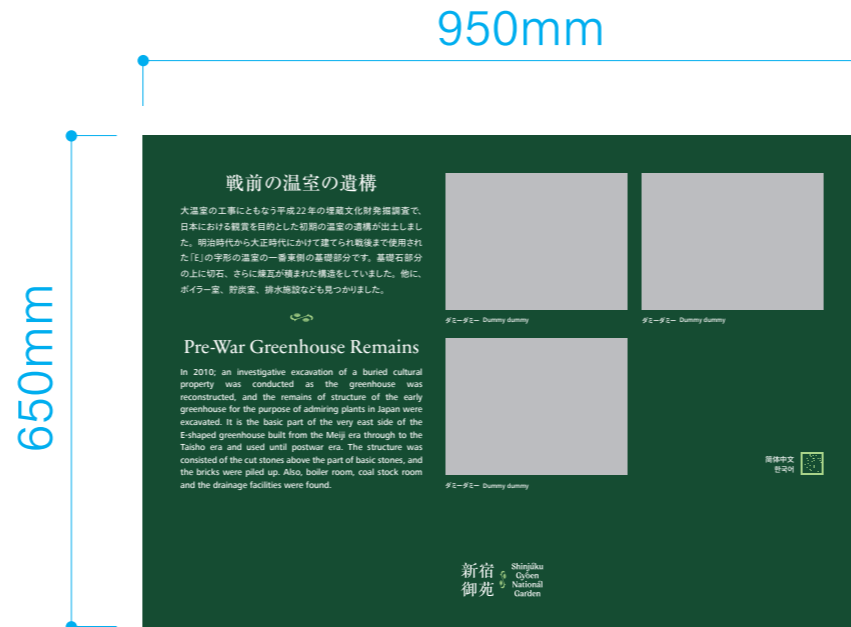
# 温室 | 屋外の水辺(見どころ解説標識D)



proposed by  
IROBE DESIGN INSTITUTE,  
NIPPON DESIGN CENTER INC.

公園名称	新宿御苑		
工事名称	令和8年度新宿御苑展示工事		
図面名称	温室 グラフィックデザイン基本図-10	縮尺	1:10(A3)
年月日	令和8年3月	図面番号	D-110
会社名	合同会社わくわくデザイン	照査	設計
事務所名	環境省新宿御苑管理事務所	照査	設計

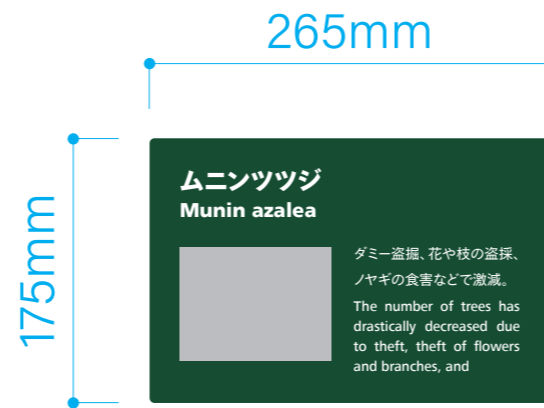
# 温室 | 戦前の温室の遺構(既存の標識)



公園名称	新宿御苑		
工事名称	令和8年度新宿御苑展示工事		
図面名称	温室 グラフィックデザイン基本図-11	縮尺	1:10(A3)
年月日	令和8年3月	図面番号	D-111
会社名	合同会社わくわくデザイン	照査	設計
事務所名	環境省新宿御苑管理事務所	照査	設計

proposed by  
IROBE DESIGN INSTITUTE,  
NIPPON DESIGN CENTER INC.

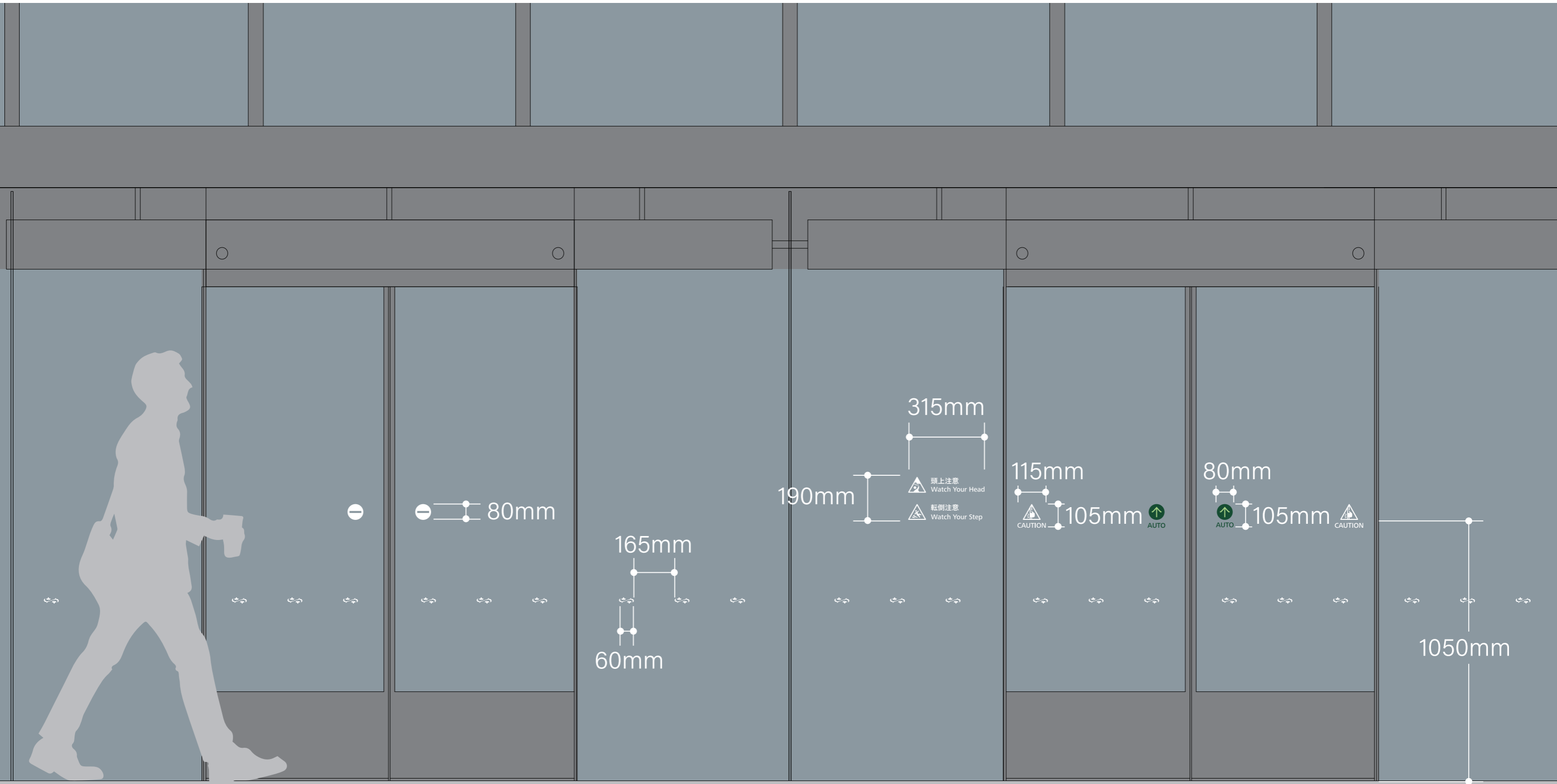
# 温室 | テーマ植物キャプション



公園名称	新宿御苑		
工事名称	令和8年度新宿御苑展示工事		
図面名称	温室 グラフィックデザイン基本図-12	縮尺	1:10(A3)
年月日	令和8年3月	図面番号	D-112
会社名	合同会社わくわくデザイン	照査	設計
事務所名	環境省新宿御苑管理事務所	照査	設計

proposed by  
IROBE DESIGN INSTITUTE,  
NIPPON DESIGN CENTER INC.

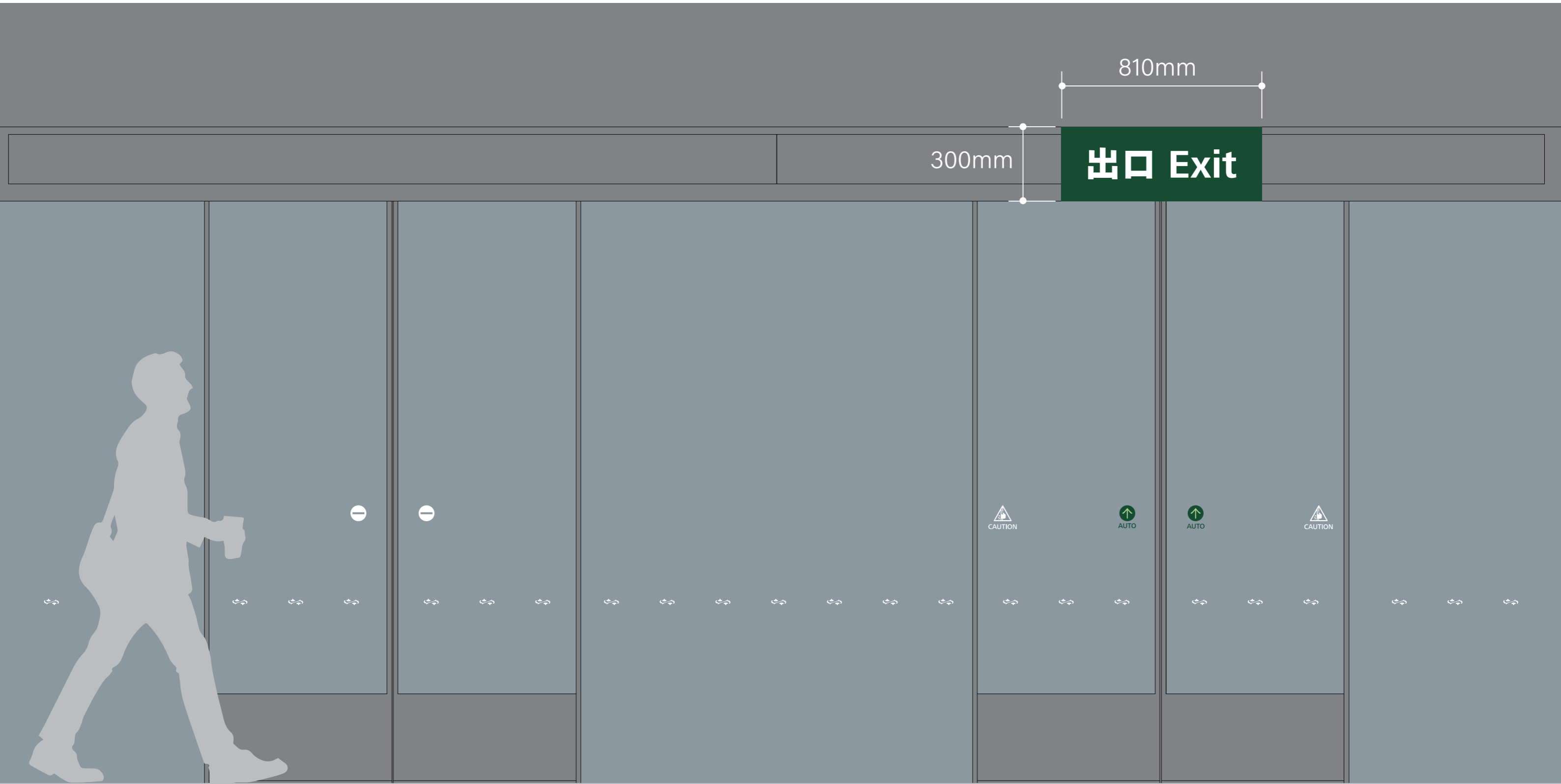
温室 | S-1-1 入口表示 (ガラス面)、S-1-2 侵入禁止 (ガラス面)、S-2-1 館内注意 (ガラス面)



公園名称	新宿御苑		
工事名称	令和8年度新宿御苑展示工事		
図面名称	温室 サイン詳細図-1	縮尺	1:15(A3)
年月日	令和8年3月	図面番号	E-101
会社名	合同会社わくわくデザイン	照査	設計
事務所名	環境省新宿御苑管理事務所	照査	設計

proposed by  
IROBE DESIGN INSTITUTE,  
NIPPON DESIGN CENTER INC.

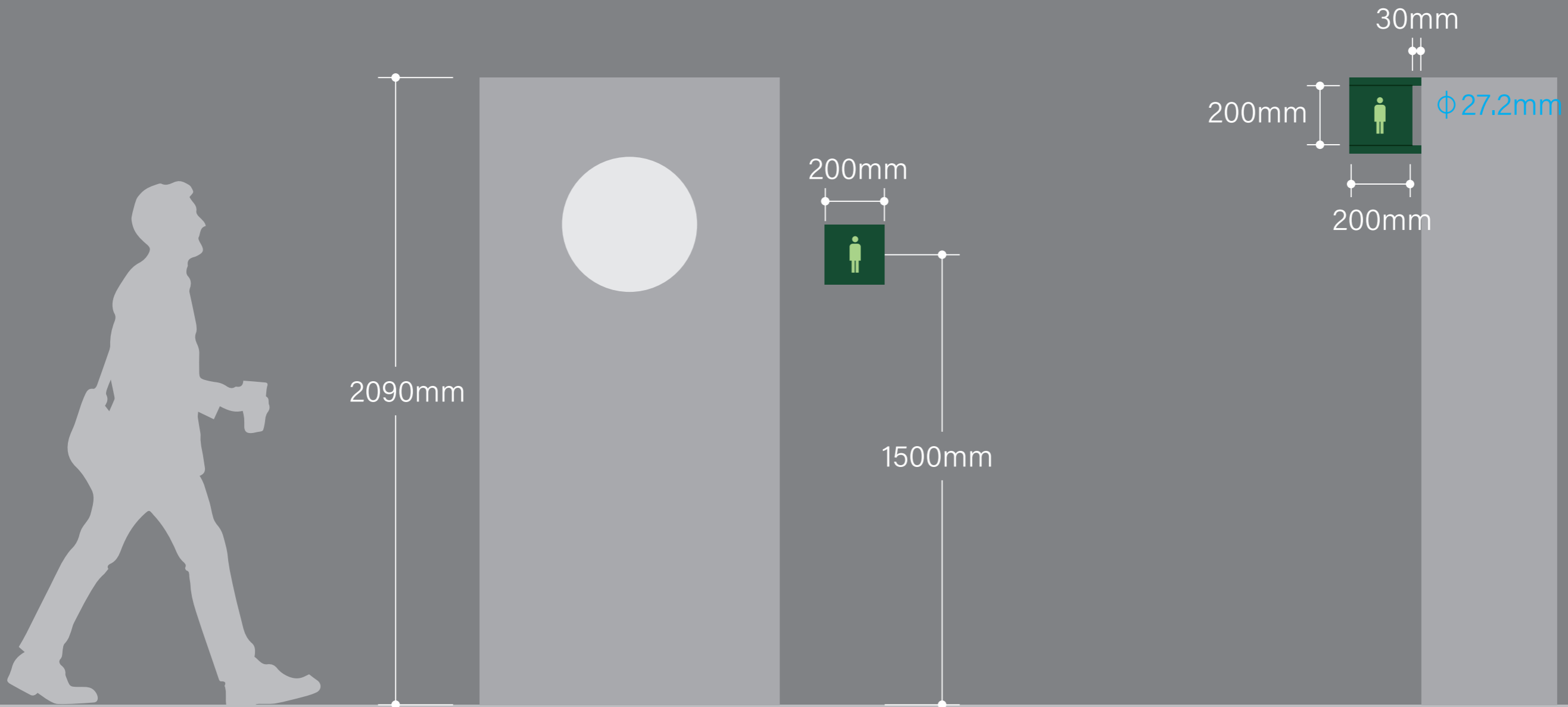
温室 | S-1-3 出口表示 (金属面)



公園名称	新宿御苑		
工事名称	令和8年度新宿御苑展示工事		
図面名称	温室 サイン詳細図-2	縮尺	1:15(A3)
年月日	令和8年3月	図面番号	E-102
会社名	合同会社わくわくデザイン	照査	設計
事務所名	環境省新宿御苑管理事務所	照査	設計

proposed by  
IROBE DESIGN INSTITUTE,  
NIPPON DESIGN CENTER INC.

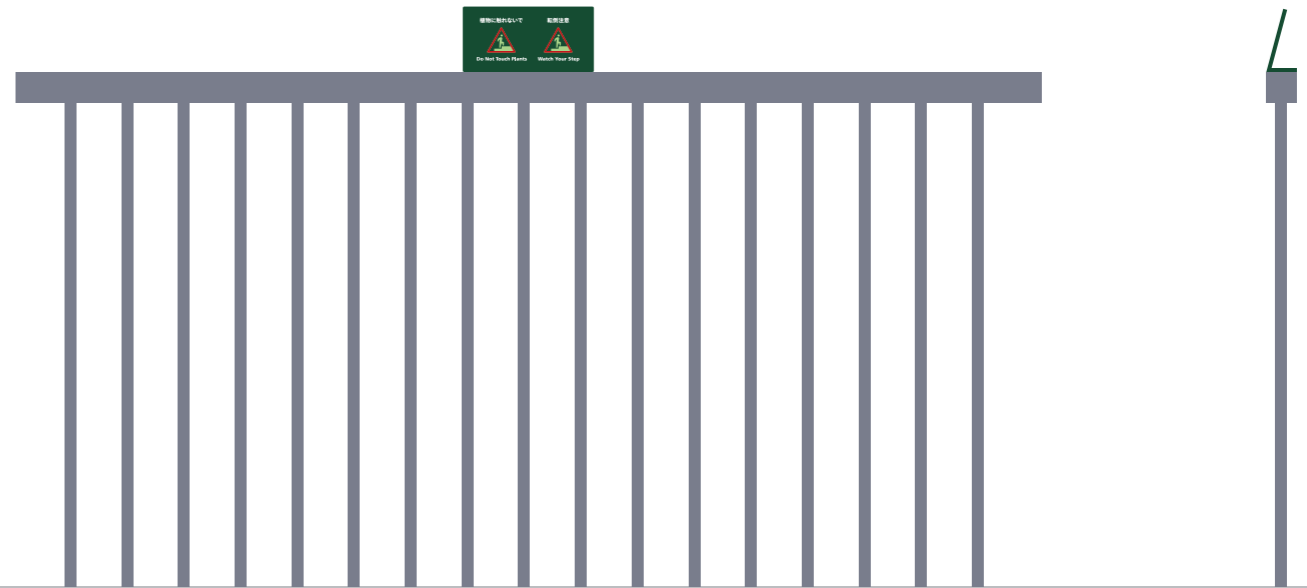
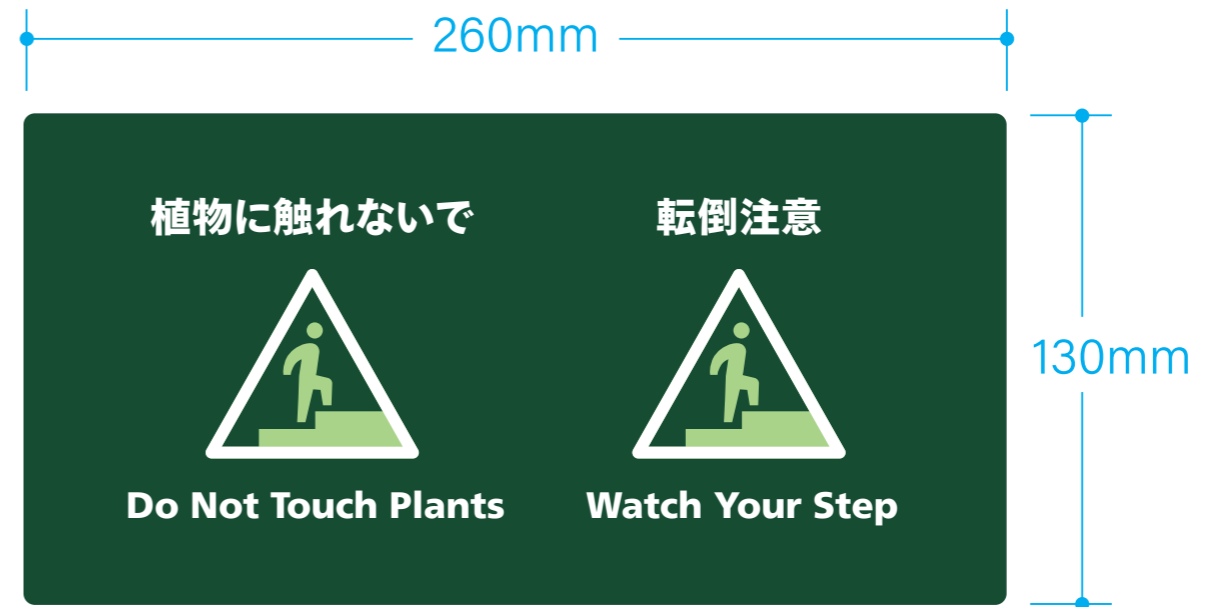
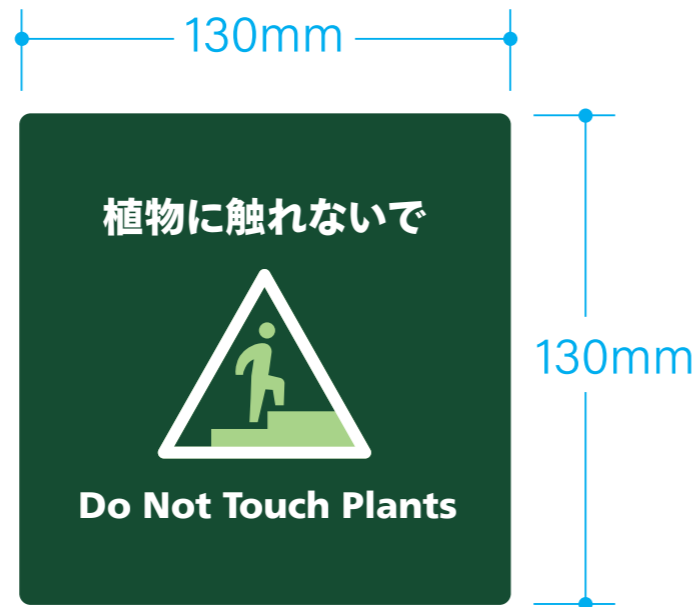
温室 | S-1-4 トイレ1 (突き出しタイプ)、S-1-5 トイレ2 (貼り付けタイプ)



公園名称	新宿御苑		
工事名称	令和8年度新宿御苑展示工事		
図面名称	温室 サイン詳細図-3	縮尺	1:15(A3)
年月日	令和8年3月	図面番号	E-103
会社名	合同会社わくわくデザイン	照査	設計
事務所名	環境省新宿御苑管理事務所	照査	設計

proposed by  
IROBE DESIGN INSTITUTE,  
NIPPON DESIGN CENTER INC.

温室 | S-2-2 植物に触れないで(自立タイプ)、S-2-3 植物に触れないで、転倒注意(手摺笠木面)



公園名称	新宿御苑		
工事名称	令和8年度新宿御苑展示工事		
図面名称	温室 サイン詳細図-4	縮尺	1:15(A3)
年月日	令和8年3月	図面番号	E-104
会社名	合同会社わくわくデザイン	照査	設計
事務所名	環境省新宿御苑管理事務所	照査	設計

proposed by  
IROBE DESIGN INSTITUTE,  
NIPPON DESIGN CENTER INC.

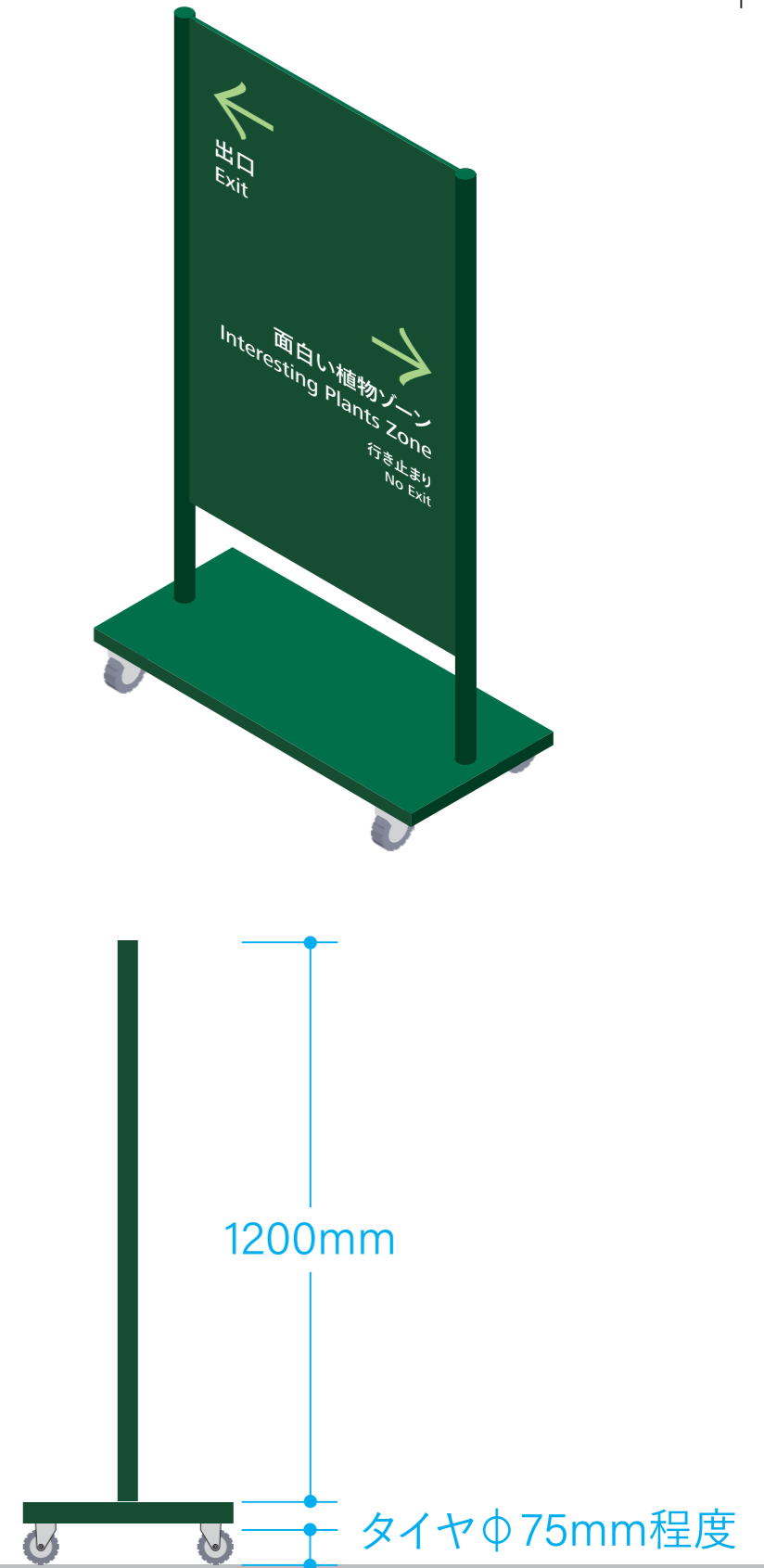
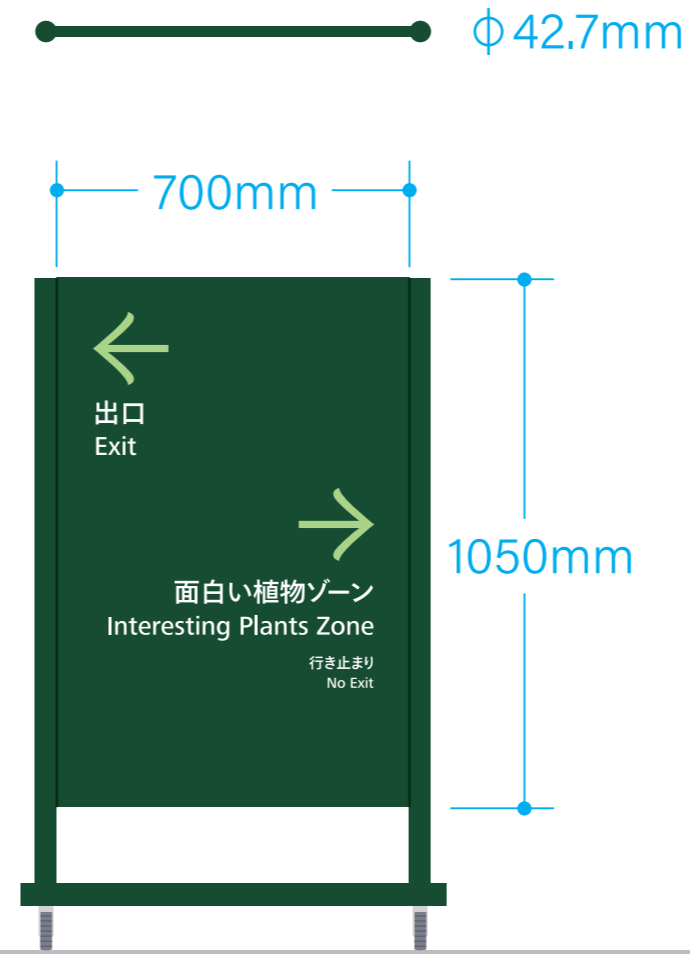
温室 | S-2-5 NO ENTRY (可動スタンド面)、S-3-3 行き止まり (可動スタンド面)



公園名称	新宿御苑		
工事名称	令和8年度新宿御苑展示工事		
図面名称	温室 サイン詳細図-5	縮尺	1:15(A3)
年月日	令和8年3月	図面番号	E-105
会社名	合同会社わくわくデザイン	照査	設計
事務所名	環境省新宿御苑管理事務所	照査	設計

proposed by  
IROBE DESIGN INSTITUTE,  
NIPPON DESIGN CENTER INC.

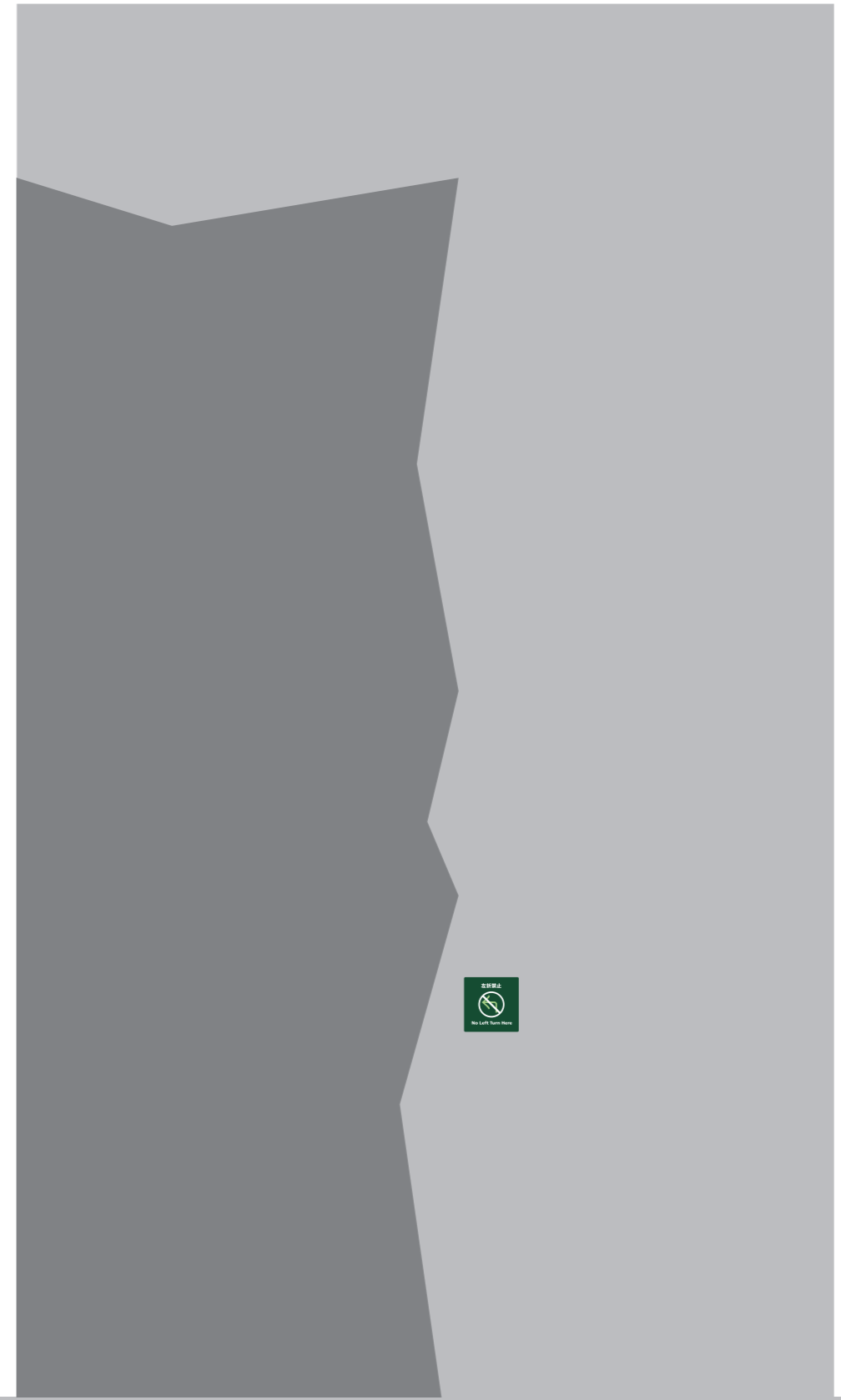
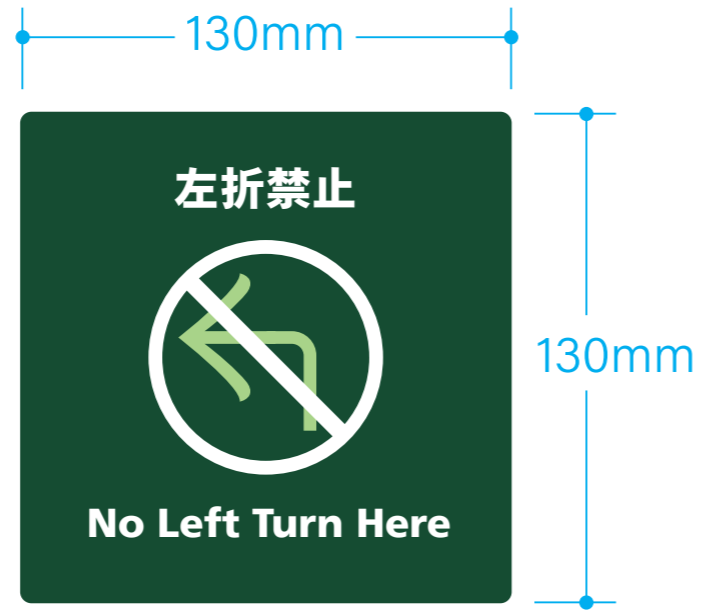
温室 | S-3-1 出口表示 (可動スタンド面)



proposed by  
IROBE DESIGN INSTITUTE,  
NIPPON DESIGN CENTER INC.

公園名称	新宿御苑		
工事名称	令和8年度新宿御苑展示工事		
図面名称	温室 サイン詳細図-6	縮尺	1:15(A3)
年月日	令和8年3月	図面番号	E-106
会社名	合同会社わくわくデザイン	照査	設計
事務所名	環境省新宿御苑管理事務所	照査	設計

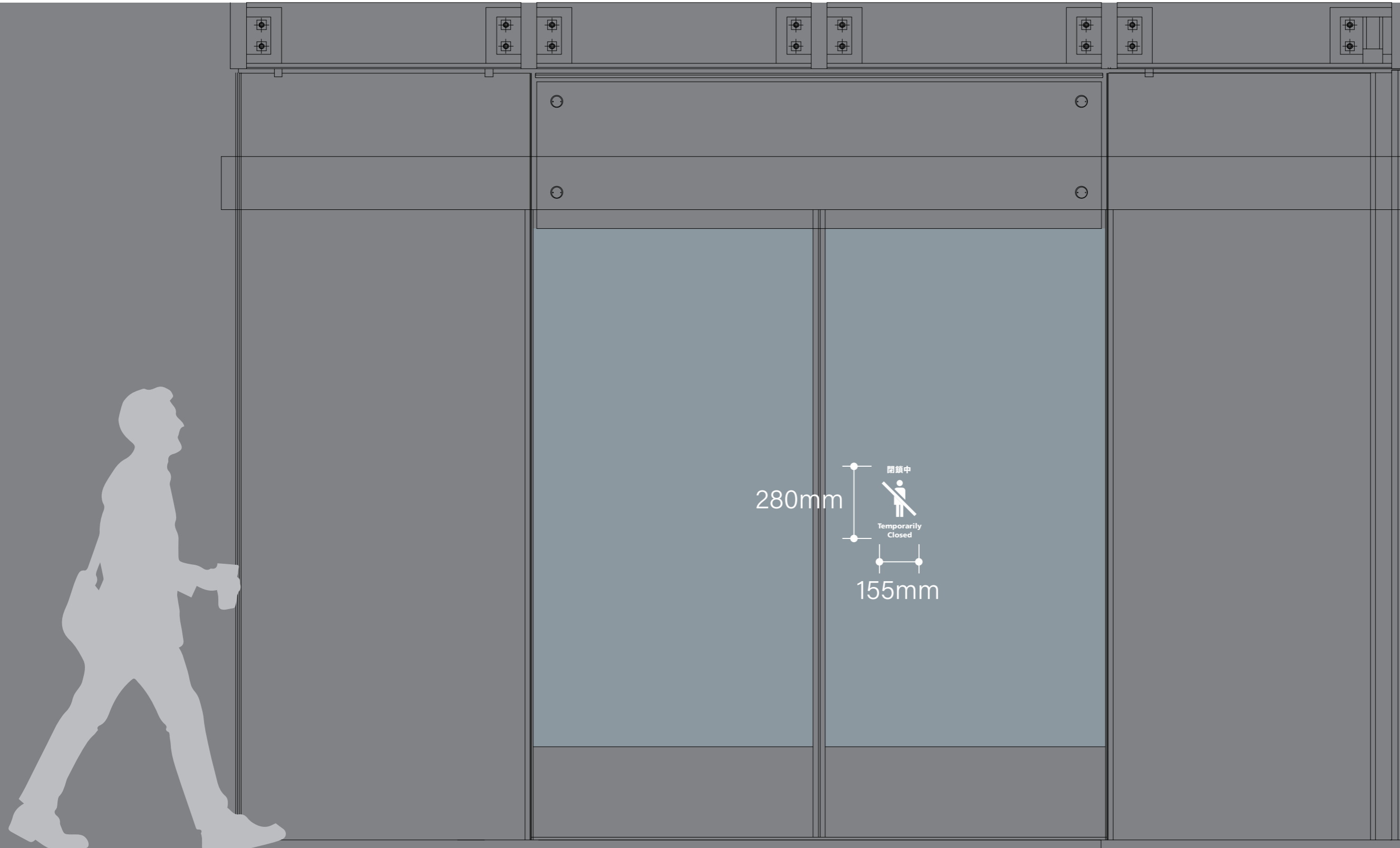
温室 | S-3-2 侵入禁止 (壁面)



公園名称	新宿御苑		
工事名称	令和8年度新宿御苑展示工事		
図面名称	温室 サイン詳細図-7	縮尺	1:15(A3)
年月日	令和8年3月	図面番号	E-107
会社名	合同会社わくわくデザイン	照査	設計
事務所名	環境省新宿御苑管理事務所	照査	設計

proposed by  
IROBE DESIGN INSTITUTE,  
NIPPON DESIGN CENTER INC.

温室 | S-2-6 閉鎖中



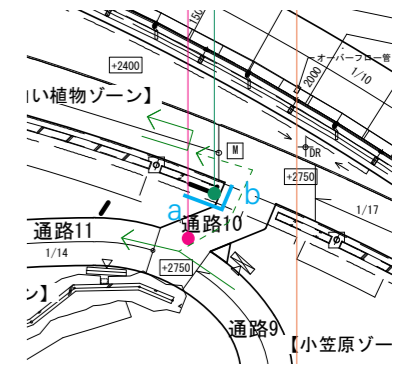
proposed by  
IROBE DESIGN INSTITUTE,  
NIPPON DESIGN CENTER INC.

公園名称	新宿御苑		
工事名称	令和8年度新宿御苑展示工事		
図面名称	温室 サイン詳細図-8	縮尺	1:15(A3)
年月日	令和8年3月	図面番号	E-108
会社名	合同会社わくわくデザイン	照査	設計
事務所名	環境省新宿御苑管理事務所	照査	設計

温室 | S-3-4 分岐点 (壁面)



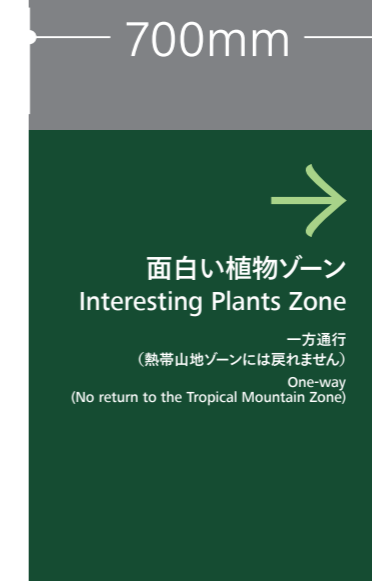
a



b



a

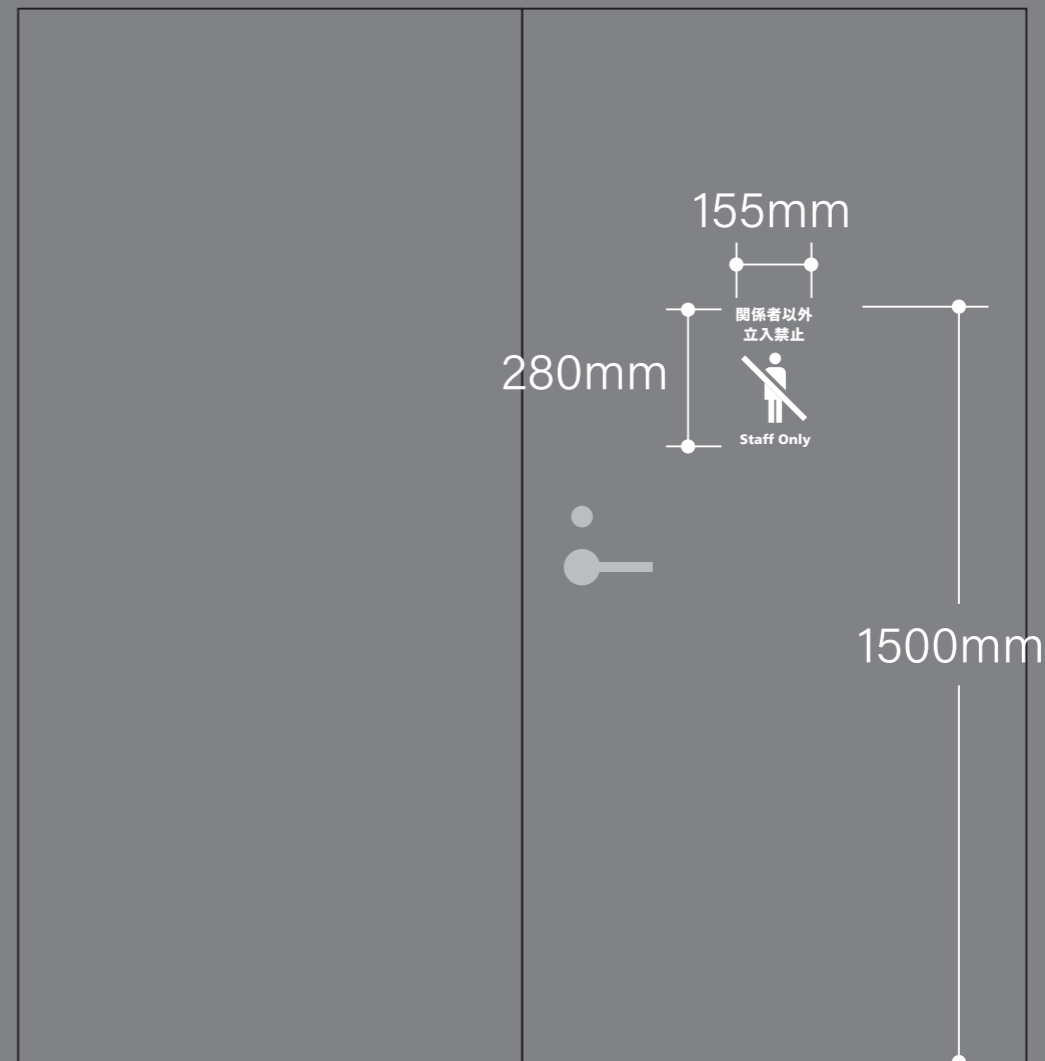


b

公園名称	新宿御苑		
工事名称	令和8年度新宿御苑展示工事		
図面名称	温室 サイン詳細図-g	縮尺	1:15(A3)
年月日	令和8年3月	図面番号	E-109
会社名	合同会社わくわくデザイン	照査	設計
事務所名	環境省新宿御苑管理事務所	照査	設計

proposed by  
IROBE DESIGN INSTITUTE,  
NIPPON DESIGN CENTER INC.

温室 | S-2-4 STAFF ONLY (建具面)

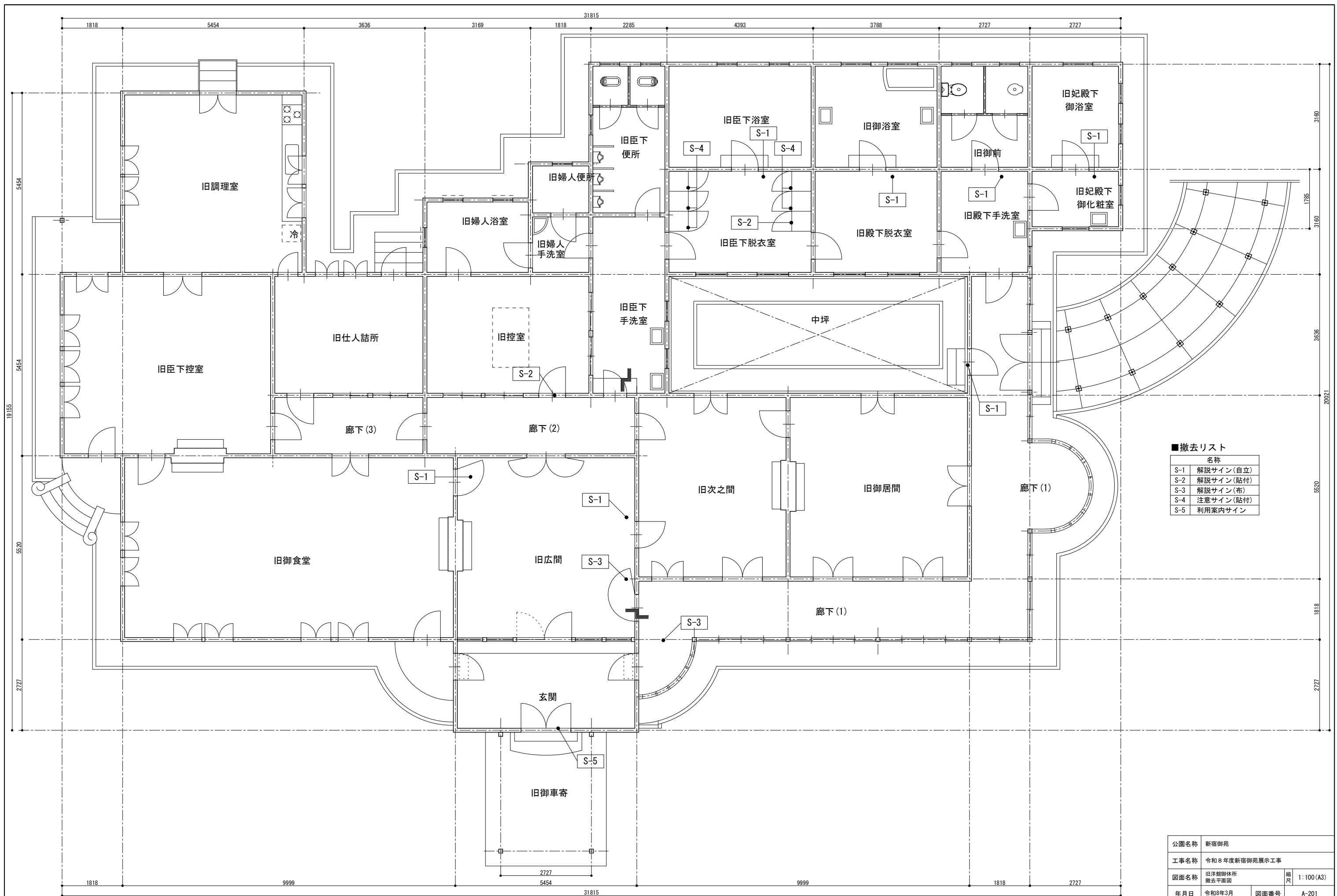


proposed by  
IROBE DESIGN INSTITUTE,  
NIPPON DESIGN CENTER INC.

公園名称	新宿御苑		
工事名称	令和8年度新宿御苑展示工事		
図面名称	温室 サイン詳細図-10	縮尺	1:15(A3)
年月日	令和8年3月	図面番号	E-110
会社名	合同会社わくわくデザイン	照査	設計
事務所名	環境省新宿御苑管理事務所	照査	設計

# 旧洋館御休所

公園名称	新宿御苑		
工事名称	令和8年度新宿御苑展示工事		
図面名称	旧洋館御休所	縮尺	-
年月日	令和8年3月	図面番号	-
会社名	合同会社わくわくデザイン	照査	設計
事務所名	環境省新宿御苑管理事務所	照査	設計



■撤去リスト

名称
S-1 解説サイン(自立)
S-2 解説サイン(貼付)
S-3 解説サイン(布)
S-4 注意サイン(貼付)
S-5 利用案内サイン

公園名称	新宿御苑		
工事名称	令和8年度新宿御苑展示工事		
図面名称	旧洋館御休所 撤去平面図	縮尺	1:100 (A3)
年月日	令和8年3月	図面番号	A-201
会社名	合同会社わくわくデザイン	照査	設計
事務所名	環境省新宿御苑管理事務所	照査	設計

S-1  
解説サイン（自立）



仕様	寸法	備考
木製（支柱）、アクリル製（版面）	上段部：W250 x H1060 x D40 下段部：φ300 x H40	

S-2  
解説サイン（貼付）



仕様	寸法	備考
アクリル製 t3	W200 x H200	IJ シートのみ撤去

S-3  
解説サイン（布）



仕様	寸法	備考
ロールアップバナー	W850 x H120x H120	

S-4  
注意サイン（貼付）



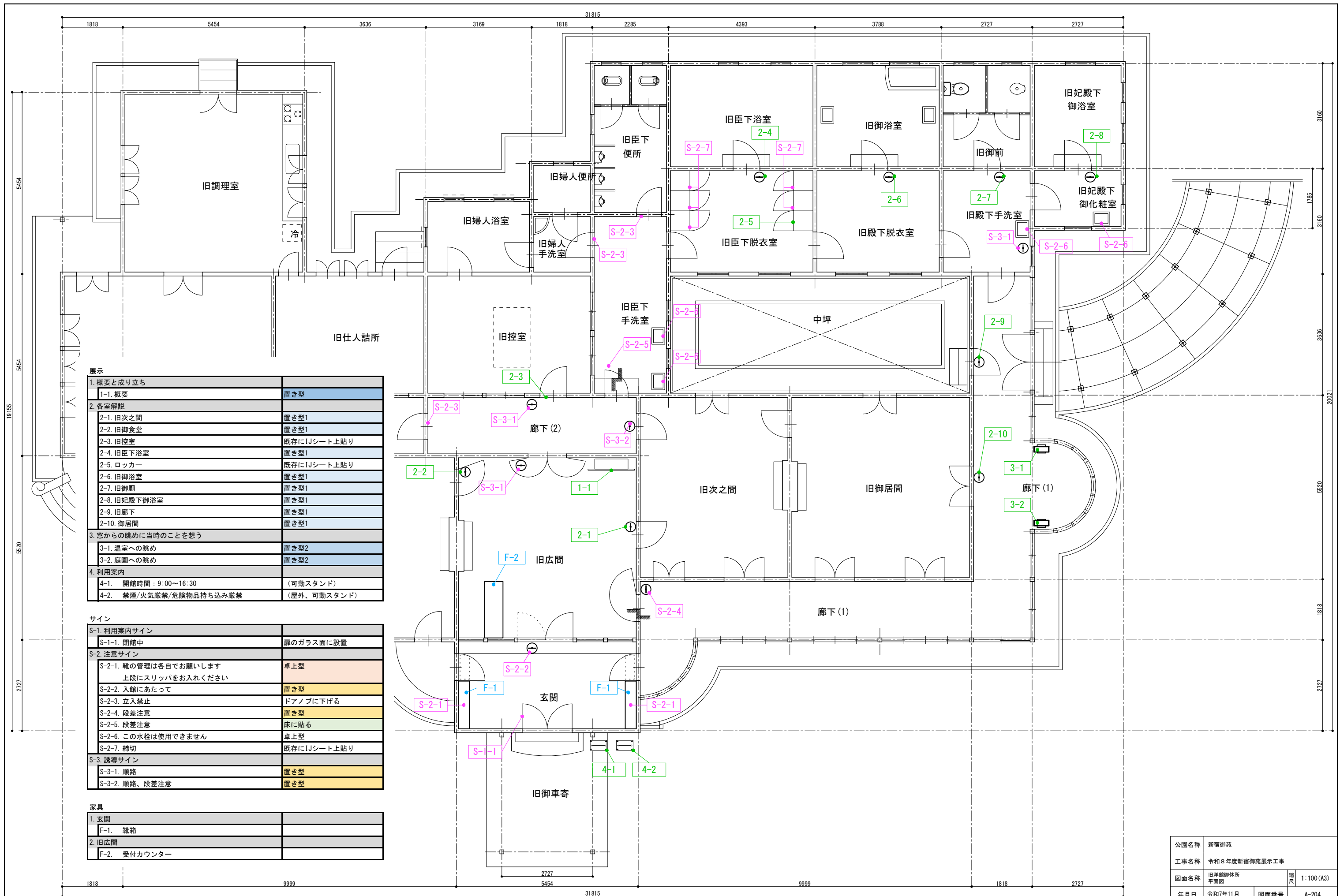
仕様	寸法	備考
アクリル製 t3	W100 x H50	IJ シートのみ撤去

公園名称	新宿御苑		
工事名称	令和8年度新宿御苑展示工事		
図面名称	旧洋館御休所 撤去詳細図-1	縮尺	1:40 (A3) 1:10 (A3)
年月日	令和8年3月	図面番号	A-202
会社名	合同会社わくわくデザイン	照査	設計
事務所名	環境省新宿御苑管理事務所	照査	設計



仕様	寸法	備考
アクリル製 t3	W310 x H310	

公園名称	新宿御苑		
工事名称	令和8年度新宿御苑展示工事		
図面名称	旧洋館御休所	縮尺	1:40 (A3)
	撤去詳細図-2		1:10 (A3)
年月日	令和8年3月	図面番号	A-203
会社名	合同会社わくわくデザイン	照査	設計
事務所名	環境省新宿御苑管理事務所	照査	設計



展示

1. 概要と成り立ち	
1-1. 概要	置き型
2. 各室解説	
2-1. 旧次之間	置き型1
2-2. 旧御食堂	置き型1
2-3. 旧控室	既存に1Jシート上貼り
2-4. 旧臣下浴室	置き型1
2-5. ロッカー	既存に1Jシート上貼り
2-6. 旧御浴室	置き型1
2-7. 旧御前	置き型1
2-8. 旧妃殿下御浴室	置き型1
2-9. 旧廊下	置き型1
2-10. 御居間	置き型1
3. 窓からの眺めに当時のことを想う	
3-1. 温室への眺め	置き型2
3-2. 庭園への眺め	置き型2
4. 利用案内	
4-1. 開館時間：9:00～16:30	(可動スタンド)
4-2. 禁煙/火気厳禁/危険物品持ち込み厳禁	(屋外、可動スタンド)

サイン

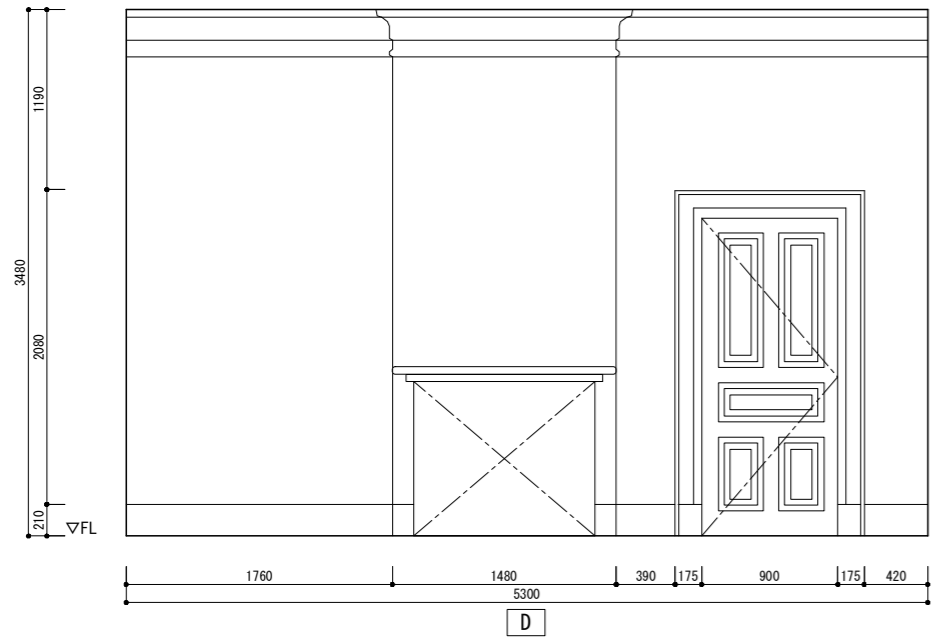
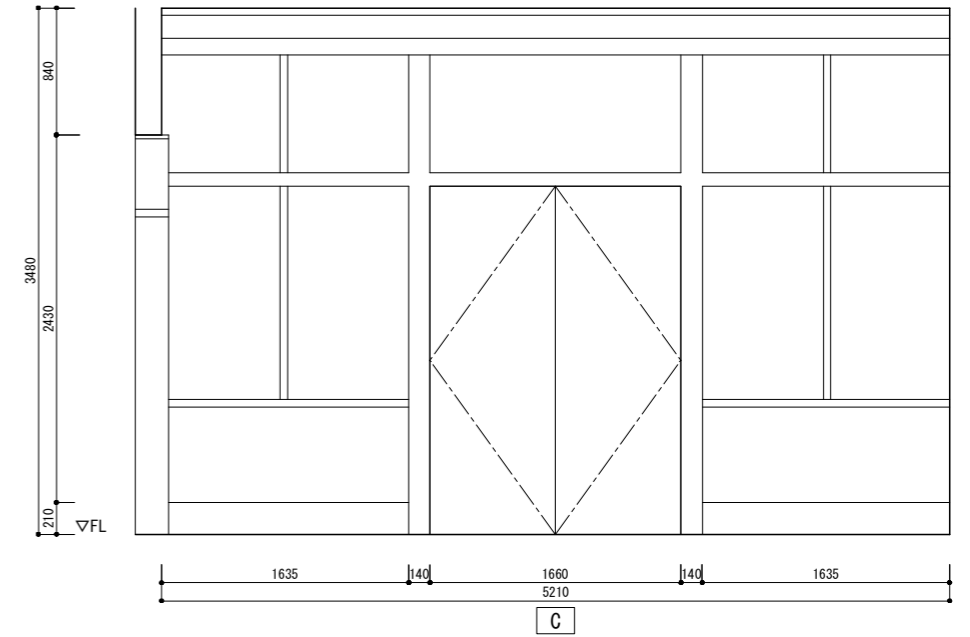
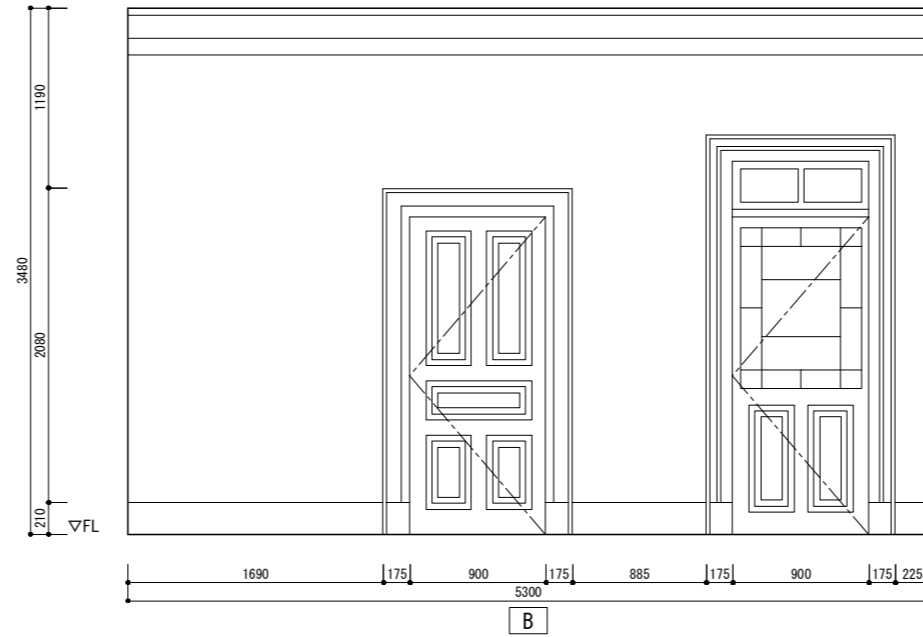
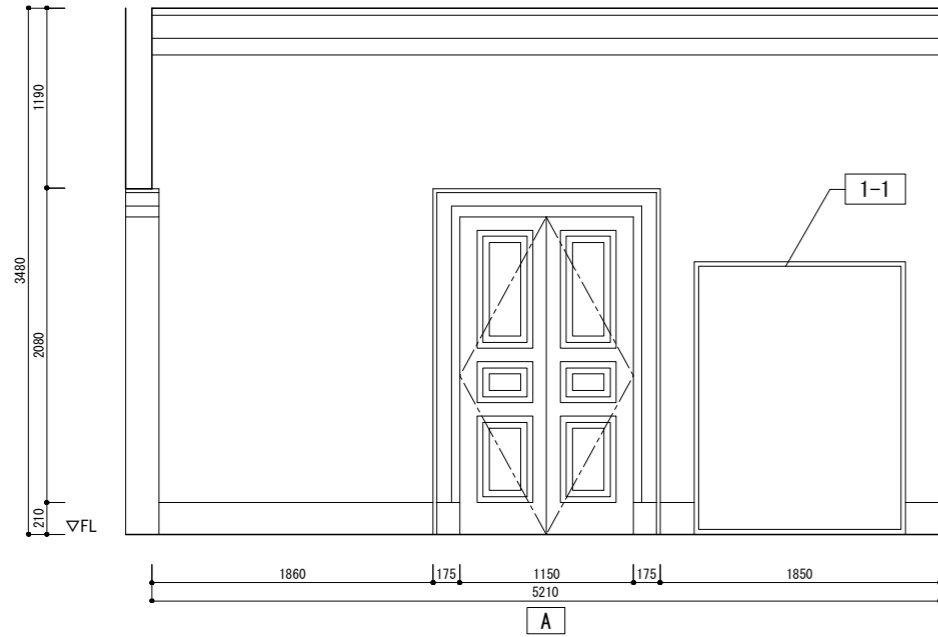
S-1. 利用案内サイン	
S-1-1. 閉館中	扉のガラス面に設置
S-2. 注意サイン	
S-2-1. 靴の管理は各自でお願いします 上段にスリッパをお入れください	卓上型
S-2-2. 入館にあたって	置き型
S-2-3. 立入禁止	ドアノブに下げる
S-2-4. 段差注意	置き型
S-2-5. 段差注意	床に貼る
S-2-6. この水栓は使用できません	卓上型
S-2-7. 締切	既存に1Jシート上貼り
S-3. 誘導サイン	
S-3-1. 順路	置き型
S-3-2. 順路、段差注意	置き型

家具

1. 玄関	
F-1. 靴箱	
2. 旧広間	
F-2. 受付カウンター	

公園名称	新宿御苑		
工事名称	令和8年度新宿御苑展示工事		
図面名称	旧洋館御休所 平面図	縮尺	1:100 (A3)
年月日	令和7年11月	図面番号	A-204
会社名	合同会社わくわくデザイン	照査	設計
事務所名	環境省新宿御苑管理事務所	照査	設計

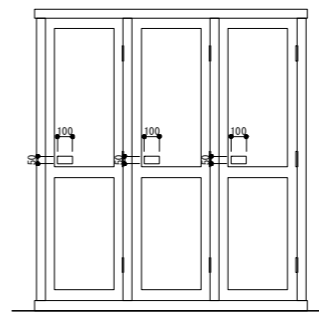
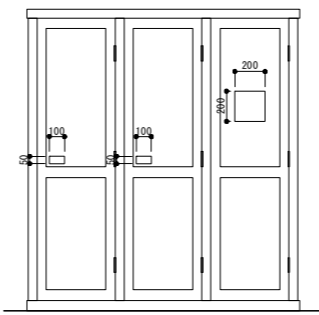
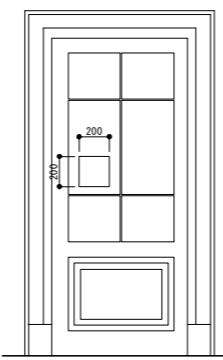
家事室



旧控室 解説板

ロッカー 1

ロッカー 2



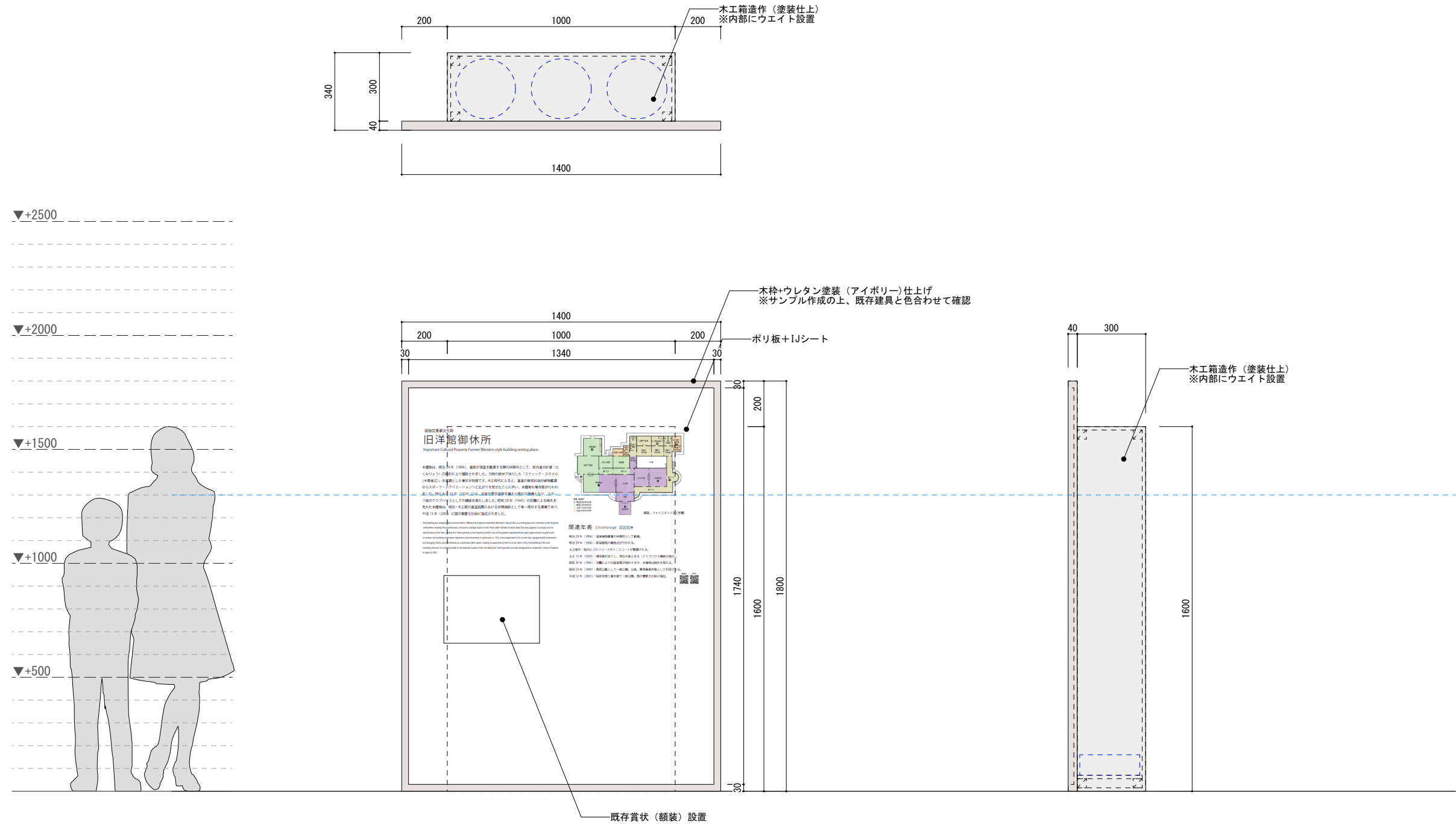
2-3 旧控室  
I.Jシート貼り 200×200

S-2-8 縹切  
I.Jシート貼り 100×50  
2-5 ロッカー  
I.Jシート貼り 200×200  
S-2-8 縹切  
I.Jシート貼り 100×50

S-2-8 縹切  
I.Jシート貼り 100×50

公園名称	新宿御苑		
工事名称	令和8年度新宿御苑展示工事		
図面名称	旧洋館御林所 展開図	縮尺	1:50 (A3)
年月日	令和7年11月	図面番号	A-205
会社名	合同会社わくわくデザイン	照査	設計
事務所名	環境省新宿御苑管理事務所	照査	設計

# 1-1 概要



公園名称	新宿御苑		
工事名称	令和8年度新宿御苑展示工事		
図面名称	旧洋館御休所 造作図-1	縮尺	1/20
年月日	令和8年3月	図面番号	B-201
会社名	合同会社わくわくデザイン	照査	設計
事務所名	環境省新宿御苑管理事務所	照査	設計

# 2-1~10 各室解説 / 3-1~2 窓からの・・・ / S-2-2~S-3-1 サイン

※2-3 / 2-5 / S-2-1 / S-2-3 / S-2-5/  
S-2-6/S-2-7はサイン図参照

▼+2500 展示パネル

2-1~2-10 各室解説  
210x297 (H1170)  
スタンド(版面傾斜調整可能)

3-1/3-2 窓からの眺めに当時のことを想う  
420x297 (H1170)  
スタンド(版面傾斜調整可能)

サイン

S-2-2 入館にあたって  
420x297 (H1170)  
スタンド(版面傾斜調整可能)

S-2-4 段差注意 / S-3-1 順路  
120x120 (H1127)  
スタンド

S-3-2 順路, 段差注意  
120x240 (H1127)  
スタンド

▼+2000

サインパネル：白色無地の上、IJシート貼り  
本体：シルバー色

サインパネル：白色無地の上、IJシート貼り  
本体：シルバー色

サインパネル：白色無地の上、IJシート貼り  
本体：シルバー色

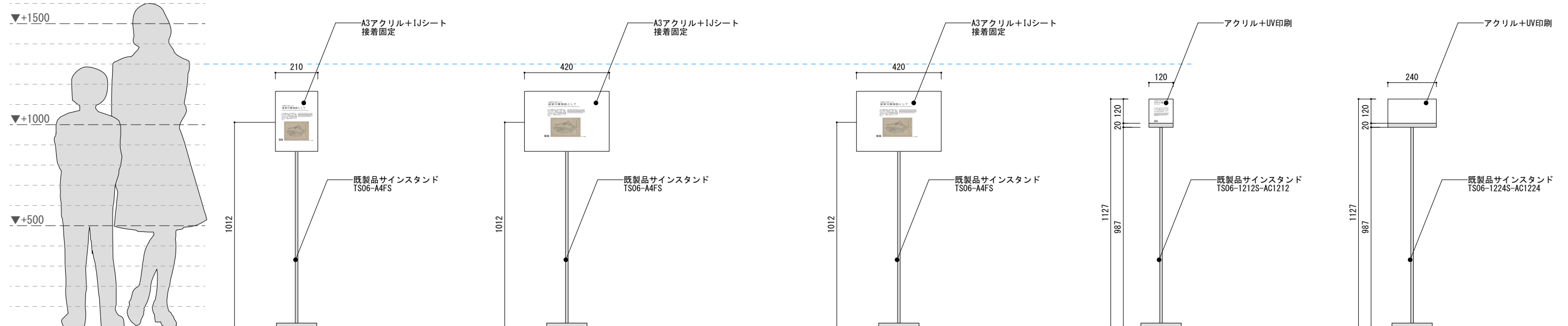
サインパネル：白色無地の上、UV印刷  
本体：シルバー色

サインパネル：白色無地の上、UV印刷  
本体：シルバー色

▼+1500

▼+1000

▼+500



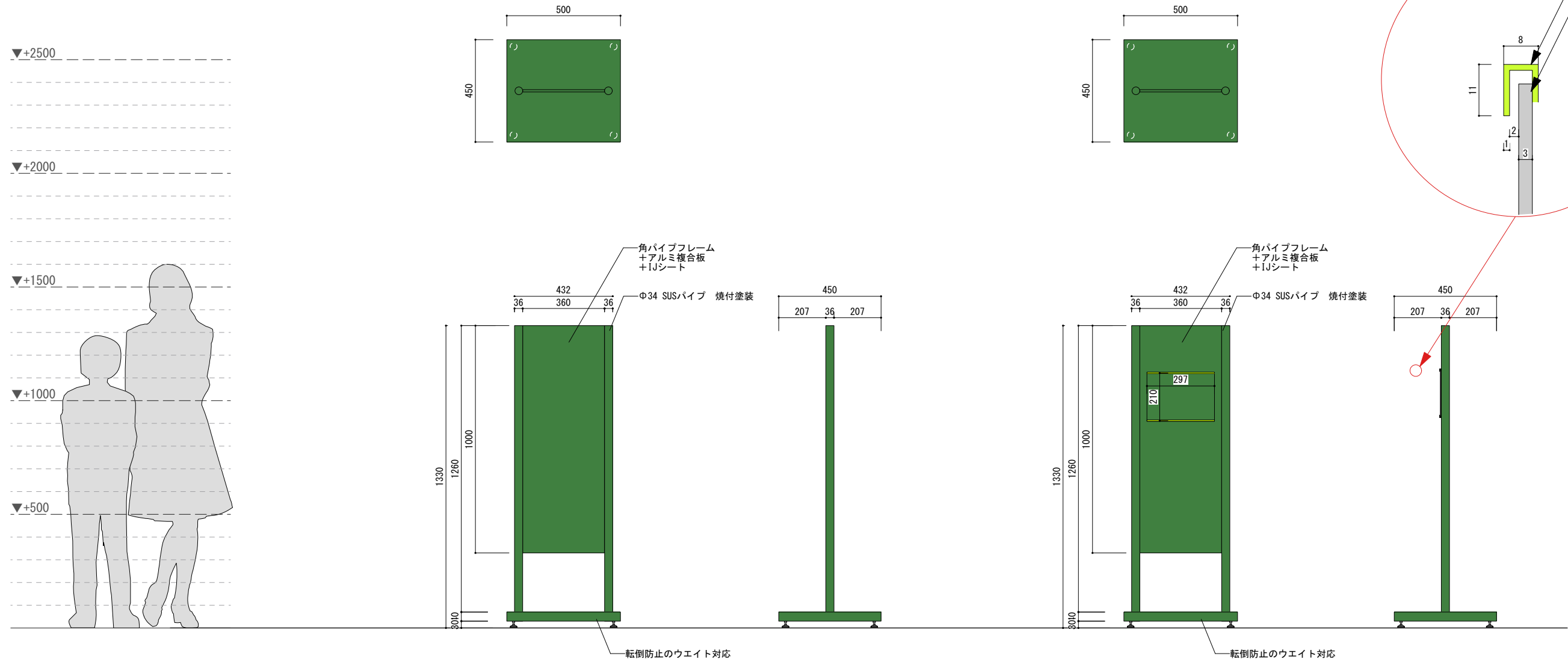
公園名称	新宿御苑		
工事名称	令和8年度新宿御苑展示工事		
図面名称	旧洋館御休所 造作図-2	縮尺	1/20
年月日	令和8年3月	図面番号	B-202
会社名	合同会社わくわくデザイン	照査	設計
事務所名	環境省新宿御苑管理事務所	照査	設計

# 4-1 利用案内

## 4-2 注意事項 屋外スタンド ×1台

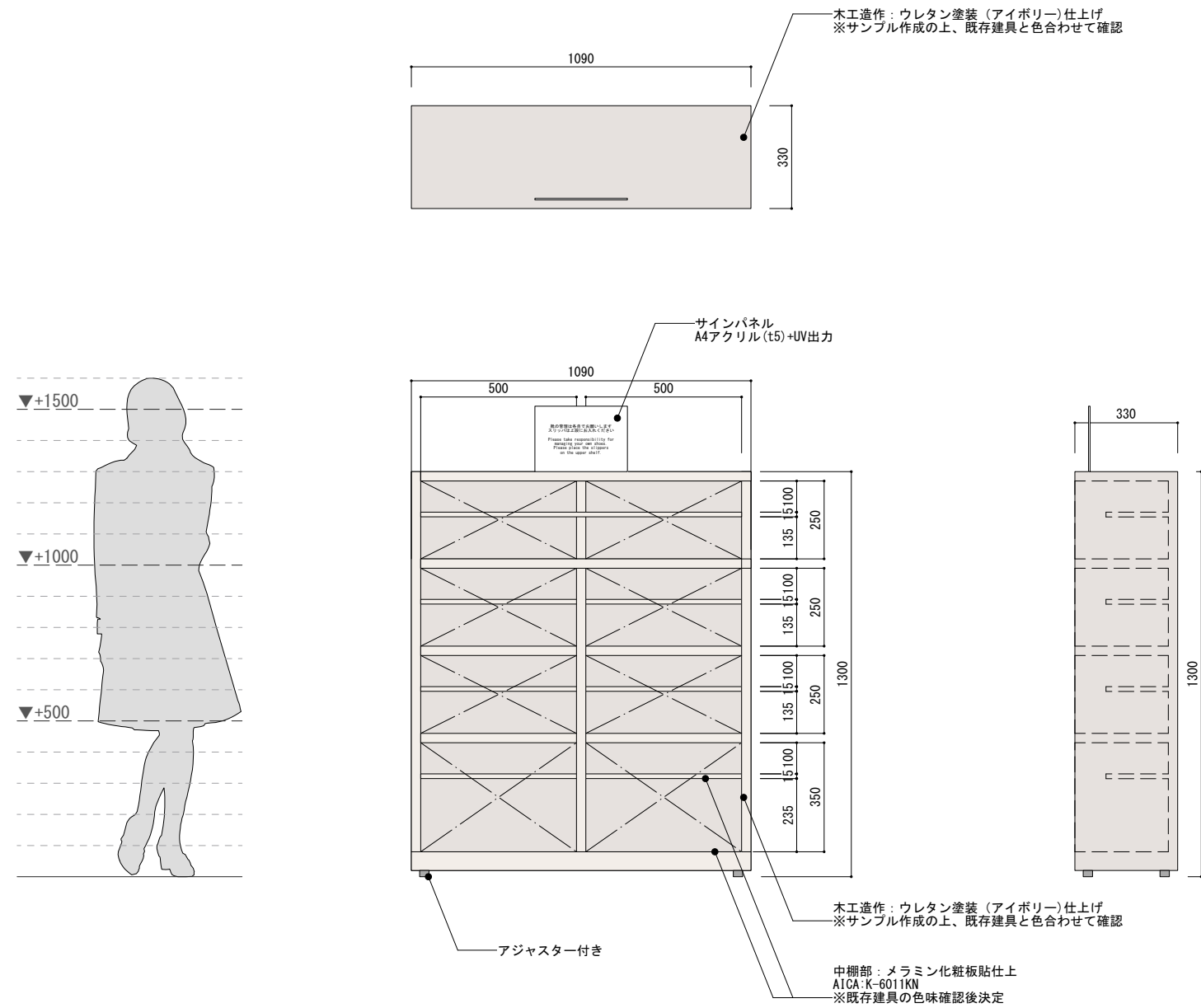
## 4-1 開館時間 屋外スタンド ×1台

※差替パネルは3枚製作



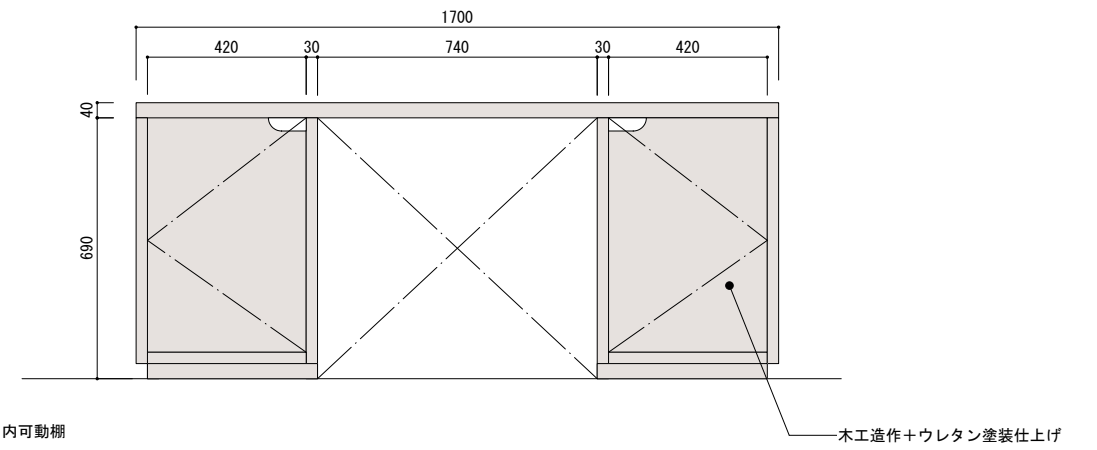
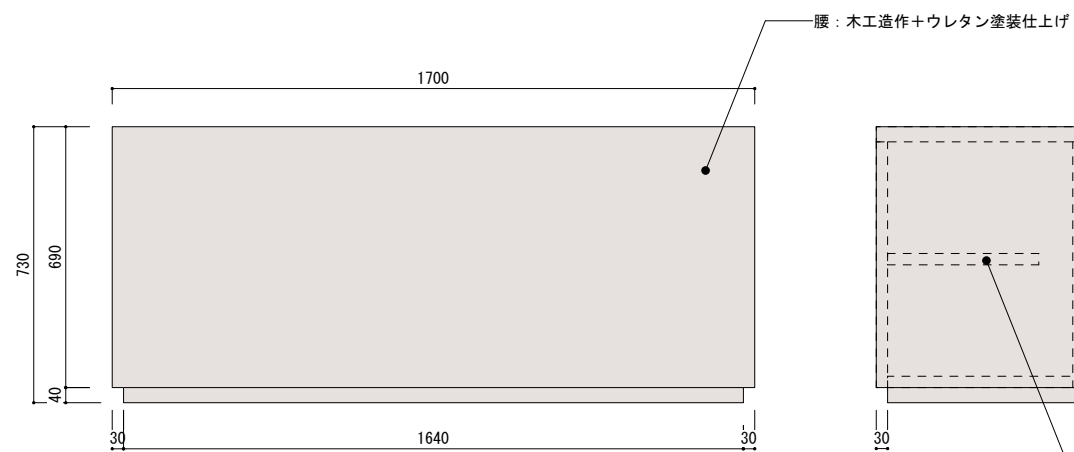
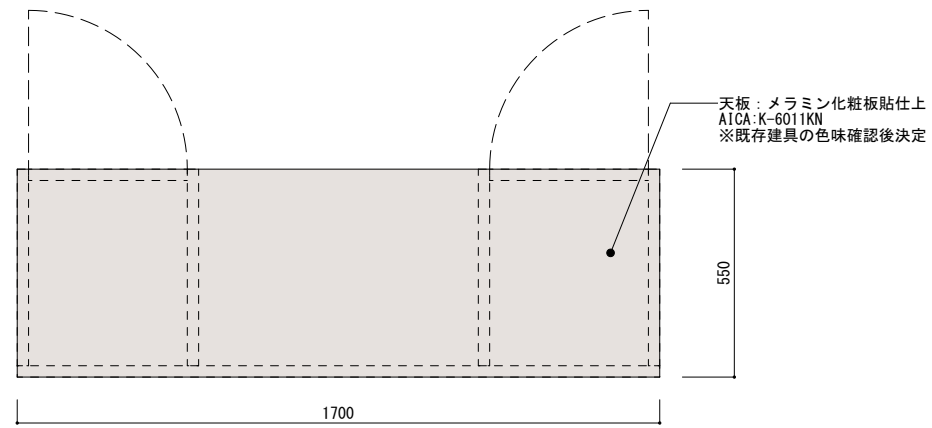
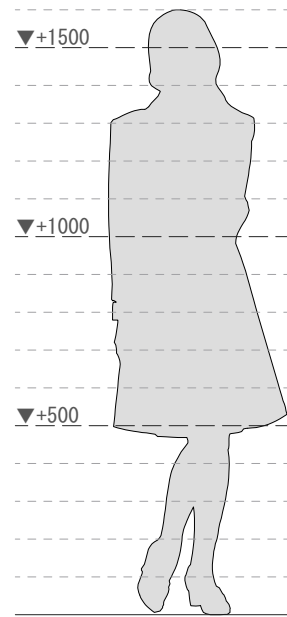
公園名称	新宿御苑		
工事名称	令和8年度新宿御苑展示工事		
図面名称	旧洋館御休所 造作図-3	縮尺	1/20
年月日	令和8年3月	図面番号	B-203
会社名	合同会社わくわくデザイン	照査	設計
事務所名	環境省新宿御苑管理事務所	照査	設計

# F-1 靴箱



公園名称	新宿御苑		
工事名称	令和8年度新宿御苑展示工事		
図面名称	旧洋館御休所 造作図-4	縮尺	1/20
年月日	令和8年3月	図面番号	B-204
会社名	合同会社わくわくデザイン	照査	設計
事務所名	環境省新宿御苑管理事務所	照査	設計

# F-2 受付カウンター



公園名称	新宿御苑		
工事名称	令和8年度新宿御苑展示工事		
図面名称	旧洋館御休所 造作図-5	縮尺	1/20
年月日	令和8年3月	図面番号	B-205
会社名	合同会社わくわくデザイン	照査	設計
事務所名	環境省新宿御苑管理事務所	照査	設計

# 1. イントロダクション

1800mm

## 国指定重要文化財 旧洋館御休所

Nationally Designated Important Cultural Property  
Kyu-Gokyu-Sho (Old Imperial Rest House)

本建物は、明治29年（1896）、皇族が温泉を鑑賞する際の休憩所として、宮内省内匠家（たくみりょう）の設計により建設されました。当時の建築で流行した「ステック・スタイル（木骨様式）」を基調とした意匠が特徴です。大正時代に入ると、皇室の御用利用が植物鑑賞からスポーツ・レクリエーションへと広がりを見せたことに伴い、本建物も増改築が行われました。特に大正13年（1924）には、浴室や更衣室等を備えた現在の規模となり、スポーツ後のクラブハウスとしての機能を果たしました。昭和20年（1945）の空襲による焼失を免れた本建物は、明治・大正期の皇室庭園における休憩施設として唯一現存する遺構であり、平成13年（2001）に国の重要文化財に指定されました。

They arrived by being carried by ocean currents or by attaching themselves to driftwood. Floating coconuts and other things arrived this way, but acorns, which sink in water, they arrived by being carried by ocean currents or by attaching themselves to driftwood. Floating coconuts and other things arrived this way, but acorns, which sink in water, they arrived by being carried by ocean currents or by attaching themselves to driftwood. Floating coconuts and other things arrived this way, but acorns, which sink in water, they arrived by being carried by ocean currents or by attaching themselves to driftwood.

**関連年表  
Chronology**

- 明治29年：温泉植物鑑賞の休憩所として創建  
1896 : They arrived by being carried by ocean currents or by atta
- 明治39年：新復原の閉苑式が行われる  
1906 : They arrived by being carried by ocean currents or by atta
- 大正時代：苑内にゴルフコースやテニスコートが整備される  
They arrived by being carried by ocean currents or by atta
- 大正13年：増改築が完了し、現在の姿となる（クラブハウス機能の強化）  
1924 : They arrived by being carried by ocean currents or by atta
- 昭和20年：空襲により旧温泉等が焼失する中、本建物は焼失を免れる  
1945 : They arrived by being carried by ocean currents or by atta
- 昭和24年：国民公園として一般公開。以後、管理事務所等として利用される  
1949 : They arrived by being carried by ocean currents or by atta
- 平成13年：保存改修工事を経て一般公開。国の重要文化財に指定  
2001 : They arrived by being carried by ocean currents or by atta

CG (環境省より提供)  
断層、アイトスポットなど追加

賞状 (既存の額縁を利用)

S=1/10(A4)

# 2. 各室の紹介

297mm

## 旧次之間 Old Second Parlor

この旧次之間と手前の旧広間、奥の旧御居間は明治29(1896)年の創建以来手の加えられていないスペースです。壁紙などの内装は、わずかに残された断片や記録などを参考に復元しています。

Japan is a country where beautiful seasonal nature and traditional culture thrive. You can enjoy ancient temples in historic cities, modern urban life, hot springs, and delicious cuisine, offering a wide variety of attractions.

210mm

# 3. 窓からの眺めに当時のことを想う

297mm

## 温室付属施設として As a greenhouse annex

旧洋館御休所は、単独の施設ではなく、隣接する温室の付属施設として計画・建設されたものです。当時の皇室の方々や賓客は、洋ランや熱帯植物を鑑賞した後、この建物で休憩を取ったとされています。

Japan is a country where beautiful seasonal nature and traditional culture thrive. You can enjoy ancient temples in historic cities, modern urban life, hot springs, and delicious cuisine, offering a wide variety of attractions.

写真 (国が書庫等より入手)

420mm

## クラブハウスとして As a Clubhouse

大正時代には正面の芝生広場に9ホールのゴルフコースやテニスコートが整備され、本建物は皇室関係者による更衣室や浴室、休憩スペースを備えた「クラブハウス」として利用されるようになりました。

Japan is a country where beautiful seasonal nature and traditional culture thrive. You can enjoy ancient temples in historic cities, modern urban life, hot springs, and delicious cuisine, offering a wide variety of attractions.

写真 (公文書館等より入手)

S=1/5(A4)

公園名称	新富御苑
工事名称	令和8年度新富御苑展示工事
図面名称	旧洋館御休所 クラブハウスの構成図
年月日	令和8年3月
図面番号	C-201
縮尺	-
製図	製図
監製	監製
事務所名	環境省新富御苑管理事務所

# 旧洋館御休所 | 1 概要



1800mm

1400mm

国指定重要文化財  
Nationally Designated Important Cultural Property

## 旧洋館御休所 Kyu-Gokyu-Sho (Old Imperial Rest House)

本建物は、明治29年(1896)、皇族が温室を鑑賞する際の休憩所として、宮内省内匠寮(たくみりょう)の設計により建設されました。当時の欧米で流行した「スティック・スタイル(木骨様式)」を基調とした意匠が特徴です。大正時代に入ると、皇室の御苑利用が植物鑑賞からスポーツ・レクリエーションへと広がりを見せたことに伴い、本建物も増改築が行われました。特に大正13年(1924)には、浴室や更衣室等を備えた現在の規模となり、スポーツ後のクラブハウスとしての機能を果たしました。昭和20年(1945)の空襲による焼失を免れた本建物は、明治・大正期の皇室御園における休憩施設として唯一現存する遺構であり、平成13年(2001)に国の重要文化財に指定されました。

They arrived by being carried by ocean currents or by attaching themselves to driftwood. Floating coconuts and other things arrived this way, but acorns, which sink in water. They arrived by being carried by ocean currents or by attaching themselves to driftwood. Floating coconuts and other things arrived this way, but acorns, which sink in water. They arrived by being carried by ocean currents or by attaching themselves to driftwood. Floating coconuts and other things arrived this way, but acorns, which sink in water. They arrived by being carried by ocean currents or by attaching themselves to driftwood. Floating coconuts and other things arrived this way, but acorns, which sink in water.

関連年表  
Chronology

明治29年	温室植物鑑賞の休憩所として創建
明治39年	新宿御苑の開苑式が行われる
大正時代	苑内にゴルフコースやテニスコートが整備される
大正13年	増改築が完了し、現在の姿となる(クラブハウス機能の強化)
昭和20年	空襲により旧温室等が焼失する中、本建物は焼失を免れる
昭和24年	国民公園として一般公開。以後、管理事務所等として利用される
平成13年	保存改修工事を経て一般公開。国の重要文化財に指定

1896 They arrived by being carried by ocean currents or by attaching themselves to driftwood. Floating coconuts and other things arrived this way, but acorns, which sink in water.

1906 they arrived by being carried by ocean currents or by attaching themselves to driftwood. Floating coconuts and other things arrived this way, but acorns, which sink in water.

Taisho period They arrived by being carried by ocean currents or by attaching themselves to driftwood. Floating coconuts and other things arrived this way, but acorns, which sink in water.

1924 They arrived by being carried by ocean currents or by attaching themselves to driftwood. Floating coconuts and other things arrived this way, but acorns, which sink in water.

1945 They arrived by being carried by ocean currents or by attaching themselves to driftwood. Floating coconuts and other things arrived this way, but acorns, which sink in water.

1949 They arrived by being carried by ocean currents or by attaching themselves to driftwood. Floating coconuts and other things arrived this way, but acorns, which sink in water.

2001 They arrived by being carried by ocean currents or by attaching themselves to driftwood. Floating coconuts and other things arrived this way, but acorns, which sink in water.

新宿御苑  
Shinjuku Gyoen National Garden

木枠+ウレタン塗装  
インテリアに合わせたベージュ

ポリ板+リシート出力  
真っ白ではなく、一段階浅いベージュ

旧洋館パンフレットの地図を使用

公園名称	新宿御苑		
工事名称	令和8年度新宿御苑展示工事		
図面名称	旧洋館御休所 グラフィックデザイン基本図-1	縮尺	1:10(A3)
年月日	令和8年3月	図面番号	D-201
会社名	合同会社わくわくデザイン	照査	設計
事務所名	環境省新宿御苑管理事務所	照査	設計

proposed by  
IROBE DESIGN INSTITUTE,  
NIPPON DESIGN CENTER INC.

# 旧洋館御休所 | 2 各室解説

**旧次之間**  
Old Second Parlor

この旧次之間と手前の旧広間、奥の旧御居間は明治29(1896)年の創建以来手の加えられていないスペースです。壁紙などの内装は、わずかに残された断片や記録などを参考に復元しています。

日本は四季の美しい自然と伝統文化が息づく国です。歴史ある街並み、現代の都市生活、温泉、そして美味しい食文化、様々な観光地があります。

QRコード: 簡体中文, 繁体中文, 한국어

297mm

210mm

**クラブハウスとして**  
As a Clubhouse

大正時代には正面の芝生広場に9ホールのゴルフコースやテニスコートが整備され、本建物は皇室関係者による更衣室や浴室、休憩スペースを備えた「クラブハウス」として利用されるようになりました。

日本は四季の美しい自然と伝統文化が息づく国です。歴史ある街並み、現代の都市生活、温泉、そして美味しい食文化、様々な観光地があります。

写真 (公文書館等より入手)

QRコード: 簡体中文, 繁体中文, 한국어

297mm

420mm

**旧次之間**  
Old Second Parlor

この旧次之間と手前の旧広間、奥の旧御居間は明治29(1896)年の創建以来手の加えられていないスペースです。壁紙などの内装は、わずかに残された断片や記録などを参考に復元しています。

日本は四季の美しい自然と伝統文化が息づく国です。歴史ある街並み、現代の都市生活、温泉、そして美味しい食文化、様々な観光地があります。

QRコード: 簡体中文, 繁体中文, 한국어

**クラブハウスとして**  
As a Clubhouse

大正時代には正面の芝生広場に9ホールのゴルフコースやテニスコートが整備され、本建物は皇室関係者による更衣室や浴室、休憩スペースを備えた「クラブハウス」として利用されるようになりました。

日本は四季の美しい自然と伝統文化が息づく国です。歴史ある街並み、現代の都市生活、温泉、そして美味しい食文化、様々な観光地があります。

写真 (公文書館等より入手)

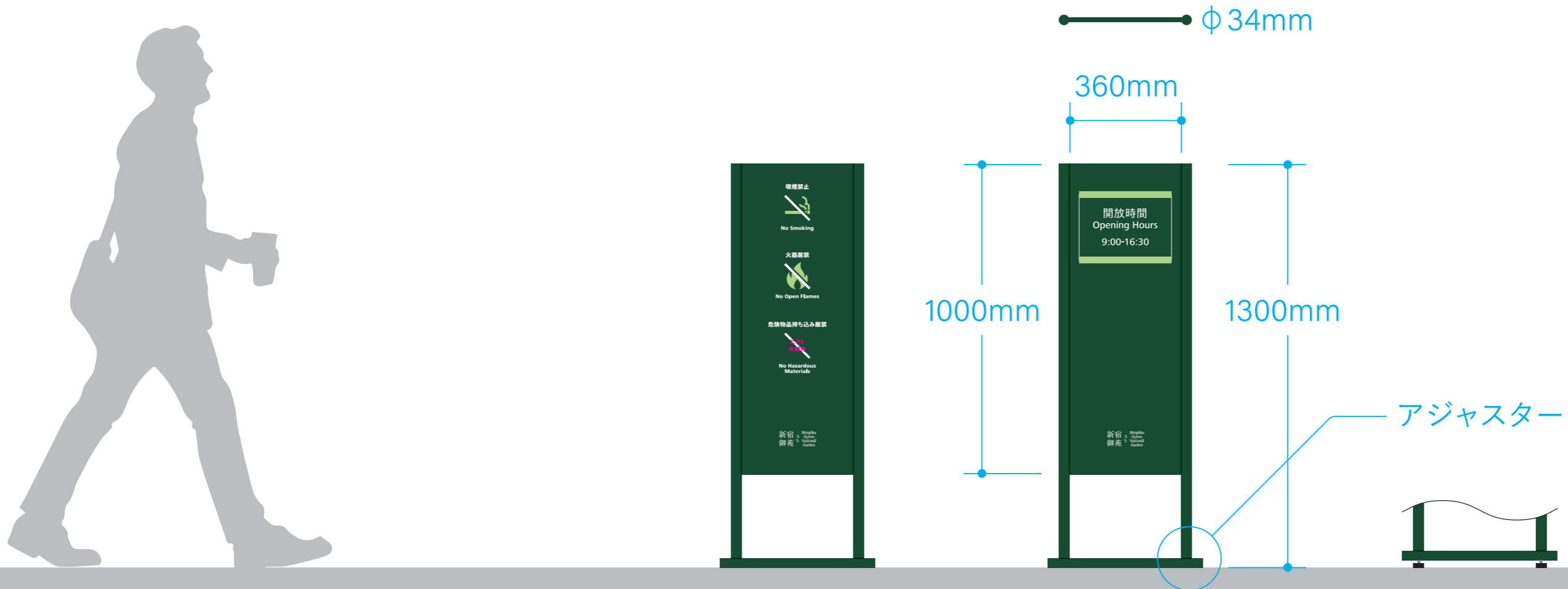
QRコード: 簡体中文, 繁体中文, 한국어

1500mm



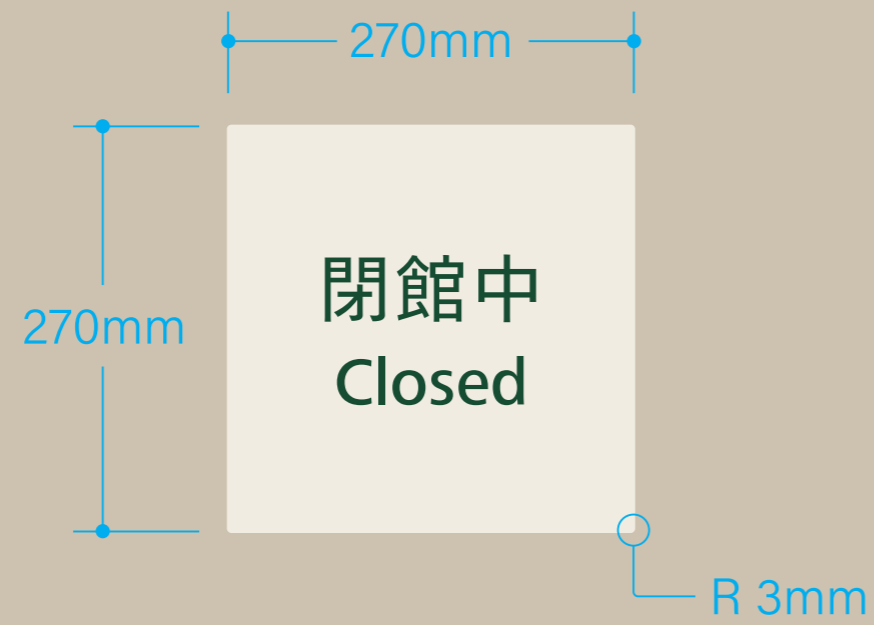
公園名称	新宿御苑		
工事名称	令和8年度新宿御苑展示工事		
図面名称	旧洋館御休所 グラフィックデザイン基本図-2	縮尺	1:10(A3)
年月日	令和8年3月	図面番号	D-202
会社名	合同会社わくわくデザイン	照査	設計
事務所名	環境省新宿御苑管理事務所	照査	設計

proposed by  
IROBE DESIGN INSTITUTE,  
NIPPON DESIGN CENTER INC.



公園名称	新宿御苑		
工事名称	令和8年度新宿御苑展示工事		
図面名称	旧洋館御休所 サイン詳細図-1	縮尺	1:15(A3)
年月日	令和8年3月	図面番号	E-201
会社名	合同会社わくわくデザイン	照査	設計
事務所名	環境省新宿御苑管理事務所	照査	設計

proposed by  
IROBE DESIGN INSTITUTE,  
NIPPON DESIGN CENTER INC.



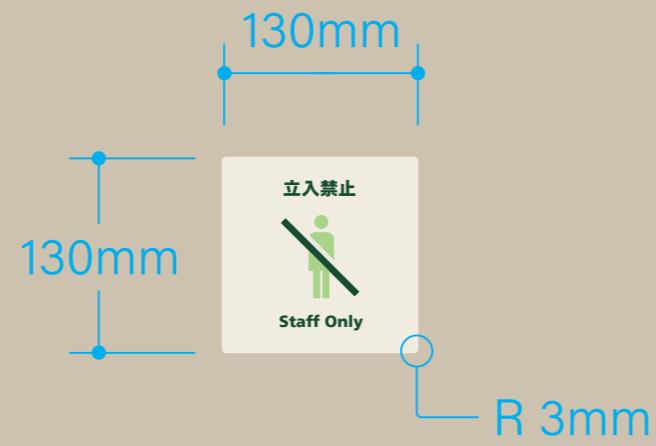
閉館中  
Closed



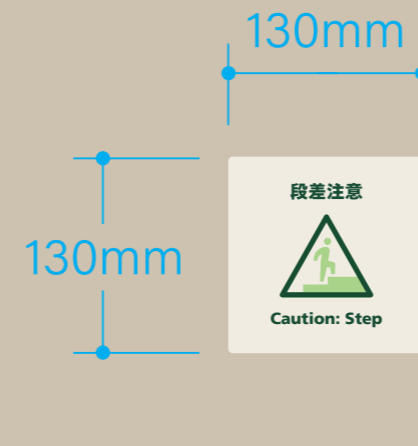
公園名称	新宿御苑		
工事名称	令和8年度新宿御苑展示工事		
図面名称	旧洋館御休所 サイン詳細図-2	縮尺	1:15(A3)
年月日	令和8年3月	図面番号	E-202
会社名	合同会社わくわくデザイン	照査	設計
事務所名	環境省新宿御苑管理事務所	照査	設計

proposed by  
IROBE DESIGN INSTITUTE,  
NIPPON DESIGN CENTER INC.

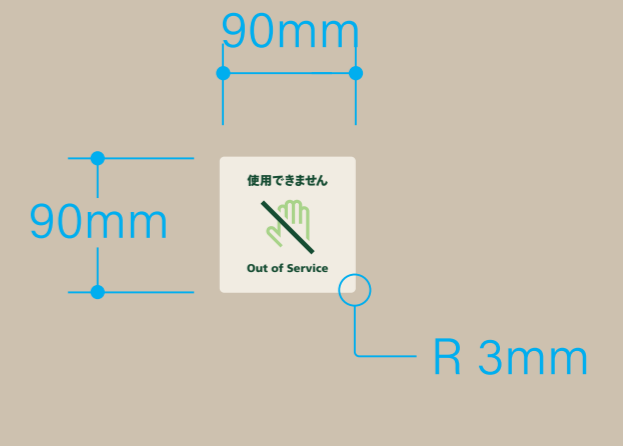
旧洋館御休所 | S-2-3 立入禁止、S-2-5 段差注意、S-2-6 使用不可



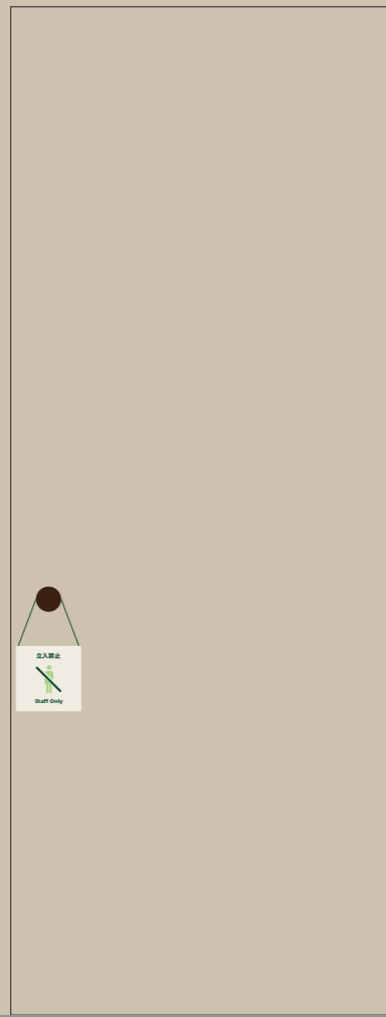
アクリルt5 UV印刷



塩ビシートに印刷  
床に貼る(フローリング面)



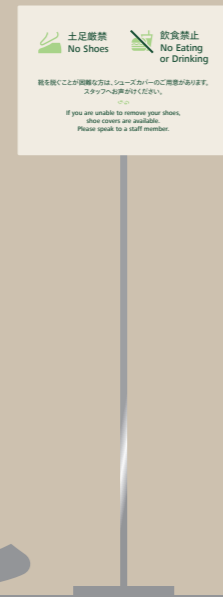
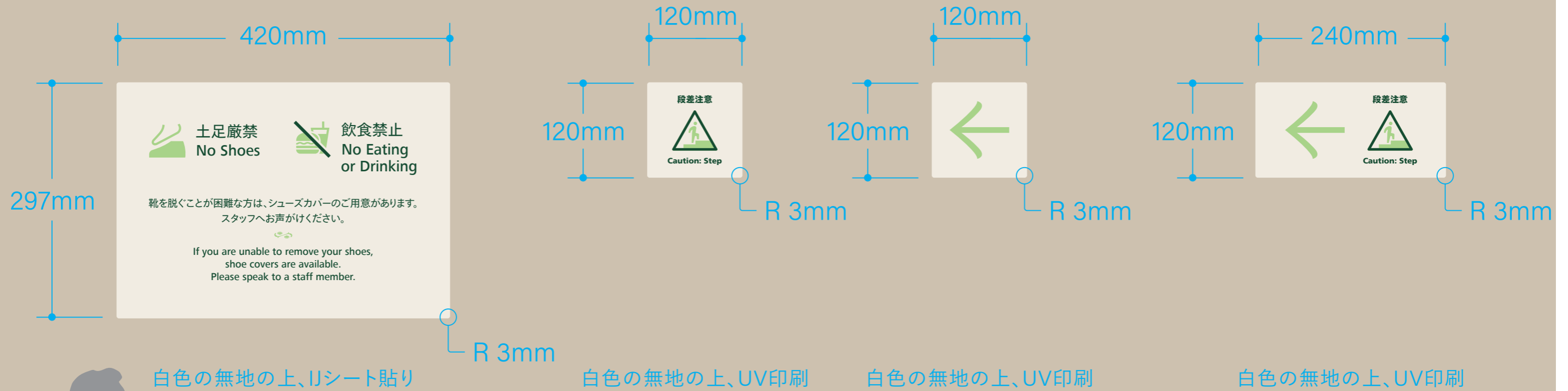
アクリルt5 UV印刷



公園名称	新宿御苑		
工事名称	令和8年度新宿御苑展示工事		
図面名称	旧洋館御休所 サイン詳細図-3	縮尺	1:15(A3)
年月日	令和8年3月	図面番号	E-203
会社名	合同会社わくわくデザイン	照査	設計
事務所名	環境省新宿御苑管理事務所	照査	設計

proposed by  
IROBE DESIGN INSTITUTE,  
NIPPON DESIGN CENTER INC.

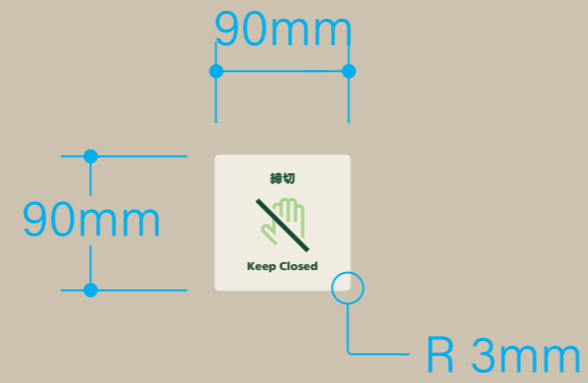
旧洋館御休所 | S-2-2 入館にあたって、S-2-4 段差注意、S-3-1 順路、S-3-2 順路、段差注意



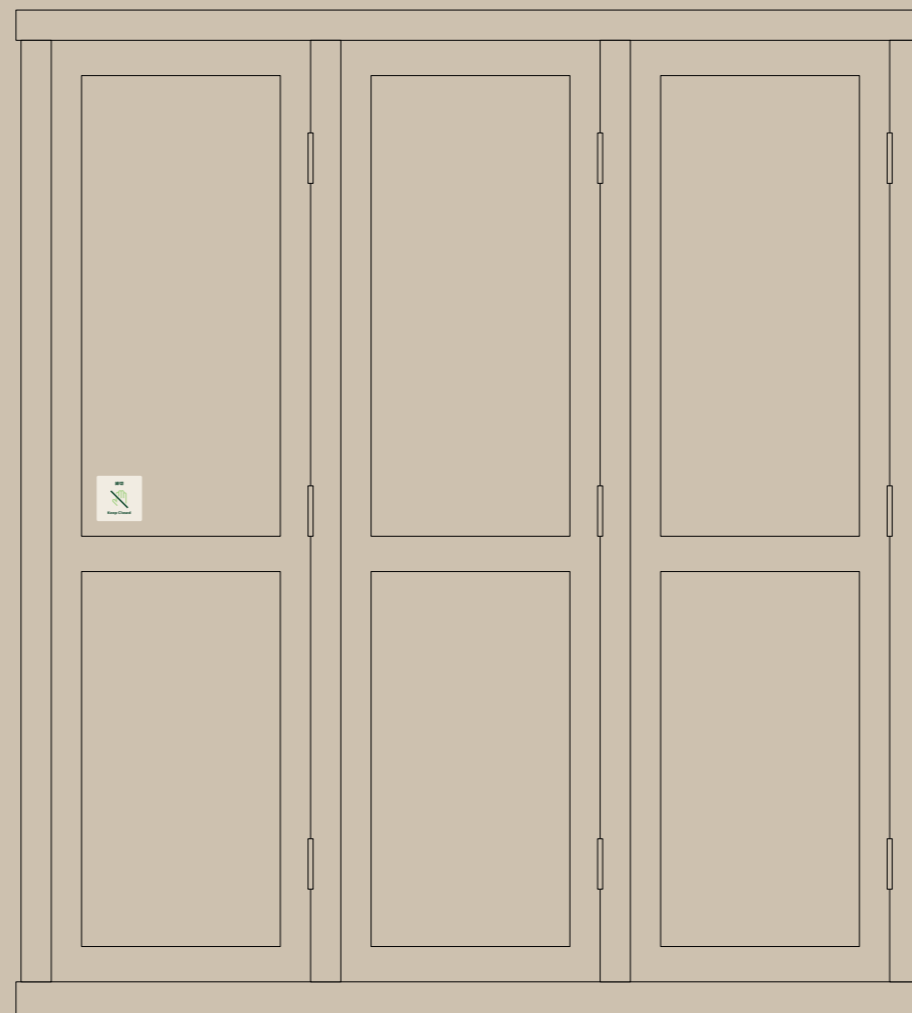
公園名称	新宿御苑		
工事名称	令和8年度新宿御苑展示工事		
図面名称	旧洋館御休所 サイン詳細図-4	縮尺	1:15(A3)
年月日	令和8年3月	図面番号	E-204
会社名	合同会社わくわくデザイン	照査	設計
事務所名	環境省新宿御苑管理事務所	照査	設計

proposed by  
IROBE DESIGN INSTITUTE,  
NIPPON DESIGN CENTER INC.

# 旧洋館御休所 | S-2-7 締切



白色の無地の上、リシート貼り



公園名称	新宿御苑		
工事名称	令和8年度新宿御苑展示工事		
図面名称	旧洋館御休所 サイン詳細図-5	縮尺	1:15(A3)
年月日	令和8年3月	図面番号	E-205
会社名	合同会社わくわくデザイン	照査	設計
事務所名	環境省新宿御苑管理事務所	照査	設計

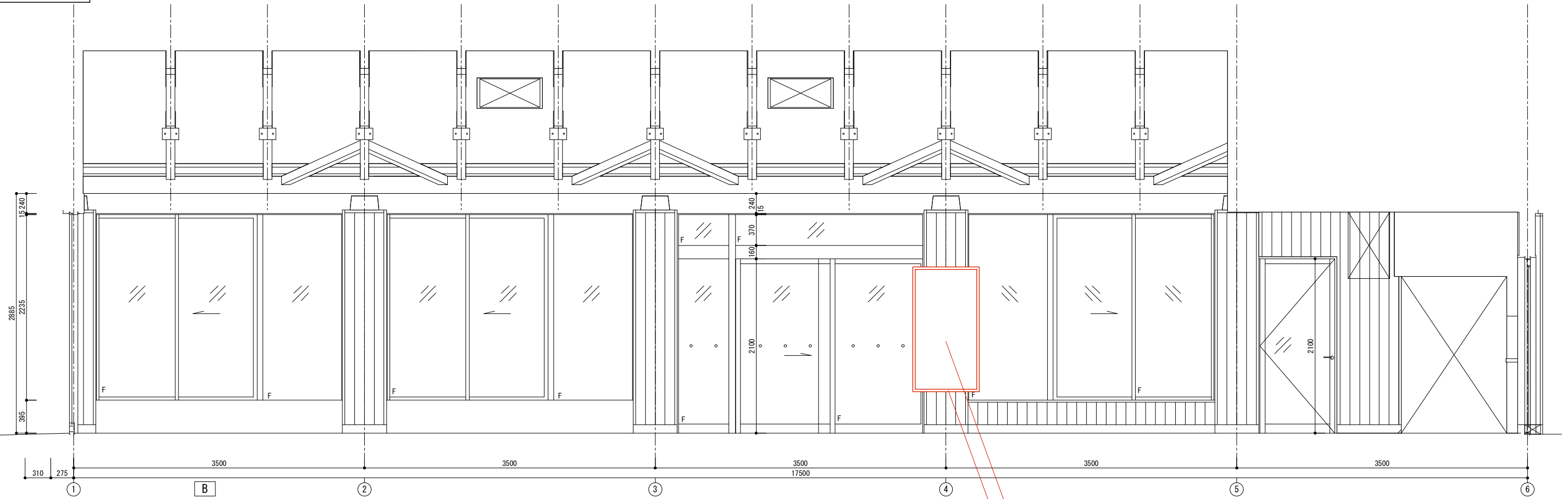
proposed by  
IROBE DESIGN INSTITUTE,  
NIPPON DESIGN CENTER INC.

# 森の家

公園名称	新宿御苑		
工事名称	令和8年度新宿御苑展示工事		
図面名称	森の家	縮尺	-
年月日	令和8年3月	図面番号	-
会社名	合同会社わくわくデザイン	照査	設計
事務所名	環境省新宿御苑管理事務所	照査	設計



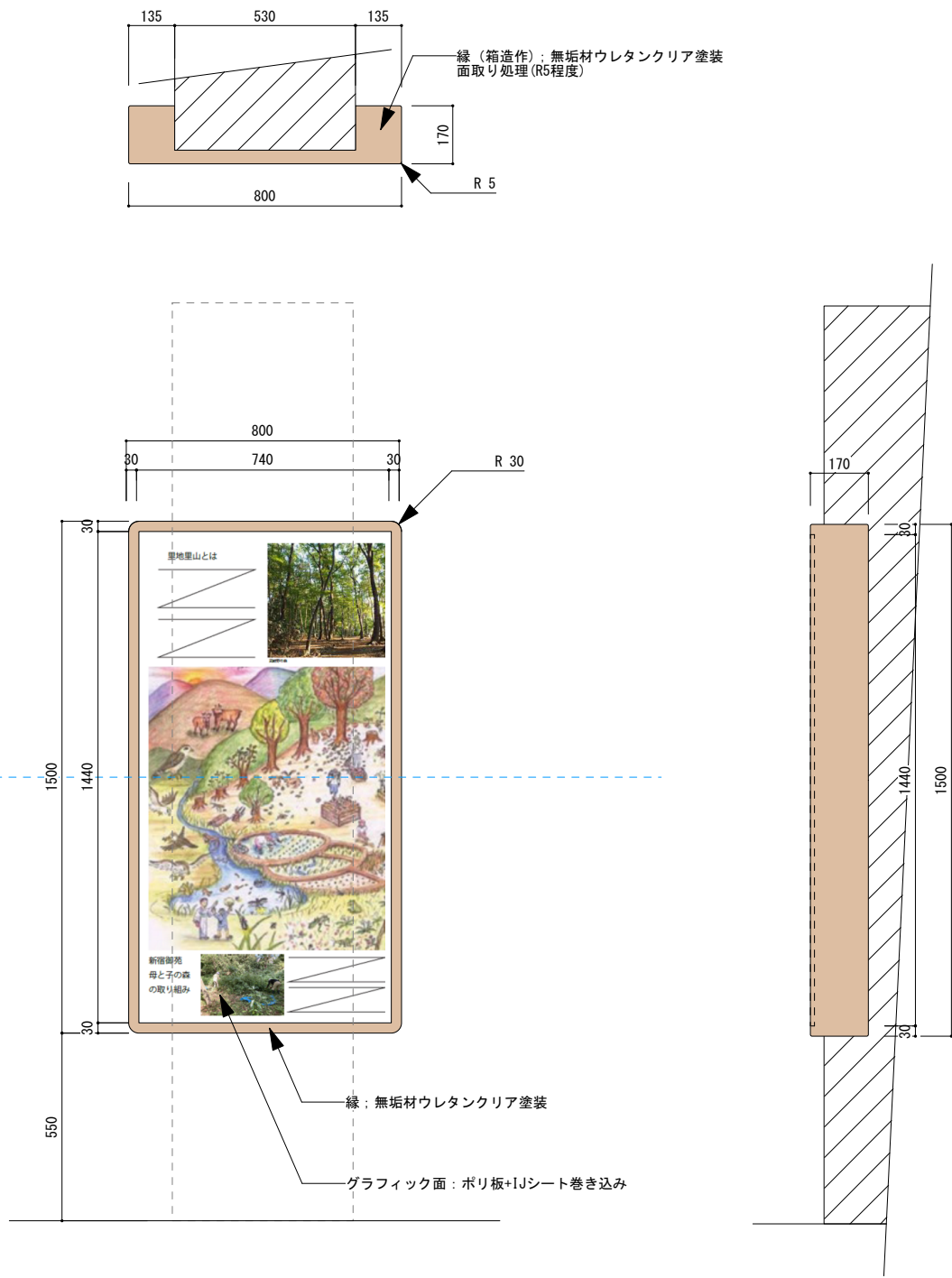
休憩室



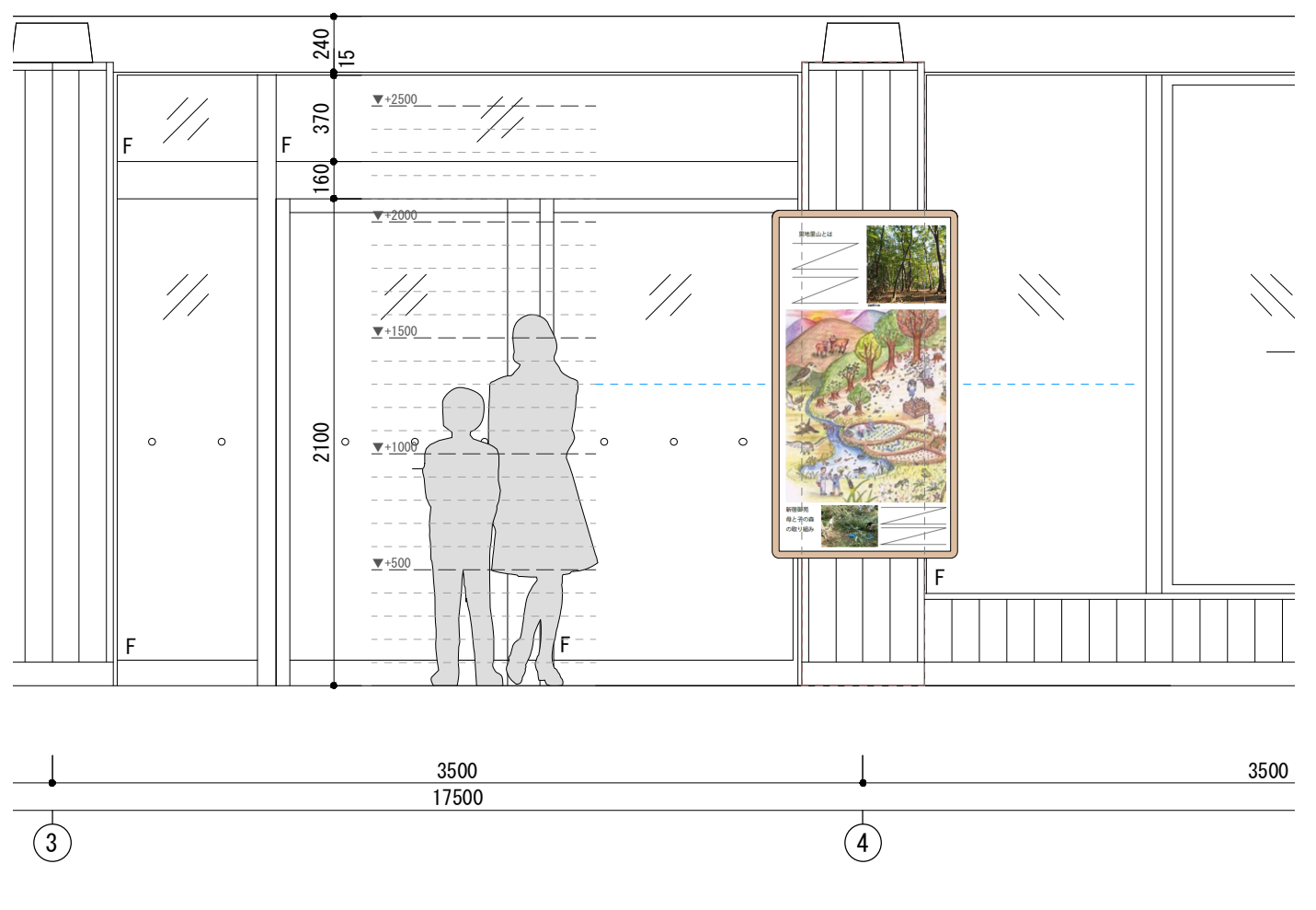
ポリ板+IJシート巻き込み

無垢材ウレタンクリア塗装

公園名称	新宿御苑		
工事名称	令和8年度新宿御苑展示工事		
図面名称	森の家 展開図	縮尺	1:50 (A3)
年月日	令和8年3月	図面番号	A-302
会社名	合同会社わくわくデザイン	照査	設計
事務所名	環境省新宿御苑管理事務所	照査	設計



[設置図] (S=1/30)



設置箇所写真



公園名称	新宿御苑		
工事名称	令和8年度新宿御苑展示工事		
図面名称	森の家 造作図	縮尺	1/20
年月日	令和8年3月	図面番号	B-301
会社名	合同会社わくわくデザイン	照査	設計
事務所名	環境省新宿御苑管理事務所	照査	設計

# 1. 里地里山について

## 里地里山とは What is Satoyama?

里地里山とは、原生的な自然と都市との中間に位置し、集落とそれを取り巻く二次林、それらと混在する農地、ため池、草原などで構成される地域です。農林業などに伴うさまざまな人間の働きかけを通じて環境が形成・維持されてきました。  
里地里山は、特有の生物の生息・生育環境として、また、食料や木材など自然資源の供給、良好な景観、文化の伝承の観点からも重要な地域です。

Tsatoyama refers to areas located between pristine natural environments and urban zones. These regions are composed of rural settlements, the surrounding secondary forests, and a mosaic of agricultural land, irrigation ponds, grasslands, and other elements. The environment in satoyama has been shaped and maintained through various human activities, particularly those related to agriculture and forestry. Satoyama landscapes are important as habitats for unique species of plants and animals. They also play a vital role in providing natural resources such as food and timber, preserving beautiful scenery, and passing down cultural traditions.



武蔵野の森  
The Musashino Forest

山と集落と農地  
Mountains, Villages, and Farmland



一般的な里地・里山における人間の働きかけを通じて環境が形成・維持されてきたイメージ  
新宿御苑での母と子の森での取り組みを描く

里地里山とは、原生的な自然と都市との中間に位置し、集落とそれを取り巻く二次林、それらと混在する農地、ため池、草原などで構成される地域です。農林業などに伴うさまざまな人間の働きかけを通じて環境が形成・維持されてきました。  
里地里山は、特有の生物の生息・生育環境として、また、食料や木材など自然資源の供給、良好な景観、文化の伝承の観点からも重要な地域です。

### 里地里山の危機

しかし、里地里山の多くは人口の減少や高齢化の進行、産業構造の変化により、里山林や野草地などの利用を通じた自然資源の循環が少なくなることで、大きな環境変化を受け、里地里山における生物多様性は、質と量の両面から劣化が懸念されています。

### 国内の取組

里地里山保全活動の取組の参考とするため、持続可能な資源利用に関する全国の特徴的な取組事例を収集、分析し、幅広く情報発信を行っています。さらに、伝統的な里地里山の利用・管理手法の再評価、保全活用につながる新たな利活用手法の導入、都市住民や企業など多様な主体の参加促進方策などの視点について検討を行い、地域の活動にとって必要な助言や技術的なノウハウの提供を行うことにより、全国的な里地里山の保全活用を促進しています。



環境省、里地里山の WEB サイトより



公園名称	新宿御苑		
工事名称	令和8年度新宿御苑展示工事		
図面名称	森の家 グラフィック構成図	縮尺	-
年月日	令和8年3月	図面番号	C-301
会社名	合同会社わくくデザイン	照査	設計
事務所名	環境省新宿御苑管理事務所	照査	設計

# 森の家 | 里地里山について解説



740mm

1440mm

## 里地里山とは What is Satoyama?

里地里山とは、原生的な自然と都市との中間に位置し、集落とそれを取り巻く二次林、それらと混在する農地、ため池、草原などで構成される地域です。農林業などに伴うさまざまな人間の働きかけを通じて環境が形成・維持されてきました。里地里山は、特有の生物の生息・生育環境として、また、食料や木材など自然資源の供給、良好な景観、文化の伝承の観点からも重要な地域です。

They arrived by being carried by ocean currents or by attaching themselves to driftwood. Floating coconuts and other things arrived this way, but acorns, which sink in water, They arrived by being carried by ocean currents or by attaching themselves to driftwood. Floating coconuts and other things arrived this way, but acorns, which sink in water. They arrived by being carried by ocean currents or by attaching themselves to driftwood. Floating coconuts and other things arrived this way, but acorns, which sink in water. They arrived by being carried by ocean currents or by attaching themselves to driftwood. Floating coconuts and other things arrived this way, but acorns, which sink in water.



武蔵野の森 The Musashino Forest



山と集落と農地 Mountains, Villages, and Farmland



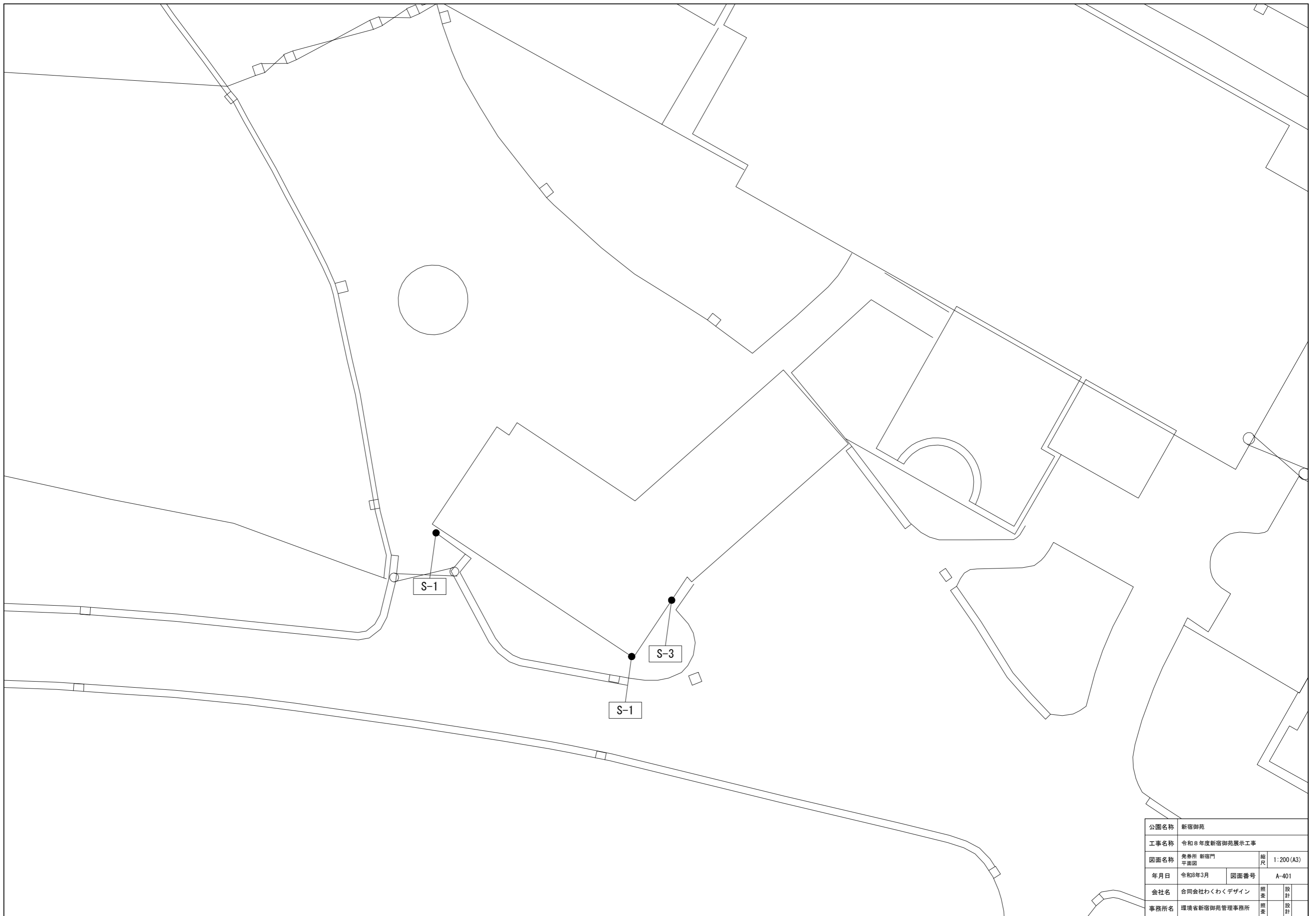
proposed by

IROBE DESIGN INSTITUTE,  
NIPPON DESIGN CENTER INC.

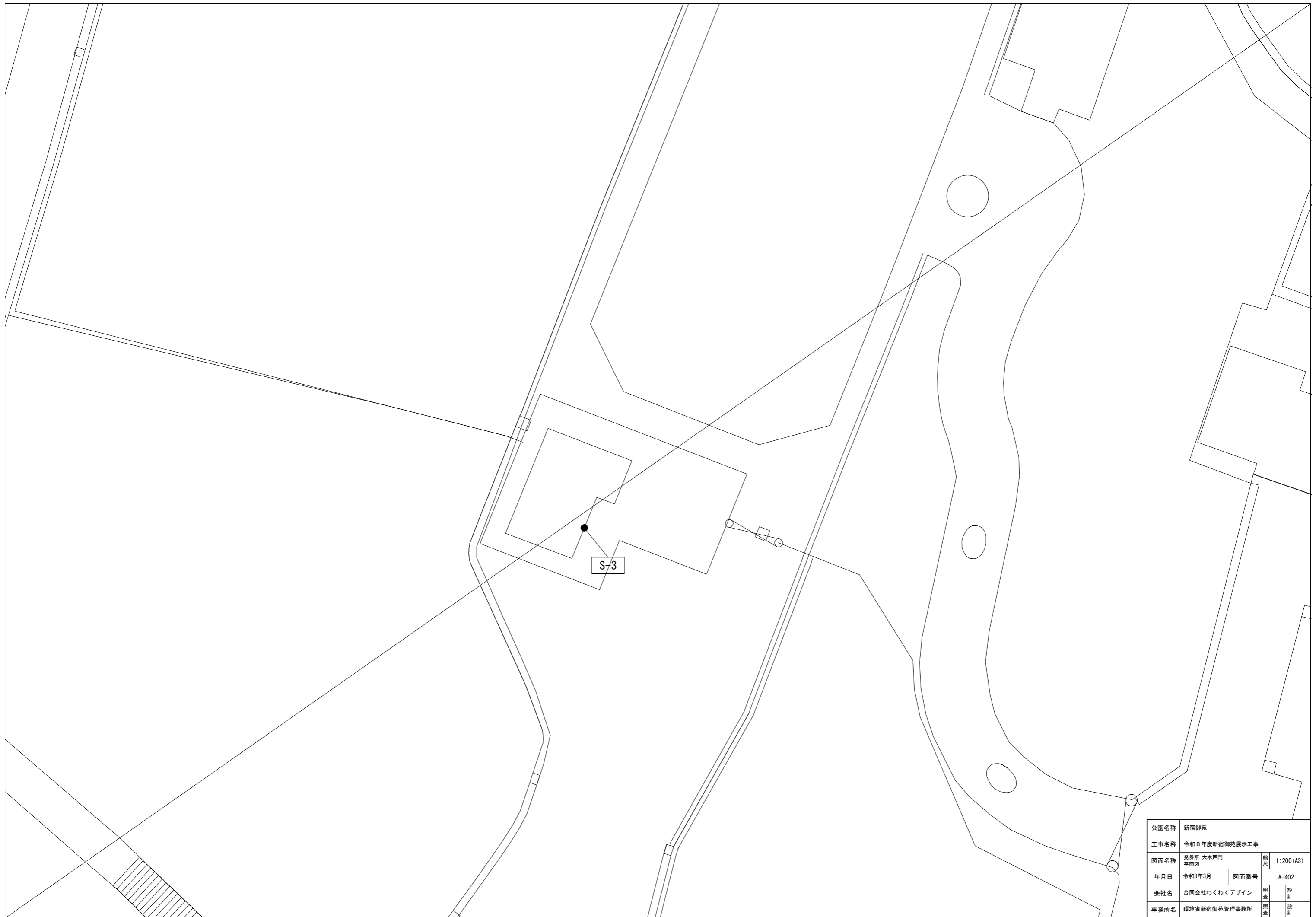
公園名称	新宿御苑		
工事名称	令和8年度新宿御苑展示工事		
図面名称	森の家 グラフィックデザイン基本図-1	縮尺	1:10(A3)
年月日	令和8年3月	図面番号	D-301
会社名	合同会社わくわくデザイン	照査	設計
事務所名	環境省新宿御苑管理事務所	照査	設計

# 発券所

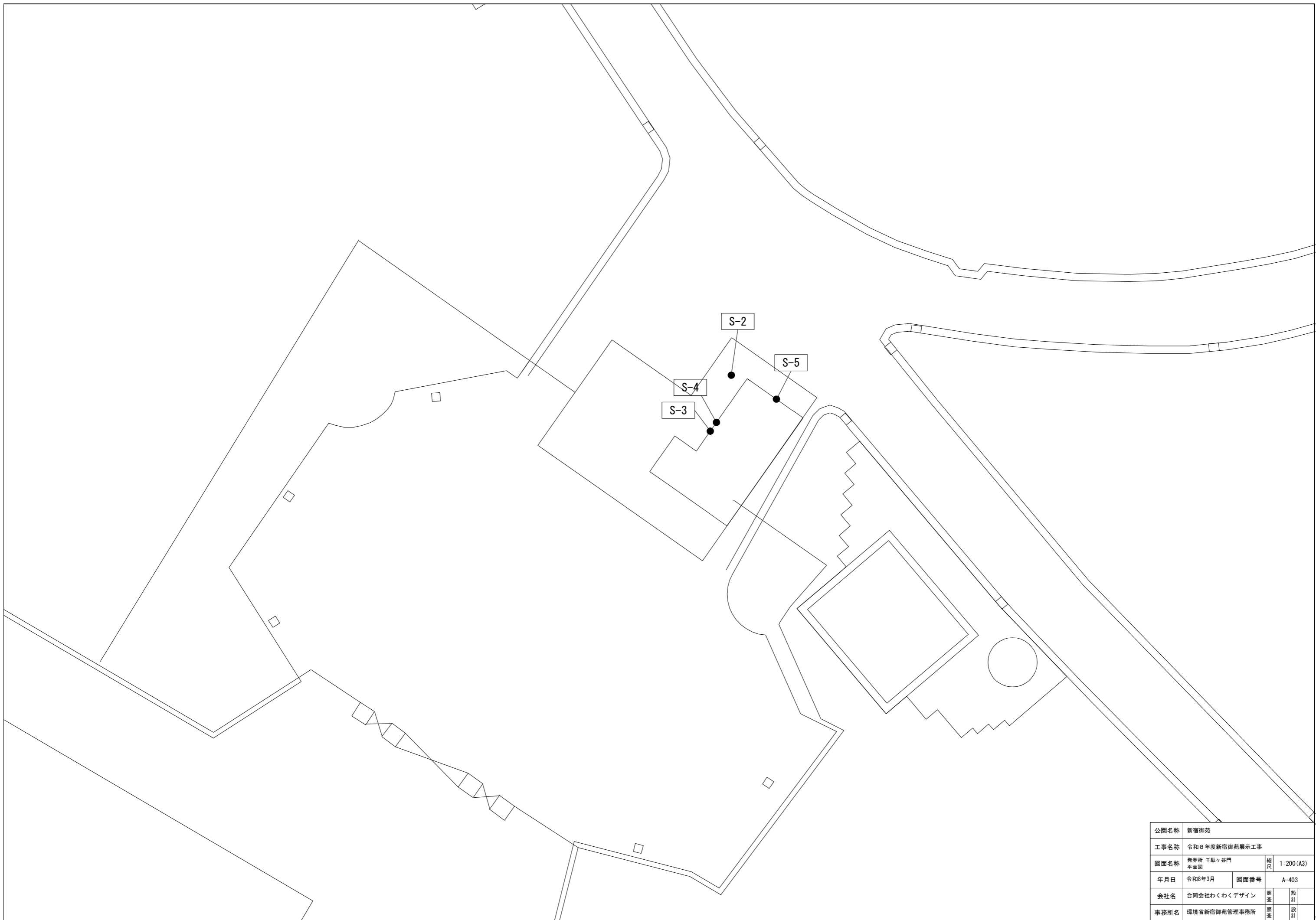
公園名称	新宿御苑		
工事名称	令和8年度新宿御苑展示工事		
図面名称	発券所	縮尺	-
年月日	令和8年3月	図面番号	-
会社名	合同会社わくわくデザイン	照査	設計
事務所名	環境省新宿御苑管理事務所	照査	設計



公園名称	新宿御苑		
工事名称	令和8年度新宿御苑展示工事		
図面名称	発券所 新宿門 平面図	縮尺	1:200 (A3)
年月日	令和8年3月	図面番号	A-401
会社名	合同会社わくわくデザイン	照査	設計
事務所名	環境省新宿御苑管理事務所	照査	設計

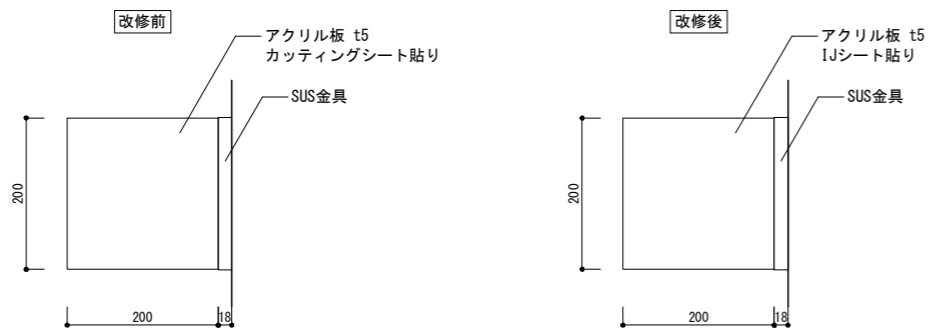


公園名称	新宿御苑		
工事名称	令和8年度新宿御苑展示工事		
図面名称	発券所 大木戸門 平面図	縮尺	1:200(A3)
年月日	令和8年3月	図面番号	A-402
会社名	合同会社わくわくデザイン	照査	設計
事務所名	環境省新宿御苑管理事務所	照査	設計



公園名称	新宿御苑		
工事名称	令和8年度新宿御苑展示工事		
図面名称	発券所 千駄ヶ谷門 平面図	縮尺	1:200 (A3)
年月日	令和8年3月	図面番号	A-403
会社名	合同会社わくわくデザイン	照査	設計
事務所名	環境省新宿御苑管理事務所	照査	設計

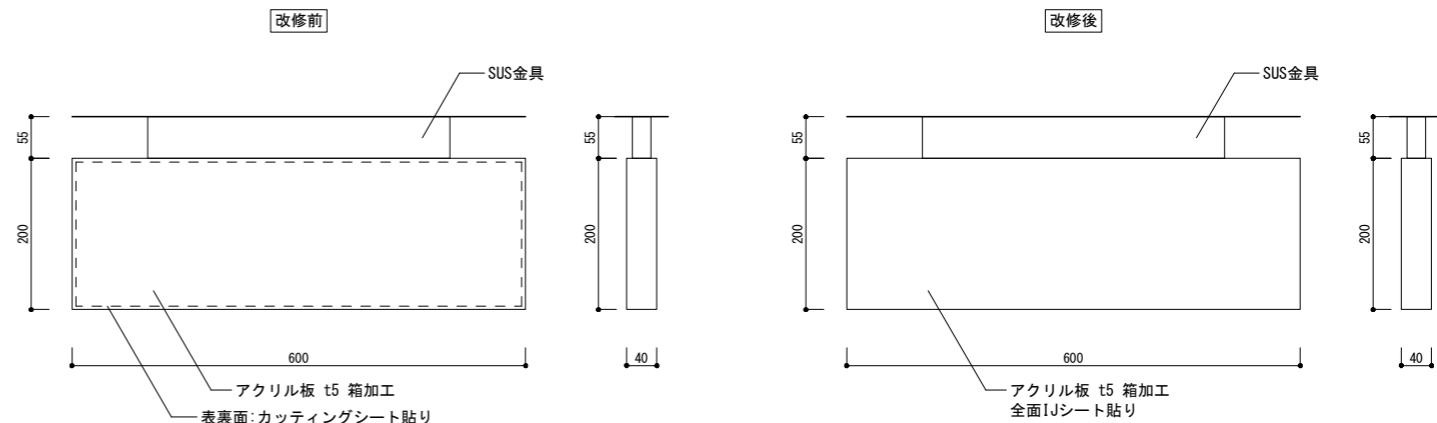
S-1  
コインロッカービクトサイン



※アクリル t5を撤去 → ※アクリル t5 IJシート貼りを新設

姿図

S-2  
コインロッカー及び公衆電話誘導ビクトサイン



※カットティングシートを撤去 → ※アクリル板 t5 箱加工に全面IJシート貼りを新設

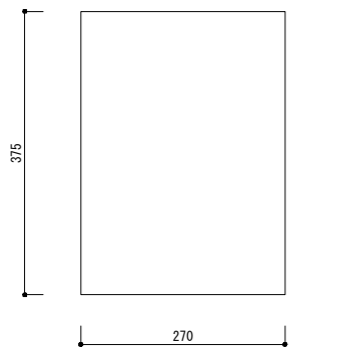
正面

側面

正面

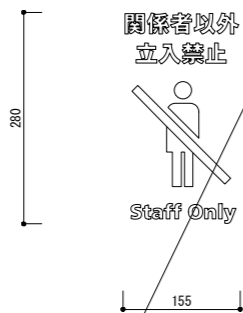
側面

S-3  
関係者以外立入禁止サイン



アルミ複合板t3IJシート貼り (AD建具面貼付)

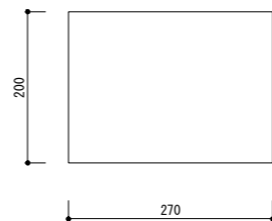
新宿門、千駄ヶ谷門



カットティングシート貼り (AD建具面貼付)

大木戸門

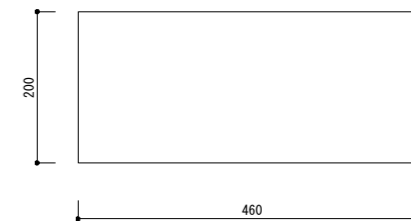
S-4  
車椅子サイン



改修前 アクリル板 壁埋込の上 IJシート貼り  
※IJシートを撤去

改修後 アクリル板 壁埋込の上 塩ビシート貼り  
※塩ビシートを新設

S-5  
コインロッカー及び公衆電話ビクトサイン



アクリル板 t5 IJシート貼り 壁面貼付  
※アクリル板を撤去

公園名称	新宿御苑		
工事名称	令和8年度新宿御苑展示工事		
図面名称	発券所 部分詳細図	縮尺	1:10 (A3)
年月日	令和8年3月	図面番号	A-404
会社名	合同会社わくわくデザイン	照査	設計
事務所名	環境省新宿御苑管理事務所	照査	設計

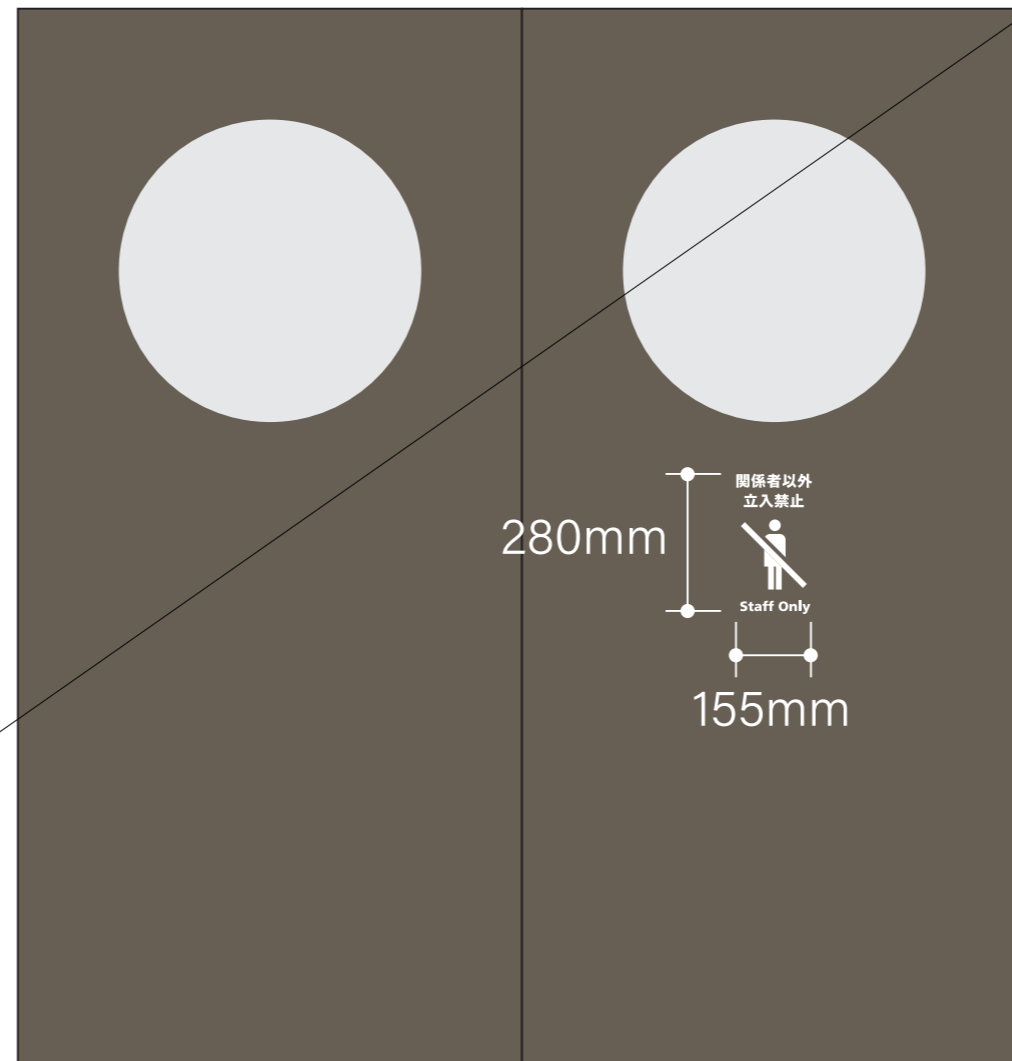
新宿門



公園名称	新宿御苑		
工事名称	令和8年度新宿御苑展示工事		
図面名称	発券所 サイン詳細図-1	縮尺	1:15(A3)
年月日	令和8年3月	図面番号	E-401
会社名	合同会社わくわくデザイン	照査	設計
事務所名	環境省新宿御苑管理事務所	照査	設計

proposed by  
IROBE DESIGN INSTITUTE,  
NIPPON DESIGN CENTER INC.

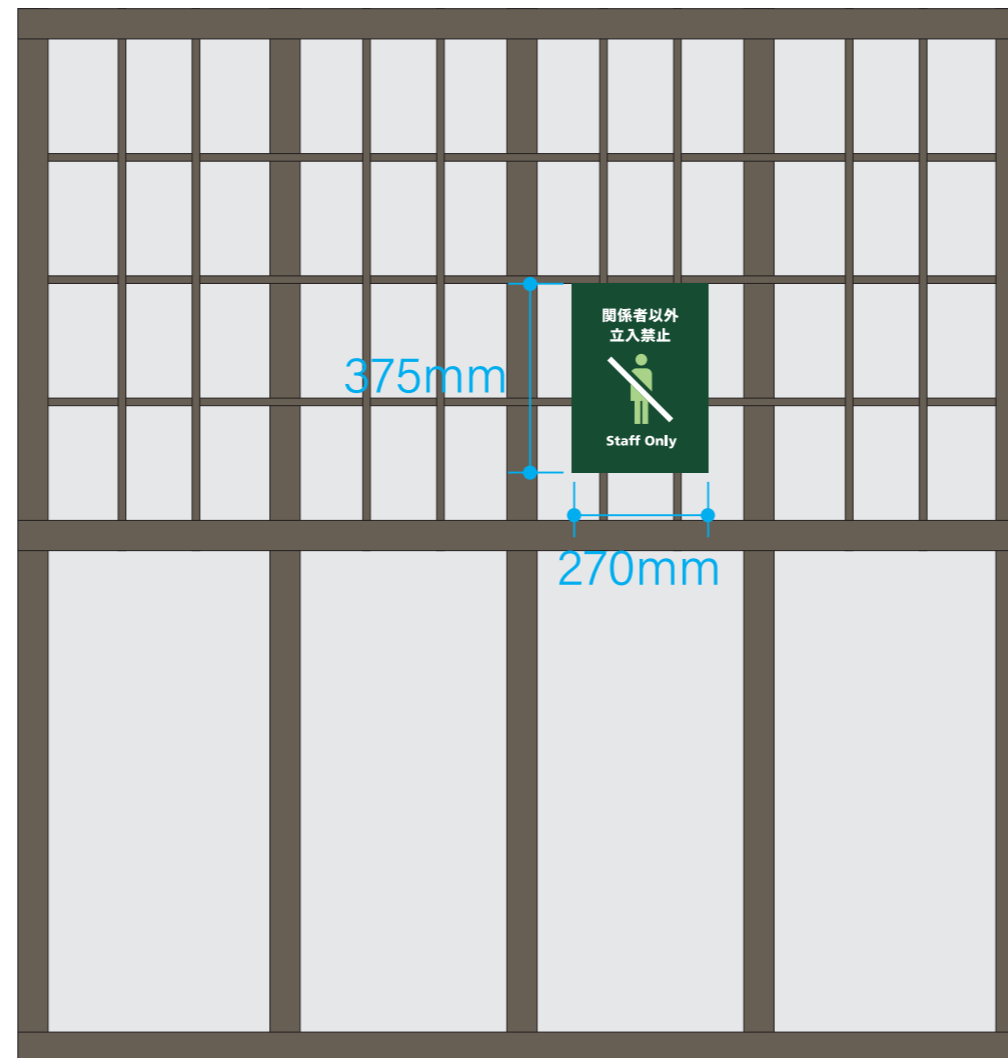
大木戸門



proposed by  
IROBE DESIGN INSTITUTE,  
NIPPON DESIGN CENTER INC.

公園名称	新宿御苑		
工事名称	令和8年度新宿御苑展示工事		
図面名称	発券所 サイン詳細図-2	縮尺	1:15(A3)
年月日	令和8年3月	図面番号	E-402
会社名	合同会社わくわくデザイン	照査	設計
事務所名	環境省新宿御苑管理事務所	照査	設計

千駄ヶ谷門

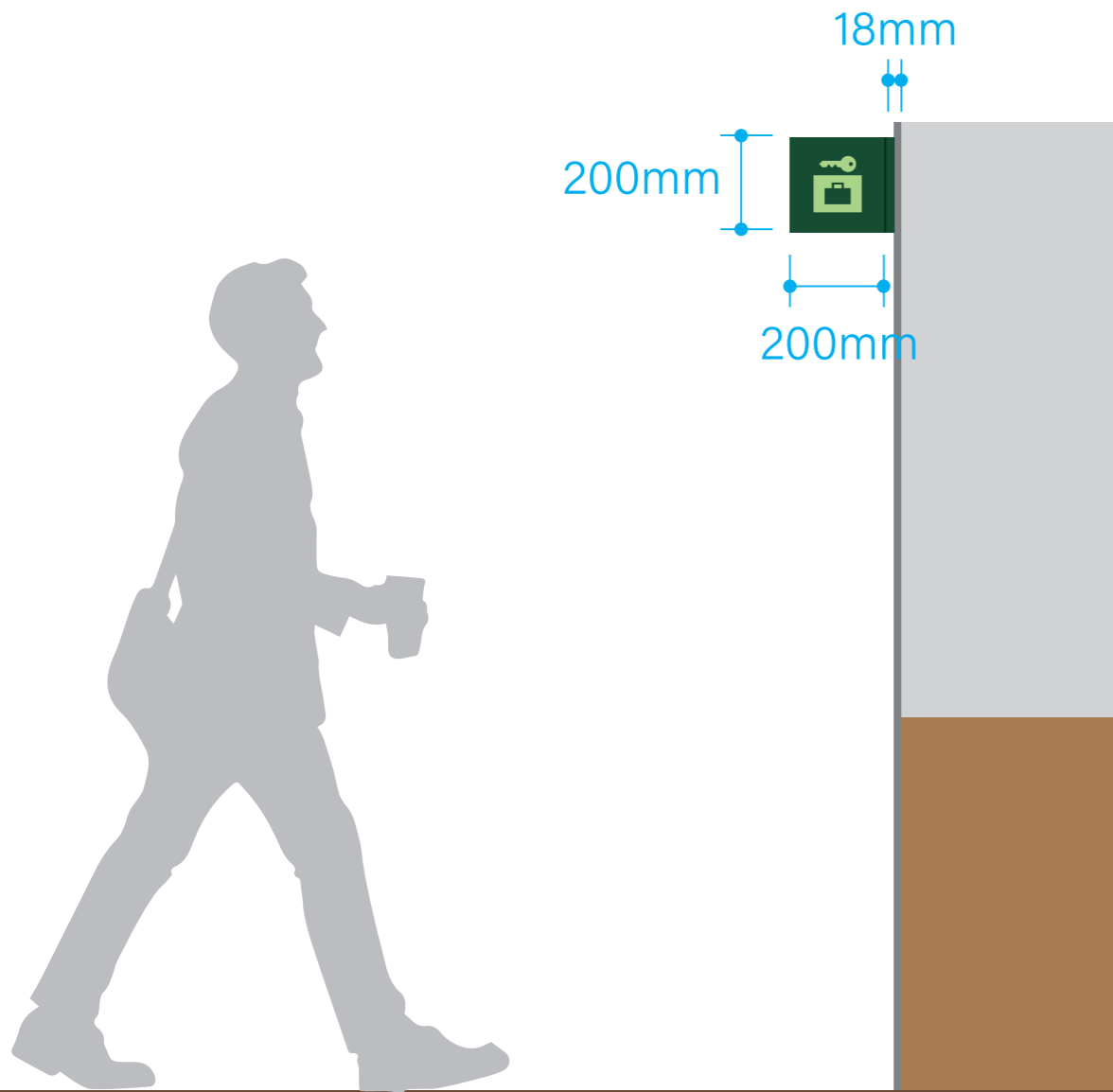


公園名称	新宿御苑		
工事名称	令和8年度新宿御苑展示工事		
図面名称	発券所 サイン詳細図-3	縮尺	1:15(A3)
年月日	令和8年3月	図面番号	E-403
会社名	合同会社わくわくデザイン	照査	設計
事務所名	環境省新宿御苑管理事務所	照査	設計

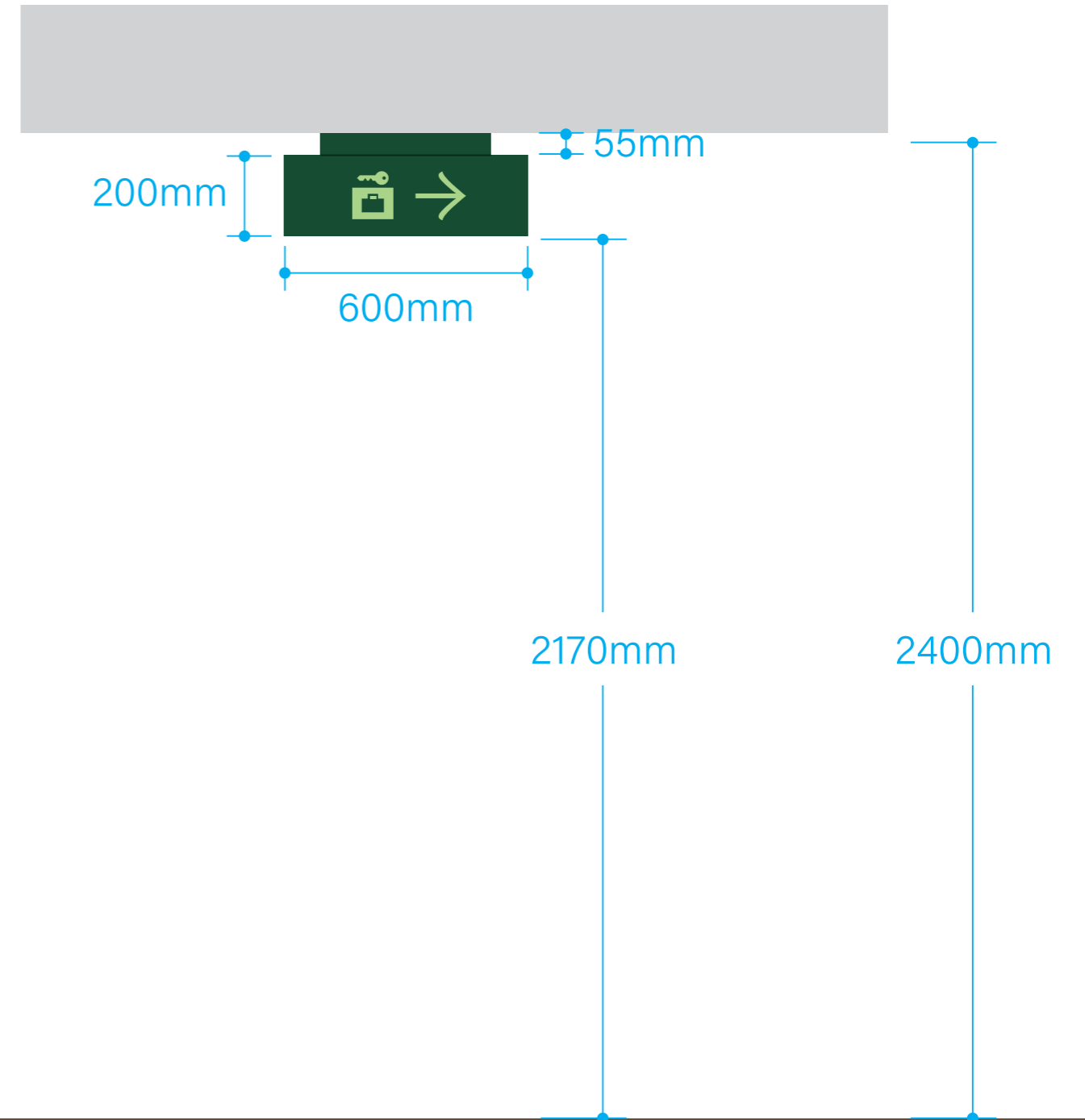
proposed by  
IROBE DESIGN INSTITUTE,  
NIPPON DESIGN CENTER INC.

発券所 | 突き出しサイン、吊り下げサイン

新宿門



千駄ヶ谷門

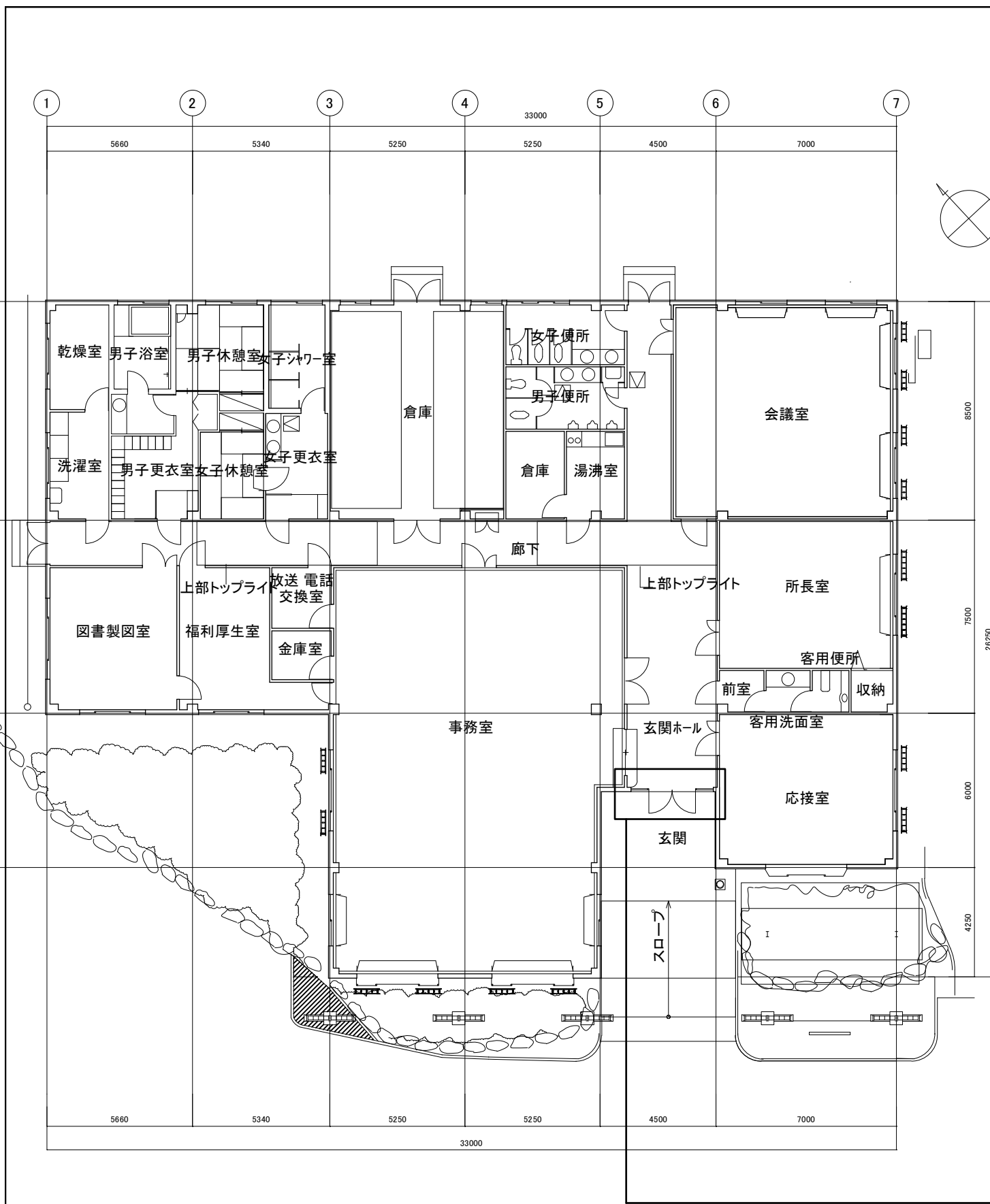


公園名称	新宿御苑		
工事名称	令和8年度新宿御苑展示工事		
図面名称	発券所 サイン詳細図-4	縮尺	1:15(A3)
年月日	令和8年3月	図面番号	E-404
会社名	合同会社わくわくデザイン	照査	設計
事務所名	環境省新宿御苑管理事務所	照査	設計

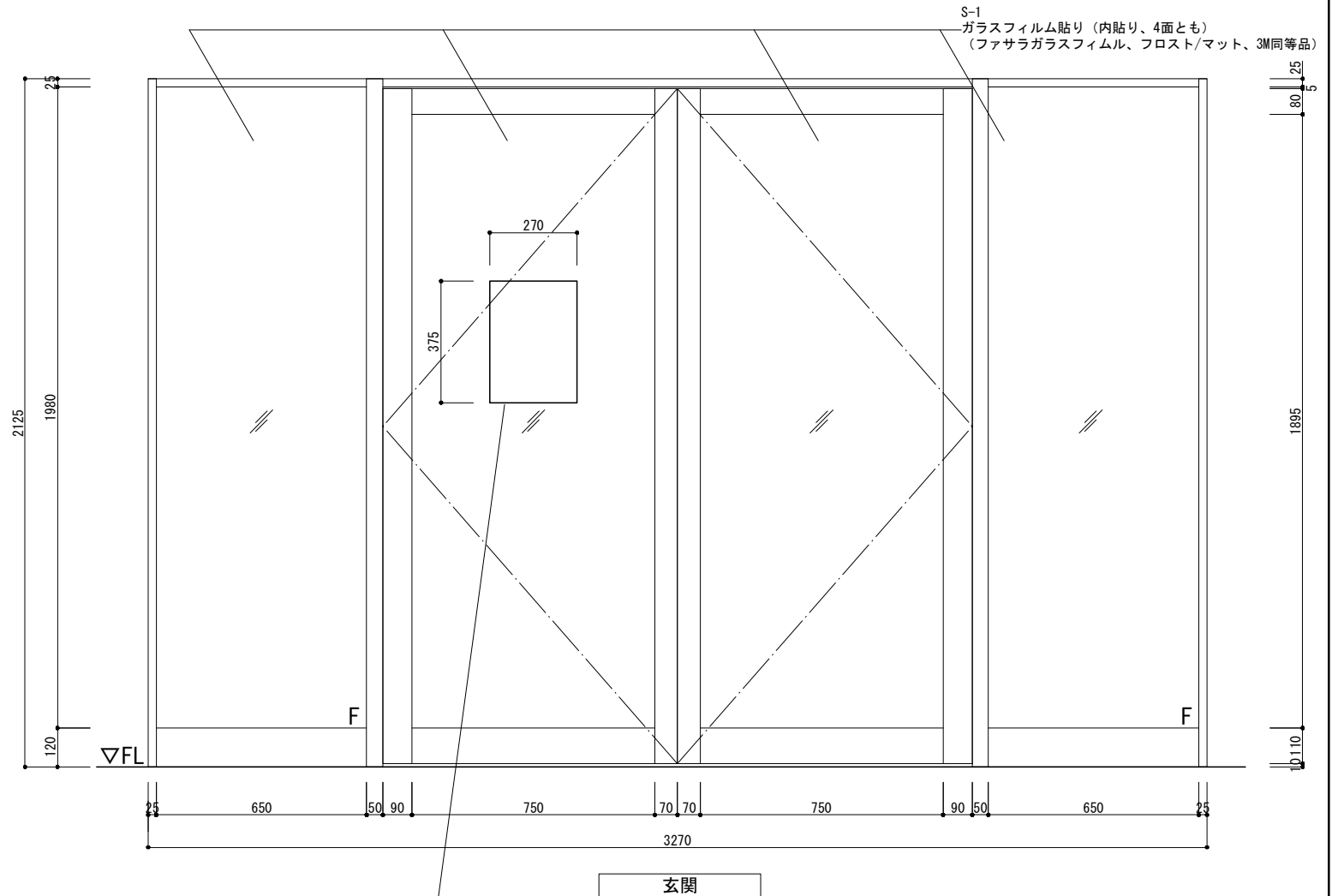
proposed by  
IROBE DESIGN INSTITUTE,  
NIPPON DESIGN CENTER INC.

# 管理事務所

公園名称	新宿御苑		
工事名称	令和8年度新宿御苑展示工事		
図面名称	管理事務所	縮尺	-
年月日	令和8年3月	図面番号	-
会社名	合同会社わくわくデザイン	照査	設計
事務所名	環境省新宿御苑管理事務所	照査	設計



S=1/200 (A3)



S-2  
立入禁止サイン (外貼り)  
インクジェットシート貼り  
(※グラフィックは、発券所の立入禁止と同じ表示)

S=1/20 (A3)

- 特記事項
- ・ガラスフィルムは、カットサンプルを現地のガラス面に当てて、遮蔽性を確認し、承認を得ること。
  - ・立入禁止サインは、原寸サンプルを用意して、ガラスフィルムとともに、現地のガラス面に当てて、視認性を確認し、承認を得ること。

公園名称	新宿御苑		
工事名称	令和8年度新宿御苑多言語化改修展示工事		
図面名称	管理事務所 部分詳細図	縮尺	1:200, 1:20 (A3)
年月日	令和8年3月	図面番号	A-501
会社名	合同会社わくわくデザイン	照査	設計
事務所名	環境省新宿御苑管理事務所	照査	設計